From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Wednesday, April 20, 2011 1:29 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6) Jih, Rongsong; (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: Summary_of_reactor_unit_status_at_20-April_0000UTC.pdf

CG/20

20th APRIL 2011 00:00 UTC

IAEA

International Atomic Energy Agency

Incident and Emergency Centre

FOR AUTHORITIES USE ONLY

(b)(4)

This page represents 30 pages contained in the International Atomic Energy Agency (IAEA) Incident and Emergency Centre Report being withheld under Ex.4

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Thursday, April 21, 2011 12:53 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M; (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6) Jih, Rongsong; (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: No102_info1500_April19_extract_set_.pdf; 102_NISA_News_Release_Japanese.pdf; 102_NISA_News_Release_Japanese_-_Conditions.pdf; 102_NISA_News_Release_Japanese_-_Monitoring.pdf

CG/21

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月１９日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０２報）
（４月１９日１５時００分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・２号機タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）

・４号機の使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23）

２．産業保安関係

別紙参照

（別紙）

１　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 19 日 13:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.531(A) 1.149(B)	0.081(A) 0.072(D)	0.061(A) 0.016(C)	－	0.108	0.111
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	165	85	103.6	－	－	－
原子炉水位*2 [mm]	-1600(A) -1550(B)	-1500(A) -2100(B)	-1850(A) -2250(B)	－	2222	2033
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.3(A) 53.2(B)	74.4(A) 74.8(B)	43.2(A) 43.2(B)	－	－	－
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	170	計器不良	172.2	－	－	－
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	49.0	計器不良	計器不良	37.2	25.0
備　考	4/19 12:00 現在の値	4/19 12:00 現在の値	4/19 12:00 現在の値	4/19 現在	4/19 13:00 現在の値	4/19 13:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3月14日1:10）
・１号機で爆発音（3月12日15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3月23日2:33）。その後、給水系のみに切替（約11m^3/h）（3月23日9:00）
・中央制御室の照明復帰（3月24日11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3月25日15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として^{131}I（ヨウ素）が2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月29日8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3月24日17時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3月29日7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3月31日12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3月31日15:25）、移送を再開し、終了した（4月2日15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m級）が約90t放水（淡水）（3月31日13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m級）による放水位置の確認のため、試験放水（4月2日17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4月3日10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4月3日12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4月3日13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4月6日22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4月7日1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4月9日4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4月10日09:30）
・地震発生（4月11日17:16頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4月11日17:16頃）
・外部電源復旧（4月11日17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4月11日18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4月11日23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4月17日16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月19日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月19日15:00現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信（3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始（3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下１階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 19 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 19 日 15:00 現在）

＜３号機関係＞
・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 13 日 5:10）
・ベント開始（3 月 13 日 8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3 月 13 日 11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始（3 月 13 日 13:12）
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止（3 月 14 日 1:10）
・３号機の海水の注水を再開（3 月 14 日 3:20）

・ベント開始（3 月 14 日 5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3 月 14 日 7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3 月 14 日 7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3 月 14 日 11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3 月 16 日 8:30 頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3 月 16 日 10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3 月 16 日 11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3 月 17 日 9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3 月 17 日 16:10）
・自衛隊消防車により放水（3 月 17 日 19:35）
・警察庁機動隊による放水（3 月 17 日 19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3 月 17 日 19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t 放水／台）が放水（3 月 18 日 14 時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3 月 18 日 14:45 終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3 月 20 日 3:40 終了）
・格納容器内圧力が上昇（3 月 20 日 11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3 月 21 日 12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3 月 20 日 11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3 月 20 日 21:30～3 月 21 日 3:58）
・灰色がかった煙が発生（3 月 21 日 15:55 頃）
・煙が収まっていることを確認（3 月 21 日 17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3 月 22 日 7:11 現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約 180t）（3 月 22 日 15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 22 日 22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を 35t 注水（3 月 23 日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^{6}Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）

・コンクリートポンプ車（52m 級）が海水約 100t 放水（3 月 27 日 12:34～14:36）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 11:30～14:00）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 19 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 19 日 15:00 現在）

＜４号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3 月 14 日 4:08 時点 84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3 月 15 日 6:14）
・火災発生（3 月 15 日 9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3 月 15 日 11:00 頃）

・火災が発生（3 月 16 日 5:45 頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3 月 16 日 6:15 頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3 月 20 日 11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 18:30 頃～19:46）
・自衛隊消防車 13 台が使用済燃料プールに放水（3 月 21 日 6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3 月 21 日 15:00 頃）
・パワーセンター受電（3 月 22 日 10:35）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 22 日 17:17～20:32）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 130 t 放水（3 月 23 日 10:00～13:02）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 24 日 14:36～17:30）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 25 日 19:05～22:07）
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3 月 25 日 6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 125t 放水（3 月 27 日 16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3 月 29 日 11:50）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 140t 放水（3 月 30 日 14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 1 日 8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・4 月 2 日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を４号機のタービン建屋内に移送していたところ、4 月 3 日より３号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断（4 月 4 日 9:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 3 日 17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 20t 放水（4 月 5 日 17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 38 t 放水（4 月 7 日 18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 90 t 放水（4 月 9 日 17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4 月 12 日 12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4 月 13 日）。その結果、^{131}I（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 19 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）

・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）

・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）

・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）

・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）

・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）

・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）

・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）

・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）

・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）

・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）

・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）

＜使用済燃料共用プール＞

・3 月 18 日 6:00 過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認

・共用プールに注水（3 月 21 日 10:37～15:30）

・電源供給を開始（3 月 24 日 15:37）し、冷却を開始（3 月 24 日 18:05）

・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4 月 17 日 14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4 月 17 日 17:30）

・4 月 19 日 7:30 時点でのプール水温度は 32℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 1850.5 倍）検出された（3 月 26 日 14:30）
（3 月 29 日に計測した結果、水中濃度限度の 3,355.0 倍となった。（3 月 29

日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同 1,262.5 倍）検出された。(3 月 29 日 14:10))

・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3 月 21 日及び 3 月 22 日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3 月 28 日 23:45 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3 月 31 日）。測定値については１日１回の予定。

・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3 月 25 日（４地点）及び 3 月 28 日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 6 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3 月 28 日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 4385.0 倍）検出された。(3 月 30 日 13:55)

・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3 月 31 日及び 4 月 4 日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から ^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 14 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30)

・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45)

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00)

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃)

・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50)

・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシ

ルトフェンスを設置（4月14日12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4月15日14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4月15日9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4月17日9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞
・共用プールの山側の約500m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月1日15:00～16:05）
・共用プール山側の約600㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月5日13:00～16:30、4月6日12:30～14:30）
・共用プール山側の約680m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月8日11:00～14:00）
・共用プール山側の約550m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月10日13:00～14:00）
・共用プール山側の約1,200m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月11日12:00～13:00）
・共用プール山側の約700m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4月12日12:00～13:00）
・共用プール山側の約400m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月13日11:00～11:30）
・共用プール山側の約1600m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月14日12:00～13:30）
・共用プール山側の約1900m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月15日11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約1,800㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月16日11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約1,900㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月17日10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約1,200㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月18日9:00～14:30）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4月10日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4月13日11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4

月 15 日 9:00～15:45)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00)

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃)。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25)
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03)
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^3、非管理区域で総量 2.2×10^{1}Bq/cm^3 の放射能を検出
・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40)
・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10)
・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15)
・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t)
・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20)
・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～

４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日）

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28）

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃）。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前）。その後、鎮火確認（同日 9:12）

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 15 日 8:02～9:55）

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4 月 15 日 10:19～17:00）

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4 月 18 日）。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23）

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 17:00 冷温停止）

２号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 18:00 冷温停止）

３号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 12 日 12:15 冷温停止）

４号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 15 日 7:15 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 19 日 12:00 現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.14	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.8	24.7	33.7	28.8
原子炉水位*2	mm	9296	10296	7796	8785
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	24	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	104	105	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52 万 4 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 0:58 冷温停止）

２号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 1:17 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約 0.30μSv/h（4 月 18 日 16:00）（約 0.30μSv/h（4 月 17 日 16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下 1 階の発煙は消火確認（3 月 11 日 22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 13 日 13:09）

２　産業保安

○電気（4 月 18 日 18:30）

・東北電力（4 月 18 日 16:00 現在）

停電戸数：約 15 万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万４千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4 月 17 日 16:00 現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万６千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸
③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：約４百戸
④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万５千戸

・東京電力
停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）
・北海道電力
停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）
・中部電力
停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）
・東京電力（4月18日9:00現在）※地震により停止中の発電所
広野火力発電所　２，４号機
常陸那珂火力発電所　１号機
鹿島火力発電所　６号機
・東北電力（4月18日16:00現在）
仙台火力発電所　４号機
新仙台火力発電所　１，２号機
原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月19日10:00現在）
・供給停止戸数※約５千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4月19日10:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者1名、負傷者10名
3月14日8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者1名
3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）4,202戸供給停止

（２）簡易ガス（4月19日10:00現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）390戸供給停止

・三重商会（大船渡市）12 戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）165 戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68 戸供給停止

○熱供給（4 月 19 日 10:00 現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4 月 14 日 21:00 現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
3 月 13 日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4 月 14 日 21:00 現在）
・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3 月 21 日午前鎮火。
・JX 日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3 月 15 日午後鎮火。
・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）
（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3 月 11 日】
１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置
１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報
１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）
１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報
１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報
１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）
２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの

住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は1,864人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3月12日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。
当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８ 福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０ 福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０ 福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定
IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントの実施について指示

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域
・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水の実施を指示

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3月21日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3月22日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3月22日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3月25日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月24日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3月28日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外

で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3月29日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3月30日】

各電気事業者等に対し、平成23年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を

採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。

・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において4月1日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

＜被ばくの可能性（4月19日15:00現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約 100 名について、100 名のうち、9 名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm 弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では 100,000cpm を超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3 月 12 日から 3 月 15 日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに 162 名が検査済み。初め除染の基準値を 6,000cpm とし、110 名が 6,000cpm 未満、41 名が 6,000cpm 以上の値を示した。後に基準値を 13,000cpm と引き上げた際には、８名が 13,000cpm 未満、３名が 13,000cpm 以上の値を示した。

検査を受けた 162 名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3 名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員 60 名のスクリーニングで 3 名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60 名に対し除染を行った。

（６）福島県は 3 月 13 日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等 11 ヶ所（常設）で実施中。4 月 17 日までに 159,269 人に対し実施。そのうち、100,000cpm 以上の値を示した者は 102 人であったが、100,000cpm 以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm 以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で 100mSv を超過した作業員は、計 29 名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3 月 24 日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3 月 25 日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Sv と推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3 月 28 日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は 4 月 11 日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名

とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3月24日、川俣町保健センター等において、１～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3月28日～3月30日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15歳までの946名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3月20日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより40ベクレル/c㎡または6,000cpm

新：1マイクロシーベルト／時（10cm離れた場所での線量率）またはこれに相当する100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）3月16日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（２）3月21日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事

及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4月19日15:00現在）＞

1．3月11日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3月30日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4月2日までに死亡が確認された。）

2．3月12日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

3．3月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「（独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

4．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。（タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。）
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3月12日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。）
・3月12日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3月13日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3月22日、23日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・4月7日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作

りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4 月 8 日、「脱水、一過性意識消失」と診断。

・4 月 9 日午前 9 時 19 分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靱帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。

・4 月 10 日午前 11 時 10 分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後 2 時 27 分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4 月 19 日 15:00 現在）＞

3 月 15 日 11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。

・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。

・3 月 28 日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする

・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断

・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施

・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 19 日 15:00 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 19 日 15:00 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内

退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

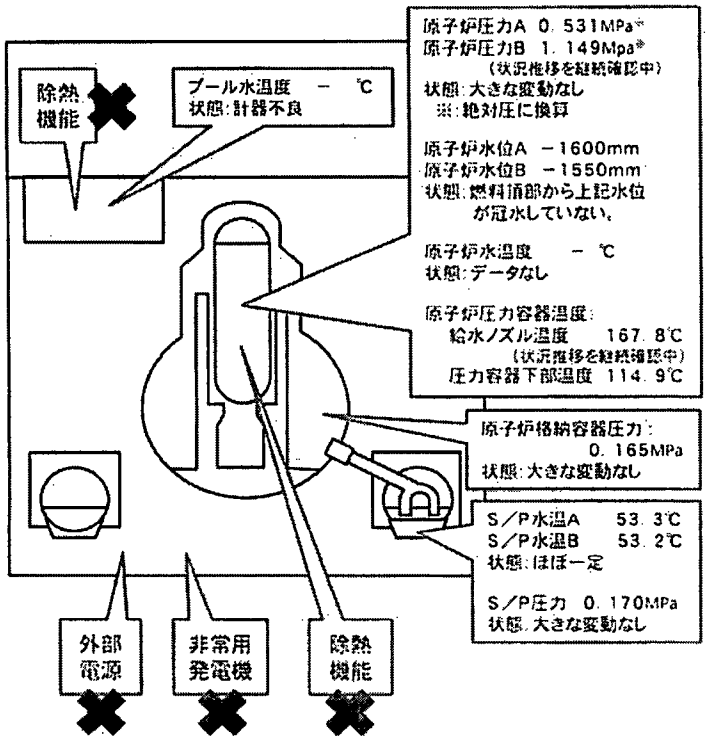
＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。

・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、杉山
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月19日　13:00現在）

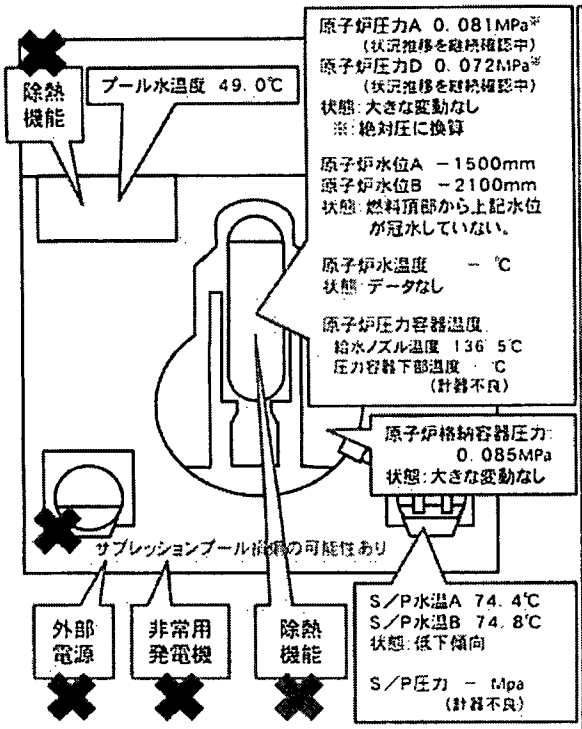


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

- 3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
- 3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
- 3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
- 3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
- 3/12　10:17　ベント開始
- 3/12　15:36　爆発音
- 3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
- 3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（2m³/h → 18m³/h）。9:00に給水系のみに切替（18m³/h → 11m³/h）
- 3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
- 3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
- 3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
- 3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
- 3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
- 4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
- 4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
- 4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
- 4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
- 4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
- 4/11　17:56　外部電源復旧
- 4/11　18:04　炉心注水再開
- 4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
- 4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月19日　13:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

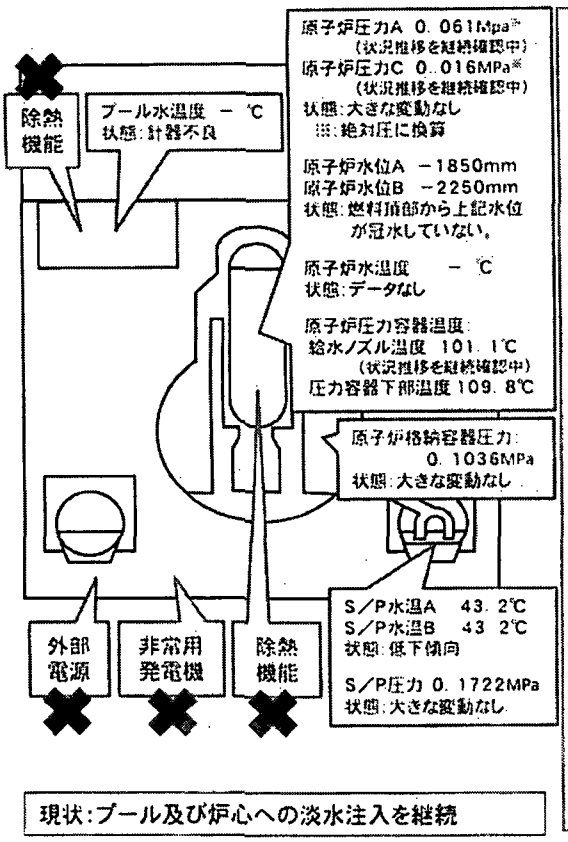
主要な出来事1/2

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　11:00　ベント開始
3/14　13:25　15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14　16:34　海水の炉心注水開始
3/14　22:50　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15　00:02　ベント開始
3/15　06:10　爆発音発生
3/15　06:20頃　サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20　15:05～17:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20　15:46　パワーセンター受電
3/21　18:22　白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22　16:07　SFPに海水を注水
3/25　10:30～12:19　FPCからSFPに海水を注水
3/26　10:10　淡水の炉心注水開始
3/26　16:46　中央制御室の照明復帰
3/27　18:31　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29　16:30～18:25　仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29　16:45～4/1　11:50　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30　09:25～23:50　SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1　14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2　09:30頃　取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2　17:10　復水器からCSTへ移送開始
4/3　12:12　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:47～14:30　ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、裁断処理した新聞紙3袋を投入
4/4　07:08～07:11　トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4　11:05～13:37　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5　14:15　トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6　05:38頃　ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7　13:29～14:34　FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9　13:10　復水器からCSTへの移送完了
4/10　10:37～12:38　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12　19:35～4/13　17:04　タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13　11:00　漏えい確認等のため一時停止
4/13　13:15～14:55　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16　10:13～11:54　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により満水を確認。）
4/16　11:19頃　地震発生（茨城県南部）
4/18　13:42～　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:13～12:37　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:08　タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月19日　13:00現在）



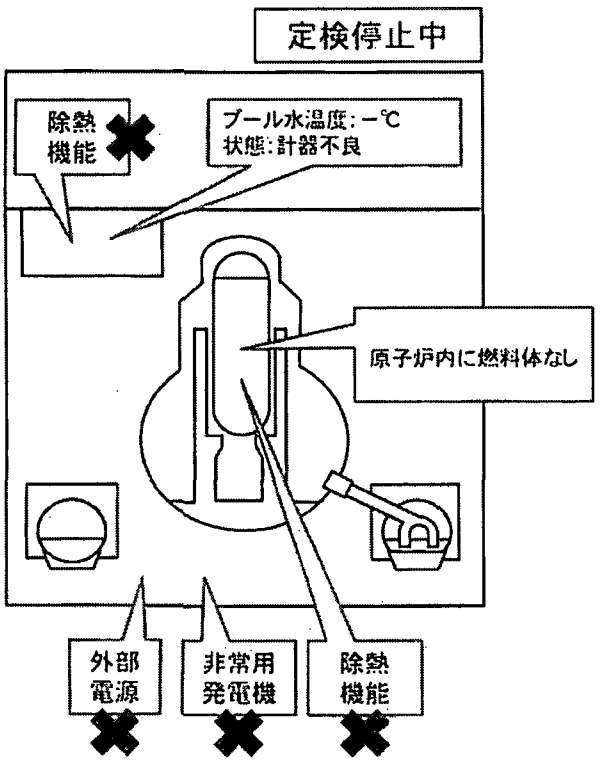
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月19日　13:00現在）



現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

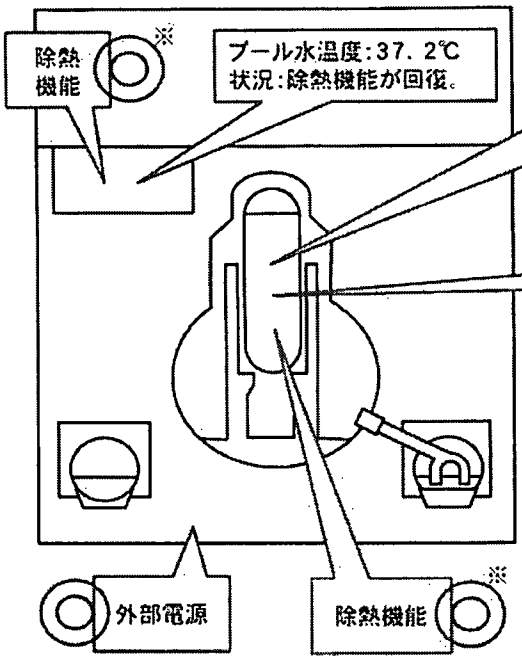
主要な出来事

地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　05:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、4/17 17:39～21:22、4/19　10:17～11:35

福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月19日　13:00現在）

定検停止中



原子炉圧力:0．108MPa※
原子炉水位:2222mm
原子炉水温度:41．2℃
状況:操作により圧力等を制御中。
※:絶対圧に換算

原子炉圧力容器温度:
原子炉水温度にて監視中。

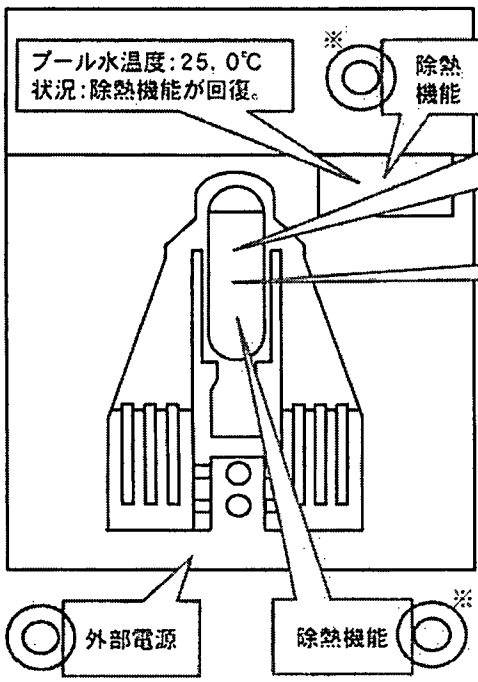
主要な出来事

3/20　14:30　冷温停止
3/21　11:36　外部電源から受電開始
3/23　17:24　残留熱除去海水系(RHRS)ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際に自動停止
3/24　16:14　RHRSポンプの修理完了
3/24　16:35　冷却開始
4/4　21:00～4/8　12:14　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約950t)

※　炉水とプール水を切替えて除熱

福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月19日　13:00現在）

定検停止中



原子炉圧力:0．111MPa※
原子炉水位:2033mm
原子炉水温度:35．4℃
状況:操作により圧力等を制御中。
※:絶対圧に換算

原子炉圧力容器温度:
原子炉水温度にて監視中

主要な出来事

3/20　19:27　冷温停止
3/22　19:17　外部電源から受電開始
4/4　21:00～4/9　18:52　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約373t)

※　炉水とプール水を切替えて除熱

【留意事項】
各計測器については、地震やその後の事象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月19日　13:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量　7m³/h （4/15 17:00）　仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1600mm 燃料域B：−1550mm （4/19 12:00 現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2100mm （4/19 12:00 現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/19 12:00 現在）		停止域 2222mm （4/19 13:00 現在）	停止域 2033mm （4/19 13:00 現在）
原子炉圧力	A系0.430MPa g（A） B系1.048MPa g（B）　※3 （4/19 12:00 現在）	A系−0.020MPa g（A）※3 B系−0.029MPa g（D）※3 （4/19 12:00 現在）	A系−0.040MPa g（A）※3 B系−0.085MPa g（C）※3 （4/19 12:00 現在）		0.007MPa g （4/19 13:00 現在）	0.010MPa g （4/19 13:00 現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				41.2℃ （4/19 13:00 現在）	35.4℃ （4/19 13:00 現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：167.8℃ ※3 圧力容器下部温度：114.9℃ （4/19 12:00 現在）	給水ノズル温度：136.5℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/19 6:00 現在）	給水ノズル温度：101.1℃ ※3 圧力容器下部温度：109.8℃ （4/19 12:00 現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C圧力	D/W　0.165MPa abs S/C　0.170MPa abs （4/19 12:00 現在）	D/W　0.085MPa abs S/C　※1 （4/19 12:00 現在）	D/W　0.1036MPa abs S/C　0.1722MPa abs （4/19 12:00 現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W雰囲気温度	RPVベローシール：119.2℃ HVH戻り：96.9℃ （4/19 12:00 現在）	RPVベローシール：※1 HVH戻り：127℃ （4/19 12:00 現在）	RPVベローシール：221.6℃※3 HVH戻り：80.4℃ （4/19 12:00 現在）			
CAMS放射線モニタ	D/W（A）※1 （B）※1 S/C（A）9.88×10^{-1}Sv/h ※3 （B）2.21×10^{0}Sv/h ※3 （4/19 12:00 現在）	D/W（A）2.53×10^{1}Sv/h （B）2.87×10^{1}Sv/h S/C（A）5.65×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.08×10^{2}Sv/h ※3 （4/19 12:00 現在）	D/W（A）1.56×10^{1}Sv/h （B）1.17×10^{1}Sv/h S/C（A）5.92×10^{-1}Sv/h ※3 （B）5.47×10^{1}Sv/h ※3 （4/19 12:00 現在）			
S/C温度	A系：　53.3℃ B系：　53.2℃ （4/19 12:00 現在）	A系：　74.4℃ B系：　74.8℃ （4/19 12:00 現在）	A系：43.2℃ B系：43.2℃ （4/19 12:00 現在）			
D/W設計使用圧力	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	-	-	
D/W最高使用圧力	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）			
使用済燃料プール温度	※1	49.0℃ （4/19 12:00 現在）	※1	※1	37.2℃ （4/19 13:00 現在）	25.0℃ （4/19 13:00 現在）
FPCスキマーサージタンクレベル	4500mm （4/19 12:00 現在）	4200mm （4/19 12:00 現在）	※1	4350mm （4/19 12:00 現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：32℃程度 （4/19 7:30）	5u：非熱モード （4/19 10:02～）	6u：SHCモード （4/19 10:33～）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g)　＝　絶対圧(MPa abs)　−　大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
　　絶対圧(MPa abs)　＝　ゲージ圧(MPa g)　＋　大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/19 13:00	28.9	<0.01	雨	ENE	6.7
西門	2011/4/19 13:10	29.0	<0.01	雨	ENE	7.8
西門	2011/4/19 13:20	29.0	<0.01	雨	NE	6.6
西門	2011/4/19 13:30	28.9	<0.01	雨	E	6.1
西門	2011/4/19 13:40	29.0	<0.01	雨	ENE	3.0
西門	2011/4/19 13:50	28.9	<0.01	雨	N	5.8
西門	2011/4/19 14:00	28.9	<0.01	雨	N	6.7
西門	2011/4/19 14:10	28.9	<0.01	雨	NE	3.2
西門	2011/4/19 14:20	29.0	<0.01	雨	NE	2.8
西門	2011/4/19 14:30	28.7	<0.01	雨	NE	4.0
西門	2011/4/19 14:40	28.4	<0.01	雨	N	2.8
西門	2011/4/19 14:50	28.2	<0.01	雨	NNE	4.7
西門	2011/4/19 15:00	28.2	<0.01	雨	NE	3.2

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/19 13:00	484	60	24
2011/4/19 13:30	488	59	24
2011/4/19 14:00	486	59	24
2011/4/19 14:30	484	57	24
2011/4/19 15:00	476	59	24

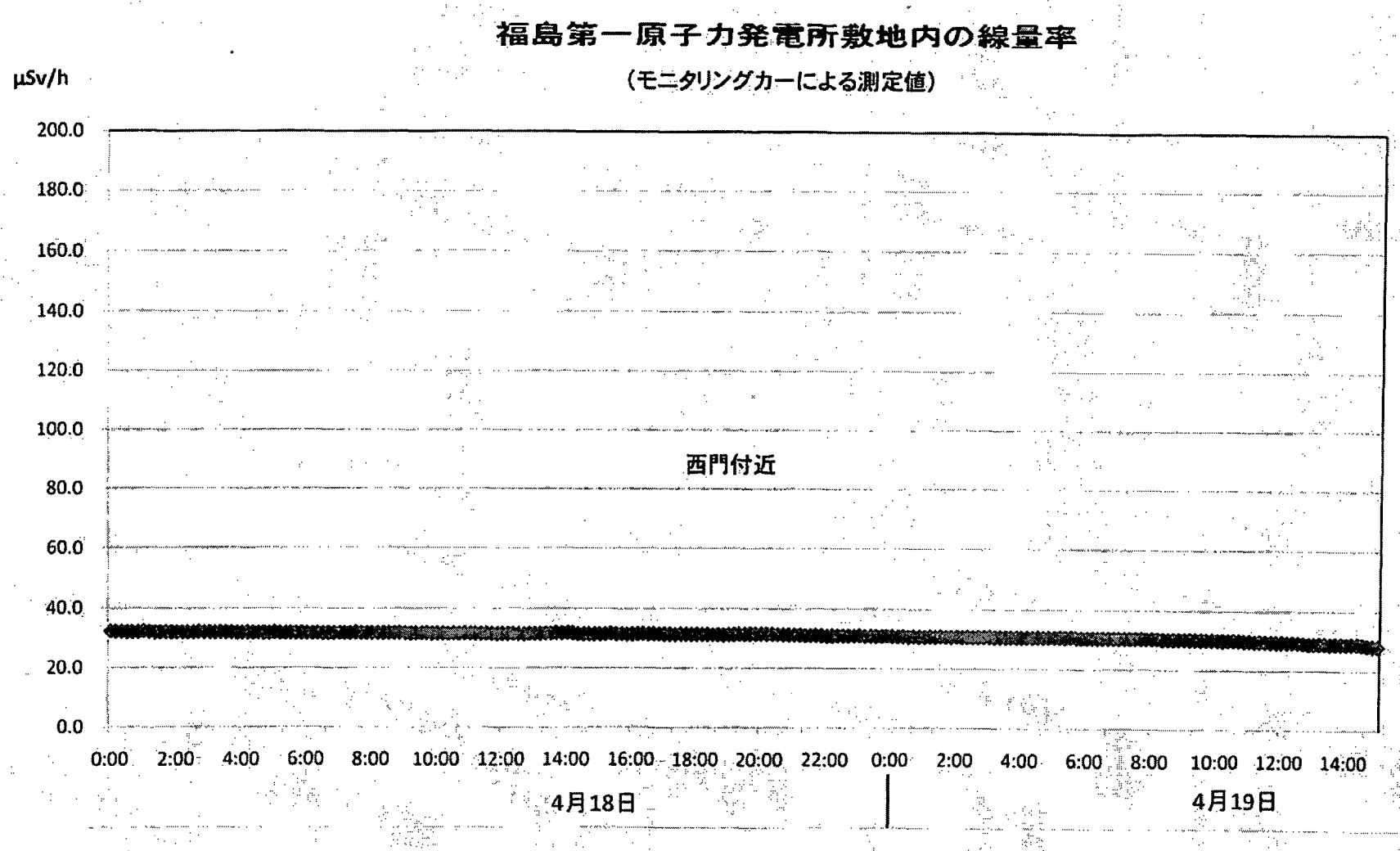
福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/19 7:10	30.5	<0.01	雨	E	3.6
西門	2011/4/19 7:20	30.5	<0.01	雨	ENE	3.4
西門	2011/4/19 7:30	30.5	<0.01	雨	ESE	3.6
西門	2011/4/19 7:40	30.5	<0.01	雨	ESE	3.5
西門	2011/4/19 7:50	30.4	<0.01	雨	E	3.4
西門	2011/4/19 8:00	30.4	<0.01	雨	ENE	3.9
西門	2011/4/19 8:10	30.4	<0.01	雨	ENE	2.9
西門	2011/4/19 8:20	30.3	<0.01	雨	E	2.6
西門	2011/4/19 8:30	30.3	<0.01	雨	NE	2.7
西門	2011/4/19 8:40	30.3	<0.01	雨	ESE	2.5
西門	2011/4/19 8:50	30.3	<0.01	雨	E	2.8
西門	2011/4/19 9:00	30.3	<0.01	雨	ENE	2.9
西門	2011/4/19 9:10	30.2	<0.01	雨	NE	2.7
西門	2011/4/19 9:20	30.2	<0.01	雨	E	2.6
西門	2011/4/19 9:30	30.1	<0.01	雨	E	2.8
西門	2011/4/19 9:40	30.0	<0.01	雨	E	2.9
西門	2011/4/19 9:50	30.1	<0.01	雨	E	2.6
西門	2011/4/19 10:00	30.0	<0.01	雨	NE	2.5
西門	2011/4/19 10:10	29.9	<0.01	雨	NE	2.0
西門	2011/4/19 10:20	29.9	<0.01	雨	E	3.3
西門	2011/4/19 10:30	30.0	<0.01	雨	NE	2.2
西門	2011/4/19 10:40	29.8	<0.01	雨	E	1.4
西門	2011/4/19 10:50	29.8	<0.01	雨	ENE	1.2
西門	2011/4/19 11:00	29.8	<0.01	雨	NE	1.1
西門	2011/4/19 11:10	29.7	<0.01	雨	E	1.3
西門	2011/4/19 11:20	29.7	<0.01	雨	ENE	1.8
西門	2011/4/19 11:30	29.6	<0.01	雨	NE	0.9
西門	2011/4/19 11:40	29.5	<0.01	雨	NE	1.5
西門	2011/4/19 11:50	29.5	<0.01	雨	NE	2.9
西門	2011/4/19 12:00	29.5	<0.01	雨	ENE	4.5
西門	2011/4/19 12:10	29.4	<0.01	雨	ENE	3.4
西門	2011/4/19 12:20	29.4	<0.01	雨	ESE	3.5
西門	2011/4/19 12:30	29.4	<0.01	雨	ENE	3.1
西門	2011/4/19 12:40	29.2	<0.01	雨	NE	7.3
西門	2011/4/19 12:50	28.9	<0.01	雨	E	5.3
西門	2011/4/19 13:00	28.9	<0.01	雨	ENE	6.7
西門	2011/4/19 13:10	29.0	<0.01	雨	ENE	7.8
西門	2011/4/19 13:20	29.0	<0.01	雨	NE	6.6
西門	2011/4/19 13:30	28.9	<0.01	雨	E	6.1
西門	2011/4/19 13:40	29.0	<0.01	雨	ENE	3.0
西門	2011/4/19 13:50	28.9	<0.01	雨	N	5.8
西門	2011/4/19 14:00	28.9	<0.01	雨	N	6.7

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/18 17:00	501	62	26
2011/4/18 17:30	500	61	26
2011/4/18 18:00	506	61	26
2011/4/18 18:30	505	62	26
2011/4/18 19:00	502	62	26
2011/4/18 19:30	506	62	26
2011/4/18 20:00	507	61	26
2011/4/18 20:30	506	63	26
2011/4/18 21:00	509	63	26
2011/4/18 21:30	508	63	26
2011/4/18 22:00	509	63	26
2011/4/18 22:30	509	62	26
2011/4/18 23:00	509	62	26
2011/4/18 23:30	510	62	26
2011/4/19 0:00	510	61	26
2011/4/19 0:30	512	62	26
2011/4/19 1:00	511	63	26
2011/4/19 1:30	512	63	26
2011/4/19 2:00	513	63	26
2011/4/19 2:30	510	62	26
2011/4/19 3:00	511	61	26
2011/4/19 3:30	510	62	26
2011/4/19 4:00	511	62	26
2011/4/19 4:30	511	63	26
2011/4/19 5:00	511	62	26
2011/4/19 5:30	512	64	26
2011/4/19 6:00	510	63	26
2011/4/19 6:30	512	62	26
2011/4/19 7:00	510	63	25
2011/4/19 7:30	506	63	26
2011/4/19 8:00	510	61	26
2011/4/19 8:30	505	62	25
2011/4/19 9:00	505	62	25
2011/4/19 9:30	502	62	25
2011/4/19 10:00	497	63	25
2011/4/19 10:30	495	62	25
2011/4/19 11:00	492	60	25
2011/4/19 11:30	487	59	25
2011/4/19 12:00	488	60	24
2011/4/19 12:30	487	60	25
2011/4/19 13:00	484	60	24
2011/4/19 13:00	484	60	24
2011/4/19 13:30	488	59	24
2011/4/19 14:00	486	59	24

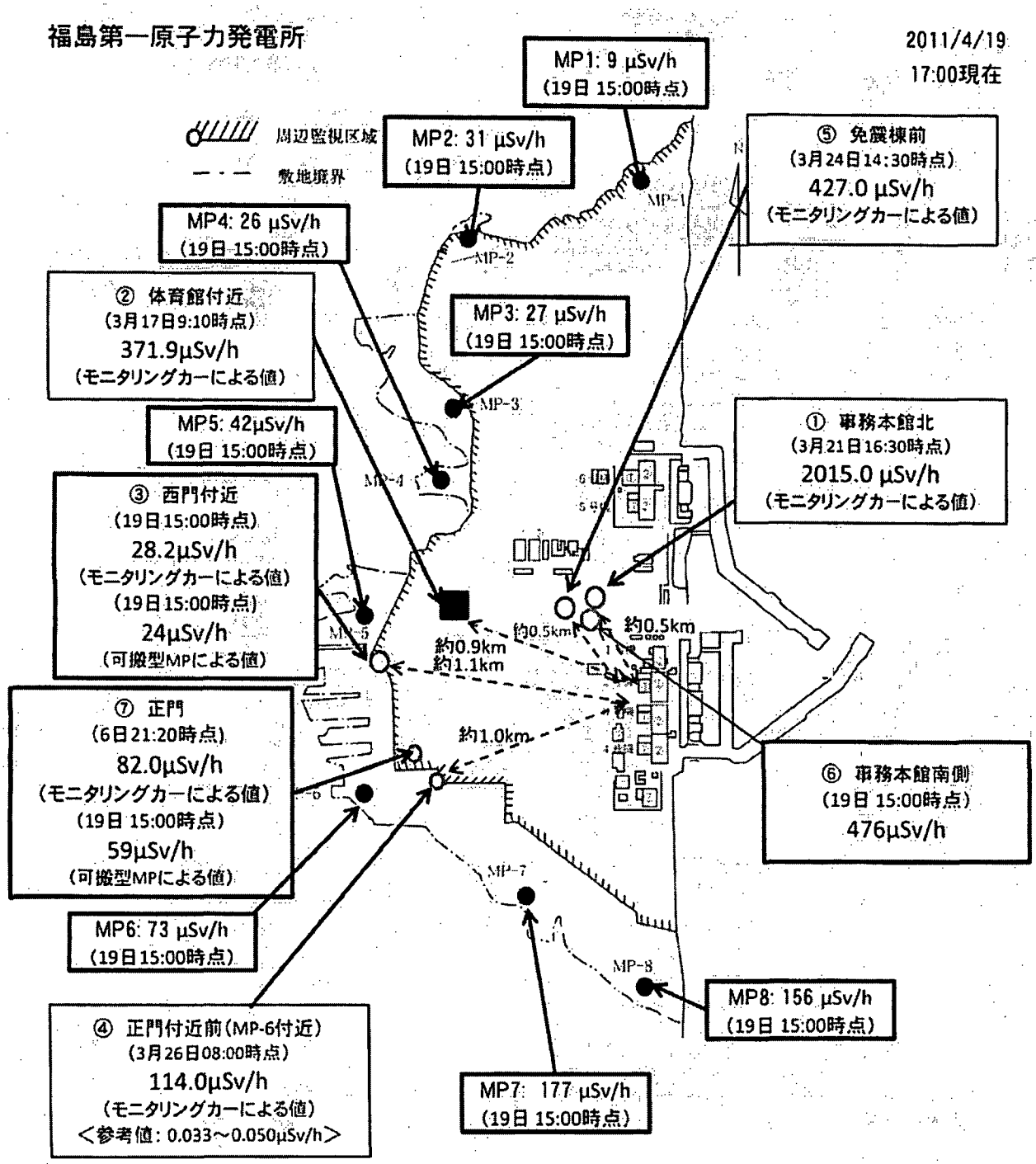

福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
4月18日
4月19日

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

							MP-7	MP-8
2011/4/19 9:00	9	33	29	28	45	78	184	166
2011/4/19 9:10	9	33	29	28	45	78	184	166
2011/4/19 9:20	9	33	29	28	45	78	184	166
2011/4/19 9:30	9	33	29	27	45	78	184	165
2011/4/19 9:40	9	33	29	27	45	78	184	165
2011/4/19 9:50	9	33	29	27	45	78	184	165
2011/4/19 10:00	9	33	29	27	45	78	184	165
2011/4/19 10:10	9	33	29	27	45	78	183	165
2011/4/19 10:20	9	33	29	27	45	77	183	164
2011/4/19 10:30	9	33	29	27	45	77	183	164
2011/4/19 10:40	9	33	29	27	45	77	183	164
2011/4/19 10:50	9	32	29	27	45	77	183	163
2011/4/19 11:00	9	32	29	27	45	77	183	163
2011/4/19 11:10	9	32	29	27	45	77	183	163
2011/4/19 11:20	9	32	29	27	44	77	183	163
2011/4/19 11:30	9	32	28	27	44	77	182	163
2011/4/19 11:40	9	32	28	27	44	76	182	162
2011/4/19 11:50	9	32	28	27	44	76	182	162
2011/4/19 12:00	9	32	28	27	44	76	181	162
2011/4/19 12:10	9	32	28	27	44	76	181	162
2011/4/19 12:20	9	32	28	27	44	75	181	161
2011/4/19 12:30	9	32	28	27	44	75	180	161
2011/4/19 12:40	9	32	28	27	44	75	180	161
2011/4/19 12:50	9	32	28	27	44	75	180	161
2011/4/19 13:00	9	32	28	26	43	75	180	161
2011/4/19 13:10	9	32	28	26	43	75	179	161
2011/4/19 13:20	9	32	28	26	43	75	179	160
2011/4/19 13:30	9	32	28	26	43	75	179	160
2011/4/19 13:40	9	32	28	26	43	75	179	161
2011/4/19 13:50	9	32	28	26	43	75	180	160
2011/4/19 14:00	9	32	28	26	43	75	180	161
2011/4/19 14:10	9	32	28	26	43	75	180	161
2011/4/19 14:20	9	32	28	26	43	75	180	161
2011/4/19 14:30	9	32	28	26	43	75	180	161
2011/4/19 14:40	9	32	28	26	43	74	179	160
2011/4/19 14:50	9	31	28	26	42	74	178	158
2011/4/19 15:00	9	31	27	26	42	73	177	156

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

測定日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/19 2:10	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 2:20	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 2:30	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 2:40	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 2:50	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 3:00	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 3:10	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 3:20	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 3:30	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 3:40	9	33	29	28	46	79	187	168
2011/4/19 3:50	9	33	29	28	46	79	187	168
2011/4/19 4:00	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 4:10	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 4:20	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 4:30	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 4:40	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 4:50	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:00	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:10	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:20	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:30	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:40	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 5:50	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 6:00	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 6:10	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 6:20	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 6:30	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 6:40	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 6:50	9	33	29	28	46	78	186	168
2011/4/19 7:00	9	33	29	28	46	79	186	168
2011/4/19 7:10	9	33	29	28	46	79	186	167
2011/4/19 7:20	9	33	29	28	46	79	186	167
2011/4/19 7:30	9	33	29	28	46	79	185	167
2011/4/19 7:40	9	33	29	28	46	79	185	167
2011/4/19 7:50	9	33	29	28	46	79	185	167
2011/4/19 8:00	9	33	29	28	46	78	185	167
2011/4/19 8:10	9	33	29	28	46	78	185	167
2011/4/19 8:20	9	33	29	28	46	78	185	166
2011/4/19 8:30	9	33	29	28	46	78	185	166
2011/4/19 8:40	9	33	29	28	46	78	184	166
2011/4/19 8:50	9	33	29	28	46	78	184	166
2011/4/19 9:00	9	33	29	28	45	78	184	166


福島第一原子力発電所
2011/4/19
17:00現在
周辺監視区域
敷地境界
MP1: 9 μSv/h
(19日 15:00時点)
MP2: 31 μSv/h
(19日 15:00時点)
MP3: 27 μSv/h
(19日 15:00時点)
MP4: 26 μSv/h
(19日 15:00時点)
MP5: 42μSv/h
(19日 15:00時点)
MP6: 73 μSv/h
(19日15:00時点)
MP7: 177 μSv/h
(19日 15:00時点)
MP8: 156 μSv/h
(19日 15:00時点)
⑤ 免震棟前
(3月24日14:30時点)
427.0 μSv/h
(モニタリングカーによる値)
② 体育館付近
(3月17日9:10時点)
371.9μSv/h
(モニタリングカーによる値)
① 事務本館北
(3月21日16:30時点)
2015.0 μSv/h
(モニタリングカーによる値)
③ 西門付近
(19日15:00時点)
28.2μSv/h
(モニタリングカーによる値)
(19日15:00時点)
24μSv/h
(可搬型MPによる値)
⑦ 正門
(6日21:20時点)
82.0μSv/h
(モニタリングカーによる値)
(19日 15:00時点)
59μSv/h
(可搬型MPによる値)
④ 正門付近前(MP-6付近)
(3月26日08:00時点)
114.0μSv/h
(モニタリングカーによる値)
<参考値: 0.033～0.050μSv/h>
⑥ 事務本館南側
(19日 15:00時点)
476μSv/h
約0.5km
約0.5km
約0.9km
約1.1km
約1.0km
MP-1
MP-2
MP-3
MP-4
MP-5
MP-6
MP-7
MP-8

福島第二MP及びMS情報

MP　　単位:nGy/h　単位:m/s

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	風向	風速
2011/4/19 8:00	2603	1979	2766	2227	2255	2225	–	北東	10.7
2011/4/19 8:10	2600	1984	2774	2239	2255	2223	–	北東	9.6
2011/4/19 8:20	2608	1978	2772	2212	2248	2215	–	北東	8.4
2011/4/19 8:30	2587	1971	2757	2228	2255	2204	–	北東	10.5
2011/4/19 8:40	2581	1969	2758	2216	2243	2211	–	北東	11.2
2011/4/19 8:50	2602	1964	2763	2222	2247	2212	–	北東	11.5
2011/4/19 9:00	2595	1981	2764	2221	2237	2200	1570	北東	10.5
2011/4/19 9:10	2589	1970	2748	2210	2242	2204	–	北東	10.2
2011/4/19 9:20	2583	1972	2758	2222	2226	2195	–	北北東	11.5
2011/4/19 9:30	2593	1965	2748	2218	2234	2190	–	北東	10.3
2011/4/19 9:40	2574	1968	2760	2223	2243	2202	–	北東	8.5
2011/4/19 9:50	2585	1968	2758	2217	2248	2195	–	北東	9.5
2011/4/19 10:00	2584	1956	2749	2213	2243	2171	–	北北東	11.6
2011/4/19 10:10	2566	1953	2743	2212	2222	2181	–	北北東	11.2
2011/4/19 10:20	2569	1953	2748	2209	2235	2173	–	北東	11.7
2011/4/19 10:30	2571	1952	2747	2207	2225	2165	–	北東	10.4
2011/4/19 10:40	2569	1945	2739	2191	2218	2170	–	北北東	9.6
2011/4/19 10:50	2577	1951	2735	2201	2228	2178	–	北北東	8.9
2011/4/19 11:00	2555	1950	2744	2194	2216	2171	–	北北東	8.7
2011/4/19 11:10	2566	1939	2723	2198	2227	2157	–	北北東	9.8
2011/4/19 11:20	2562	1930	2747	2185	2231	2160	–	北北東	7.5
2011/4/19 11:30	2555	1928	2726	2194	2218	2139	–	北北東	10.0
2011/4/19 11:40	2549	1930	2703	2194	2202	2149	–	北北東	8.6
2011/4/19 11:50	2537	1934	2701	2176	2214	2151	–	北東	9.8
2011/4/19 12:00	2536	1922	2705	2178	2194	2136	–	北東	10.3
2011/4/19 12:10	2528	1913	2705	2179	2200	2152	–	東北東	12.3
2011/4/19 12:20	2532	1913	2710	2170	2204	2135	–	東北東	11.2
2011/4/19 12:30	2543	1903	2693	2193	2207	2133	–	北東	12.0
2011/4/19 12:40	2537	1915	2698	2179	2212	2132	–	北東	13.1
2011/4/19 12:50	2526	1907	2677	2172	2197	2136	–	北東	13.9
2011/4/19 13:00	2515	1911	2691	2170	2199	2111	–	北東	12.2
2011/4/19 13:10	2521	1904	2679	2182	2208	2127	–	北東	12.6
2011/4/19 13:20	2512	1904	2692	2166	2190	2112	–	北東	12.5
2011/4/19 13:30	2519	1908	2688	2170	2195	2117	–	北東	13.9
2011/4/19 13:40	2528	1922	2674	2179	2189	2127	–	北東	13.9
2011/4/19 13:50	2527	1908	2689	2165	2177	2129	–	北東	16.7
2011/4/19 14:00	2534	1903	2691	2170	2193	2130	–	北北東	15.2
2011/4/19 14:10	2527	1910	2684	2166	2190	2115	–	北東	12.9
2011/4/19 14:20	2511	1900	2672	2171	2171	2103	–	北北東	12.0
2011/4/19 14:30	2491	1875	2666	2134	2169	2099	–	北北東	11.4
2011/4/19 14:40	2484	1855	2636	2141	2175	2073	–	北北東	9.7
2011/4/19 14:50	2481	1858	2645	2138	2164	2079	–	北北東	14.0
2011/4/19 15:00	2478	1868	2640	2133	2158	2075	–	北北東	13.9

福島第二原子力発電所

2011/4/19
17:00現在

MP1:2.478μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.868μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

MP3:2.640μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

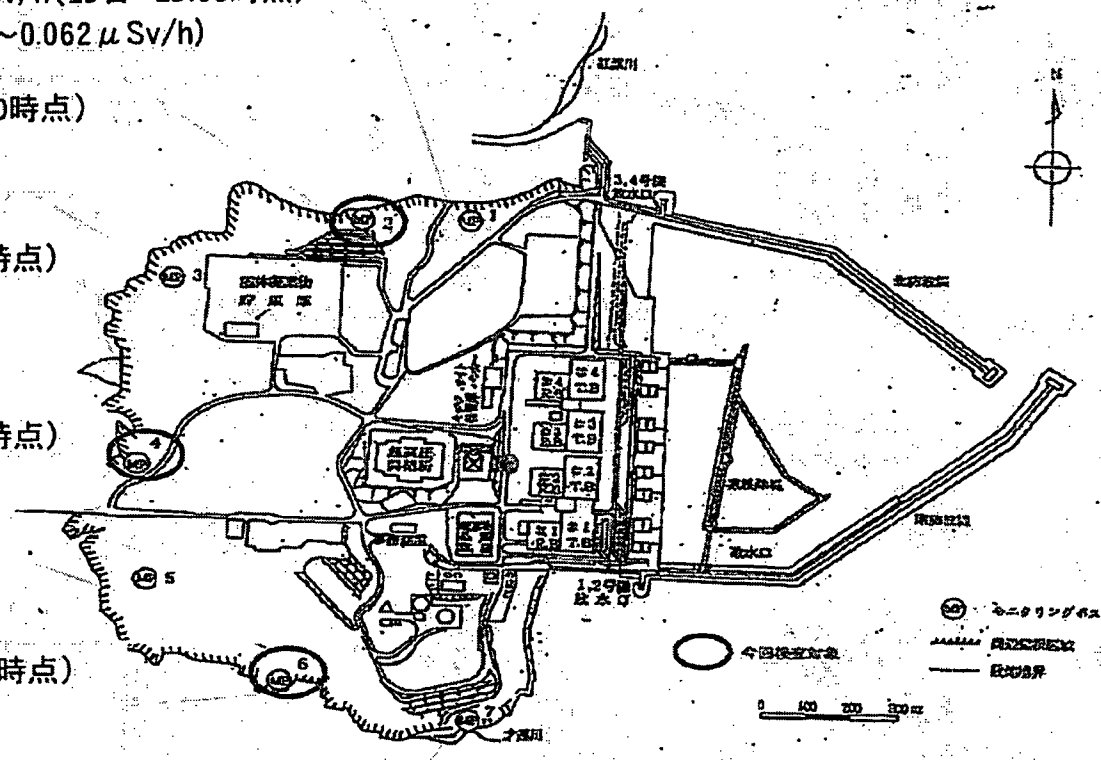
MP4:2.133μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.158μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.075μSv/h(19日　15:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.670μSv/h(17日　9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)

モニタリングポスト配置図　2F



別紙資料（2）

各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月18日 12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力㈱	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.033
0.024～0.060	東北電力㈱	女川原子力発電所	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.29	0.30	0.30	0.30	0.29
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.017
0.033～0.050	東京電力㈱	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.068	0.068	0.068	0.066	0.069	0.068	0.066	0.068	0.067	0.067	0.067	0.068
0.036～0.053	日本原子力発電㈱	東海第二発電所	0.362	0.361	0.361	0.358	0.360	0.358	0.360	0.357	0.358	0.355	0.359	0.358
0.039～0.110		敦賀発電所	0.076	0.077	0.075	0.075	0.077	0.075	0.097	0.095	0.089	0.090	0.089	0.086
0.064～0.108	中部電力㈱	浜岡原子力発電所	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.047	0.044	0.044
0.0207～0.132	北陸電力㈱	志賀原子力発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.034	0.041	0.051	0.054	0.053	0.056
0.028～0.130	中国電力㈱	島根原子力発電所	0.036	0.036	0.038	0.035	0.030	0.029	0.034	0.034	0.030	0.030	0.030	0.029
0.070～0.077	関西電力㈱	美浜発電所	0.074	0.075	0.075	0.073	0.074	0.073	0.088	0.089	0.086	0.087	0.087	0.081
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.043	0.043	0.045	0.049	0.056	0.059	0.057	0.059	0.058	0.054	0.048
0.036～0.040		大飯発電所	0.035	0.035	0.035	0.036	0.036	0.042	0.049	0.049	0.052	0.054	0.050	0.041
0.011～0.080	四国電力㈱	伊方発電所	0.021	0.022	0.020	0.015	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014
0.023～0.087	九州電力㈱	玄海原子力発電所	0.026	0.026	0.027	0.026	0.028	0.026	0.027	0.027	0.027	0.026	0.027	0.026
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.038	0.037	0.037	0.039	0.038	0.037	0.038	0.038	0.038	0.038	0.038
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所　再処理事業所	0.016	0.017	0.016	0.017	0.016	0.016	0.017	0.016	0.017	0.016	0.016	0.017
0.009～0.071		六ヶ所　埋設事業所	0.023	0.023	0.023	0.023	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.023	0.022

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月19日 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力㈱	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033		
0.024～0.060	東北電力㈱	女川原子力発電所	0.29	0.29	0.29	0.29	0.30	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016		
0.033～0.050	東京電力㈱	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.072	0.070	0.068	0.070	0.074	0.073	0.070	0.067	0.074	0.075		
0.036～0.053	日本原子力発電㈱	東海第二発電所	0.357	0.354	0.356	0.359	0.359	0.358	0.356	0.354	0.352	0.348		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.075	0.074	0.073	0.072	0.072	0.073	0.072	0.074	0.073	0.073		
0.064～0.108	中部電力㈱	浜岡原子力発電所	0.044	0.044	0.045	0.044	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力㈱	志賀原子力発電所	0.045	0.037	0.039	0.043	0.039	0.036	0.035	0.034	0.033	0.032		
0.028～0.130	中国電力㈱	島根原子力発電所	0.031	0.035	0.040	0.036	0.032	0.031	0.030	0.030	0.031	0.030		
0.070～0.077	関西電力㈱	美浜発電所	0.076	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.073	0.072	0.073	0.074		
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.042	0.042	0.042	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043	0.044		
0.036～0.040		大飯発電所	0.037	0.035	0.035	0.035	0.035	0.036	0.035	0.036	0.035	0.035		
0.011～0.080	四国電力㈱	伊方発電所	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.017		
0.023～0.087	九州電力㈱	玄海原子力発電所	0.034	0.031	0.029	0.028	0.028	0.028	0.027	0.026	0.026	0.028		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.039	0.040	0.048	0.042	0.043	0.040	0.039	0.036	0.038		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所　再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.009～0.071		六ヶ所　埋設事業所	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月19日(火) 9時まで

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 19, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 102nd Release)
(As of 15:00 April 19th, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS
     - The Stagnant water (water with high-level radioactivity) in the building of the turbine for Unit 2 was started to be transferred to the buildings of the Radioactive Waste Treatment Facilities (From 10:08 April 19th)
     - Fresh water spray of around 40t for Unit 4 to the Spent Fuel Pool using Concrete Pump Truck (62m class) was carried out. (From 10:17 till 11:35 April 19th)
     - Strengthening connection of the electric power sources between Units 1 and 2 and Units 3 and 4 was completed.

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html

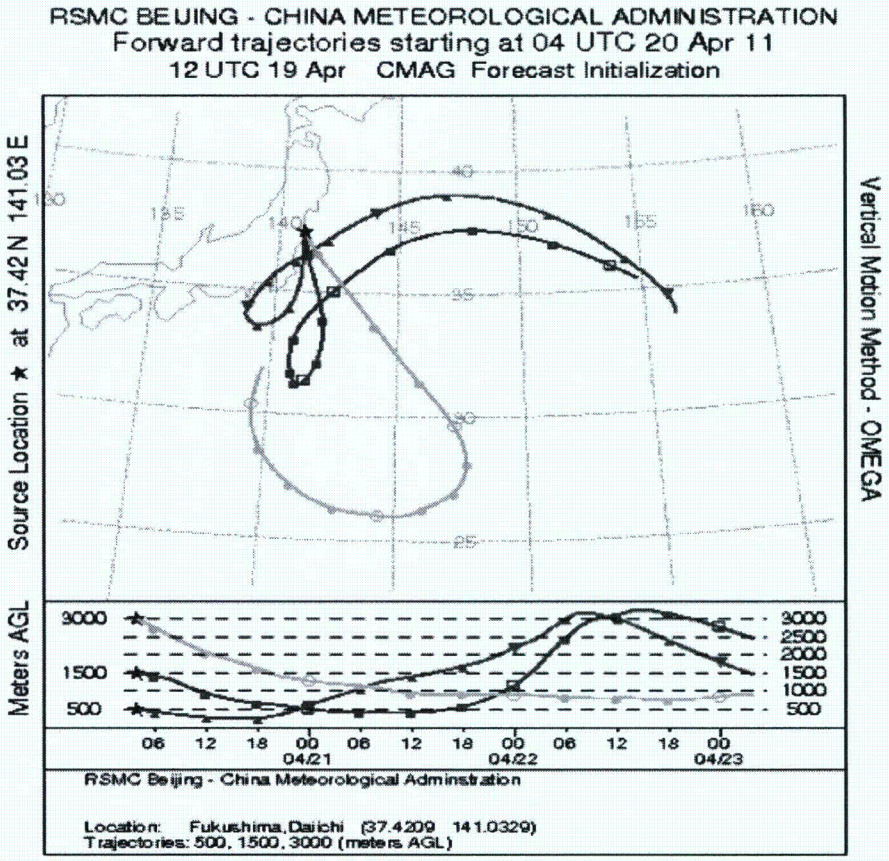
From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Thursday, April 21, 2011 12:59 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M; (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6) Jih, Rongsong (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: METI_NISA_103_(Jap)_monitoring_results.pdf; METI_NISA_104_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_104_(Jap)_plant_status_(0420_1300).pdf; METI_NISA_104_(Jap)_monitoring_data_(0420_1500).pdf; ATMOSPHERIC_DISPERSION_PRODUCTS_FOR_20_APRIL_2011.pdf; No103_info0800_April20_extract_set_.pdf; METI_NISA_103_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_103_(Jap)_plant_status.pdf

CG/22

ATMOSPHERIC DISPERSION PRODUCTS FOR 20 APRIL 2011

NOTE: The products below where requested not because of an actual release but for information where radioactive material if released would be travelling in the next 72 hours.

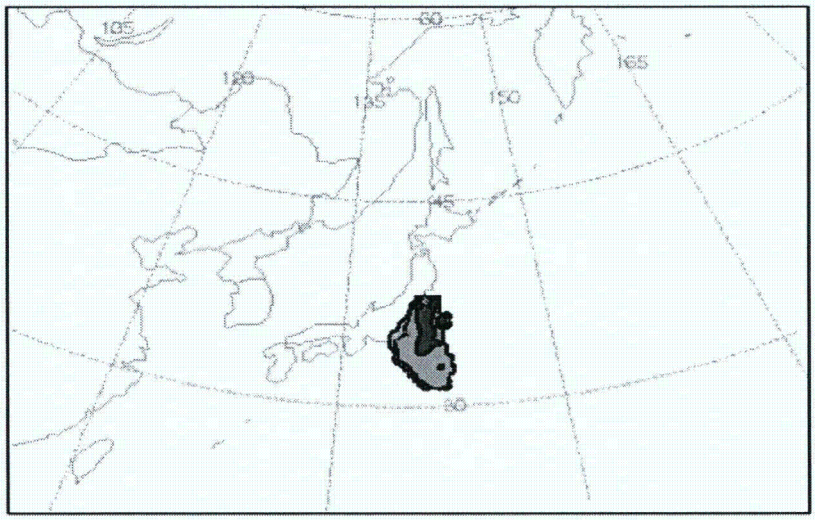
RSMC BEIJING



RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Exposure averaged between 0 m and 500 m (Bq-s/m3)
Integrated from 00z 20 Apr to 00z 21 Apr (UTC)
I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (*) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-08 1.0E-10 1.0E-12 1.0E-14

7.3E-08 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 7.2 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

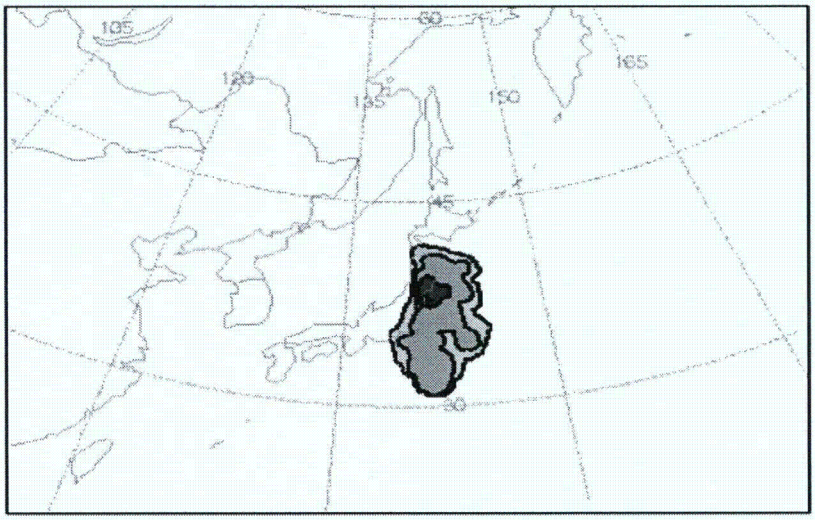
RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Exposure averaged between 0 m and 500 m (Bq-s/m3)

Integrated from 00z 21 Apr to 00z 22 Apr (UTC)

I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (*) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-08 1.0E-10 1.0E-12 1.0E-14

1.2E-08 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 72 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

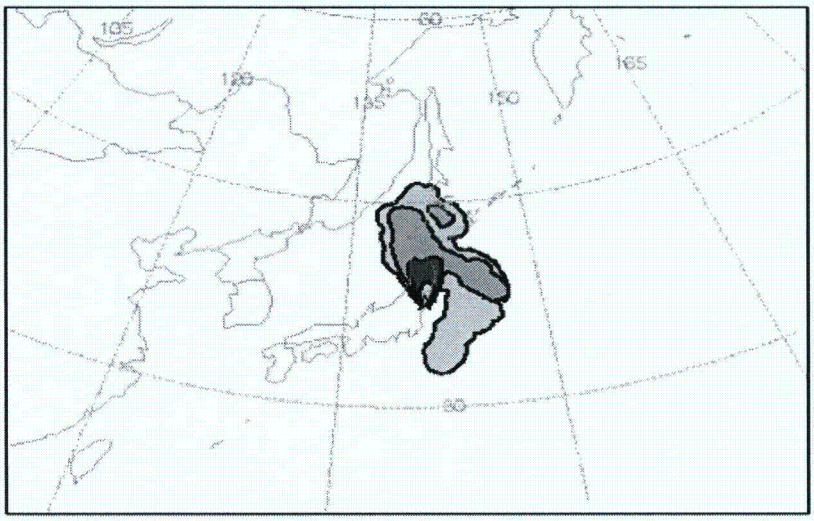
RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Exposure averaged between 0 m and 500 m (Bq-s/m3)

Integrated from 00z 22 Apr to 00z 23 Apr (UTC)

I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (*) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-09 1.0E-11 1.0E-13 1.0E-15

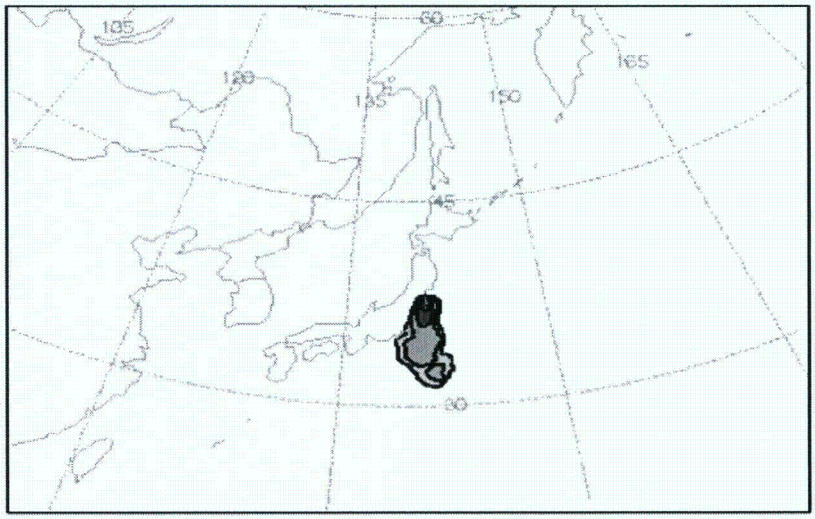
8.6E-09 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 72 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Deposition at Ground-Level (Bq/m2)
Integrated from 00z 20 Apr to 00z 21 Apr (UTC)
I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (*) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-10 1.0E-11 1.0E-12 1.0E-13

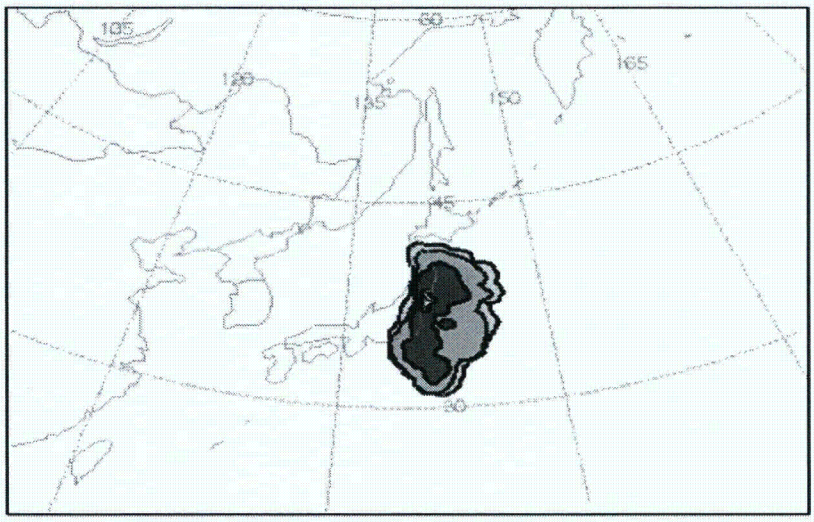
2.8E-10 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 72 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Deposition at Ground-Level (Bq/m2)
Integrated from 00z 20 Apr to 00z 22 Apr (UTC)
I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (★) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-10 1.0E-12 1.0E-14 1.0E-16

4.1E-10 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 72 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

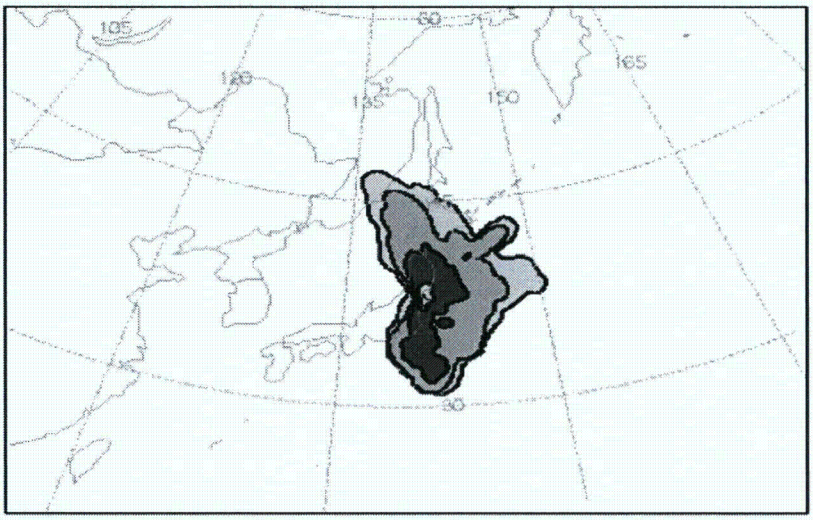
RSMC BEIJING - CHINA METEOROLOGICAL ADMINISTRATION

Deposition at Ground-Level (Bq/m2)

Integrated from 00z 20 Apr to 00z 23 Apr (UTC)

I131 Release Started at 04Z 20 Apr (UTC)

Source (★) 37.42 N 141.03 E from 20 to 500 m



12Z 19 Apr 11 CMAG FORECAST INITIALIZATION

1.0E-10 1.0E-12 1.0E-14 1.0E-16

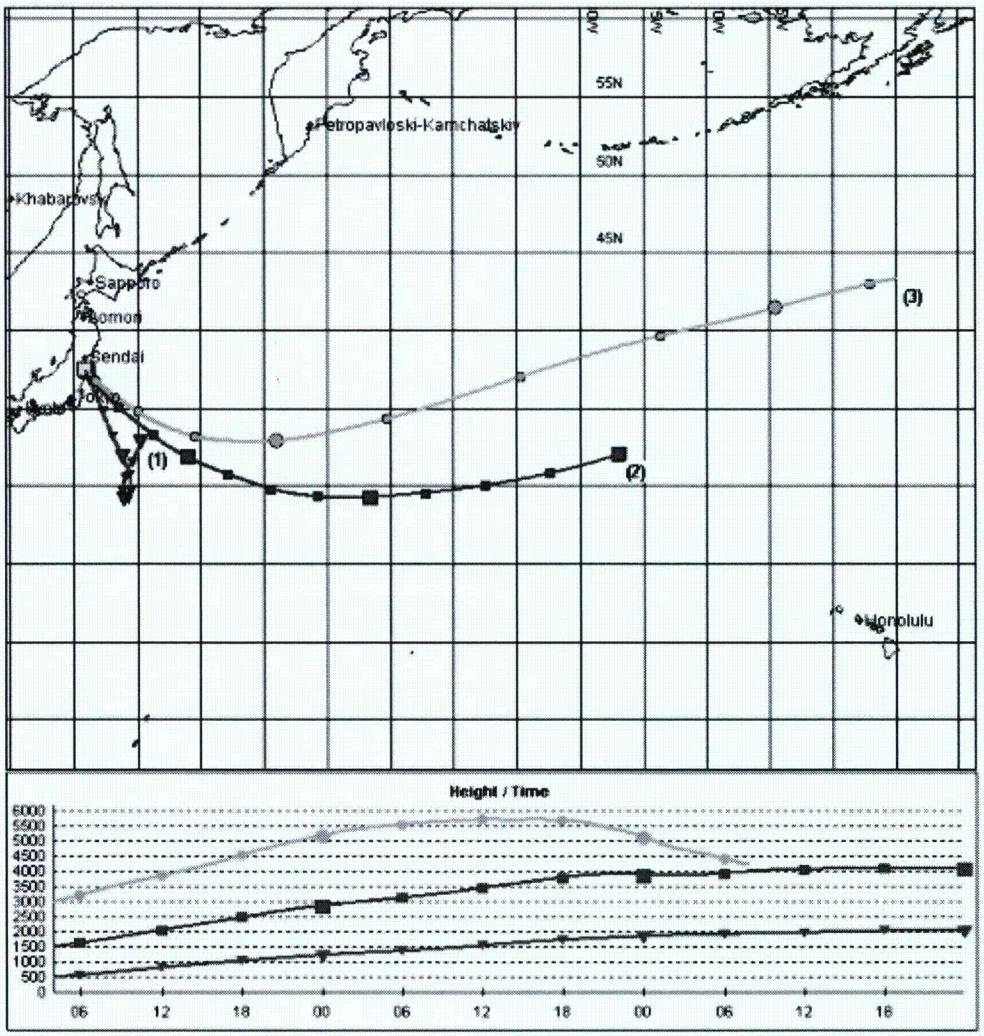
7.1E-10 Maximum at square

Location: Fukushima,Daiichi (37.4209 141.0329)
Meteorology: GT213
Emission: 1 Bq of I131 over 72 hr
Distribution: Uniform between 20 m - 500 m agl
Deposition: Wet and Dry (0.1 cm/s)
Notes: Contours may change from map to map
Results based on default values

RSMC OBNINSK

RSMC Obninsk, Russia

Forward trajectories



Levels: (1) 500 m (2) 1500 m (3) 3000 m

Date of release: 20 Apr 2011, 4:00 UTC

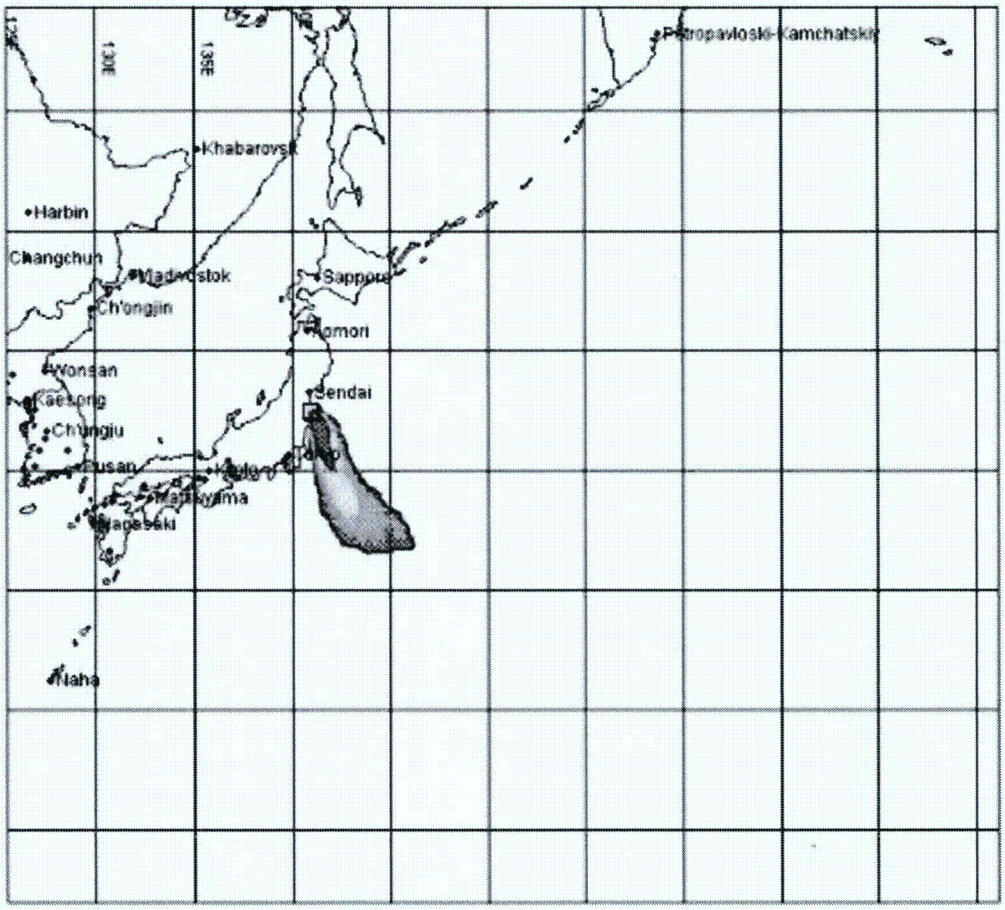
Source location: 141.03° E, 37.42° N

Chart 1/6

RSMC Obninsk, Russia

Time integrated surface to 500m layer concentrations

from 20 Apr 2011, 00:00 to 21 Apr 2011, 00:00 UTC



Contours: 1e-10 1e-11 1e-12 1e-13

Maximum value: 2.4e-09 Bq*s/m3

Date of release: 20 Apr 2011, 4:00 UTC

Duration: 72:00

Source location: 141.03° E, 37.42° N

Vert. distribution: uniform 20-500 m

Total release: 1 Bq of I-131

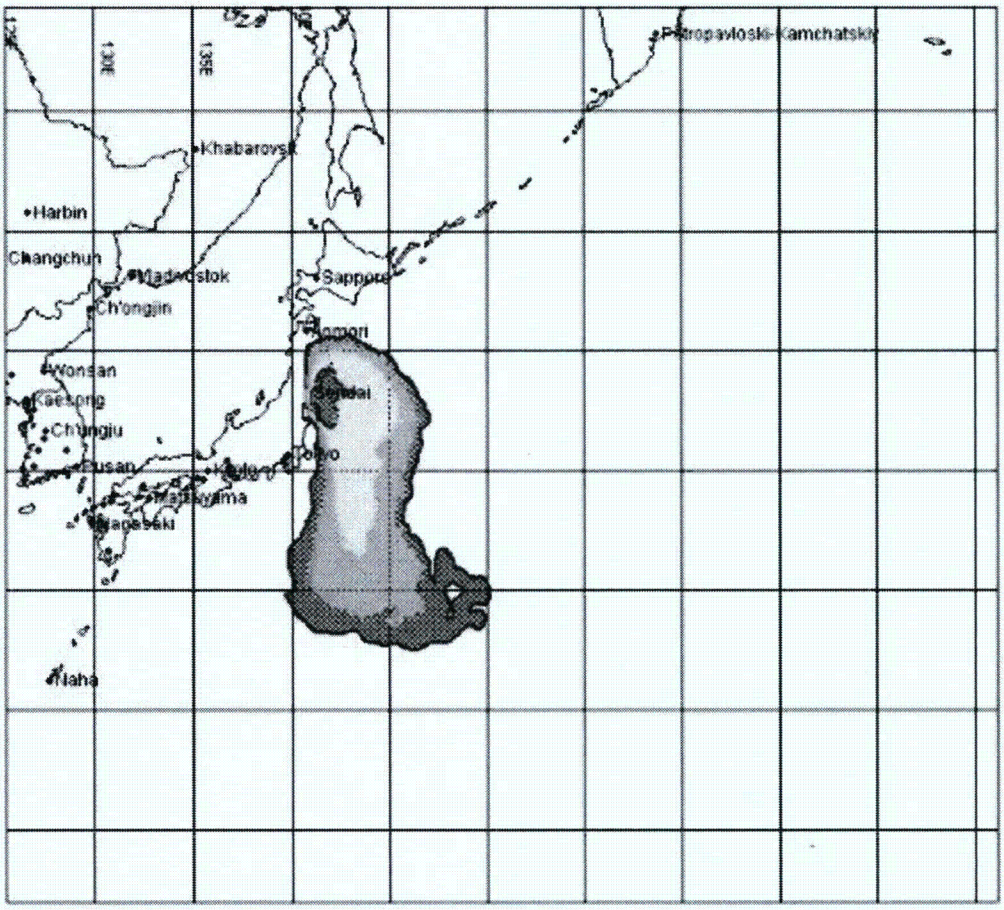
Contour values may change from chart to chart

Results based on default initial values

RSMC Obninsk, Russia

Time integrated surface to 500m layer concentrations

from 21 Apr 2011, 00:00 to 22 Apr 2011, 00:00 UTC



Contours: 1e-10 1e-11 1e-12 1e-13

Maximum value: 2.8e-09 Bq*s/m3

Date of release: 20 Apr 2011, 4:00 UTC

Duration: 72:00

Source location: 141.03° E, 37.42° N

Vert. distribution: uniform 20-500 m

Total release: 1 Bq of I-131

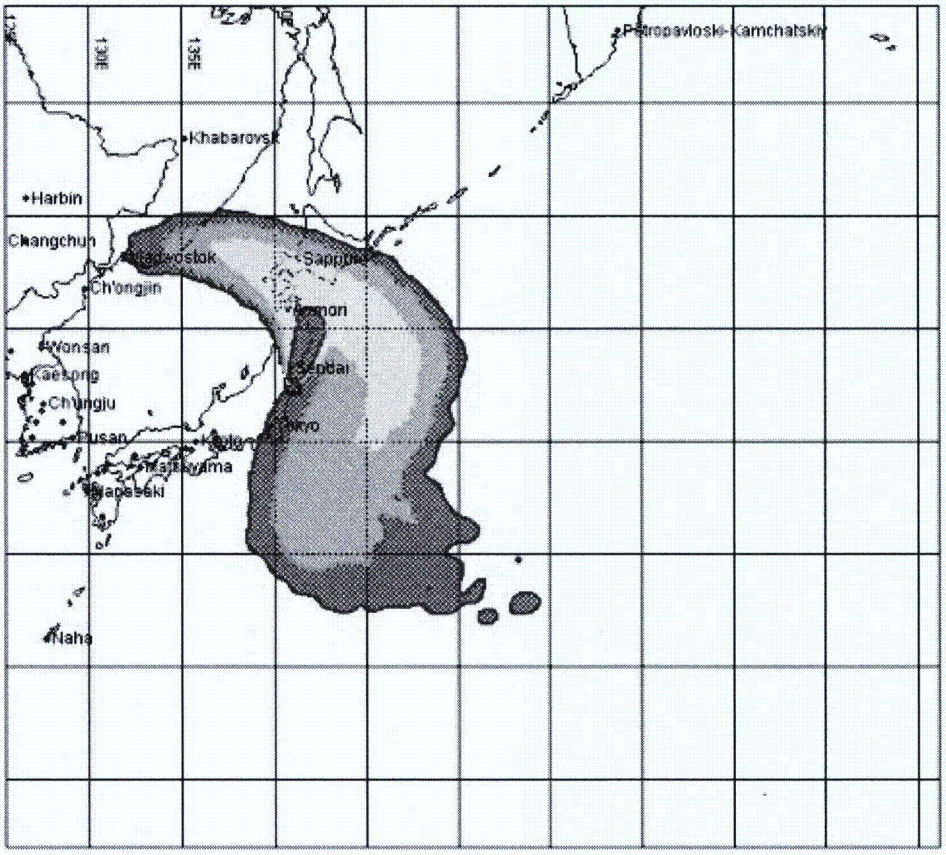
Contour values may change from chart to chart

Results based on default initial values

RSMC Obninsk, Russia

Time integrated surface to 500m layer concentrations

from 22 Apr 2011, 00:00 to 23 Apr 2011, 00:00 UTC



Contours: 1e-10 1e-11 1e-12 1e-13

Maximum value: 6.9e-10 Bq*s/m3

Date of release: 20 Apr 2011, 4:00 UTC

Duration: 72:00

Source location: 141.03° E, 37.42° N

Vert. distribution: uniform 20-500 m

Total release: 1 Bq of I-131

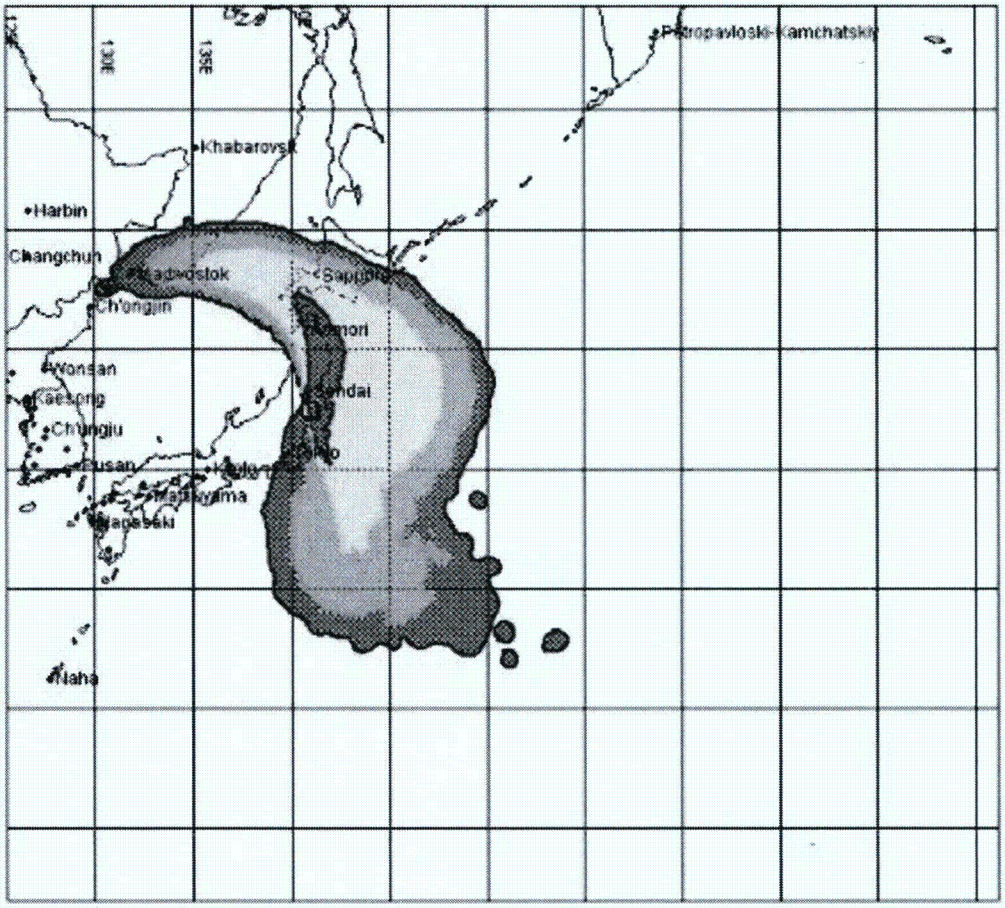
Contour values may change from chart to chart

Results based on default initial values

RSMC Obninsk, Russia

Total deposition

from 20 Apr 2011, 00:00 to 23 Apr 2011, 00:00 UTC



Contours: 1e-12 1e-13 1e-14 1e-15

Maximum value 2.4e-11 Bq/m2

Date of release: 20 Apr 2011, 4:00 UTC

Duration: 72:00

Source location: 141.03° E, 37.42° N

Vert. distribution: uniform 20-500 m

Total release: 1 Bq of I-131

Contour values may change from chart to chart

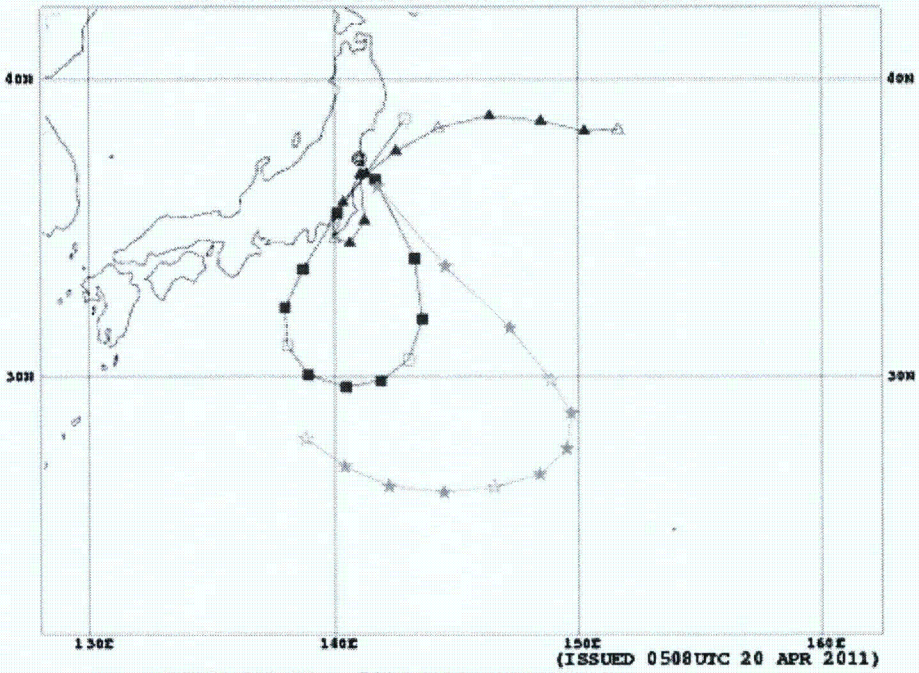
Results based on default initial values

RSMC TOKYO

☐ DELEGATED AUTHORITY REQUESTED
☐ IAEA NOTIFIED EMERGENCY

3-D TRAJECTORY

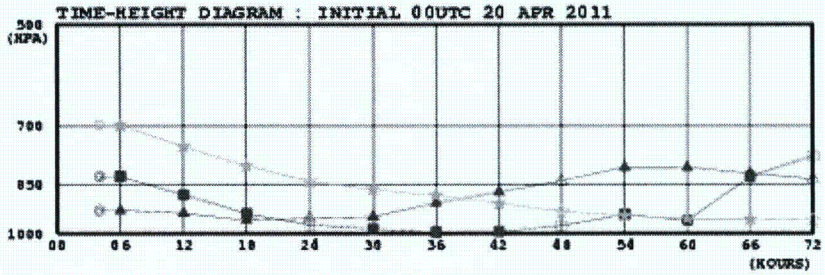
FROM 04UTC 20 APR 2011 TO 00UTC 23 APR 2011



(ISSUED 0508UTC 20 APR 2011)

INITIAL HEIGHT - 500M ABOVE THE SURFACE
INITIAL HEIGHT - 1500M ABOVE THE SURFACE
INITIAL HEIGHT - 3000M ABOVE THE SURFACE
MARKED WITH TIME INTERVAL OF 6 HOURS
SOURCE LOCATION : LATITUDE 37.42N
LONGITUDE 141.03E
NAME FUKUSHIMA DAIICHI, JAPAN

TIME-HEIGHT DIAGRAM : INITIAL 00UTC 20 APR 2011

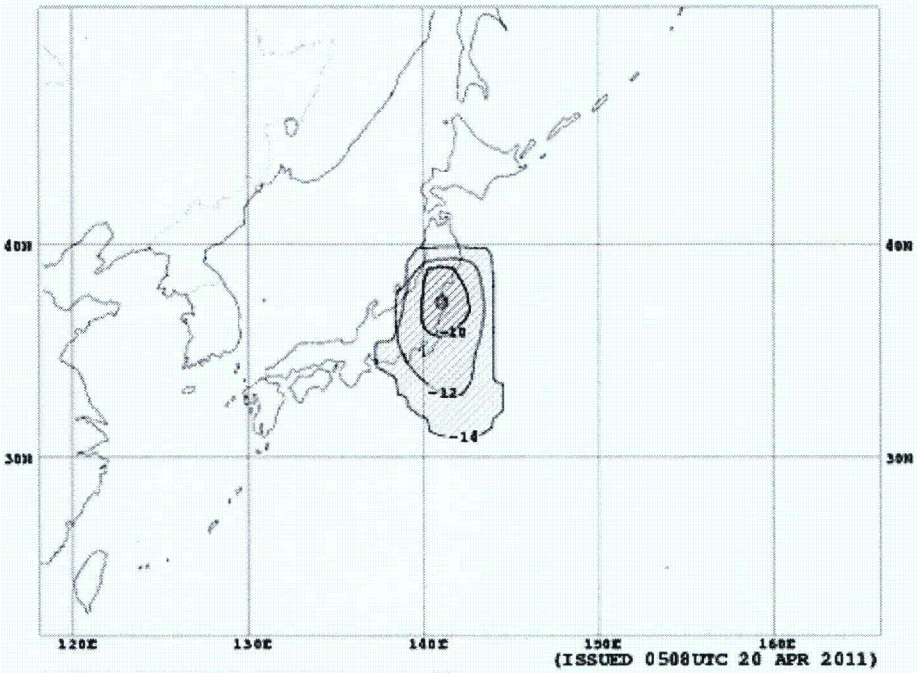


JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY
GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL
CHART 1 / 5

☐ DELEGATED AUTHORITY REQUESTED
☐ IAEA NOTIFIED EMERGENCY

TIME INTEGRATED SURFACE - 500M LAYER CONCENTRATION

INTEGRATED FROM 04UTC 20 APR 2011
TO 00UTC 21 APR 2011



(ISSUED 0508UTC 20 APR 2011)

ASSUMED POLLUTANT RELEASED : I -131
START OF THE EMISSION : 0400UTC 20 APR 2011
END OF THE EMISSION : 0400UTC 23 APR 2011
⊙ SOURCE LOCATION : LATITUDE 37.42N
LONGITUDE 141.03E
NAME FUKUSHIMA DAIICHI, JAPAN
ASSUMED TOTAL EMISSION : 1 BECQUEREL
UNIFORM RELEASE FROM 20- 500M ABOVE THE GROUND
UNIT : (BQ.S/M3)
MAXIMUM : 6.46E-9 (BQ.S/M3)
CONTOURS: 1E-10 , 1E-12 , 1E-14

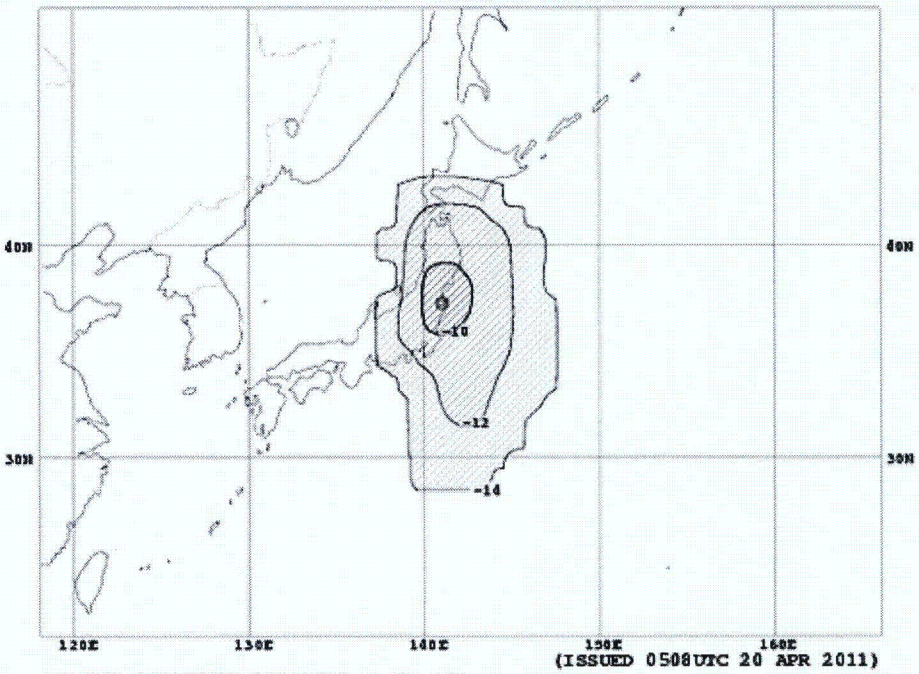
CONTOUR VALUES MAY CHANGE FROM CHART TO CHART

JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY
GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL
CHART 2 / 5

☐ DELEGATED AUTHORITY REQUESTED
☐ IAEA NOTIFIED EMERGENCY

TIME INTEGRATED SURFACE - 500M LAYER CONCENTRATION

INTEGRATED FROM 00UTC 21 APR 2011
TO 00UTC 22 APR 2011



(ISSUED 0508UTC 20 APR 2011)

ASSUMED POLLUTANT RELEASED : I -131
START OF THE EMISSION : 0400UTC 20 APR 2011
END OF THE EMISSION : 0400UTC 23 APR 2011
⊗ SOURCE LOCATION : LATITUDE 37.42N
LONGITUDE 141.03E
NAME FUKUSHIMA DAIICHI, JAPAN
ASSUMED TOTAL EMISSION : 1 BECQUEREL
UNIFORM RELEASE FROM 20- 500M ABOVE THE GROUND
UNIT : (BQ.S/M3)
MAXIMUM : 4.49E-9 (BQ.S/M3)
CONTOURS: 1E-10, 1E-12, 1E-14

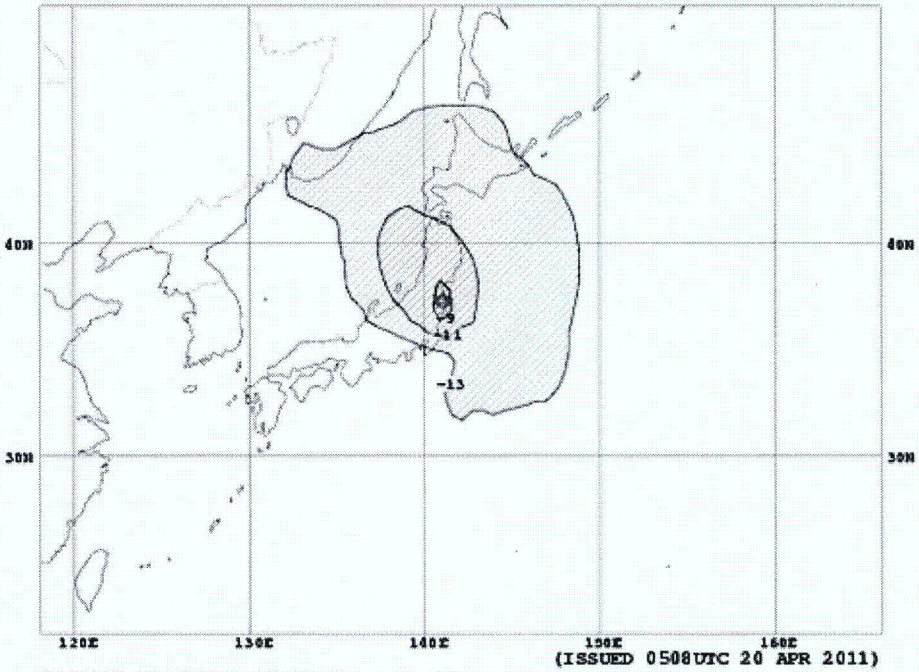
CONTOUR VALUES MAY CHANGE FROM CHART TO CHART

JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY
GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL
CHART 3 / 5

☐ DELEGATED AUTHORITY REQUESTED
☐ IAEA NOTIFIED EMERGENCY

TIME INTEGRATED SURFACE - 500M LAYER CONCENTRATION

INTEGRATED FROM 00UTC 22 APR 2011
TO 00UTC 23 APR 2011



(ISSUED 0508UTC 20 APR 2011)

ASSUMED POLLUTANT RELEASED : I -131
START OF THE EMISSION : 0400UTC 20 APR 2011
END OF THE EMISSION : 0400UTC 23 APR 2011
⊙ SOURCE LOCATION : LATITUDE 37.42N
LONGITUDE 141.03E
NAME FUKUSHIMA DAIICHI, JAPAN
ASSUMED TOTAL EMISSION : 1 BECQUEREL
UNIFORM RELEASE FROM 20- 500M ABOVE THE GROUND
UNIT : (BQ.S/M3)
MAXIMUM : 1.89E-9 (BQ.S/M3)
CONTOURS: 1E-9, 1E-11, 1E-13

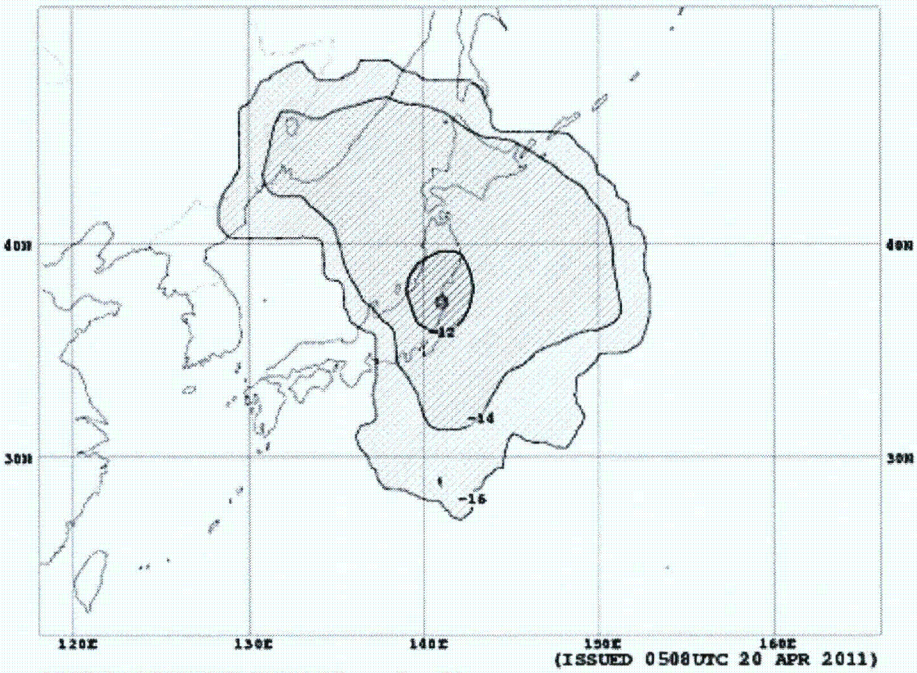
CONTOUR VALUES MAY CHANGE FROM CHART TO CHART

JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY
GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL
CHART 4 / 5

☐ DELEGATED AUTHORITY REQUESTED
☐ IAEA NOTIFIED EMERGENCY

TOTAL (WET AND DRY) DEPOSITION

INTEGRATED FROM 04UTC 20 APR 2011
TO 00UTC 23 APR 2011



(ISSUED 0508UTC 20 APR 2011)

ASSUMED POLLUTANT RELEASED : I -131
START OF THE EMISSION : 0400UTC 20 APR 2011
END OF THE EMISSION : 0400UTC 23 APR 2011
⊙ SOURCE LOCATION : LATITUDE 37.42N
LONGITUDE 141.03E
NAME FUKUSHIMA DAIICHI, JAPAN
ASSUMED TOTAL EMISSION : 1 BECQUEREL
UNIFORM RELEASE FROM 20- 500M ABOVE THE GROUND
UNIT : (BQ/M2)
MAXIMUM : 1.02E-11 (BQ/M2)
CONTOURS: 1E-12, 1E-14, 1E-16

CONTOUR VALUES MAY CHANGE FROM CHART TO CHART

JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY
GLOBAL TRACER TRANSPORT MODEL
CHART 5 / 5

JOINT STATEMENTJOINT STATEMENT
by: RSMC Tokyo(JP) and RSMC Beijing(CN)
Emergency notified by the IAEA (Emergency)
Issued: 08:50 UTC, Apr. 20, 2011

RADIOLOGICAL EVENT DETAILS
Source: Fukushima Daiichi¬Japan
Location: 37.4206 degrees North latitude, 141.0329 degrees East longitude
Release date-time:
From: 04:00 UTC 20 Apr 2011
To: 04:00 UTC 23 Apr 2011
Comments: Emergency Accident

Weather Situation

A low pressure system is located off the east coast of the Japan Islands and is moving toward northeast. On the other hand, a high pressure system is located in the East China Sea and is moving toward eastward. It is blowing northerly or northwesterly moderate winds between the systems. It is sometimes sunny around Japan, and partly rainy in Fukushima. It will be mostly fine tomorrow due to the traveling of high pressure system. From Friday through Saturday, another low pressure system will be moving from China to Japan. It will be cloudy or rainy over the Japan Islands.

Trajectories

Trajectories of the two models from RSMC Beijing and Tokyo are very similar. The tracers at 500m and 1500m from BJ will go to south in the first 24 hours and then turns clockwise to northeast in the next 24 hours, and finally move toward southeast. The trajectory of JP released at 500m is alike to the one of BJ, while the trajectory at 1500 will move toward south for the first 24 hours and then turn clockwise and return to the release point. At 3000m, the tracers both are moving toward southeast for the first 24 hours and will turn clockwise to the west or northwest in the rest of the period.

Exposure

The simulation results of the RSMC Beijing and Tokyo show that the exposure areas will spread southward for the first 24 hours and then will spread toward north for the next 24 hours. It will cover the eastern and northern part of Japan Islands. For the last 24 hours, the exposure areas will spread toward northwest and southeast. It will cover the central and northern part of the Japan Islands, Sea of Japan and the northwestern part of the Pacific Ocean.

Depositions

The deposition areas for the whole period will cover the eastern and northern part of Japan, Sea of Japan, the Russian Maritime Provinces and the northwestern part of Pacific Ocean.

Summary

There would be a hazard around the eastern and northern part of Japan Islands, Sea of Japan, the coast of the Asian continent and the northwestern part of the Pacific Ocean.

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

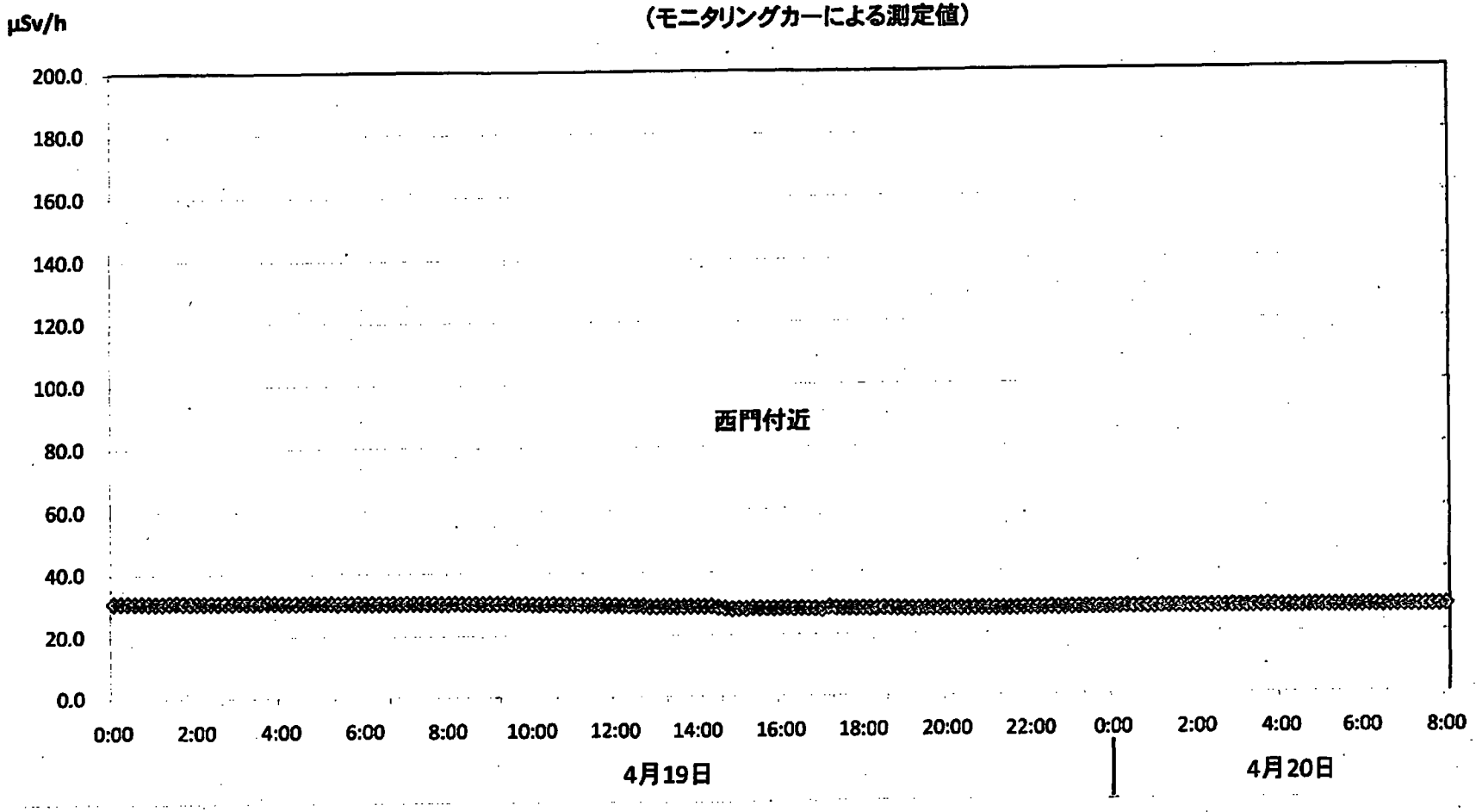
場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/20 1:00	28.2	<0.01	曇り	NW	1.5
西門	2011/4/20 1:10	28.2	<0.01	曇り	NW	1.3
西門	2011/4/20 1:20	28.1	<0.01	曇り	NW	1.4
西門	2011/4/20 1:30	28.2	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 1:40	28.2	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 1:50	28.2	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 2:00	28.1	<0.01	曇り	NW	1.3
西門	2011/4/20 2:10	28.2	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 2:20	28.0	<0.01	曇り	NW	1.3
西門	2011/4/20 2:30	28.1	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 2:40	28.1	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 2:50	28.2	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 3:00	28.2	<0.01	曇り	NNW	1.0
西門	2011/4/20 3:10	28.1	<0.01	曇り	NNW	1.1
西門	2011/4/20 3:20	28.2	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 3:30	28.1	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 3:40	28.2	<0.01	曇り	NW	0.9
西門	2011/4/20 3:50	28.2	<0.01	曇り	NNW	0.7
西門	2011/4/20 4:00	28.0	<0.01	曇り	NW	0.9
西門	2011/4/20 4:10	28.0	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 4:20	28.0	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 4:30	28.0	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 4:40	28.0	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 4:50	28.1	<0.01	曇り	NW	0.9
西門	2011/4/20 5:00	28.0	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 5:10	28.0	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 5:20	28.0	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 5:30	28.0	<0.01	曇り	NW	1.1
西門	2011/4/20 5:40	27.9	<0.01	曇り	NW	1.5
西門	2011/4/20 5:50	27.9	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 6:00	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.2
西門	2011/4/20 6:10	28.0	<0.01	曇り	NW	1.4
西門	2011/4/20 6:20	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.3
西門	2011/4/20 6:30	27.9	<0.01	曇り	NE	1.3
西門	2011/4/20 6:40	28.0	<0.01	晴れ	NE	1.3
西門	2011/4/20 6:50	28.0	<0.01	曇り	NE	1.5
西門	2011/4/20 7:00	27.9	<0.01	晴れ	NNW	1.4
西門	2011/4/20 7:10	27.9	<0.01	晴れ	NNW	1.5
西門	2011/4/20 7:20	27.9	<0.01	晴れ	WNW	1.4
西門	2011/4/20 7:30	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.2
西門	2011/4/20 7:40	28.0	<0.01	晴れ	N	1.3
西門	2011/4/20 7:50	28.0	<0.01	晴れ	NW	1.6
西門	2011/4/20 8:00	28.0	<0.01	曇り	WNW	1.5

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事務本館南側 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/19 20:00	479	59	24
2011/4/19 20:30	480	59	24
2011/4/19 21:00	480	59	24
2011/4/19 21:30	482	59	24
2011/4/19 22:00	485	60	24
2011/4/19 22:30	485	60	24
2011/4/19 23:00	486	60	24
2011/4/19 23:30	487	60	24
2011/4/20 0:00	488	60	24
2011/4/20 0:30	488	60	24
2011/4/20 1:00	490	60	24
2011/4/20 1:30	491	60	24
2011/4/20 2:00	489	60	24
2011/4/20 2:30	489	60	24
2011/4/20 3:00	492	60	24
2011/4/20 3:30	494	61	24
2011/4/20 4:00	492	60	24
2011/4/20 4:30	489	60	24
2011/4/20 5:00	490	60	24
2011/4/20 5:30	492	60	24
2011/4/20 6:00	491	60	24
2011/4/20 6:30	493	60	24
2011/4/20 7:00	491	61	24
2011/4/20 7:30	491	60	24
2011/4/20 8:00	489	60	24

福島第一原子力発電所敷地内の線量率

（モニタリングカーによる測定値）

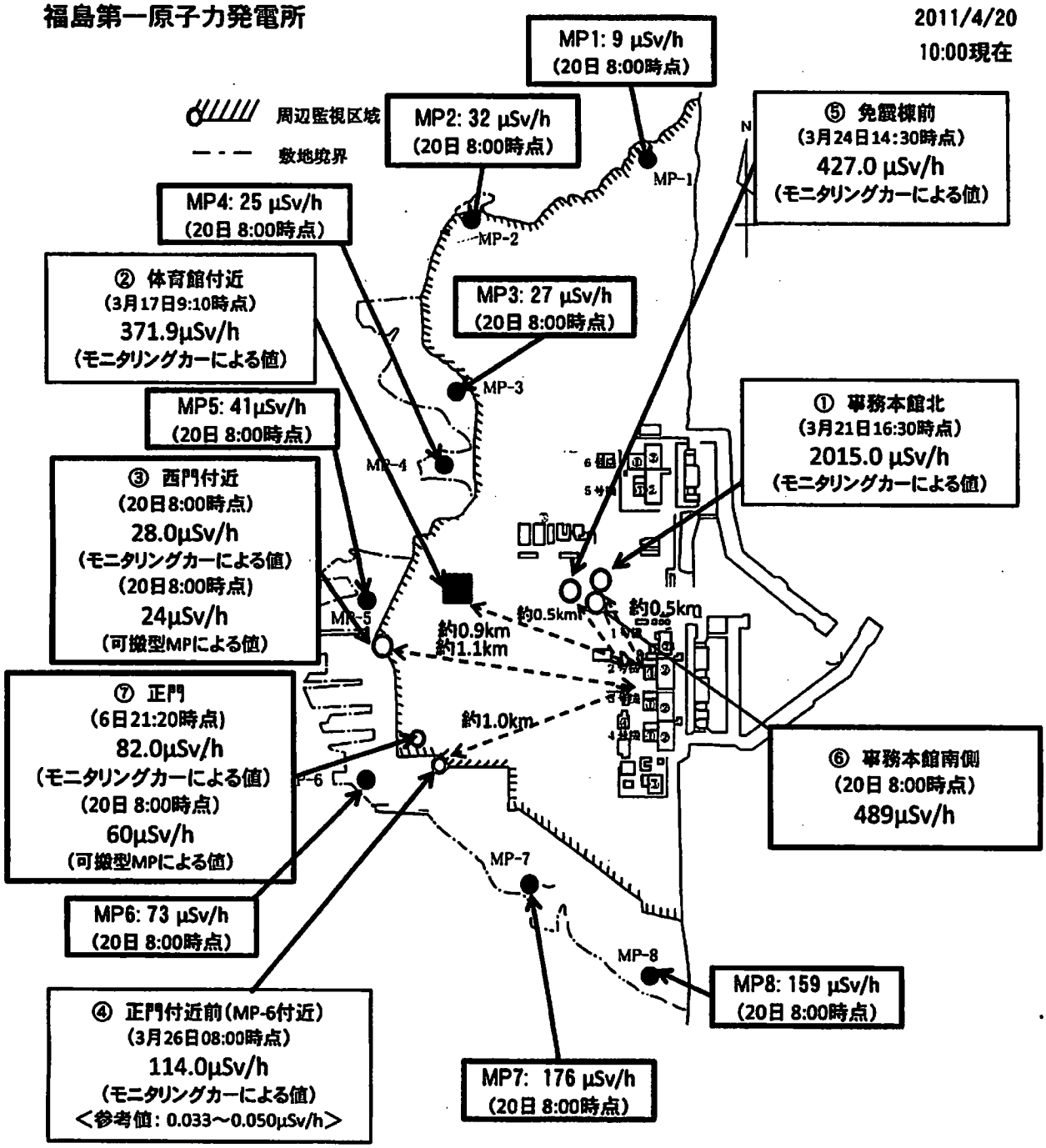


福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率(μSv/h)

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 1:00	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 1:10	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 1:20	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 1:30	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 1:40	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 1:50	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 2:00	9	32	27	25	42	74	176	159
2011/4/20 2:10	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 2:20	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 2:30	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 2:40	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 2:50	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:00	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:10	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:20	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:30	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:40	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 3:50	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:00	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:10	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:20	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:30	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:40	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 4:50	9	32	27	25	42	73	176	159
2011/4/20 5:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 5:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 5:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 5:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 5:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 5:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:00	9	32	27	25	41	73	176	159

福島第一原子力発電所

2011/4/20
10:00現在



単位：μSv/h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 1:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.2	晴れ
2011/4/20 1:10	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	10.1	-
2011/4/20 1:20	2.5	1.9	2.7	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.9	-
2011/4/20 1:30	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	10.6	晴れ
2011/4/20 1:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.6	-
2011/4/20 1:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	10.0	-
2011/4/20 2:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	11.0	晴れ
2011/4/20 2:10	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	10.0	-
2011/4/20 2:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.3	-
2011/4/20 2:30	2.5	1.9	2.7	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.7	晴れ
2011/4/20 2:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.2	-
2011/4/20 2:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.2	-
2011/4/20 3:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.5	晴れ
2011/4/20 3:10	2.5	1.9	2.7	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.4	-
2011/4/20 3:20	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	9.9	-
2011/4/20 3:30	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	9.7	晴れ
2011/4/20 3:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.5	-
2011/4/20 3:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	8.8	-
2011/4/20 4:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	8.0	晴れ
2011/4/20 4:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	8.7	-
2011/4/20 4:20	2.5	1.9	2.6	2.2	2.1	2.1	-	北北西	7.8	-
2011/4/20 4:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北	9.1	晴れ
2011/4/20 4:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北	10.3	-
2011/4/20 4:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.4	-
2011/4/20 5:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	10.0	晴れ
2011/4/20 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北	9.6	-
2011/4/20 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	-	北	9.6	-
2011/4/20 5:30	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	8.6	晴れ
2011/4/20 5:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北	9.1	-
2011/4/20 5:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.9	-
2011/4/20 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	8.9	晴れ
2011/4/20 6:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.3	-
2011/4/20 6:20	2.5	1.9	2.6	2.2	2.1	2.1	-	北	9.5	-
2011/4/20 6:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	8.2	晴れ
2011/4/20 6:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	9.5	-
2011/4/20 6:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	8.2	-
2011/4/20 7:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	7.6	晴れ
2011/4/20 7:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	-	北北西	8.3	-
2011/4/20 7:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	-	北北西	9.8	-
2011/4/20 7:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	-	北北西	8.5	晴れ
2011/4/20 7:40	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北北西	9.6	-
2011/4/20 7:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	-	北	9.8	-
2011/4/20 8:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	-	北	9.0	晴れ

福島第二原子力発電所

2011/4/20
10:00現在

MP1:2.5μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.9μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

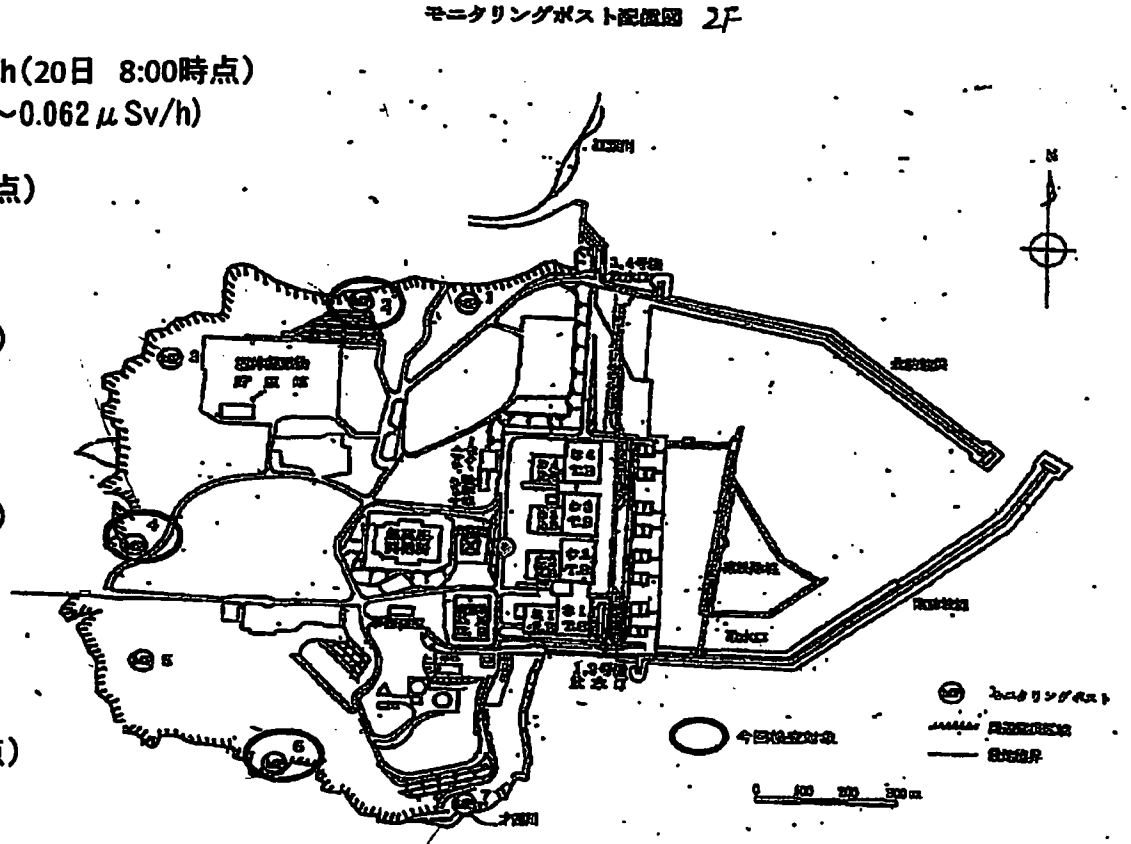
MP3:2.6μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.1μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.1μSv/h(20日　8:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.570μSv/h(19日　9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月19日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.29	0.29	0.29	0.29	0.30	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.300	0.290
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.017	0.016
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.072	0.070	0.068	0.070	0.074	0.073	0.070	0.067	0.074	0.075	0.078	0.078
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.357	0.354	0.356	0.359	0.359	0.358	0.356	0.354	0.352	0.348	0.345	0.343
0.039～0.110		敦賀発電所	0.075	0.074	0.073	0.072	0.072	0.073	0.072	0.074	0.073	0.073	0.072	0.074
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.044	0.044	0.045	0.044	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.043
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.045	0.037	0.039	0.043	0.039	0.036	0.035	0.034	0.033	0.032	0.033	0.033
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.031	0.035	0.040	0.036	0.032	0.031	0.030	0.030	0.031	0.030	0.030	0.035
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.076	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.073	0.072	0.073	0.074	0.073	0.072
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.042	0.042	0.042	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043	0.044	0.043	0.049
0.036～0.040		大飯発電所	0.037	0.035	0.035	0.035	0.035	0.036	0.035	0.036	0.035	0.035	0.036	0.046
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.017	0.016	0.017
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.034	0.031	0.029	0.028	0.028	0.028	0.027	0.026	0.026	0.028	0.028	0.027
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.039	0.040	0.048	0.042	0.043	0.040	0.039	0.036	0.038	0.038	0.040
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.023

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月19日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.29	0.30	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.020	0.018	0.019	0.019		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.082	0.083	0.082	0.072	0.068	0.067	0.066	0.067	0.066	0.071		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.341	0.342	0.341	0.338	0.339	0.339	0.341	0.342	0.336	0.336		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.085	0.077	0.074	0.073	0.073	0.074	0.081	0.080	0.078		
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.033	0.036	0.034	0.033	0.032	0.033	0.033	0.035	0.033	0.034		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.034	0.032	0.032	0.033	0.033	0.030	0.032	0.031	0.029	0.029		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.076	0.083	0.076	0.073	0.073	0.071	0.074	0.078	0.075	0.076		
0.045～0.047		高浜発電所	0.051	0.046	0.053	0.057	0.050	0.051	0.051	0.049	0.047	0.045		
0.036～0.040		大飯発電所	0.047	0.039	0.042	0.041	0.040	0.042	0.045	0.043	0.043	0.042		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.015	0.015	0.013	0.013	0.013	0.014	0.014	0.013	0.014	0.013		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.040	0.037	0.037	0.037	0.039	0.037	0.036	0.037	0.037	0.036		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016	0.019	0.018	0.019	0.020	0.017		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.025	0.024	0.025	0.025	0.023		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月19日(火)21時まで

【留意事項】
各計測器については、地盤やその他の事象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月20日　06:00 現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1600mm 燃料域B：−1650mm （4/20 00:00 現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2100mm （4/20 00:00 現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/20 00:02 現在）		停止域 2074mm （4/20 06:00 現在）	停止域 1932mm （4/20 06:00 現在）
原子炉圧力	A系 0.423MPa g (A) B系 1.070MPa g (B) ※3 （4/20 00:00 現在）	A系−0.020MPa g (A) ※3 B系−0.027MPa g (D) ※3 （4/20 00:00 現在）	A系−0.038MPa g (A) ※3 B系−0.087MPa g (C) ※3 （4/20 00:02 現在）		0.007MPa g （4/20 06:00 現在）	0.010MPa g （4/20 06:00 現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				34.2℃ （4/20 06:00 現在）	22.5℃ （4/20 06:00 現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：164.1℃ ※3 圧力容器下部温度：113.9℃ （4/20 00:00 現在）	給水ノズル温度：133.4℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/20 00:00 現在）	給水ノズル温度：98.5℃ ※3 圧力容器下部温度：109.5℃ （4/20 00:02 現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C 圧力	D/W 0.165MPa abs S/C 0.165MPa abs （4/20 00:00 現在）	D/W 0.080MPa abs S/C ※1 （4/20 00:00 現在）	D/W 0.1041MPa abs S/C 0.1734MPa abs （4/20 00:02 現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W 雰囲気温度	RPV ベローシール：118.0℃ HVH 戻り：96.3℃ （4/20 00:00 現在）	RPV ベローシール：※1 HVH 戻り：124℃ （4/20 00:00 現在）	RPV ベローシール：216.6℃ ※3 HVH 戻り：78.3℃ （4/20 00:02 現在）			
CAMS 放射線モニタ	D/W (A) ※1 (B) ※1 S/C (A) 9.89×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 2.10×10⁰Sv/h ※3 （4/20 00:00 現在）	D/W (A) 2.51×10¹Sv/h (B) 2.85×10¹Sv/h S/C (A) 5.60×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 8.93×10¹Sv/h ※3 （4/20 00:00 現在）	D/W (A) 1.56×10¹Sv/h (B) 1.17×10¹Sv/h S/C (A) 5.88×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 5.44×10⁻¹Sv/h ※3 （4/20 00:02 現在）			
S/C 温度	A系：53.3℃ B系：53.2℃ （4/20 00:00 現在）	A系：74.3℃ B系：74.6℃ （4/20 00:00 現在）	A系：43.0℃ B系：43.0℃ （4/20 00:02 現在）			
D/W 設計使用圧力	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	−	−	
D/W 最高使用圧力	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)			
使用済燃料プール温度	※1	72.0℃ （4/20 00:00 現在）	※1	※1	36.6℃ （4/20 06:00 現在）	31.0℃ （4/20 06:00 現在）
FPC スキマーサージタンクレベル	4500mm （4/20 00:00 現在）	5050mm （4/20 00:00 現在）	※1	4300mm （4/20 00:02 現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：32℃程度 （4/19 7:30）	5u：SHC モード （4/19 19:03～）	6u：SHC モード （4/19 10:33～）

公　開　可

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２０日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０３報）
（４月２０日０８時００分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・２号機について、使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）

・２号機について、電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を 4 月 18 日に約 17,000L、4 月 19 日に約 7,000L を注入

・６号機のタービン建屋地下の溜まり水（約 100m^3）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）

・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）

２．産業保安関係

別紙参照

（別紙）

１　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）
２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）
３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）
４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）
５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）
６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 20 日 06:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.524(A) 1.171(B)	0.081(A) 0.074(D)	0.063(A) 0.014(C)	—	0.108	0.111
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	165	80	104.1	—	—	—
原子炉水位*2 [mm]	-1600(A) -1650(B)	-1500(A) -2100(B)	-1850(A) -2250(B)	—	2074	1932
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.3(A) 53.2(B)	74.3(A) 74.6(B)	43.0(A) 43.0(B)	—	—	—
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	165	計器不良	173.4	—	—	—
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	72.0	計器不良	計器不良	36.6	31.0
備　考	4/20 00:00 現在の値	4/20 00:00 現在の値	4/20 00:00 現在の値	4/20 現在	4/20 06:00 現在の値	4/20 06:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算
＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）
・ベント開始（3 月 12 日 10:17）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3 月 14 日 1:10）
・１号機で爆発音（3 月 12 日 15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3 月 23 日 2:33）。その後、給水系のみに切替（約 11m^3/h）（3 月 23 日 9:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 24 日 11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3 月 25 日 15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として ^{131}I（ヨウ素）が 2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 29 日 8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3 月 24 日 17 時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3 月 29 日 7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3 月 31 日 12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3 月 31 日 15:25）、移送を再開し、終了した（4 月 2 日 15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が約 90t 放水（淡水）（3 月 31 日 13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m 級）による放水位置の確認のため、試験放水（4 月 2 日 17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 3 日 13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4 月 6 日 22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4 月 7 日 1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4 月 9 日 4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 10 日 09:30）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4 月 11 日 18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4 月 11 日 23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月20日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月20日08:00現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象(原子炉冷却機能喪失)である旨、受信(3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始(3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70 t ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 20 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 20 日 08:00 現在）

＜３号機関係＞
・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 13 日 5:10）
・ベント開始（3 月 13 日 8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3 月 13 日 11:55）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3 月 13 日 13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3 月 14 日 1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3 月 14 日 3:20)
・ベント開始（3 月 14 日 5:20)
・格納容器圧力が異常上昇(3 月 14 日 7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3 月 14 日 7:52)
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3 月 14 日 11:01)
・白い湯気のような煙が発生（3 月 16 日 8:30 頃)
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3 月 16 日 10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3 月 16 日 11:30)
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3 月 17 日 9:48、9:52、9:58、10:01)
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3 月 17 日 16:10)
・自衛隊消防車により放水（3 月 17 日 19:35)
・警察庁機動隊による放水（3 月 17 日 19:05～19:13)
・自衛隊消防車５台が放水（3 月 17 日 19:35、19:45、19:53、20:00、20:07)
・自衛隊消防車６台（6t 放水／台）が放水（3 月 18 日 14 時前～14:38)
・米軍消防車１台が放水（3 月 18 日 14:45 終了)
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3 月 20 日 3:40 終了)
・格納容器内圧力が上昇（3 月 20 日 11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3 月 21 日 12:15、120kPa)
・ケーブル引き込みの現地調査（3 月 20 日 11:00～16:00)
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3 月 20 日 21:30～3 月 21 日 3:58)
・灰色がかった煙が発生（3 月 21 日 15:55 頃)
・煙が収まっていることを確認（3 月 21 日 17:55)
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3 月 22 日 7:11 現在)
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約 180t)（3 月 22 日 15:10～16:00)
・中央制御室の照明復帰（3 月 22 日 22:43)
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を 35t 注水（3 月 23 日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃)
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、

採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。

・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が海水約 100t 放水（3 月 27 日 12:34～14:36）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 11:30～14:00）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 20 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 20 日 08:00 現在）

＜４号機関係＞

・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし

・使用済燃料プール水温度が上昇（3 月 14 日 4:08 時点 84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3 月 15 日 6:14）
・火災発生（3 月 15 日 9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3 月 15 日 11:00 頃）
・火災が発生（3 月 16 日 5:45 頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3 月 16 日 6:15 頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3 月 20 日 11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 18:30 頃～19:46）
・自衛隊消防車 13 台が使用済燃料プールに放水（3 月 21 日 6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3 月 21 日 15:00 頃）
・パワーセンター受電（3 月 22 日 10:35）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 22 日 17:17～20:32）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 130 t 放水（3 月 23 日 10:00～13:02）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 24 日 14:36～17:30）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 25 日 19:05～22:07）
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3 月 25 日 6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 125t 放水（3 月 27 日 16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3 月 29 日 11:50）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 140t 放水（3 月 30 日 14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 1 日 8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・4 月 2 日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を４号機のタービン建屋内に移送していたところ、4 月 3 日より３号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断（4 月 4 日 9:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 3 日 17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 20t 放水（4 月 5 日 17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 38 t 放水（4 月 7 日 18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 90 t 放水（4 月 9 日 17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4 月 12 日 12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4 月 13 日）。その結果、^{131}I（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 20 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^3）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）

＜使用済燃料共用プール＞

・3 月 18 日 6:00 過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3 月 21 日 10:37～15:30）
・電源供給を開始（3 月 24 日 15:37）し、冷却を開始（3 月 24 日 18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4 月 17 日 14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4 月 17 日 17:30）
・4 月 19 日 7:30 時点でのプール水温度は 32℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 1850.5 倍）検出された（3 月 26 日 14:30）
（3 月 29 日に計測した結果、水中濃度限度の 3,355.0 倍となった。（3 月 29 日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同 1,262.5 倍）検出された。（3 月 29 日 14:10））

・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3 月 21 日及び 3 月 22 日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3 月 28 日 23:45 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3 月 31 日）。測定値については１日１回の予定。

・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3 月 25 日（４地点）及び 3 月 28 日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 6 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3 月 28 日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 4385.0 倍）検出された。（3 月 30 日 13:55）

・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3 月 31 日及び 4 月 4 日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から ^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 14 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）

・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4

月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞
・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）
・共用プール山側の約 1900m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）

＜がれきの撤去状況＞

・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00)

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃)。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25)
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03)
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^{3}、非管理区域で総量 2.2×10^{1}Bq/cm^{3} の放射能を検出
・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40)
・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10)
・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15)
・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台

のポンプによる放出を実施（4月4日19:07）し、4月10日17時40分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約9,070t）

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4月6日17:20～4月7日18:20）

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4月7日）

・4月7日11:32に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4月8日14:30）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月10日15:59～16:28）

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4月12日6:38頃）。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日7:00前）。その後、鎮火確認（同日9:12）

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月14日10:17～12:25）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月15日8:02～9:55）

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4月15日10:19～17:00）

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4月18日）。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4月19日10:23）

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110万kW）（自動停止、3月14日17:00冷温停止）

２号機（110万kW）（自動停止、3月14日18:00冷温停止）

３号機（110万kW）（自動停止、3月12日12:15冷温停止）

４号機（110万kW）（自動停止、3月15日7:15冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4月20日06:00現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.14	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.6	24.4	32.9	28.6
原子炉水位*2	mm	9346	10296	7792	8785

原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	24	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52 万 4 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 0:58 冷温停止）

２号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 1:17 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約 0.29μSv/h（4 月 19 日 16:00）（約 0.30μSv/h（4 月 18 日 16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下 1 階の発煙は消火確認（3 月 11 日 22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 13 日 13:09）

２　産業保安

○電気（4月19日19:00）

・東北電力（4月19日16:00現在）

停電戸数：約15万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万３千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月18日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万５千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸

③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸

④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月19日9:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機

常陸那珂火力発電所　１号機

鹿島火力発電所　６号機

・東北電力（4月19日16:00現在）

仙台火力発電所　４号機

新仙台火力発電所　１，２号機

原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月19日10:00現在）

・供給停止戸数※約５千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）

※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。

（１）一般ガス（4月19日10:00現在）

死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。

・盛岡ガス（盛岡市）死者１名、負傷者10名

3月14日8:00　デパートの地下での爆発

・東部ガス（いわき市）死者１名

3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。

・石巻ガス（石巻市）4,202戸供給停止

（２）簡易ガス（4月19日10:00現在）

各社の供給停止状況は以下の通り。

・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）390戸供給停止
・三重商会（大船渡市）12戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）165戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68戸供給停止

○熱供給（4月19日10:00現在）

・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4月14日21:00現在）

死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中

・福島県いわき市　死者１名
　3月13日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4月14日21:00現在）

・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
　ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3月21日午前鎮火。
・JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
　出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3月15日午後鎮火。
・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3月11日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置
１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は 1,864 人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3 月 12 日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20 通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域
・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。
当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象

（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月15日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントの実施について指示

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水の実施を指示

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月18日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3 月 22 日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3 月 22 日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3 月 25 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 24 日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3 月 28 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 27 日に東京

電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3 月 29 日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3 月 30 日】

各電気事業者等に対し、平成 23 年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3 月 31 日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3 月 31 日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4 月 1 日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。

・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底

を行うこと。

・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の

指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において4月1日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。
・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告

書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

＜被ばくの可能性（4月20日08:00現在）＞

1．住民の被ばく

（1）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（2）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（3）バスにより避難した双葉町の住民約100名について、100名のうち、9名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	1名
30,000～36,000cpm	1名
40,000cpm	1名
40,000cpm弱※	1名
ごく小さい値	5名

※（1回目の測定では100,000cpmを超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（4）3月12日から3月15日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに162名が検査済み。初め除染の基準値を6,000cpmとし、110名が6,000cpm未満、41名が6,000cpm以上の値を示した。後に基準値を13,000cpmと引き上げた際には、8名が13,000cpm未満、3名が13,000cpm以上の値を示した。

検査を受けた162名のうち、5名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（5）福島県において、避難した10km圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3名について除染後も高い数値が検出されたため、第2次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員60名のスクリーニングで3名について、バックグランドの2倍以上程度の放射線が検出されたため、60名に対し除染を行った。

（6）福島県は3月13日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等11ヶ所（常設）で実施中。4月17日までに159,269人に対し実施。そのうち、100,000cpm以上の値を示した者は102人であったが、100,000cpm以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

2．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で100mSvを超過した作業員は、

計 29 名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3 月 24 日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3 月 25 日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Sv と推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3 月 28 日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は 4 月 11 日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4 月 1 日 11:35 頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4 月 12 日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3 月 17 日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3 月 24 日、川俣町保健センター等において、１～15 歳までの 66 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3 月 26 日～3 月 27 日、いわき市保健所において、0～15 歳までの 137 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3 月 28 日～3 月 30 日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15 歳までの 946 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3 月 20 日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより 40 ベクレル/c ㎡または 6,000cpm

新：1 マイクロシーベルト／時（10cm 離れた場所での線量率）またはこれに相当する 100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）３月16日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯館村）宛に発出。

（２）３月21日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4月20日08:00現在）＞

１．３月11日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3月30日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4月2日までに死亡が確認された。）

２．３月12日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

３．３月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「（独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

４．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。（タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。）
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）

・3 月 12 日に管理区域外にて社員 1 名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。）
・3 月 12 日に社員 1 名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3 月 13 日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3 月 22 日、23 日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・4 月 7 日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4 月 8 日、「脱水、一過性意識消失」と診断。
・4 月 9 日午前 9 時 19 分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員 1 名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。
・4 月 10 日午前 11 時 10 分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後 2 時 27 分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4 月 20 日 08:00 現在）＞

3 月 15 日 11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。
・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。
・3 月 28 日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原

子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 20 日 08:00 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 20 日 08:00 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）

利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、杉山
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/20 12:00	27.8	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 12:10	27.8	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 12:20	28.3	<0.01	曇り	WSW	1.0
西門	2011/4/20 12:30	27.9	<0.01	曇り	NE	1.0
西門	2011/4/20 12:40	28.0	<0.01	曇り	ESE	0.9
西門	2011/4/20 12:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/20 13:00	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:10	27.9	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 13:20	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:30	28.0	<0.01	曇り	N	1.2
西門	2011/4/20 13:40	27.9	<0.01	曇り	N	1.0
西門	2011/4/20 13:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.9
西門	2011/4/20 14:00	27.9	<0.01	曇り	SE	1.4
西門	2011/4/20 14:10	28.0	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 14:20	27.9	<0.01	曇り	SE	1.0
西門	2011/4/20 14:30	27.8	<0.01	曇り	W	1.2
西門	2011/4/20 14:40	27.8	<0.01	曇り	NE	1.4
西門	2011/4/20 14:50	27.9	<0.01	曇り	E	1.0
西門	2011/4/20 15:00	27.9	<0.01	曇り	NW	1.2

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/19 20:00	479	59	24
2011/4/19 20:30	480	59	24
2011/4/19 21:00	480	59	24
2011/4/19 21:30	482	59	24
2011/4/19 22:00	485	60	24
2011/4/19 22:30	485	60	24
2011/4/19 23:00	486	60	24
2011/4/19 23:30	487	60	24
2011/4/20 0:00	488	60	24
2011/4/20 0:30	488	60	24
2011/4/20 1:00	490	60	24
2011/4/20 1:30	491	60	24
2011/4/20 2:00	489	60	24
2011/4/20 2:30	489	60	24
2011/4/20 3:00	492	60	24
2011/4/20 3:30	494	61	24
2011/4/20 4:00	492	60	24
2011/4/20 4:30	489	60	24
2011/4/20 5:00	490	60	24
2011/4/20 5:30	492	60	24
2011/4/20 6:00	491	60	24
2011/4/20 6:30	493	60	24
2011/4/20 7:00	491	61	24
2011/4/20 7:30	491	60	24
2011/4/20 8:00	489	60	24
2011/4/20 8:30	490	60	24
2011/4/20 9:00	487	60	24
2011/4/20 9:30	487	60	24
2011/4/20 10:00	487	60	24
2011/4/20 10:30	486	59	24
2011/4/20 11:00	479	59	24
2011/4/20 11:30	481	59	24
2011/4/20 12:00	481	60	24
2011/4/20 12:30	486	61	24
2011/4/20 13:00	483	61	24
2011/4/20 13:30	482	60	24
2011/4/20 14:00	481	60	24
2011/4/20 14:30	478	60	24
2011/4/20 15:00	481	60	24

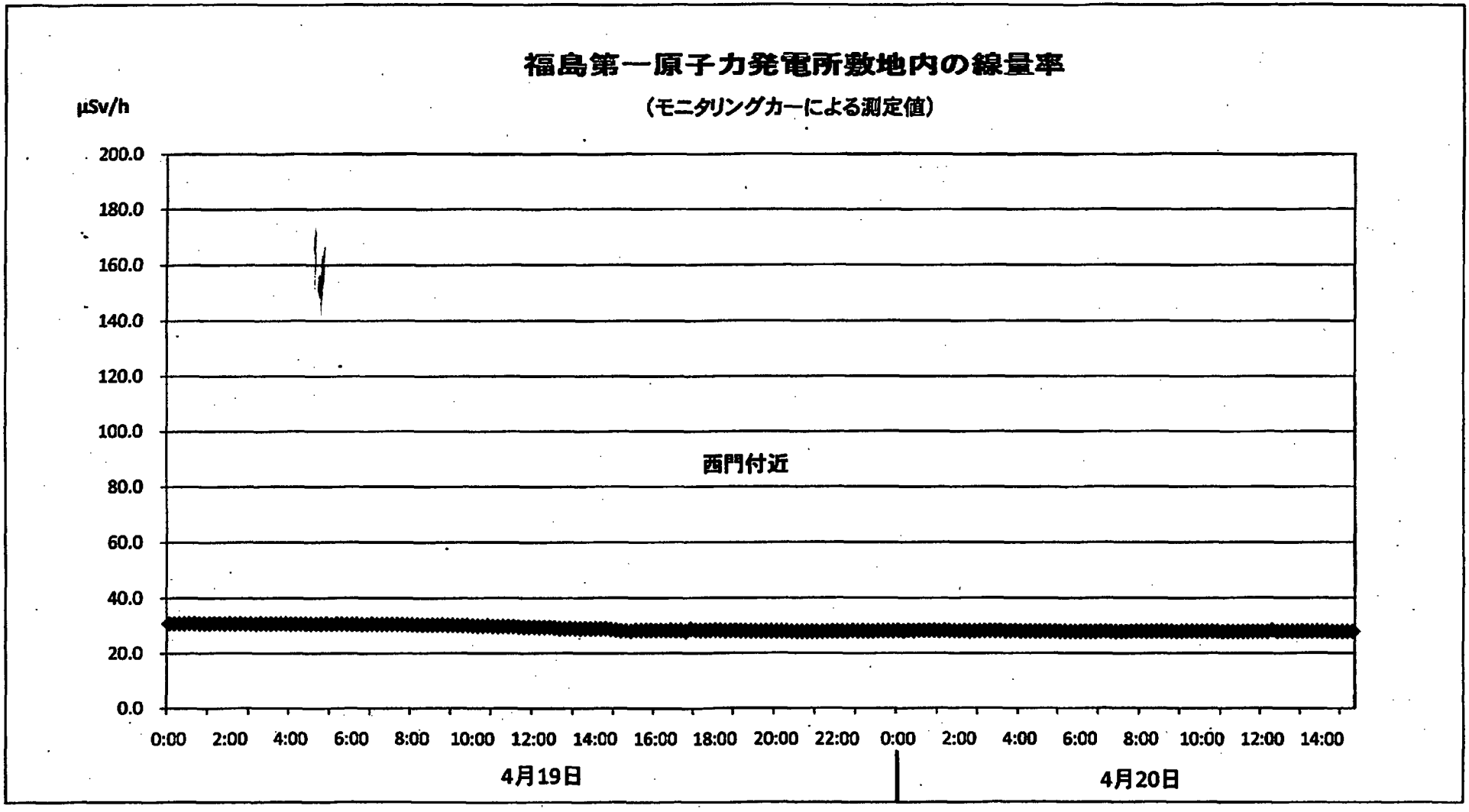
福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/20 6:00	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.2
西門	2011/4/20 6:10	28.0	<0.01	曇り	NW	1.4
西門	2011/4/20 6:20	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.3
西門	2011/4/20 6:30	27.9	<0.01	曇り	NE	1.3
西門	2011/4/20 6:40	28.0	<0.01	晴れ	NE	1.3
西門	2011/4/20 6:50	28.0	<0.01	曇り	NE	1.5
西門	2011/4/20 7:00	27.9	<0.01	晴れ	NNW	1.4
西門	2011/4/20 7:10	27.9	<0.01	晴れ	NNW	1.5
西門	2011/4/20 7:20	27.9	<0.01	晴れ	WNW	1.4
西門	2011/4/20 7:30	27.9	<0.01	晴れ	NW	1.2
西門	2011/4/20 7:40	28.0	<0.01	晴れ	N	1.3
西門	2011/4/20 7:50	28.0	<0.01	晴れ	NW	1.6
西門	2011/4/20 8:00	28.0	<0.01	曇り	WNW	1.5
西門	2011/4/20 8:10	27.9	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 8:20	27.9	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 8:30	27.9	<0.01	曇り	NNW	1.5
西門	2011/4/20 8:40	27.9	<0.01	曇り	WNW	1.1
西門	2011/4/20 8:50	28.0	<0.01	曇り	SSW	1.2
西門	2011/4/20 9:00	28.0	<0.01	曇り	N	1.5
西門	2011/4/20 9:10	27.8	<0.01	曇り	NNW	1.7
西門	2011/4/20 9:20	27.9	<0.01	曇り	W	1.6
西門	2011/4/20 9:30	28.0	<0.01	曇り	NE	1.2
西門	2011/4/20 9:40	28.0	<0.01	曇り	NW	1.3
西門	2011/4/20 9:50	27.9	<0.01	曇り	NE	1.4
西門	2011/4/20 10:00	27.9	<0.01	曇り	N	1.2
西門	2011/4/20 10:10	27.9	<0.01	晴れ	NE	1.3
西門	2011/4/20 10:20	27.9	<0.01	晴れ	NNE	1.2
西門	2011/4/20 10:30	27.9	<0.01	晴れ	E	1.6
西門	2011/4/20 10:40	27.8	<0.01	晴れ	E	1.5
西門	2011/4/20 10:50	27.9	<0.01	晴れ	W	1.0
西門	2011/4/20 11:00	27.8	<0.01	晴れ	N	1.4
西門	2011/4/20 11:10	27.8	<0.01	曇り	NE	1.5
西門	2011/4/20 11:20	27.8	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 11:30	27.9	<0.01	雨	NW	1.2
西門	2011/4/20 11:40	27.9	<0.01	曇り	NW	1.4
西門	2011/4/20 11:50	27.9	<0.01	曇り	NE	1.8
西門	2011/4/20 12:00	27.8	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 12:10	27.8	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 12:20	28.3	<0.01	曇り	WSW	1.0
西門	2011/4/20 12:30	27.9	<0.01	曇り	NE	1.0
西門	2011/4/20 12:40	28.0	<0.01	曇り	ESE	0.9
西門	2011/4/20 12:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/20 13:00	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/19 20:00	479	59	24
2011/4/19 20:30	480	59	24
2011/4/19 21:00	480	59	24
2011/4/19 21:30	482	59	24
2011/4/19 22:00	485	60	24
2011/4/19 22:30	485	60	24
2011/4/19 23:00	486	60	24
2011/4/19 23:30	487	60	24
2011/4/20 0:00	488	60	24
2011/4/20 0:30	488	60	24
2011/4/20 1:00	490	60	24
2011/4/20 1:30	491	60	24
2011/4/20 2:00	489	60	24
2011/4/20 2:30	489	60	24
2011/4/20 3:00	492	60	24
2011/4/20 3:30	494	61	24
2011/4/20 4:00	492	60	24
2011/4/20 4:30	489	60	24
2011/4/20 5:00	490	60	24
2011/4/20 5:30	492	60	24
2011/4/20 6:00	491	60	24
2011/4/20 6:30	493	60	24
2011/4/20 7:00	491	61	24
2011/4/20 7:30	491	60	24
2011/4/20 8:00	489	60	24
2011/4/20 8:30	490	60	24
2011/4/20 9:00	487	60	24
2011/4/20 9:30	487	60	24
2011/4/20 10:00	487	60	24
2011/4/20 10:30	486	59	24
2011/4/20 11:00	479	59	24
2011/4/20 11:30	481	59	24
2011/4/20 12:00	481	60	24
2011/4/20 12:30	486	61	24
2011/4/20 13:00	483	61	24


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
4月19日
4月20日

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

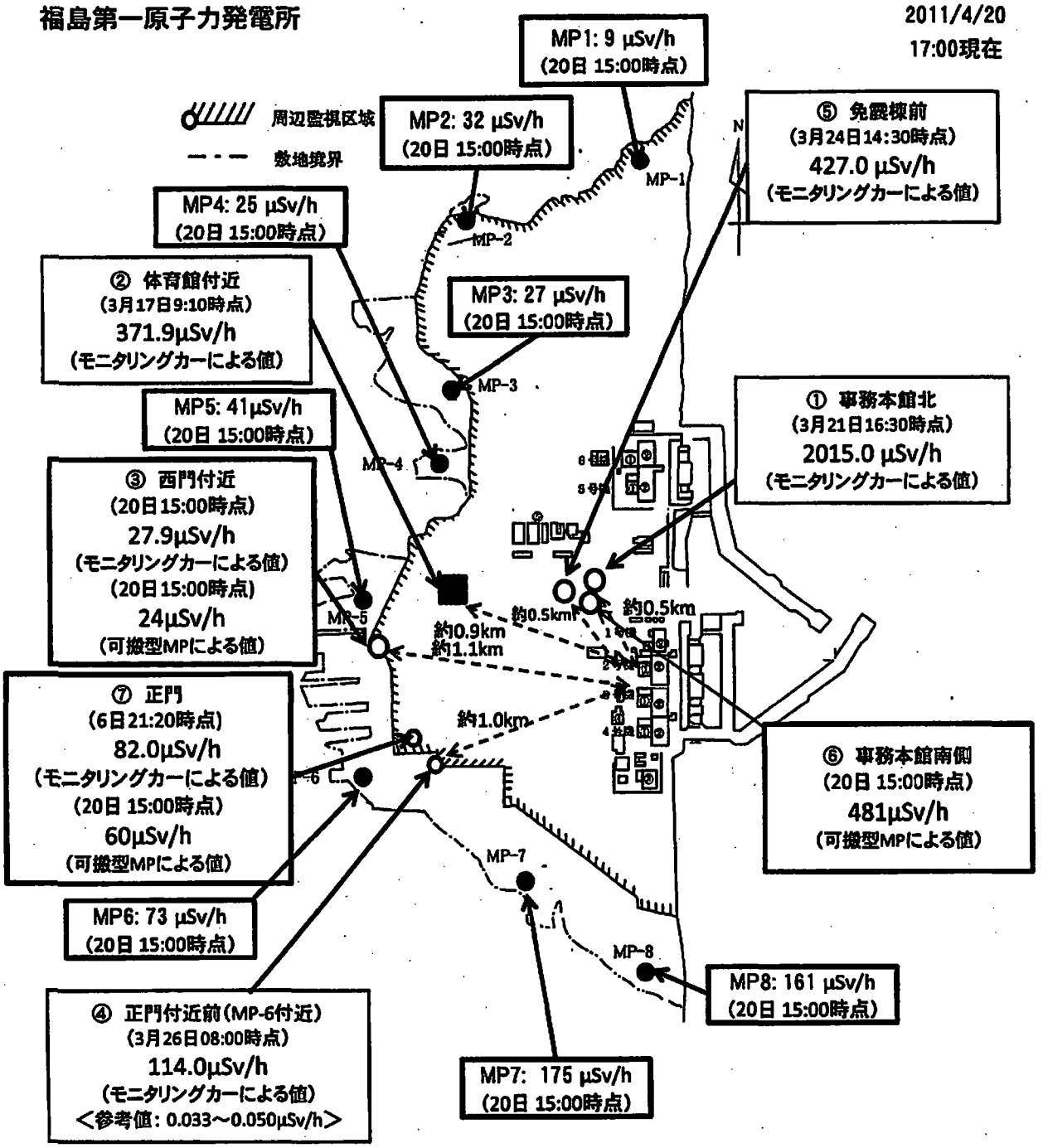
日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 12:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:30	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 13:50	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 14:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:40	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:00	9	32	27	25	41	73	175	161

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 6:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 6:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 7:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 8:50	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:00	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:10	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:20	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:30	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:40	9	32	27	25	41	73	176	159
2011/4/20 9:50	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:30	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:40	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 10:50	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:30	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:40	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 11:50	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:30	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:00	9	32	27	25	41	73	175	161

福島第一原子力発電所

2011/4/20
17:00現在



福島第二MP及びMS情報

単位：μSv／h　　単位m／s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 12:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	9.9	雨
2011/4/20 12:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	13.2	－
2011/4/20 12:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	11.1	－
2011/4/20 12:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.3	晴れ
2011/4/20 12:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.1	－
2011/4/20 12:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	6.8	－
2011/4/20 13:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.9	晴れ
2011/4/20 13:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.0	晴れ
2011/4/20 13:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.3	－
2011/4/20 13:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.9	－
2011/4/20 14:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	6.8	晴れ
2011/4/20 14:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 14:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.5	－
2011/4/20 14:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.6	雨
2011/4/20 14:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.8	－
2011/4/20 14:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.6	－
2011/4/20 15:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北東	6.0	晴れ

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	8.9	晴れ
2011/4/20 6:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	9.3	－
2011/4/20 6:20	2.5	1.9	2.6	2.2	2.1	2.1	－	北	9.5	－
2011/4/20 6:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	8.2	晴れ
2011/4/20 6:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	9.5	－
2011/4/20 6:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	8.2	－
2011/4/20 7:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	7.6	晴れ
2011/4/20 7:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	8.3	－
2011/4/20 7:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	9.8	－
2011/4/20 7:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	8.5	晴れ
2011/4/20 7:40	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北西	9.6	－
2011/4/20 7:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北	9.8	－
2011/4/20 8:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	9.0	晴れ
2011/4/20 8:10	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北	9.2	－
2011/4/20 8:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北西	7.6	－
2011/4/20 8:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	7.8	晴れ
2011/4/20 8:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.6	－
2011/4/20 8:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.3	－
2011/4/20 9:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	1.5	北	8.7	晴れ
2011/4/20 9:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	9.0	－
2011/4/20 9:20	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北	9.5	－
2011/4/20 9:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	8.1	晴れ
2011/4/20 9:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	7.3	－
2011/4/20 9:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.1	2.1	－	北	9.9	－
2011/4/20 10:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	9.0	晴れ
2011/4/20 10:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.0	－
2011/4/20 10:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.2	－
2011/4/20 10:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.9	晴れ
2011/4/20 10:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	10.5	－
2011/4/20 10:50	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北東	9.7	－
2011/4/20 11:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北東	10.1	晴れ
2011/4/20 11:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.0	－
2011/4/20 11:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	9.7	－
2011/4/20 11:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	9.3	晴れ
2011/4/20 11:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	10.7	－
2011/4/20 11:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	11.2	－
2011/4/20 12:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	9.9	雨
2011/4/20 12:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	13.2	－
2011/4/20 12:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	11.1	－
2011/4/20 12:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.3	晴れ
2011/4/20 12:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.1	－
2011/4/20 12:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	6.8	－
2011/4/20 13:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.9	晴れ

福島第二原子力発電所

2011/4/20
17:00現在

MP1:2.5μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.9μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

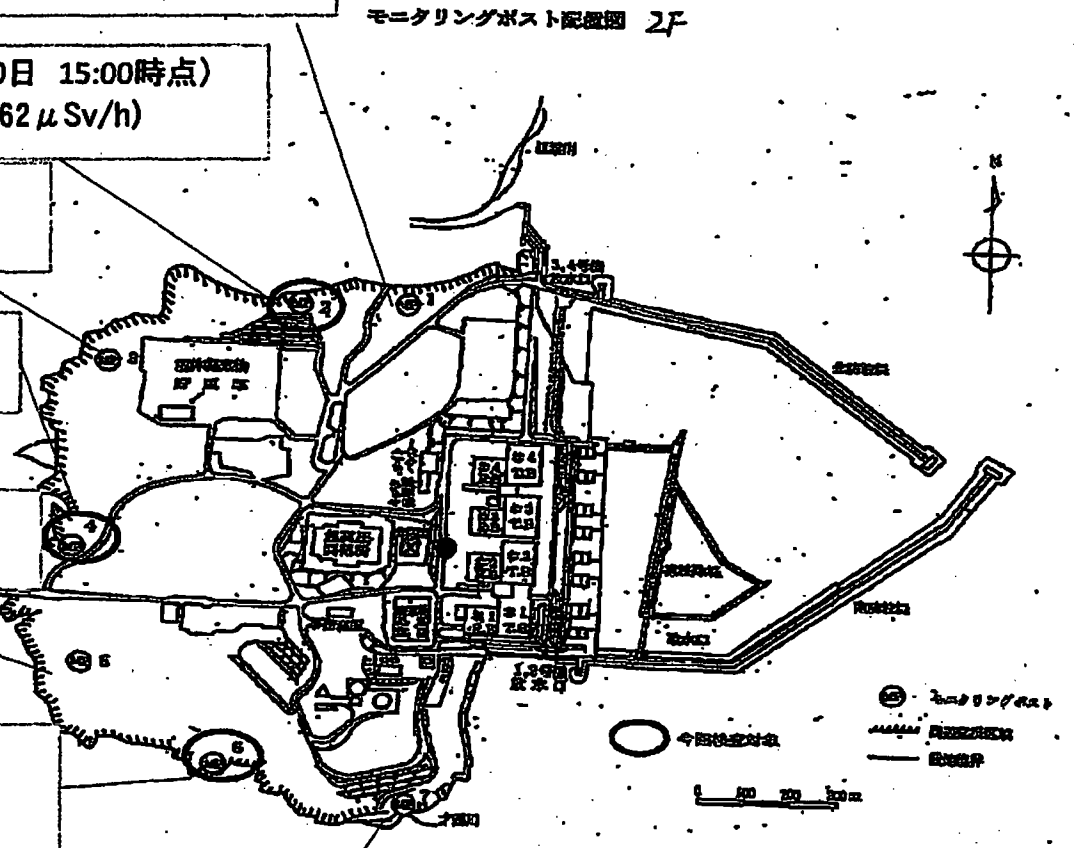
MP3:2.6μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.2μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.2μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.1μSv/h(20日　15:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.5μSv/h(20日　9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月19日 12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.29	0.30	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.28	0.28
0.012～0.080		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.020	0.018	0.019	0.019	0.018	0.018
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.082	0.083	0.082	0.072	0.068	0.067	0.066	0.067	0.066	0.071	0.073	0.076
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.341	0.342	0.341	0.338	0.339	0.339	0.341	0.342	0.336	0.336	0.334	0.336
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.085	0.077	0.074	0.073	0.073	0.074	0.081	0.080	0.078	0.075	0.073
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.033	0.036	0.034	0.033	0.032	0.033	0.033	0.035	0.033	0.034	0.034	0.033
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.034	0.032	0.032	0.033	0.033	0.030	0.032	0.031	0.029	0.029	0.030	0.031
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.076	0.083	0.076	0.073	0.073	0.071	0.074	0.078	0.075	0.076	0.073	0.075
0.045～0.047		高浜発電所	0.051	0.046	0.053	0.057	0.050	0.051	0.051	0.049	0.047	0.045	0.045	0.043
0.036～0.040		大飯発電所	0.047	0.039	0.042	0.041	0.040	0.042	0.045	0.043	0.043	0.042	0.039	0.038
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.015	0.015	0.013	0.013	0.013	0.014	0.014	0.013	0.014	0.013	0.015	0.014
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.027
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.040	0.037	0.037	0.037	0.039	0.037	0.036	0.037	0.037	0.036	0.038	0.039
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016	0.019	0.018	0.019	0.020	0.017	0.017	0.017
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.025	0.024	0.025	0.025	0.023	0.023	0.022

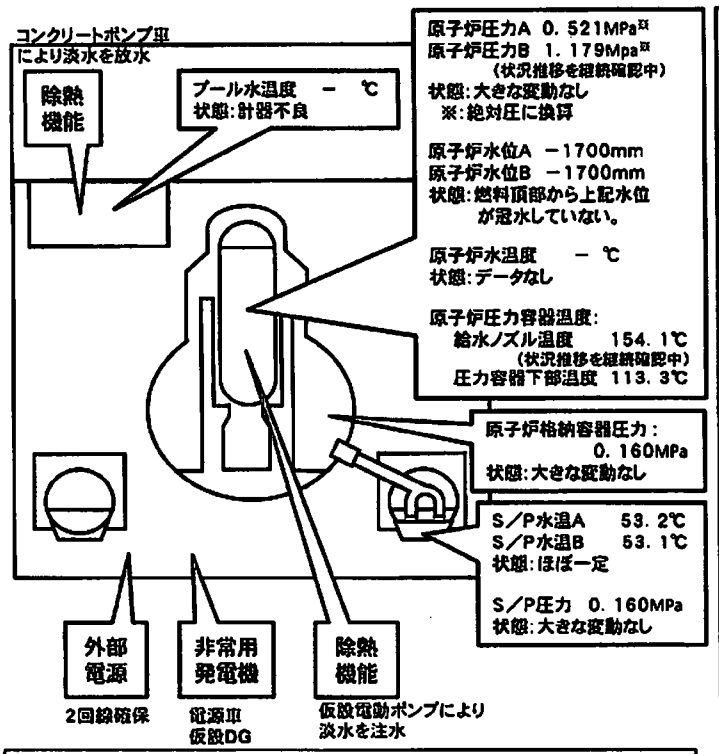
注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日 0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.080		東通原子力発電所	0.018	0.018	0.018	0.019	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.074	0.076	0.081	0.082	0.077	0.070	0.070	0.070	0.067	0.064		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.335	0.338	0.336	0.338	0.337	0.339	0.337	0.339	0.338	0.342		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.075	0.073	0.075	0.076	0.072	0.071	0.073	0.072	0.071		
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.033	0.033	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.032		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029	0.030	0.030	0.027		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.076	0.073	0.076	0.075	0.074	0.072	0.071	0.072	0.072		
0.045～0.047		高浜発電所	0.043	0.045	0.044	0.044	0.045	0.044	0.043	0.044	0.044	0.043		
0.036～0.040		大飯発電所	0.039	0.042	0.038	0.038	0.039	0.037	0.035	0.035	0.034	0.035		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.025	0.026	0.025		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.036	0.038	0.038	0.037	0.038	0.038	0.038	0.037	0.037	0.037		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.024	0.024	0.023	0.023	0.023	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月20日（水） 9時ま

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月20日　13:00現在）

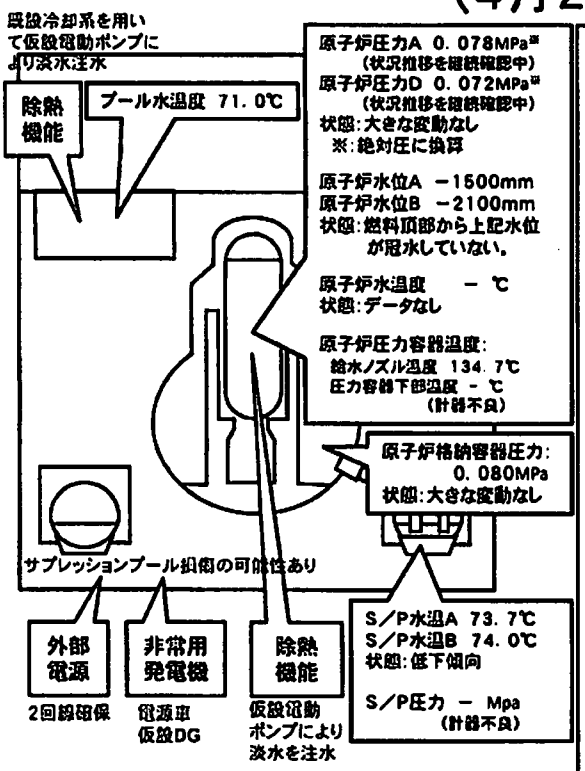


現状:プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報(全交流電源喪失)
3/11　16:36　15条事象の発生(非常用炉心冷却装置注水不能)
3/12　01:20　15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇)
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量
（2m³/h → 18m³/h)。9:00に給水系のみに切替(18m³/h → 11m³/h)
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク(CST)からサプレッションプール水サージタンク(SPT)へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水(淡水)
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生(福島県浜通り)により外部電源が喪失するとともに
炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月20日　13:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

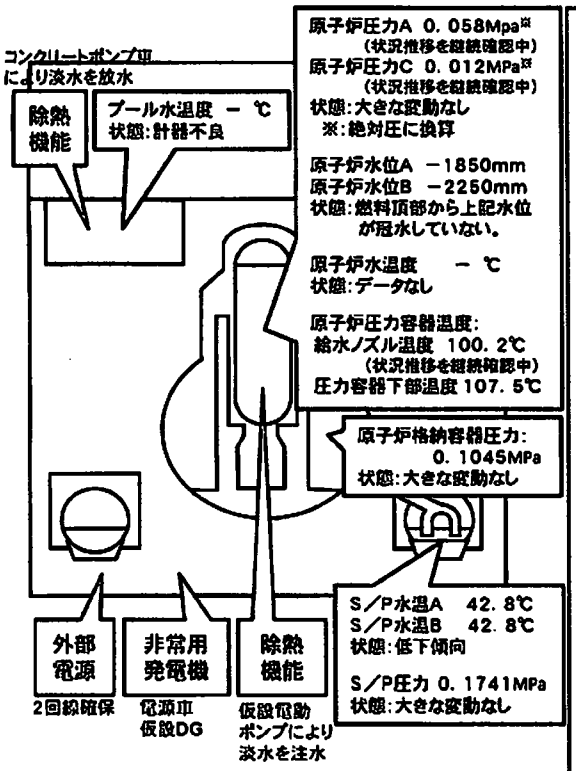
主要な出来事1/2

3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
3/11 15:42 10条通報（全交流電源喪失）
3/11 16:36 15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13 11:00 ベント開始
3/14 13:25 15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14 16:34 海水の炉心注水開始
3/14 22:50 15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15 00:02 ベント開始
3/15 06:10 爆発音発生
3/15 06:20頃 サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20 15:05～17:20 使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20 15:46 パワーセンター受電
3/21 18:22 白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22 16:07 SFPに海水を注水
3/25 10:30～12:19 FPCからSFPに海水を注水
3/26 10:10 淡水の炉心注水開始
3/26 16:46 中央制御室の照明復帰
3/27 18:31 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29 16:30～18:25 仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29 16:45～4/1 11:50 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30 09:25～23:50 SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1 14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2 09:30頃 取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2 17:10 復水器からCSTへ移送開始
4/3 12:12 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3 13:47～14:30 ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、凝固処理した新聞紙3袋を投入
4/4 07:08～07:11 トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4 11:05～13:37 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5 14:15 トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6 05:38頃 ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7 13:29～14:34 FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9 13:10 復水器からCSTへの移送完了
4/10 10:37～12:38 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11 17:16頃 地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11 17:56 外部電源復旧
4/11 18:04 炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12 19:35～4/13 17:04 タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13 11:00 溢えい確認等のため一時停止
4/13 13:15～14:55 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16 10:13～11:54 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により淡水を確認。）
4/16 11:19頃 地震発生（茨城県南部）
4/18 13:42～ 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18 12:13～12:37 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18 9:30～17:40 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 8:00～15:30 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 10:08 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19 16:08～17:28 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月20日　13:00現在）



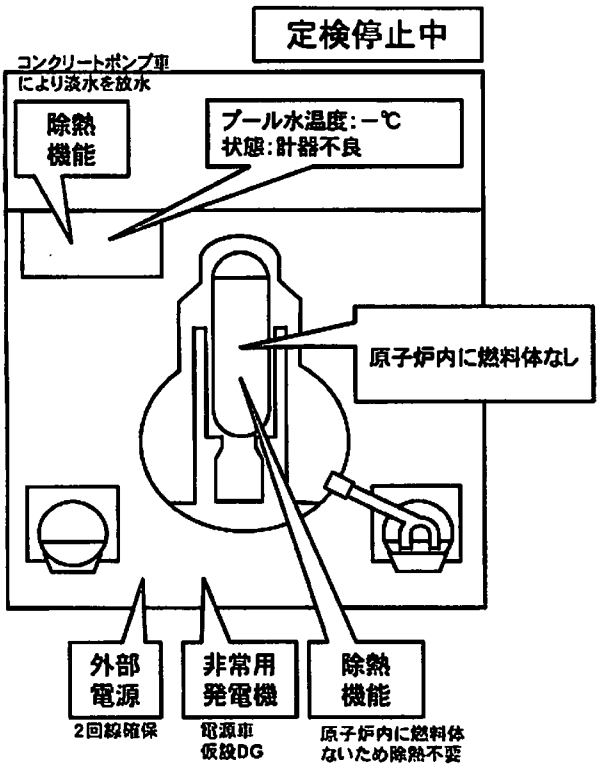
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による放水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月20日　13:00現在）



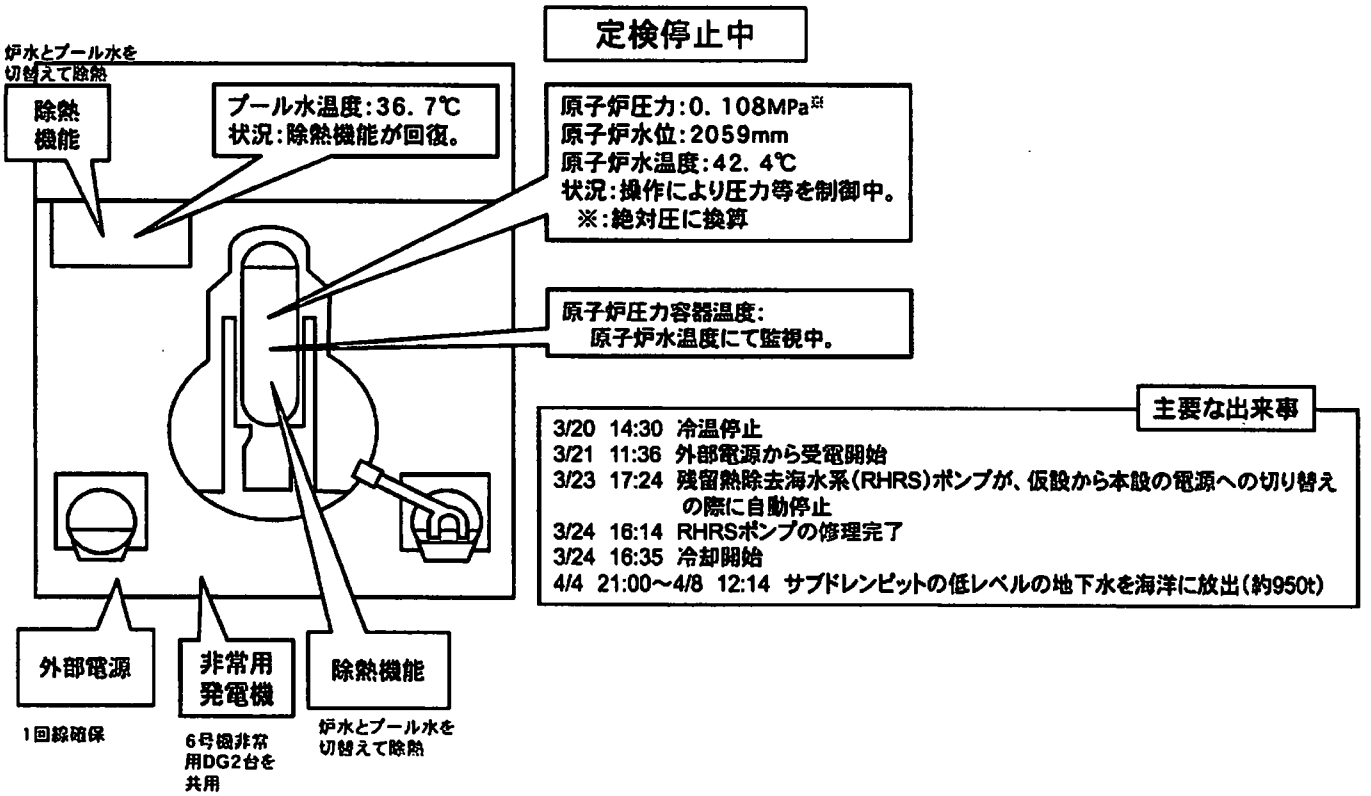
現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

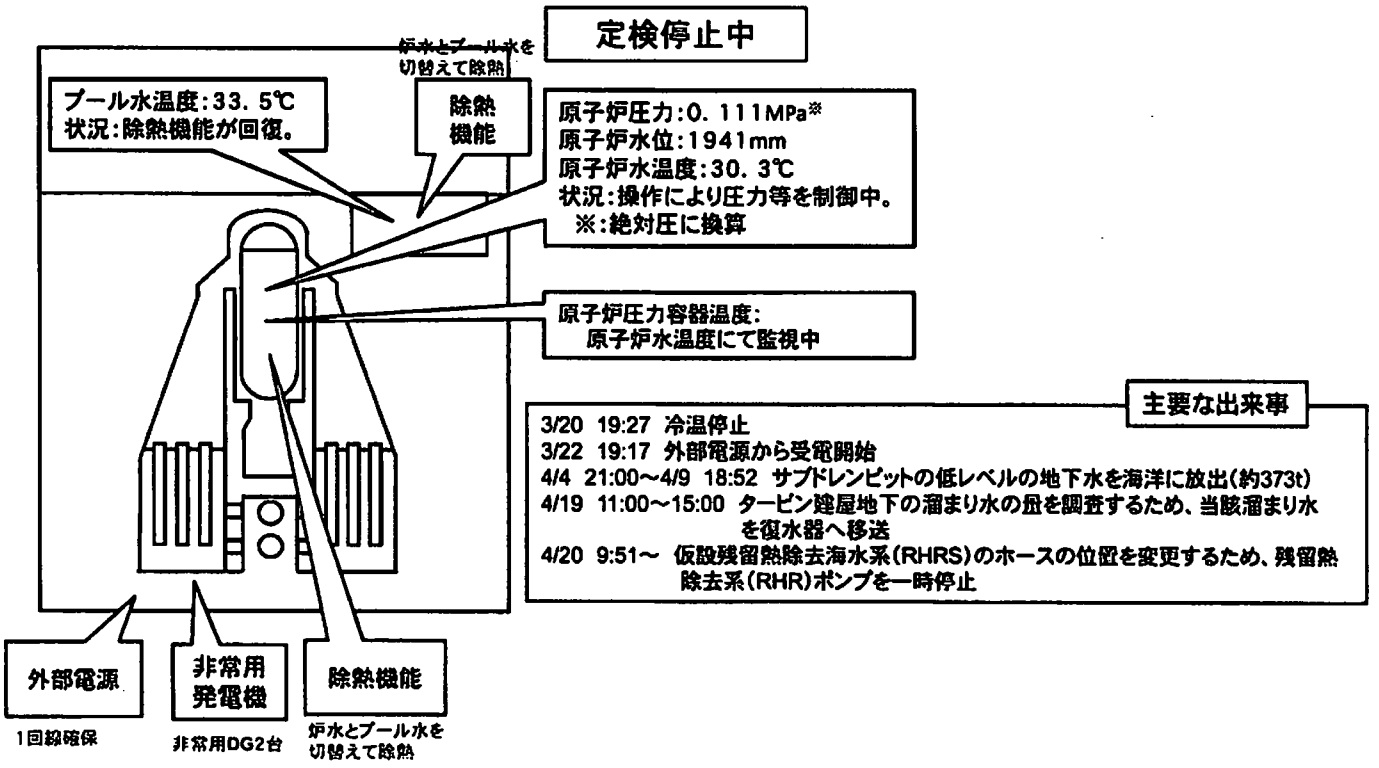
地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　05:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17 17:39～21:22、4/19　10:17～11:35

福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月20日　13:00現在）



福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月20日　13:00現在）



福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月20日　13:00現在

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の事象運転の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1700mm 燃料域B：−1700mm （4/20 12:00現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2100mm （4/20 12:00現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/20 12:00現在）		停止域 2059mm （4/20 13:00現在）	停止域 194.1mm （4/20 13:00現在）
原子炉圧力	A系 0.420MPa g（A） B系 1.078MPa g（B）※3 （4/20 12:00現在）	A系−0.023MPa g（A）※3 B系−0.029MPa g（D）※3 （4/20 12:00現在）	A系−0.043MPa g（A）※3 B系−0.089MPa g（C）※3 （4/20 12:00現在）		0.007MPa g （4/20 13:00現在）	0.010MPa g （4/20 13:00現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				42.4℃ （4/20 13:00現在）	30.3℃ （4/20 13:00現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：154.1℃ ※3 圧力容器下部温度：113.3℃ （4/20 12:00現在）	給水ノズル温度：134.7℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/20 12:00現在）	給水ノズル温度：100.2℃ ※3 圧力容器下部温度：107.5℃ （4/20 12:00現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C圧力	D/W 0.160MPa abs S/C 0.160MPa abs （4/20 12:00現在）	D/W 0.080MPa abs S/C ※1 （4/20 12:00現在）	D/W 0.1045MPa abs S/C 0.1741MPa abs （4/20 12:00現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W雰囲気温度	RPVベローシール：117.2℃ HVH戻り：96.2℃ （4/20 12:00現在）	RPVベローシール：※1 HVH戻り：123℃ （4/20 12:00現在）	RPVベローシール：210.7℃※3 HVH戻り：71.5℃ （4/20 12:00現在）			
CAMS放射線モニタ	D/W（A）※1 （B）※1 S/C（A）9.91×10^{-1}Sv/h ※3 （B）2.05×10^{0}Sv/h ※3 （4/20 12:00現在）	D/W（A）2.49×10^{1}Sv/h （B）2.83×10^{1}Sv/h S/C（A）5.51×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.03×10^{0}Sv/h ※3 （4/20 12:00現在）	D/W（A）1.55×10^{1}Sv/h （B）1.16×10^{1}Sv/h S/C（A）5.85×10^{-1}Sv/h ※3 （B）5.41×10^{-1}Sv/h ※3 （4/20 12:00現在）			
S/C温度	A系：53.2℃ B系：53.1℃ （4/20 12:00現在）	A系：73.7℃ B系：74.0℃ （4/20 12:00現在）	A系：42.8℃ B系：42.8℃ （4/20 12:00現在）			
D/W設計使用圧力	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	−	−	
D/W最高使用圧力	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）			
使用済燃料プール温度	※1	71.0℃ （4/20 12:00現在）	※1	※1	36.7℃ （4/20 13:00現在）	33.5℃ （4/20 13:00現在）
FPCスキマーサージタンクレベル	4500mm （4/20 12:00現在）	5000mm （4/20 12:00現在）	※1	4200mm （4/20 12:00現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：30℃程度 （4/20 8:00）	5u：非常モード （4/20 9:41〜）	6u：点検作業に伴いSHC停止中

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続監視中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２０日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０４報）
（４月２０日１５時３０分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・２号機の使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^{3} を検出（4 月 17 日）

・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51～）

２．産業保安関係

別紙参照

＜飲食物への指示＞

出荷制限・摂取制限品目を更新（4 月 20 日 15:30 時点）

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 20 日 13:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.521(A) 1.179(B)	0.078(A) 0.072(D)	0.058(A) 0.012(C)	－	0.108	0.111
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	80	104.5	－	－	－
原子炉水位*2 [mm]	-1700(A) -1700(B)	-1500(A) -2100(B)	-1850(A) -2250(B)	－	2059	1941
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.2(A) 53.1(B)	73.7(A) 74.0(B)	42.8(A) 42.8(B)	－	－	－
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	174.1	－	－	－
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	71.0	計器不良	計器不良	36.7	33.5
備　考	4/20 12:00 現在の値	4/20 12:00 現在の値	4/20 12:00 現在の値	4/20 現在	4/20 13:00 現在の値	4/20 13:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3月14日1:10）
・１号機で爆発音（3月12日15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3月23日2:33）。その後、給水系のみに切替（約11m^3/h）（3月23日9:00）
・中央制御室の照明復帰（3月24日11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3月25日15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として^{131}I（ヨウ素）が2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月29日8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3月24日17時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3月29日7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3月31日12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3月31日15:25）、移送を再開し、終了した（4月2日15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m級）が約90t放水（淡水）（3月31日13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m級）による放水位置の確認のため、試験放水（4月2日17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4月3日10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4月3日12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4月3日13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4月6日22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4月7日1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4月9日4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4月10日09:30）
・地震発生（4月11日17:16頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4月11日17:16頃）
・外部電源復旧（4月11日17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4月11日18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4月11日23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4月17日16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月20日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月20日15:30現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象(原子炉冷却機能喪失)である旨、受信(3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始(3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下１階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 20 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 20 日 15:30 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・引き続き白煙の吐出確認（4月20日6:30現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月20日15:30現在）

＜4号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3月14日4:08時点84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3月15日6:14）
・火災発生（3月15日9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3月15日11:00頃）
・火災が発生（3月16日5:45頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3月16日6:15頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日18:30頃～19:46）
・自衛隊消防車13台が使用済燃料プールに放水（3月21日6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3月21日15:00頃）
・パワーセンター受電（3月22日10:35）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月22日17:17～20:32)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約130t放水(3月23日10:00～13:02)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月24日14:36～17:30)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月25日19:05～22:07)
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約125t放水（3月27日16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3月29日11:50）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約140t放水（3月30日14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月1日8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・4月2日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を4号機のタービン建屋内に移送していたところ、4月3日より3号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断(4月4日9:22)
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月3日17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約20t放水（4月5日17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約38t放水（4月7日18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m級）が淡水約90t放水（4月9日17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4月12日12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4月13日）。その結果、^{131}I

（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 20 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^{3}）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51～）

＜使用済燃料共用プール＞

・3 月 18 日 6:00 過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3 月 21 日 10:37～15:30）
・電源供給を開始（3 月 24 日 15:37）し、冷却を開始（3 月 24 日 18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4 月 17 日 14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4 月 17 日 17:30）
・4 月 20 日 8:00 時点でのプール水温度は 30℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 1850.5 倍）検出された（3 月 26 日 14:30）
（3 月 29 日に計測した結果、水中濃度限度の 3,355.0 倍となった。（3 月 29 日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同 1,262.5 倍）検出された。（3 月 29 日 14:10））
・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3 月 21 日及び 3 月 22 日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3 月 28 日 23:45 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3 月 31 日）。測定値については１日１回の予定。
・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3 月 25 日（４地点）及び 3 月 28 日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 6 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3 月 28 日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の 4385.0 倍）検出された。（3 月 30 日 13:55）
・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3 月 31 日及び 4 月 4 日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から ^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 14 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）
・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞
・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）
・共用プール山側の約 1900m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）

・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25）
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^{3}、非管理区域で総量 2.2×10^{1}Bq/cm^{3} の放射能を検出
・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42）。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58）。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40）

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4月2日9:10）
・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3日09:52～11:15）
・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4月4日19:03）し、更に全10台のポンプによる放出を実施（4月4日19:07）し、4月10日17時40分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約9,070t）
・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4月6日17:20～4月7日18:20）
・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4月7日）
・4月7日11:32に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4月8日14:30）
・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月10日15:59～16:28）
・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4月12日6:38頃）。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日7:00前）。その後、鎮火確認（同日9:12）
・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月14日10:17～12:25）
・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月15日8:02～9:55）
・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4月15日10:19～17:00）
・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4月18日）。
・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4月19日10:23）

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）
（１）運転状況
１号機（110万kW）（自動停止、3月14日17:00冷温停止）
２号機（110万kW）（自動停止、3月14日18:00冷温停止）
３号機（110万kW）（自動停止、3月12日12:15冷温停止）
４号機（110万kW）（自動停止、3月15日7:15冷温停止）
（２）モニタリングポスト等の指示値
別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 20 日 12:00 現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.14	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.4	24.2	32.7	28.5
原子炉水位*2	mm	9346	10296	7792	8785
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	111	106
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52 万 4 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 0:58 冷温停止）

２号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 1:17 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約0.29μSv/h（4月19日16:00）（約0.30μSv/h（4月18日16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下１階の発煙は消火確認（3月11日22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月13日13:09）

２　産業保安

○電気（4月19日19:00）

・東北電力（4月19日16:00現在）

停電戸数：約15万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万３千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月18日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万５千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸

③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸

④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月19日9:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機

常陸那珂火力発電所　１号機

鹿島火力発電所　６号機

・東北電力（4月19日16:00現在）

仙台火力発電所　４号機

新仙台火力発電所　１，２号機

原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月20日10:00現在）

・供給停止戸数約５千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）

※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。

（１）一般ガス（4月20日10:00現在）

死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。

・盛岡ガス（盛岡市）死者1名、負傷者10名
　3月14日8:00　デパートの地下での爆発

・東部ガス（いわき市）死者1名
　3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。

・石巻ガス（石巻市）4,188戸供給停止

（２）簡易ガス（4月20日10:00現在）

各社の供給停止状況は以下の通り。

・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）370戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）145戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68戸供給停止

○熱供給（4月20日10:00現在）

・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4月14日21:00現在）

死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中

・福島県いわき市　死者１名
　3月13日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4月14日21:00現在）

・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
　ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3月21日午前鎮火。
・JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
　出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3月15日午後鎮火。
・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3 月 11 日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は 1,864 人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3 月 12 日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20 通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域
・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域
・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。
当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3 月 22 日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3 月 22 日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3 月 25 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月24日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3月28日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3月29日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3月30日】

各電気事業者等に対し、平成23年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向

けた、ニュースレター第３号を公表（4 月 7 日）

【4 月 9 日】

原子力安全・保安院は、4 月 7 日 23 時 32 分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4 月 10 日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4 月 13 日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成 23 年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4 月 7 日 23:32 頃発生した 2011 年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4 月 14 日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4 月 15 日】

・東京電力（株）において 4 月 1 日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。
・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の

喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

＜被ばくの可能性（4月20日15:30現在）＞

1．住民の被ばく

（1）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（2）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（3）バスにより避難した双葉町の住民約100名について、100名のうち、9名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	1名
30,000～36,000cpm	1名
40,000cpm	1名
40,000cpm弱※	1名
ごく小さい値	5名

※（1回目の測定では100,000cpmを超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（4）3月12日から3月15日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに162名が検査済み。初め除染の基準値を6,000cpmとし、110名が6,000cpm未満、41名が6,000cpm以上の値を示した。後に基準値を13,000cpmと引き上げた際には、8名が13,000cpm未満、3名が13,000cpm以上の値を示した。

検査を受けた162名のうち、5名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（5）福島県において、避難した10km圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3名について除染後も高い数値が検出されたため、第2次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員60名のスクリーニングで3名について、バックグランドの2倍以上程度の放射線が検出されたため、60名に対し除染を行った。

（6）福島県は3月13日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等11ヶ所

（常設）で実施中。4月18日までに161,181人に対し実施。そのうち、100,000cpm以上の値を示した者は102人であったが、100,000cpm以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

2．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で100mSvを超過した作業員は、計29名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3月24日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3月25日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Svと推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3月28日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は4月11日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

3．その他

（1）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（2）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（3）3月24日、川俣町保健センター等において、１～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（4）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（5）3月28日～3月30日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15歳までの946名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（1）3月20日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、

双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより40ベクレル/c㎡または6,000cpm

新：1マイクロシーベルト／時（10cm離れた場所での線量率）またはこれに相当する100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（1）3月16日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（2）3月21日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4月20日15:30現在）＞

1．3月11日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）

・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）

・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）

・協力会社１名（両足骨折で入院中）

・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3月30日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4月2日までに死亡が確認された。）

2．3月12日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

3．3月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）

・協力会社３名（既に仕事復帰）

・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「（独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

4．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名

（クレーンオペレータ）が死亡。（タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。）

・3 月 11 日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）

・3 月 12 日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）

・3 月 12 日に管理区域外にて社員 1 名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。）

・3 月 12 日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）

・3 月 13 日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）

・3 月 22 日、23 日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）

・4 月 7 日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4 月 8 日、「脱水、一過性意識消失」と診断。

・4 月 9 日午前 9 時 19 分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員 1 名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。

・4 月 10 日午前 11 時 10 分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員 1 名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後 2 時 27 分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4 月 20 日 15:30 現在）＞

3 月 15 日 11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。

・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。

・3 月 28 日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

- 出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
- 暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
- 出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
- だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 20 日 15:30 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国

見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 20 日 15:30 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、小山田
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 20, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 103rd Release)
(As of 08:00 April 20th, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS
     - Fresh water injection (Around 47t) to the Spent Fuel Pool via the Spent Fuel Pool Cooling Line of Unit 2 was carried out. (From 16:08 till 17:28 April 19th)
     - Injection of around 17,000L on April 18th and around 7,000L on April 19th of the coagulant (soluble glass) to the Power Cable Trench of Unit 2 was carried out.
     - The stagnant water in the basement floor of the turbine building of Unit 6 (Around 100 m^3) was transferred to the Condenser. (From 11:00 till 15:00 April 19th)
     - Removal of rubble (Amounts equivalent to 3 containers) using remote-control heavy machineries was carried out. (From 9:00 till 15:00 April 19th)

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Thursday, April 21, 2011 1:00 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6) Jih, Rongsong; (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: Summary_of_reactor_unit_status_at_21-April_0200UTC.pdf

C9/23

21 APRIL 2011 02:00 UTC

IAEA

International Atomic Energy Agency

Incident and Emergency Centre

FOR AUTHORITIES' USE ONLY

(b)(4)

This page represents 28 pages contained in the International Atomic Energy Agency (IAEA) Incident and Emergency Centre Report being withheld under Ex.4

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Friday, April 22, 2011 6:00 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T (b)(6) Jih, Rongsong (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: METI_NISA_105_(Jap)_monitoring_results.pdf; METI_NISA_105_(Jap)_plant_status.pdf; Swedish_environmental_monitoring_results.pdf; Summary_of_reactor_unit_status_at_21-April_1700UTC.pdf; Air_contamination_Belgium_(Update_2011-04-21)(1).xls; IAEA_2011_3_2.html; Sri_Lanka_Monotoring_data_1.pdf; Iceland_monitoring_data_20_April.pdf

cG/24

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
	** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*										
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/22/2011	4 h 05	23/03/2011	8 h 20	< 0.12	< 0.11	< 0.12	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.43	< 0.45	< 0.50	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.44	< 0.49	< 0.56	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.44	< 0.44	< 0.51	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.49	< 0.52	< 0.54	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/23/2011	8 h 20	24/03/2011	8 h 00	0.09 ± 0.03	< 0.13	< 0.12	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	0.61 ± 0.40	< 0.48	< 0.52	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	< 0.50	NM	< 0.50	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/23/2011	23 h 00	3/24/2011	23 h 00	< 0.51	< 0.49	< 0.55	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	< 0.39	< 0.39	< 0.47	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/22/2011	9 h 00	25/03/2011	9 h 00	0.02 ± 0.02	< 0.02	< 0.03	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/23/2011	14 h 45	25/03/2011	3 h 05	< 0.16	< 0.13	< 0.17	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/24/2011	8 h 00	25/03/2011	7 h 10	0.07 ± 0.03	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.66	< 0.50	< 0.55	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.70	< 0.34	< 0.38	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.57	< 0.47	< 0.54	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	0.59 ± 0.28	< 0.37	< 0.38	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.06 ± 0.04	< 0.10	< 0.11	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.11 ± 0.03	< 0.06	< 0.06	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.08 ± 0.04	< 0.07	< 0.08	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.11 ± 0.04	< 0.05	< 0.05	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/25/2011	8 h 00	28/03/2011	7 h 00	0.33 ± 0.05	< 0.12	< 0.13	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/25/2011	3 h 05	28/03/2011	16 h 48	0.14 ± 0.02	< 0.03	< 0.03	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	1.33 ± 1.11	< 1.86	< 2.07	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	1.30 ± 0.70	< 1.35	< 1.35	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	2.46 ± 0.95	< 1.07	< 1.17	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/25/2011	9 h 00	29/03/2011	8 h 00	0.05 ± 0.02	< 0.05	< 0.05	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	1.71 ± 0.86	< 1.38	< 1.53	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	1.77 ± 0.91	< 1.05	< 1.08	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	0.91 ± 0.23	< 0.18	< 0.21	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	< 2.22	< 1.80	< 2.24	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	0.94 ± 0.18	< 0.22	< 0.26	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.38 ± 0.25	< 0.14	< 0.17	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.31 ± 0.18	< 0.17	< 0.21	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.05 ± 0.75	< 1.76	< 1.93	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.58 ± 0.83	< 1.11	< 1.21	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	< 1.63	< 1.39	< 1.51	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/28/2011	7 h 00	31/03/2011	7 h 10	0.86 ± 0.08	0.06 ± 0.02	< 0.09	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.75	< 1.27	< 1.51	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.89	< 1.47	< 1.63	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
* all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%											
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.98	< 1.38	< 1.54	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.32	< 0.98	< 0.77	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/28/2011	16 h 48	31/03/2011	16 h 28	0.53 ± 0.07	< 0.08	< 0.09	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 2.20	< 1.93	< 2.15	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.35	< 0.99	< 1.22	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.66	< 1.42	< 1.39	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.12	< 0.88	< 0.99	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 2.16	< 1.83	< 2.13	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.32	< 1.02	< 1.18	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.59	< 1.52	< 1.47	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.10	< 0.95	< 1.04	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/29/2011	8 h 00	02/04/2011	8 h 00	0.27 ± 0.03	< 0.02	0.02 ± 0.01	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.41 ± 0.10	< 0.17	< 0.18	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.26 ± 0.07	< 0.12	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.35 ± 0.11	< 0.10	0.05 ± 0.00	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.31 ± 0.09	< 0.10	< 0.11	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/31/2011	16 h 28	03/04/2011	16 h 53	0.47 ± 0.07	< 0.14	< 0.14	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/31/2011	7 h 10	04/04/2011	7 h 10	0.35 ± 0.03	< 0.03	< 0.04	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/2/2011	8 h 00	06/04/2011	8 h 00	0.27 ± 0.02	0.03 ± 0.01	0.03 ± 0.01	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	1.11 ± 0.19	< 0.23	< 0.25	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.98 ± 0.22	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.87 ± 0.15	< 0.17	< 0.13	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.96 ± 0.19	< 0.12	0.07 ± 0.06	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/4/2011	7 h 10	07/04/2011	7 h 15	0.93 ± 0.08	0.04 ± 0.02	< 0.08	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/4/2011	13 h 30	07/04/2011	12 h 45	0.48 ± 0.06	0.04 ± 0.02	< 0.07	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.35 ± 0.09	< 0.18	< 0.20	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.22 ± 0.08	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.26 ± 0.10	< 0.12	0.06 ± 0.03	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.30 ± 0.09	< 0.10	< 0.13	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/6/2011	8 h 00	10/04/2011	8 h 00	0.17 ± 0.02	0.04 ± 0.00	0.04 ± 0.01	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/7/2011	12 h 45	10/04/2011	15 h 36	0.20 ± 0.03	0.03 ± 0.01	0.04 ± 0.02	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/7/2011	7 h 15	11/04/2011	7 h 00	0.23 ± 0.03	0.05 ± 0.01	< 0.06	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/10/2011	8 h 00	13/04/2011	8 h 00	0.07 ± 0.02	< 0.04	< 0.05	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	< 0.20	< 0.22	< 0.24	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.12 ± 0.10	< 0.18	< 0.20	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.17 ± 0.07	< 0.14	< 0.16	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.09 ± 0.07	< 0.13	< 0.15	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/11/2011	7 h 00	14/04/2011	7 h 05	0.12 ± 0.04	< 0.13	< 0.13	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/10/2011	15 h 36	4/14/2011	12 h 30	0.07 ± 0.03	< 0.06	< 0.07	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/13/2011	8 h 00	4/17/2011	8 h 00	0.04 ± 0.01	0.01 ± 0.00	< 0.02	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
* all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%											
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.09 ± 0.06	< 0.14	< 0.15	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.12 ± 0.07	< 0.11	< 0.12	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.10 ± 0.08	< 0.13	< 0.16	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.08 ± 0.05	< 0.10	< 0.12	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/14/2011	7 h 00	4/18/2011	7 h 05	0.11 ± 0.02	0.02 ± 0.01	0.02 ± 0.01	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Meldert	Charcoal filter	50.991690	5.179170	3/30/2011	6 h 55	30/03/2011	13 h 30	2.99 ± 0.36	< 0.80	< 0.90	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	3/30/2011	6 h 25	30/03/2011	13 h 22	3.30 ± 0.50	< 1.20	< 1.20	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/4/2011	7 h 20	04/04/2011	13 h 40	1.11 ± 0.19	< 0.60	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/5/2011	7 h 00	05/04/2011	13 h 20	4.60 ± 0.35	< 0.60	< 0.70	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/6/2011	7 h 15	06/04/2011	13 h 40	2.49 ± 0.29	< 0.60	0.23 ± 0.21	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/7/2011	6 h 40	07/04/2011	13 h 00	2.87 ± 0.37	< 0.90	< 0.90	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/8/2011	6 h 30	08/04/2011	13 h 15	0.96 ± 0.18	< 0.60	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/11/2011	7 h 00	11/04/2011	13 h 40	0.99 ± 0.19	< 0.70	< 0.70	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/13/2011	6 h 10	13/04/2011	13 h 10	0.48 ± 0.15	< 0.50	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/14/2011	6 h 20	14/04/2011	12 h 40	0.55 ± 0.16	< 0.70	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/15/2011	6 h 15	4/15/2011	12 h 30	0.52 ± 0.15	< 0.70	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/18/2011	6 h 30	4/18/2011	12 h 50	< 0.60	< 0.60	< 0.60	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Ampsin	Total deposit	50.515835	5.265395	2/28/2011		3/25/2011		< 1.44	< 1.38	< 1.53	Bq/m²
Lixhe	Total deposit	50.750321	5.686856	2/28/2011		3/25/2011		< 1.40	< 1.42	< 1.52	Bq/m²
Herr-Agimont	Total deposit	50.171150	4.825841	2/28/2011		3/25/2011		< 1.52	< 1.16	< 1.27	Bq/m²
Brussels	Total deposit	50.824170	4.382071	3/1/2011		3/25/2011		< 1.48	< 1.38	< 1.48	Bq/m²
Mol	Total deposit	51.218635	5.091801	3/21/2011	9 h 00	3/25/2011	7 h 00	< 4.00	< 3.50	< 3.80	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/21/2011		3/25/2011	7 h 00	< 1.39	< 1.46	< 1.49	Bq/m²
Doel	Total deposit	51.329185	4.237890	3/22/2011	12 h 45	3/25/2011	8 h 45	< 3.50	< 3.10	< 3.20	Bq/m²
Mol	Total deposit	51.218635	5.091801	3/25/2011	7 h 00	31/03/2011	13 h 45	9.50 ± 1.20	< 1.80	< 1.80	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/25/2011	7 h 00	31/03/2011	15 h 00	11.20 ± 1.33	< 1.10	< 1.18	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/31/2011	15 h 00	04/04/2011	6 h 30	12.40 ± 3.28	< 5.56	< 5.49	Bq/m²
Lixhe	Total deposit	50.750321	5.686856	3/25/2011		06/04/2011		10.70 ± 1.19	< 0.92	< 0.62	Bq/m²

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Namur	Deposit on grass	50.498262	4.878558			3/25/2011	6 h 30	< 0.25	< 0.20	< 0.22	Bq/m²
Ciney	Deposit on grass	50.234155	5.110071			3/25/2011	6 h 30	< 0.22	< 0.19	< 0.20	Bq/m²
Postel	Deposit on grass	51.247570	5.190220			30/03/2011	12 h 00	0.33 ± 0.12	< 0.50	< 0.50	Bq/m²
Westerlo	Deposit on grass	51.083333	4.917278			04/04/2011	6 h 00	1.08 ± 0.21	< 0.50	< 0.50	Bq/m²
Geel	Deposit on grass	51.164500	5.029472			04/04/2011	6 h 00	1.30 ± 0.18	< 0.38	0.33 ± 0.17	Bq/m²
Mol-Archterbos	Deposit on grass	51.202222	5.100333			04/04/2011	6 h 00	0.78 ± 0.12	< 0.35	< 0.38	Bq/m²
Doel	Deposit on grass	51.326833	4.241083			05/04/2011	6 h 00	1.15 ± 0.16	< 0.40	< 0.40	Bq/m²
Dessel-Europalaan	Deposit on grass	51.224917	5.075222			07/04/2011	6 h 00	0.38 ± 0.09	< 0.32	< 0.33	Bq/m²
Dessel-retieseweg	Deposit on grass	51.228528	5.060583			08/04/2011	6 h 00	0.83 ± 0.14	< 0.33	< 0.38	Bq/m²
Dessel-Boeretang	Deposit on grass	51.234417	5.065806			11/04/2011	6 h 00	0.50 ± 0.11	< 0.40	< 0.40	Bq/m²
Vrassene (vliegstal)	Deposit on grass	51.239417	4.198833			12/04/2011	6 h 00	0.39 ± 0.10	< 0.36	< 0.37	Bq/m²
Mol-Turnhoutsebaan	Deposit on grass	51.210472	5.116472			14/04/2011	6 h 00	0.25 ± 0.07	< 0.32	0.70 ± 0.15	Bq/m²
Mol-Kleine Boeretang	Deposit on grass	51.217222	5.090500			4/15/2011	6 h 00	0.66 ± 0.16	< 0.70	< 0.70	Bq/m²
Dessel-Retiebaan Sas 7	Deposit on grass	51.212833	5.040778			4/18/2011	6 h 00	< 0.30	< 0.33	< 0.32	Bq/m²

MESSAGE No. **2**

To: **IAEA(ERC)**

EMERCON ADVISORY

FORM Type:	**Measurements and Protective Actions (MPA)**
IAEA message number:	**IAEA/2011/3/2**
Message Status:	**Verified by IAEA**
Cover note:	**FANC provided monitoring data in Belgium. The attached excel file is available also on ENAC as a document in the Published documents on this event.**
Changed by IAEA:	**No**
Changes by IAEA:	**none**
Fax distribution list:	**none**
Name of duty manager:	**F. Baciu**

1. Reporting STATE: **Belgium**

2. Competent Authority: **Federal Agency for Nuclear Control (FANC)**
   Tel: **+3222892068**
   Fax: **+3222892152**
   Email: (b)(6)
   URL:
   Contact person (official position): (b)(6)

3. Principal actual (not predicted) off-site measurements:

Type of measurement (dose rate, air, surface, or other)	*Isotope (if known)*	*Measured Value and Unit (SI)*	*Date and Time of Measurement (UTC)*	*Location (either co-ordinate system or distance from facility and direction): Latitude (deg.dec) and Longitude (deg.dec)*	*Distance (km) and Direction (deg)*

4. Off-site protective actions:

Protective action	*Status*	*Distance (km)*	*Remarks*
Stable iodine			
Sheltering			
Evacuation			
Food restrictions / advisories			
Traffic restrictions (road, water, air, rail)			
Other actions (travel advice, trade issues, embassies, etc.)			

5. Information VALID at (UTC): **2011-04-21 06:56**

6. Further information in attachment: **Yes**
   Further information web: **http://www.fanc.fgov.be**
   Final message: **No**

GEISLAVARNIR RÍKISINS
ICELANDIC RADIATION SAFETY AUTHORITY

Reykjavík, April 20th 2011

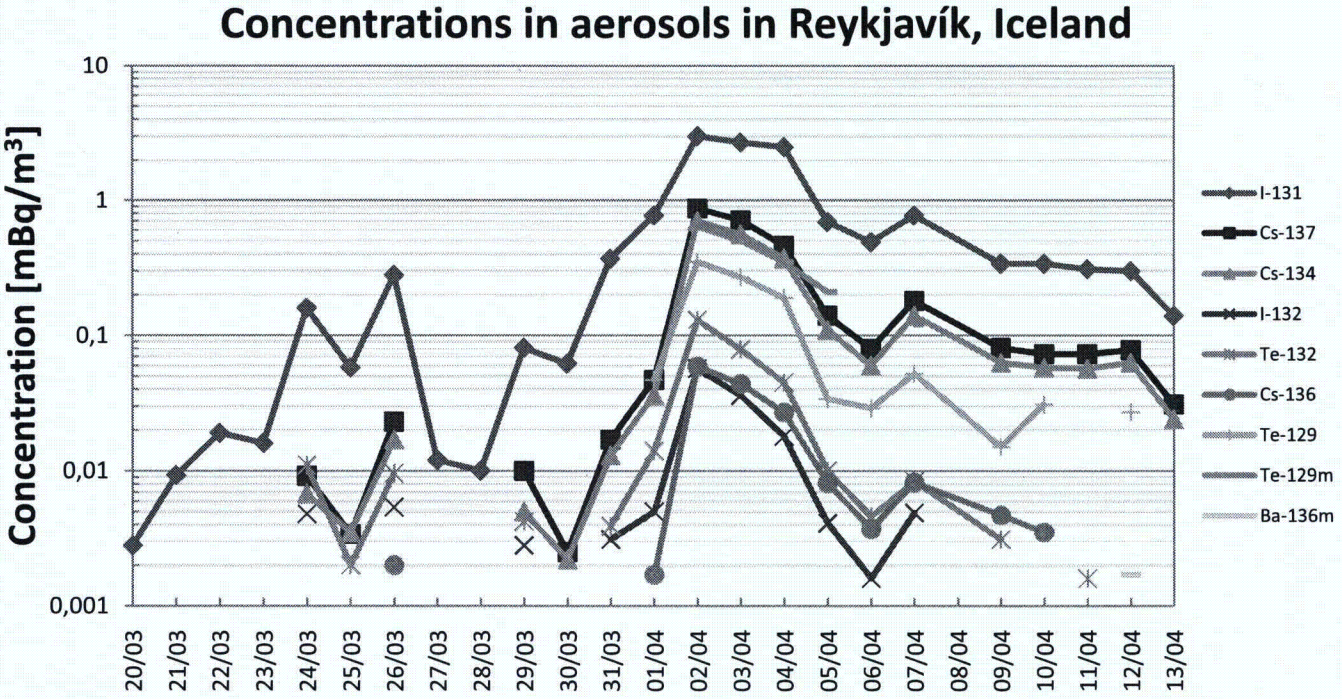
Summary of radionuclide concentrations in air

March 19th - April 13th, Reykjavík, Iceland (64°08′N, 21°56′W)

Radionuclides from Fukushima were first detected in samples collected during the March 19th-20th sampling period. Aerosol samples are collected for 24 hours, with filters changed daily at 13:30 UTC. Total daily air volume throughput is on average 15 000 m^3. Minimum detectable concentrations for I-131, Cs-137, Cs-134, and Cs-136 are approximately 0.002-0.003 mBq/m^3 (2–3 $\mu Bq/m^3$).

The Cs-137/I-131 ratio was typically 4–8% in the beginning (March 25th – April 2nd, with the exception of March 27th–28th. After the increase in concentrations observed on April 3rd, the ratio increased to 20–30%.

The Cs-134/Cs-137 ratio has remained relatively stable at 70 – 80% during the period since these radionuclides were first detected in a sample from March 23rd–24th.



Aðsetur/Address:
Rauðarárstíg 10
IS-150 REYKJAVÍK
ICELAND

Sími/Telephone:
+354-440 8200
Mynds.nr./Telefax:
+354-552 8202

Veffang/Website:
http://www.gr.is/
Netfang/E-mail:
gr@gr.is

Kennitala/Id.No.
540286-1169

BSI
FS 540268

Data table

Date*	I-131	Cs-137	Cs-134	I-132	Te-132	Cs-136	Te-129	Te-129m	Ba-136m
20/03	0.0028	-	-	-	-	-	-	-	-
21/03	0.0093	-	-	-	-	-	-	-	-
22/03	0.019	-	-	-	-	-	-	-	-
23/03	0.016	-	-	-	-	-	-	-	-
24/03	0.16	0.0092	0.0068	0.0048	0.011	-	-	-	-
25/03	0.058	0.0034	0.0035	-	0.002	-	-	-	-
26/03	0.28	0.023	0.017	0.0054	0.0096	0.002	-	-	-
27/03	0.012	-	-	-	-	-	-	-	-
28/03	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
29/03	0.081	0.01	0.005	0.0028	0.0042	-	-	-	-
30/03	0.062	0.0025	0.0022	-	-	-	-	-	-
31/03	0.37	0.017	0.013	0.0031	0.0039	-	-	-	-
01/04	0.77	0.047	0.036	0.005	0.014	0.0017	0.047	-	-
02/04	3	0.87	0.7	0.057	0.13	0.059	0.35	0.64	-
03/04	2.7	0.71	0.56	0.036	0.079	0.044	0.27	0.5	-
04/04	2.5	0.46	0.37	0.018	0.045	0.027	0.19	0.35	-
05/04	0.69	0.14	0.11	0.0041	0.01	0.0081	0.034	0.21	-
06/04	0.49	0.08	0.06	0.0016	0.0046	0.0037	0.029		-
07/04	0.77	0.18	0.14	0.0049	0.0084	0.0082	0.052	0.12	-
09/04	0.34	0.081	0.063	-	0.0031	0.0047	0.015	-	-
10/04	0.34	0.073	0.058	-	-	0.0035	0.031	-	-
11/04	0.31	0.073	0.057	-	0.0016	-	-	-	-
12/04	0.3	0.078	0.063	-	-	-	0.027	-	0.0017
13/04	0.14	0.031	0.024	-	-	-	-	-	-

*The dates in the first column refer to the end of the 24h sampling period. The data for the last few days could be subject to minor changes following validation.

福島第一原子力発電所　モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/21 5:00	27.1	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 5:10	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 5:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 5:30	27.1	<0.01	曇り	NW	0.2
西門	2011/4/21 5:40	27.1	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:50	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 6:00	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.8
西門	2011/4/21 6:10	27.2	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 6:20	27.2	<0.01	曇り	E	0.2
西門	2011/4/21 6:30	27.2	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/21 6:40	27.2	<0.01	晴れ	NW	0.3
西門	2011/4/21 6:50	27.2	<0.01	晴れ	E	0.7
西門	2011/4/21 7:00	27.1	<0.01	晴れ	S	0.9
西門	2011/4/21 7:10	27.1	<0.01	晴れ	WNW	1.0
西門	2011/4/21 7:20	27.2	<0.01	晴れ	E	1.0
西門	2011/4/21 7:30	27.3	<0.01	晴れ	E	1.1
西門	2011/4/21 7:40	27.2	<0.01	晴れ	SE	1.5
西門	2011/4/21 7:50	27.2	<0.01	晴れ	E	2.1
西門	2011/4/21 8:00	27.1	<0.01	晴れ	E	2.2

福島第一原子力発電所　モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	488	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24
2011/4/20 22:30	489	60	24
2011/4/20 23:00	489	59	24
2011/4/20 23:30	489	60	24
2011/4/21 0:00	486	59	24
2011/4/21 0:30	490	60	24
2011/4/21 1:00	490	60	24
2011/4/21 1:30	493	59	24
2011/4/21 2:00	489	60	24
2011/4/21 2:30	489	59	24
2011/4/21 3:00	492	60	24
2011/4/21 3:30	493	59	24
2011/4/21 4:00	489	60	24
2011/4/21 4:30	489	60	24
2011/4/21 5:00	491	60	24
2011/4/21 5:30	493	59	24
2011/4/21 6:00	490	60	24
2011/4/21 6:30	488	60	24
2011/4/21 7:00	494	60	24
2011/4/21 7:30	494	60	24
2011/4/21 8:00	489	60	23

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/20 23:00	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.4
西門	2011/4/20 23:10	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/20 23:20	27.3	<0.01	曇り	N	0.3
西門	2011/4/20 23:30	27.3	<0.01	曇り	SW	0.3
西門	2011/4/20 23:40	27.4	<0.01	曇り	NW	0.5
西門	2011/4/20 23:50	28.1	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 0:00	27.4	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 0:10	27.4	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/21 0:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 0:30	27.3	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 0:40	27.3	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 0:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.9
西門	2011/4/21 1:00	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/21 1:10	27.2	<0.01	曇り	SW	0.6
西門	2011/4/21 1:20	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 1:30	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 1:40	27.1	<0.01	曇り	WSW	0.5
西門	2011/4/21 1:50	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 2:00	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 2:10	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 2:20	27.3	<0.01	曇り	W	0.3
西門	2011/4/21 2:30	27.2	<0.01	曇り	SW	0.6
西門	2011/4/21 2:40	27.3	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 2:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/21 3:00	27.2	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 3:10	27.2	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 3:20	27.3	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 3:30	27.3	<0.01	曇り	WSW	0.5
西門	2011/4/21 3:40	27.1	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 3:50	27.3	<0.01	曇り	W	0.7
西門	2011/4/21 4:00	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 4:10	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 4:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 4:30	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 4:40	27.0	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 4:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:00	27.1	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 5:10	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 5:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 5:30	27.1	<0.01	曇り	NW	0.2
西門	2011/4/21 5:40	27.1	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:50	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 6:00	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.6

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事務本館南側 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	488	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24
2011/4/20 22:30	489	60	24
2011/4/20 23:00	489	59	24
2011/4/20 23:30	489	60	24
2011/4/21 0:00	486	59	24
2011/4/21 0:30	490	60	24
2011/4/21 1:00	490	60	24
2011/4/21 1:30	493	59	24
2011/4/21 2:00	489	60	24
2011/4/21 2:30	489	59	24
2011/4/21 3:00	492	60	24
2011/4/21 3:30	493	59	24
2011/4/21 4:00	489	60	24
2011/4/21 4:30	489	60	24
2011/4/21 5:00	491	60	24
2011/4/21 5:30	493	59	24
2011/4/21 6:00	490	60	24

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/20 17:00	27.8	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 17:10	27.8	<0.01	曇り	NE	0.9
西門	2011/4/20 17:20	27.7	<0.01	曇り	NNW	0.9
西門	2011/4/20 17:30	27.8	<0.01	曇り	ENE	0.7
西門	2011/4/20 17:40	27.8	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/20 17:50	27.8	<0.01	曇り	NE	0.8
西門	2011/4/20 18:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/20 18:10	27.7	<0.01	曇り	E	0.3
西門	2011/4/20 18:20	27.6	<0.01	曇り	NW	0.4
西門	2011/4/20 18:30	27.7	<0.01	曇り	SE	0.6
西門	2011/4/20 18:40	27.5	<0.01	曇り	ENE	0.6
西門	2011/4/20 18:50	27.6	<0.01	曇り	N	0.4
西門	2011/4/20 19:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 19:10	27.6	<0.01	曇り	NNW	0.7
西門	2011/4/20 19:20	27.5	<0.01	曇り	NNW	0.4
西門	2011/4/20 19:30	27.5	<0.01	曇り	NE	0.3
西門	2011/4/20 19:40	27.5	<0.01	曇り	NE	0.5
西門	2011/4/20 19:50	27.5	<0.01	曇り	S	0.4
西門	2011/4/20 20:00	27.5	<0.01	曇り	W	0.3
西門	2011/4/20 20:10	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/20 20:20	27.5	<0.01	曇り	W	0.6
西門	2011/4/20 20:30	27.5	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 20:40	27.5	<0.01	曇り	WSW	0.8
西門	2011/4/20 20:50	27.6	<0.01	曇り	WNW	0.8
西門	2011/4/20 21:00	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/20 21:10	27.5	<0.01	曇り	NE	0.3
西門	2011/4/20 21:20	27.5	<0.01	曇り	SW	0.2
西門	2011/4/20 21:30	27.5	<0.01	曇り	N	0.4
西門	2011/4/20 21:40	27.4	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 21:50	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/20 22:00	27.5	<0.01	曇り	W	0.6

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	本館本館北側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/20 17:20	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	489	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24

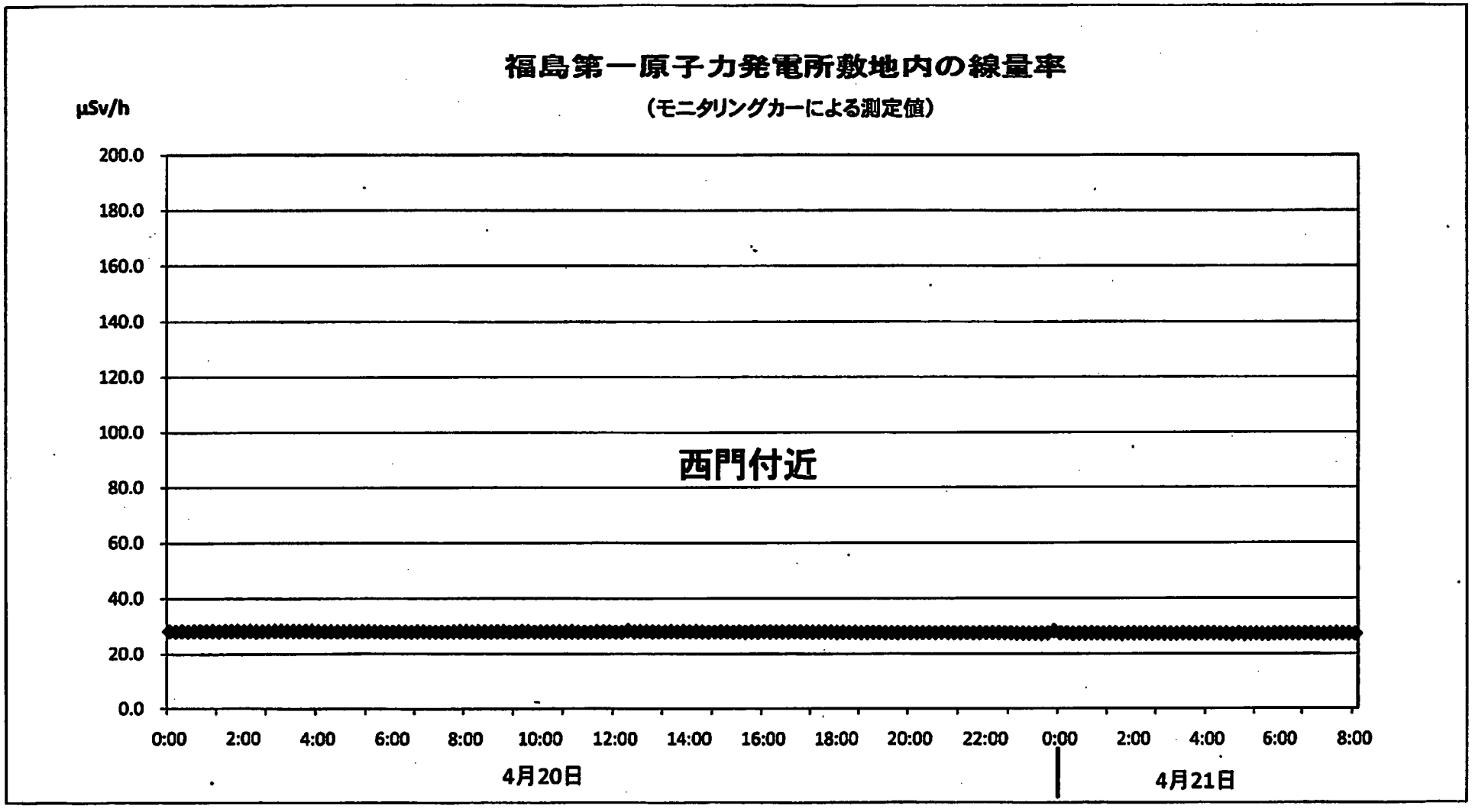
福島第一原子力発電所　モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/20 12:00	27.8	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 12:10	27.8	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 12:20	28.3	<0.01	曇り	WSW	1.0
西門	2011/4/20 12:30	27.8	<0.01	曇り	NE	1.0
西門	2011/4/20 12:40	28.0	<0.01	曇り	ESE	0.9
西門	2011/4/20 12:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/20 13:00	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:10	27.9	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 13:20	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:30	28.0	<0.01	曇り	N	1.2
西門	2011/4/20 13:40	27.9	<0.01	曇り	N	1.0
西門	2011/4/20 13:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.9
西門	2011/4/20 14:00	27.9	<0.01	曇り	SE	1.4
西門	2011/4/20 14:10	28.0	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 14:20	27.9	<0.01	曇り	SE	1.0
西門	2011/4/20 14:30	27.8	<0.01	曇り	W	1.2
西門	2011/4/20 14:40	27.8	<0.01	曇り	NE	1.4
西門	2011/4/20 14:50	27.9	<0.01	曇り	E	1.0
西門	2011/4/20 15:00	27.9	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 15:10	27.8	<0.01	曇り	N	0.9
西門	2011/4/20 15:20	27.9	<0.01	曇り	N	0.9
西門	2011/4/20 15:30	27.7	<0.01	曇り	E	1.8
西門	2011/4/20 15:40	27.8	<0.01	曇り	ESE	1.5
西門	2011/4/20 15:50	27.8	<0.01	曇り	NE	1.3
西門	2011/4/20 16:00	27.9	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 16:10	27.8	<0.01	曇り	ENE	1.3
西門	2011/4/20 16:20	27.8	<0.01	曇り	E	1.6
西門	2011/4/20 16:30	27.8	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/20 16:40	27.8	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/20 16:50	27.8	<0.01	曇り	NE	1.2
西門	2011/4/20 17:00	27.8	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 17:10	27.8	<0.01	曇り	NE	0.9
西門	2011/4/20 17:20	27.7	<0.01	曇り	NNW	0.9
西門	2011/4/20 17:30	27.8	<0.01	曇り	ENE	0.7
西門	2011/4/20 17:40	27.8	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/20 17:50	27.8	<0.01	曇り	NE	0.8
西門	2011/4/20 18:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.5

福島第一原子力発電所　モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館前広場 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
4月20日
4月21日

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 5:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:00	8	31	26	25	40	71	173	159

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 23:00	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:30	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:40	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:50	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:00	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:10	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:20	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:30	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:40	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:50	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:00	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:10	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:20	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:30	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:00	8	31	26	25	40	71	173	159

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 17:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:10	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:10	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:50	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:10	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:20	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:30	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:40	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:50	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:00	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:10	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:20	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:30	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:40	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 21:50	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 22:00	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 22:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:30	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:40	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:50	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:00	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:30	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:40	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:50	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:00	8	31	27	25	40	71	174	159

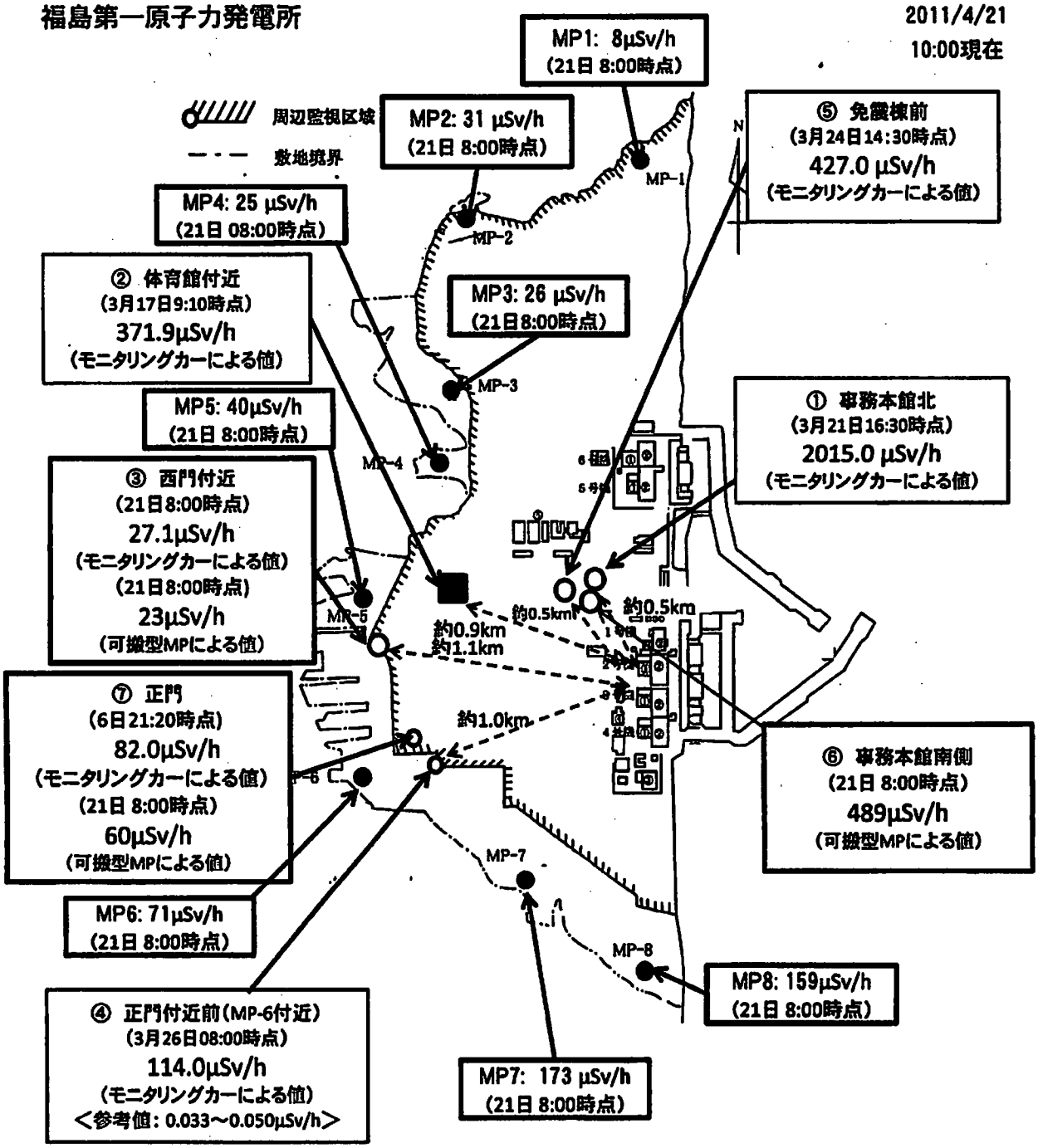
2/3

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 12:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:30	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 13:50	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 14:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:40	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:20	9	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:30	9	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:40	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:50	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:20	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:30	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:40	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:50	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:00	8	32	27	25	41	72	175	160

福島第一原子力発電所

2011/4/21
10:00現在



福島第一MP及びMS情報

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 5:00	2.5	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西北西	0.5	晴れ
2011/4/21 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	1.1	晴れ
2011/4/21 5:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.3	－
2011/4/21 5:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	－
2011/4/21 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	晴れ
2011/4/21 6:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.7	－
2011/4/21 6:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.9	－
2011/4/21 6:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.2	晴れ
2011/4/21 6:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.3	－
2011/4/21 6:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.7	－
2011/4/21 7:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.8	晴れ
2011/4/21 7:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.8	－
2011/4/21 7:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.0	－
2011/4/21 7:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.9	晴れ
2011/4/21 7:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.3	－
2011/4/21 7:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.1	－
2011/4/21 8:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.2	晴れ
2011/4/21 8:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.6	－

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 23:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.0	晴れ
2011/4/20 23:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	－
2011/4/20 23:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.2	－
2011/4/20 23:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.4	晴れ
2011/4/20 23:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	0.9	－
2011/4/20 23:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.6	－
2011/4/21 0:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	晴れ
2011/4/21 0:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	0.5	－
2011/4/21 0:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	0.4	－
2011/4/21 0:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.5	晴れ
2011/4/21 0:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.5	－
2011/4/21 0:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.5	－
2011/4/21 1:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.8	晴れ
2011/4/21 1:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 1:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西南西	0.8	－
2011/4/21 1:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.0	晴れ
2011/4/21 1:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.7	－
2011/4/21 1:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.3	－
2011/4/21 2:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.6	晴れ
2011/4/21 2:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.7	－
2011/4/21 2:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.2	－
2011/4/21 2:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.9	晴れ
2011/4/21 2:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.1	－
2011/4/21 2:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	1.2	－
2011/4/21 3:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.8	晴れ
2011/4/21 3:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	0.8	－
2011/4/21 3:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 3:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.6	晴れ
2011/4/21 3:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.9	－
2011/4/21 3:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	0.6	－
2011/4/21 4:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西南西	0.0	晴れ
2011/4/21 4:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.3	－
2011/4/21 4:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.7	－
2011/4/21 4:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	1.1	晴れ
2011/4/21 4:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 4:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.4	－
2011/4/21 5:00	2.5	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西北西	0.5	晴れ
2011/4/21 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	1.1	晴れ
2011/4/21 5:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.3	－
2011/4/21 5:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	－
2011/4/21 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	晴れ

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 17:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.1	晴れ
2011/4/20 17:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 17:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	5.8	－
2011/4/20 17:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 18:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	晴れ
2011/4/20 18:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.2	－
2011/4/20 18:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.2	－
2011/4/20 18:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 18:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.5	－
2011/4/20 18:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	4.6	－
2011/4/20 19:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	4.9	晴れ
2011/4/20 19:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	2.7	－
2011/4/20 19:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	2.4	－
2011/4/20 19:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.3	晴れ
2011/4/20 19:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.4	－
2011/4/20 19:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.7	－
2011/4/20 20:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.4	晴れ
2011/4/20 20:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.9	－
2011/4/20 20:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	2.5	－
2011/4/20 20:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.7	晴れ
2011/4/20 20:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.6	－
2011/4/20 20:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.1	－
2011/4/20 21:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.2	晴れ
2011/4/20 21:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.6	－
2011/4/20 21:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.9	－
2011/4/20 21:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.8	晴れ
2011/4/20 21:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.0	－
2011/4/20 21:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.9	－
2011/4/20 22:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.9	晴れ
2011/4/20 22:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.1	－
2011/4/20 22:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.2	－
2011/4/20 22:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.6	晴れ
2011/4/20 22:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.4	－
2011/4/20 22:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.3	－
2011/4/20 23:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.0	晴れ
2011/4/20 23:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	－
2011/4/20 23:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.2	－
2011/4/20 23:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.4	晴れ
2011/4/20 23:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	0.9	－
2011/4/20 23:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.6	－
2011/4/21 0:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	晴れ

福島第二MP及びMS情報

単位：μSv／h　　単位m／s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 12:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	9.9	雨
2011/4/20 12:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	13.2	－
2011/4/20 12:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	11.1	－
2011/4/20 12:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.3	晴れ
2011/4/20 12:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.1	－
2011/4/20 12:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	6.8	－
2011/4/20 13:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.9	晴れ
2011/4/20 13:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.0	晴れ
2011/4/20 13:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.3	－
2011/4/20 13:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.9	－
2011/4/20 14:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	6.8	晴れ
2011/4/20 14:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 14:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.5	－
2011/4/20 14:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.6	雨
2011/4/20 14:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.8	－
2011/4/20 14:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.6	－
2011/4/20 15:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北東	6.0	晴れ
2011/4/20 15:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	6.6	－
2011/4/20 15:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 15:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.0	晴れ
2011/4/20 15:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	7.4	－
2011/4/20 15:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	7.4	－
2011/4/20 16:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.9	晴れ
2011/4/20 16:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.8	－
2011/4/20 16:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.9	－
2011/4/20 16:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.4	晴れ
2011/4/20 16:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	－
2011/4/20 16:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	5.8	－
2011/4/20 17:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.1	晴れ
2011/4/20 17:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 17:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	5.8	－
2011/4/20 17:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 18:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	晴れ

福島第二原子力発電所

2011/4/21
10:00現在

MP1:2.4μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.9μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

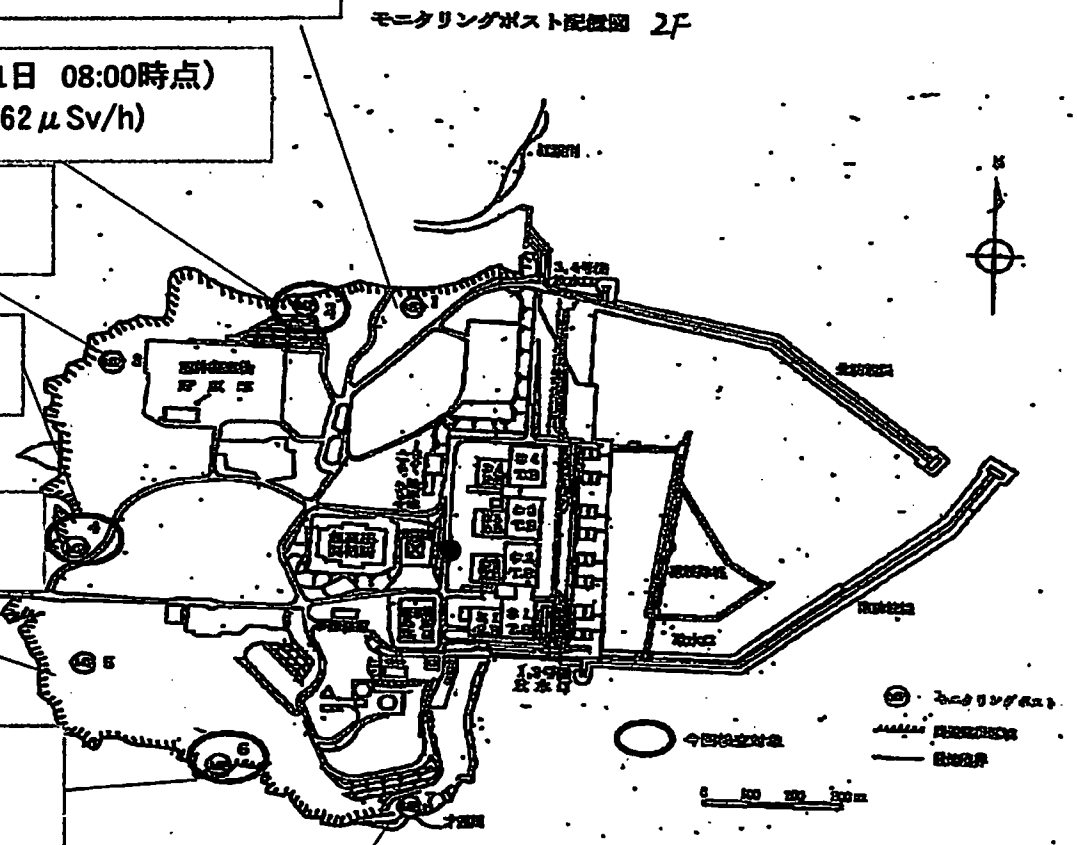
MP3:2.6μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.5μSv/h(20日　09:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



別紙資料（2）

各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033	0.032	0.033
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.080		東通原子力発電所	0.018	0.018	0.018	0.019	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.074	0.076	0.081	0.082	0.077	0.070	0.070	0.070	0.067	0.064	0.066	0.065
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.335	0.338	0.336	0.338	0.337	0.339	0.337	0.339	0.338	0.342	0.337	0.338
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.075	0.073	0.075	0.076	0.072	0.071	0.073	0.072	0.071	0.073	0.072
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.033	0.033	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.032	0.031	0.032
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029	0.030	0.030	0.027	0.029	0.029
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.076	0.073	0.076	0.075	0.074	0.072	0.071	0.072	0.072	0.072	0.071
0.045～0.047		高浜発電所	0.043	0.045	0.044	0.044	0.045	0.044	0.043	0.044	0.044	0.043	0.042	0.042
0.036～0.040		大飯発電所	0.039	0.042	0.038	0.038	0.039	0.037	0.035	0.035	0.034	0.035	0.035	0.035
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.025	0.026	0.025	0.027	0.025
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.036	0.038	0.038	0.037	0.038	0.038	0.038	0.037	0.037	0.037	0.034	0.037
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.024	0.024	0.023	0.023	0.023	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

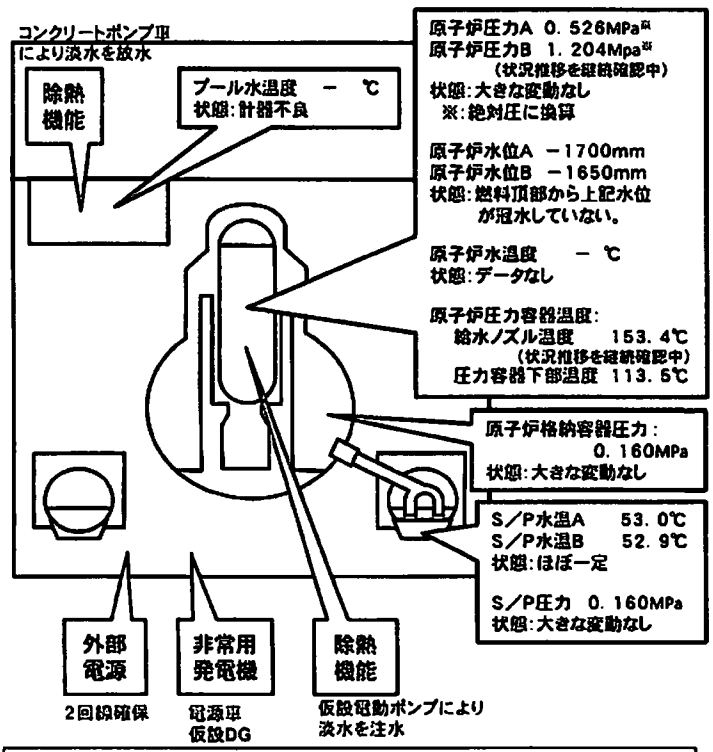
注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.080		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.065	0.065	0.065	0.064	0.064	0.066	0.064	0.065	0.064	0.064		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.341	0.343	0.337	0.339	0.337	0.336	0.338	0.333	0.336	0.333		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.071	0.071	0.072	0.072	0.070	0.071	0.072	0.072	0.073	0.071		
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032	0.031	0.032	0.032		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.072	0.072	0.072	0.073	0.071	0.071	0.072	0.072	0.072		
0.045～0.047		高浜発電所	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042		
0.036～0.040		大飯発電所	0.034	0.034	0.034	0.034	0.033	0.032	0.034	0.034	0.034	0.034		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.014	0.013	0.013	0.013	0.130	0.130	0.013	0.013	0.014		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.036	0.039	0.037	0.033	0.036	0.035	0.037	0.039	0.037		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.021	0.021	0.022	0.021	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月20日21時まで

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月21日　7:00現在）

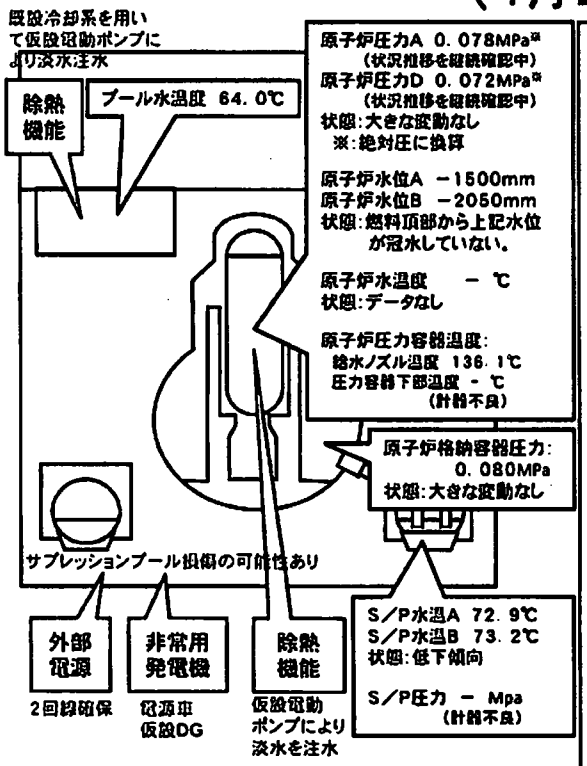


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（$2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$）。9:00に給水系のみに切替（$18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$）
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月21日　7:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

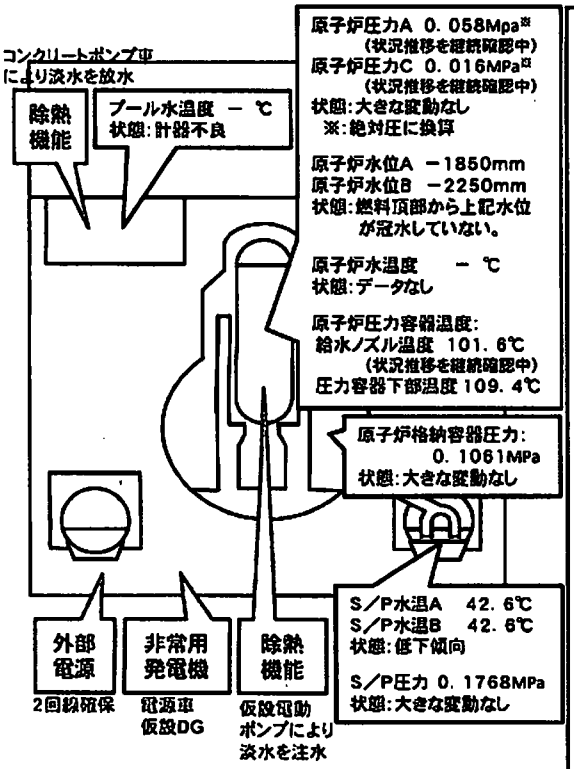
主要な出来事1/2

3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
3/11 15:42 10条通報（全交流電源喪失）
3/11 16:36 15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13 11:00 ベント開始
3/14 13:25 15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14 16:34 海水の炉心注水開始
3/14 22:50 15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15 00:02 ベント開始
3/15 06:10 爆発音発生
3/15 06:20頃 サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20 15:05～17:20 使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20 15:46 パワーセンター受電
3/21 18:22 白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22 16:07 SFPに海水を注水
3/25 10:30～12:19 FPCからSFPに海水を注水
3/26 10:10 淡水の炉心注水開始
3/26 16:46 中央制御室の照明復帰
3/27 18:31 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29 16:30～18:25 仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29 16:45～4/1 11:50 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30 09:25～23:50 SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1 14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2 09:30頃 取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2 17:10 復水器からCSTへ移送開始
4/3 12:12 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3 13:47～14:30 ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、凝集処理した新聞紙3袋を投入
4/4 07:08～07:11 トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4 11:05～13:37 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5 14:15 トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6 05:38頃 ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7 13:29～14:34 FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9 13:10 復水器からCSTへの移送完了
4/10 10:37～12:38 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11 17:16頃 地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11 17:56 外部電源復旧
4/11 18:04 炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12 19:35～4/13 17:04 タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13 11:00 漏えい確認等のため一時停止
4/13 13:15～14:55 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16 10:13～11:54 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により満水を確認。）
4/16 11:19頃 地震発生（茨城県南部）
4/18 13:42～ 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18 12:13～12:37 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18 9:30～17:40 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 8:00～15:30 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 10:08 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19 16:08～17:28 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月21日　7:00現在）



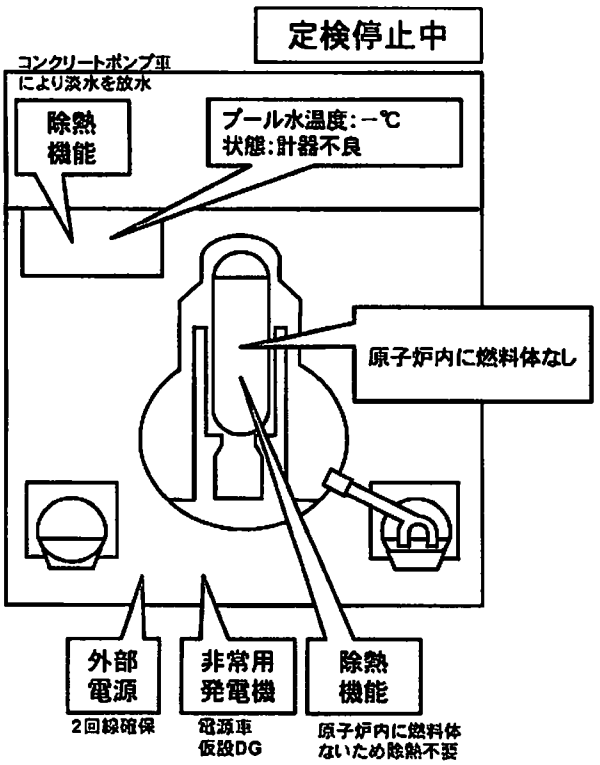
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月21日　7:00現在）



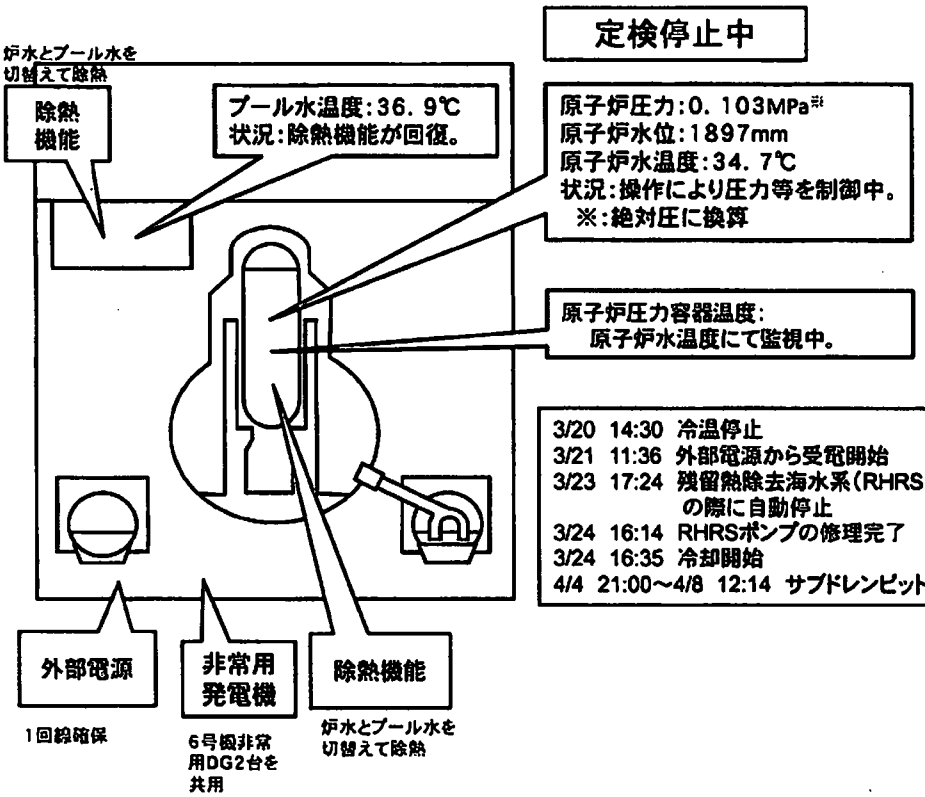
現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17 17:39～21:22、4/19　10:17～11:35、4/20　17:08～20:31

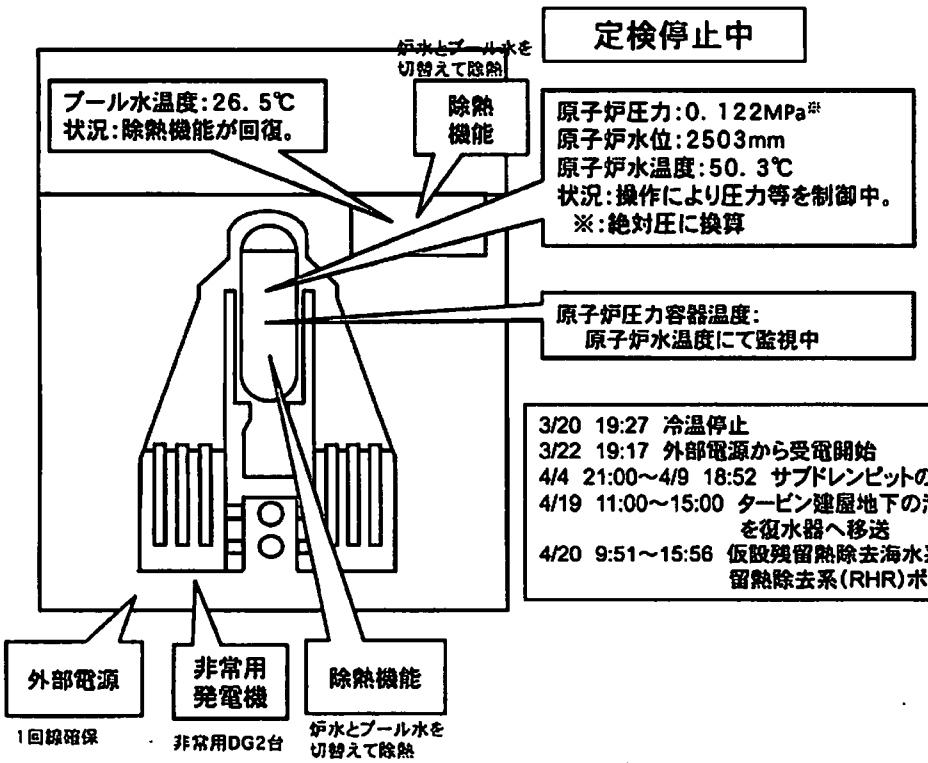
福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月21日　7:00現在）



主要な出来事

3/20　14:30　冷温停止
3/21　11:36　外部電源から受電開始
3/23　17:24　残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際に自動停止
3/24　16:14　RHRSポンプの修理完了
3/24　16:35　冷却開始
4/4　21:00～4/8　12:14　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出（約950t）

福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月21日　7:00現在）



主要な出来事

3/20　19:27　冷温停止
3/22　19:17　外部電源から受電開始
4/4　21:00～4/9　18:52　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出（約373t）
4/19　11:00～15:00　タービン建屋地下の溜まり水の量を調査するため、当該溜まり水を復水器へ移送
4/20　9:51～15:56　仮設残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変更するため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の現象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月21日　7:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1700mm 燃料域B：−1650mm （4/21 06:00現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2050mm （4/21 06:00現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/21 06:00現在）		停止域 1897mm （4/21 7:00現在）	停止域 2503mm （4/21 7:00現在）
原子炉圧力	A系 0.425MPa g (A) B系 1.103MPa g (B) ※3 （4/21 06:00）	A系−0.023MPa g (A) ※3 B系−0.029MPa g (D) ※3 （4/21 06:00現在）	A系−0.043MPa g (A) ※3 B系−0.085MPa g (C) ※3 （4/21 06:00現在）		0.002MPa g （4/21 7:00現在）	0.021MPa g （4/21 7:00現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				34.7℃ （4/21 7:00現在）	50.3℃ （4/21 7:00現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：153.4℃ ※3 圧力容器下部温度：113.5℃ （4/21 06:00現在）	給水ノズル温度：136.1℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/21 06:00現在）	給水ノズル温度：101.6℃ ※3 圧力容器下部温度：109.4℃ （4/21 06:00現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W-S/C 圧力	D/W 0.160MPa abs S/C 0.160MPa abs （4/21 06:00現在）	D/W 0.080MPa abs S/C ※1 （4/21 06:00現在）	D/W 0.1061MPa abs S/C 0.1768MPa abs （4/21 06:00現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W 雰囲気温度	RPV ベローシール：117.1℃ HVH 戻り：96.7℃ （4/21 06:00現在）	RPV ベローシール：※1 HVH 戻り：126℃ （4/21 06:00現在）	RPV ベローシール：193.9℃ ※3 HVH 戻り：61.9℃ （4/21 06:00現在）			
CAMS 放射線モニタ	D/W (A) ※1 (B) ※1 S/C (A) 9.94×10^{-1}Sv/h ※3 (B) 1.99×10^{0}Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）	D/W (A) 2.46×10^{1}Sv/h (B) 2.80×10^{1}Sv/h S/C (A) 5.38×10^{-1}Sv/h ※3 (B) 1.09×10^{0}Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）	D/W (A) 1.54×10^{1}Sv/h (B) 1.15×10^{1}Sv/h S/C (A) 6.79×10^{-1}Sv/h ※3 (B) 5.38×10^{-1}Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）			
S/C 温度	A系：53.0℃ B系：52.9℃ （4/21 06:00現在）	A系：72.9℃ B系：73.2℃ （4/21 06:00現在）	A系：42.6℃ B系：42.6℃ （4/21 06:00現在）			
D/W 設計使用圧力	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	−	−	
D/W 最高使用圧力	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)			
使用済燃料プール温度	※1	64.0℃ （4/21 06:00現在）	※1	※1	36.9℃ （4/21 7:00現在）	26.5℃ （4/21 7:00現在）
FPC スキマーサージタンクレベル	4500mm （4/21 06:00現在）	4400mm （4/21 06:00現在）	※1	4200mm （4/21 06:00現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：30℃程度 （4/20 8:00）	5u：SHC モード （4/20 19:16〜）	6u：非熱モード （4/20 18:44〜）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

Atomic Energy Authority of Sri Lanka started radiation monitoring from 16th March 2011 after the announcement of accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant in Fukushima, Japan.

Radiation monitoring that carried out is as follows:

- Continuous measurement of environmental gamma dose rate.
- Collection of air samples from different areas of the country and measurement for radioactivity
- Collection of water samples in different locations of the country and analysis for radioactivity
- Analysis of samples of food items imported from Japan
- Contamination measurement of vehicles imported from Japan
- Collection and analysis of fresh milk samples

No any increase in radioactivity or contamination was detected in the above analyses.

- Screening of passengers coming from Japan

Altogether 225 returnees from Japan have been screened up to 18-04-2011.

Shoes of One person came from Koriyama, 50 km from Fukushima was found to be slightly contaminated. Contamination level was 5.7 Bq/cm$^{2.}$ Gamma spectroscopy Analysis revealed that contamination was due to Cs-137, Cs-134 and I-131.

Results of analysis can be summarized as follows.

Type of sample/test	No of samples tested/frequency of testing	Period of testing	comments
Environmental gamma dose rate measurements	Continuous monitoring	From 16.03.2011 To 18.04.2011	No increase in environmental radiation level
	morning and afternoon	From 19.04.2011	
Air samples	16 Air samples from different areas of the country	From 16.03.2011 To 31.03.2011	No contamination was found

Water samples	33 Samples of rain water collected by Meteorology Department from various parts of the country.	From 20.03.2011 To 27.03.2011	No contamination was found
Ships came from Japan	7 cargo vessels which were carrying vehicles from Japan.	From 23.03.2011 To 11.04.2011	No contamination was found
Food samples	13 food items such as milk, fish, dhal, sausages were tested.	From 28.03.2011 up to date.	No contamination was found
In situ measurement for ground radiation levels and environmental radiation level	08 locations of the country were monitored.	From 17.03.2011 to 10.04.2011	No increase above reference level
Screening of passengers	225 passengers who were coming from different parts of Japan were checked for body contamination.	From 16.03.2011 up to date.	Only a pair of shoes of one person was slightly contaminated.

The AEA, Sri Lanka has no objection in using this information by the IAEA for public information or posting on ENAC websites.

21 APRIL 2011 17:00 UTC

IAEA

International Atomic Energy Agency

Incident and Emergency Centre

FOR AUTHORITIES' USE ONLY

(b)(4)

This page represents 29 pages contained in the International Atomic Energy Agency (IAEA) Incident and Emergency Centre Report being withheld under Ex.4

Strålsäkerhetsmyndigheten
Swedish Radiation Safety Authority

PROMEMORIA

Date: 2011-04-21
Referens: Lilian del Risco Norrlid

Swedish environmental monitoring results

The monitoring of radioactivity in the air at ground level in Sweden has been conducted daily at six aerosol filter stations since the Fukushima accident. The present report includes the results for Cs-137, I-131, I-132, Te129m.

At thirteen of the Swedish automatic gamma monitoring stations and three other locations grass samples have been collected. The report contains results for concentrations of Cs-137 and I-131 in the grass samples.

The Swedish Radiation Safety Authority reports the following:

- Isotope concentrations in aerosol filters in the period March 18th to April 15th, 2011
- Isotope concentration in grass samples together with the corresponding dose rate value for the sites with gamma monitoring

Strålsäkerhetsmyndigheten

Swedish Radiation Safety Authority

Swedish air sampling data and isotope concentrations from aerosol filters (μBq/m^3)

Location	**Kiruna**	N 67.84°, E 20.42°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 06:05	2011-03-22 06:15	20999	50	(3)	<2					
2011-03-22 00:00	2011-03-23 05:30	21917	25	(3)	<2					
2011-03-23 06:30	2011-03-24 05:27	21804	*25*	*(24)*	*<1.4*					
2011-03-24 06:27	2011-03-25 06:24	22021	*48*	*(14)*	*<1.4*					
2011-03-25 06:24	2011-03-28 05:16	48222	440	(1)	22	(3)	2	(20)		
2011-03-28 05:16	2011-03-29 05:15	16799	950	(1)	91	(2)	7	(9)	81	(15)
2011-03-29 05:15	2011-03-30 08:05	18759	1034	(2)	96	(2)	6	(11)	93	(15)
2011-03-30 08:05	2011-03-31 09:40	17552	690	(1)	69	(2)	3	(15)	66	(18)
2011-03-31 09:40	2011-04-01 06:25	14187	852	(1)	128	(2)	7	(11)	*95*	(15)
2011-04-01 06:25	2011-04-04 06:10	46260	423	(1)	152	(1)	*9*	(4)	*109*	(7)
2011-04-04 06:10	2011-04-05 08:00	16664	378	(2)	58	(3)	2	(20)	18	(46)
2011-04-05 08:00	2011-04-06 05:55	14144	421	(2)	65	(3)	2	(32)	43	(29)
2011-04-06 05:55	2011-04-08 05:50	30792	149	(2)	19	(3)	<1.6			
2011-04-08 05:50	2011-04-11 05:11	46097	254	(2)	69	(3)	3	17	41	(27)
Location	**Umeå**	N 63.85°, E 20.34°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-18 09.45	2011-03-21 12:00	71186	2.0	(30)	1.9	(21)				

Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 12:00	2011-03-22 09:00	20347	37.1	(7)	<3.9					
2011-03-22 09:00	2011-03-23 09:00	23656	52.8	(5)	3.2	(33)				
2011-03-23 09:00	2011-03-24 09:00	23464	36.2	(8)	<3.4					
2011-03-24 09:00	2011-03-25 09:00	23329	28.8	(9)	<3.5					
2011-03-25 09:00	2011-03-26 07:05	23430	22.5	(9)	<3.8					
2011-03-26 07:10	2011-03-27 07:20	24573	319	(3)	12.5					
2011-03-27 07:25	2011-03-28 09:00	24573	799	(3)	29	(7)				
2011-03-28 09:00	2011-03-29 09:00	25514	1510	(3)	239	(3)	30	(8)	220	(18)
2011-03-29 09:00	2011-03-30 09:00	25059	1420	(3)	198	(3)	23	(10)	201	(20)
2011-03-30 09:00	2011-03-31 09:00	25405	1140	(3)	129	(3)	14	(13)	142	(26)
2011-03-31 09:00	2011-04-01 09:00	24488	1100	(3)	256	(3)	26	(9)	220	(18)
2011-04-01 09:00	2011-04-02 09:09	24506	1720	(3)	371	(3)	35	(8)	295	(16)
2011-04-02 09:09	2011-04-03 12:05	26666	303	(3)	54	(5)	4	(39)	<12	
2011-04-03 12:05	2011-04-04 09:00	20150	104	(4)	23	(8)	<3.8		<131	
2011-04-04 09:00	2011-04-05 09:00	23812	136	(4)	31	(8)	<3.3		<115	
2011-04-05 09:00	2011-04-06 09:00	23540	235	(3)	72	(4)	5	(27)	<125	
2011-04-06 09:00	2011-04-08 09:00	47775	79	(3)	8	(7)	<1.5		<52	
2011-04-08 09:05	2011-04-11 09:00	71802	277	(3)	66	(5)	4.4	(14)	42	(20)
2011-04-11 09:00	2011-04-13 09:23	49058	39	(3)	23	(5)	<1.4		<48	
2011-04-13 09:23	2011-04-15 09:35	48205	68	(3)	26.0	(3)	<1.0		<34	

Location	**Gävle**	N 60.67°, E 17.19°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 09:25	2011-03-22 06:50	16952	<7		<10					
2011-03-22 06:50	2011-03-23 06:00	18360	135	(2)	8.5	(12)				
2011-03-23 06:00	2011-03-24 09:10	21596	*50*	*(11)*	*<15*					
2011-03-24 10:10	2011-03-25 08:05	17553	*72*	*(11)*	*<31*					
2011-03-25 08:05	2011-03-28 08:20	43358	373	(1)	21	(4)	2	(35)		
2011-03-28 08:20	2011-03-29 06:20	13391	1545	(2)	112	(2)	8	(9)	167	(12)
2011-03-29 06:20	2011-03-30 08:20	15524	1548	(1)	244	(2)	16	(5)	179	(11)
2011-03-30 08:20	2011-03-31 06:40	13528	1970	(1)	447	(2)	31	(4)	359	(6)
2011-03-31 06:40	2011-04-01 08:25	15395	1306	(1)	371	(1)	22	(4)	280	(8)
2011-04-01 08:25	2011-04-04 06:55	39793	440	(1)	148	(1)	8	(2)	110	(7)
2011-04-04 06:45	2011-04-05 06:20	13736	257	(2)	66	(3)	3	(31)		
2011-04-05 06:20	2011-04-06 07:00	14523	193	(3)	60	(4)	<8.7			
2011-04-06 07:00	2011-04-08 05:35	27145	225	(2)	31	(3)	<3			
2011-04-08 05:35	2011-04-11 06:25	42605	181	(2)	42	(3)	<3,7			
Location	**Kista**	N 59.40°, E 17.95°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 05:46	2011-03-22 07:45	22772	<4.0		<3.7					

Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-22 07:45	2011-03-23 06:47	27003	258	(2)	9	(6)				
2011-03-23 06:47	2011-03-24 06:45	29239	56	(3)	4	(15)				
2011-03-24 06:45	2011-03-25 07:47	28327	220	(2)	1	(50)				
2011-03-25 07:47	2011-03-26 07:47	28443	29.2	(4)	0.93	(29)				
2011-03-26 07:47	2011-03-27 08:47	28372	64	(3)	<3.8					
2011-03-27 08:27	2011-03-28 09:31	27792	807	(1)	59.6	(2)				
2011-03-28 09:31	2011-03-29 07:31	25595	1560	(1)	77	(2)	4	(18)		
2011-03-29 07:31	2011-03-30 07:31	28115	1395	(1)	164	(2)	9.5	(7)	136	(16)
2011-03-30 07:31	2011-03-31 07:31	28246	2145	(1)	557	(1)	39	(3)	488	(5)
2011-03-31 07:31	2011-04-01 06:31	27656	2023	(1)	427	(2)	27	(3)	369	(5)
2011-04-01 06:31	2011-04-02 06:31	27042	1276	(1)	311	(2)	19	(2)	244	(7)
2011-04-02 09:30	2011-04-03 06:31	23893	417	(1)	31	(3)	<4			
2011-04-03 06:31	2011-04-04 06:31	26775	225	(2)	12	(6)	<4.0			
2011-04-04 06:31	2011-04-05 06:31	27802	549	(1)	105	(2)	5	(12)	59	(21)
2011-04-05 06:31	2011-04-06 06:32	27571	313	(2)	77	(2)	2.5	(23)	44	(20)
2011-04-06 06:32	2011-04-07 06:32	27587	48	(4)	5	(11)	<4			
2011-04-07 06:32	2011-04-08 06:32	27779	354	(1)	38	(2)	1.4	(36)		
2011-04-08 06:32	2011-04-09 06:32	27747	100	(2)	10	(6)	<3			
2011-04-09 06:32	2011-04-10 06:32	27762	210	(3)	26	(3)	<3			
2011-04-10 06:32	2011-04-11 06:32	28292	398	(2)	65	(2)				
2011-04-11 06:32	2011-04-12 06:32	27295	127	(2)	41	(3)	<6.2			

Location	**Visby**	N 57.61°, E 18.32°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 06:30	2011-03-22 06:15	18770	<28		<31					
2011-03-22 06:15	2011-03-23 05:40	18740	197	(2)	11	(10)				
2011-03-23 05:40	2011-03-24 06:05	19375	*65*	*(7)*	*<18*					
2011-03-24 07:05	2011-03-25 08:35	20247	*502*	*(4)*	*14*	*(38)*				
2011-03-25 08:35	2011-03-28 06:20	41338	482	(1)	21	(3)	2	(11)		
2011-03-28 06:20	2011-03-29 07:35	15311	779	(2)	45	(3)	3	(40)		
2011-03-29 07:35	2011-03-30 06:00	13484	960	(1)	136	(2)	8.7	(9)	82	(25)
2011-03-30 06:00	2011-03-31 06:25	14663	1419	(1)	420	(2)	28	(4)	311	(9)
2011-03-31 06:25	2011-04-01 06:15	14008	1868	(1)	422	(2)	29	(4)	332	(7)
2011-04-01 06:15	2011-04-04 07:30	37472	325	(2)	56	(2)	3	(22)		
2011-04-04 07:30	2011-04-05 06:10	13502	484	(2)	86	(2)	5	(16)	33	(37)
2011-04-05 06:10	2011-04-06 06:05	13999	643	(2)	99	(2)	4.42	(19)	49	(42)
2011-04-06 06:05	2011-04-07 06:20	14297	42	(7)	4.53	(38)	<8			
2011-04-07 06:20	2011-04-08 06:10	14243	232	(2)	31	(4)	<3.5			
2011-04-08 06:10	2011-04-11 06:10	42683	202	(2)	43	(2)	2	(19)		

Location	Ljungbyhed	N 56.08°, E 13.22°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 07:15	2011-03-22 07:40	18048	<12		<11					
2011-03-22 08:40	2011-03-23 06:50	19573	143	(3)	8.3	(24)				
2011-03-23 06:50	2011-03-24 11:10	22407	80	(4)	7	(26)				
2011-03-24 07:05	2011-03-25 08:35	15604	2	(42)	<3					
2011-03-25 11:55	2011-03-28 06:30	44925	746	(1)	56	(2)	4.6	(11)	35	(31)
2011-03-28 06:30	2011-03-29 08:50	15348	1897	(1)	194	(2)	19	(11)	121	(38)
2011-03-29 08:50	2011-03-30 07:30	14697	1000	(2)	155	(2)	12	(17)	77	(60)
2011-03-30 07:30	2011-03-31 08:10	14277	380	(2)	29	(6)	<8			
2011-03-31 08:10	2011-04-01 04:50	11177	788	(2)	82	(5)	<10			
2011-04-01 04:50	2011-04-02 08:00	17537	160	(2)	7	(18)	<6			
2011-04-02 08:00	2011-04-03 07:00	14212	623	(2)	61	(4)	<5			
2011-04-03 07:00	2011-04-04 05:35	13455	252	(2)	24	(8)	<8			
2011-04-04 05:35	2011-04-05 07:20	14710	507	(2)	77	(4)	<8		61	(37)
2011-04-05 07:20	2011-04-06 05:15	14045	628	(2)	69	(5)	<8			
2011-04-06 05:15	2011-04-08 06:00	27714	250	(2)	56	(4)	<3.59			
2011-04-08 06:00	2011-04-11 05:40	42522	76	(3)	23	(3)	<1.18			

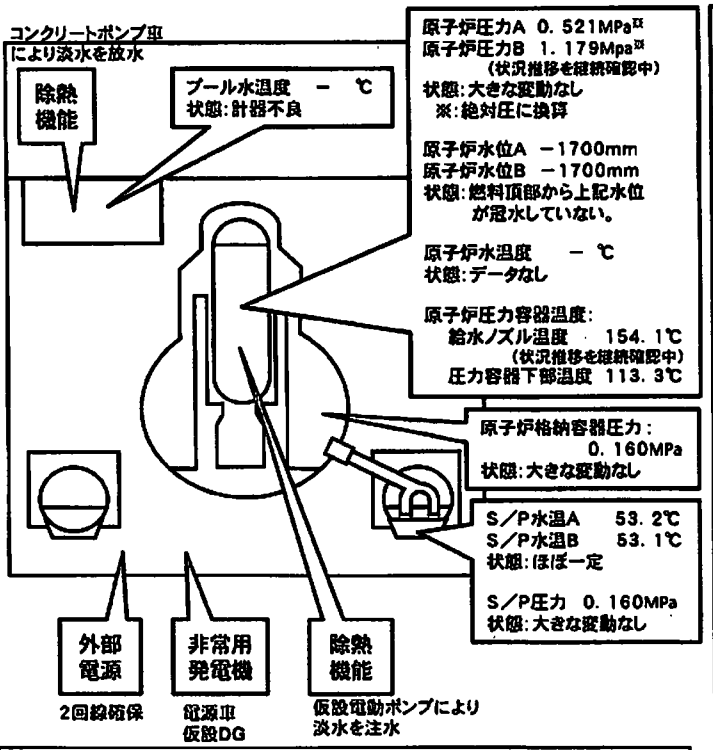
Swedish isotope concentration in grass samples (Bq/kg w.w.) at sites with automatic gamma monitoring stations

Sampling location	Latitude Degrees N	Longitude Degrees E	Sampling date	I-131	2σ (%)	Cs-137	2σ (%)	Dose rate (nSv/h)	Comments
Stockholm	59.35	18.01	2011-04-06	10.9	(3.7)				
Lindholmen	59.68	18.86	2011-04-06	5.4	(3.7)	0.85	(12)		
Gävle	60.71	17.16	2011-04-08	5.0	(6.0)	6.4	(4.7)	160	Normal
Sala	59.91	16.68	2011-04-08	2.4	(8.3)	2	(15)	140-150	Normal
Kilsbergen Suttarboda	59.29	14.89	2011-04-09	12.8	(4.7)	3.3	(12)	100-110	Normal
Hällum	58.32	13.04	2011-04-09	18.8	(4.3)	2.7	(19)	130-140	Normal
Göteborg	57.71	11.99	2011-04-10	13.6	(4.4)	3.0	(10)	130	Normal
Gränna	58.03	14.45	2011-04-10	7.9	(6.3)				
Norrköping	58.58	16.14	2011-04-10	7.1	(7.0)	2.6	(20)	130	Normal
Ölands norra udde	57.36	17.09	2011-04-08	11	(9.1)			80 - 90	Normal
Ölands södra udde	56.19	16.40	2011-04-08	9	(22)	4.6	(17)	100-110	Normal
Torekov (Hallands väderö)	56.45	12.54	2011-04-08	34	(5.9)	3.2	(13)	90	Normal
Växjö	56.84	14.83	2011-04-08	15	(6.7)	6.5	(9.2)	100-110	Normal
Gislövshammar	55.49	14.32	2011-04-08	24	(21)			80	Normal
Ljungbyhed	56.08	13.22	2011-04-08	16	(6.3)				
Jägersro	55.57	13.07	2011-04-08	19	(21)			90-100	Normal

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Friday, April 22, 2011 2:17 PM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M; (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Mahaffey, Charles T; (b)(6) Jih, Rongsong; (b)(6) Cutler, Kirsten B; Klug, Odin J
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: METI_NISA_108_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_108_(Jap)_seismic_fault_lines_considered_in_site_evaluation.pdf; METI_NISA_108_(Jap)_Unit_4_spent_fuel_pool_sampling.pdf; METI_NISA_108_(Jap)_plant_status_0422_1300.pdf; METI_NISA_108_(Jap)_monitoring__data_0422_1500.pdf; METI_NISA_107_(Eng)_Parameters.pdf; METI_NISA_107_(Eng)_Monitoring_Data.pdf; METI_NISA_107_(Eng)_extracts.pdf; METI_NISA_107_(Eng)_plant_conditions 1.pdf; METI_NISA_107_(Eng)_plant_conditions.pdf; METI_NISA_107_(Jap)_plant_conditions.pdf; METI_NISA_107_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_107_(Jap)_monitoring_results.pdf; METI_NISA_104_(Jap)_plant_status_(0420_1300).pdf

CG/25

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月20日　13:00現在）

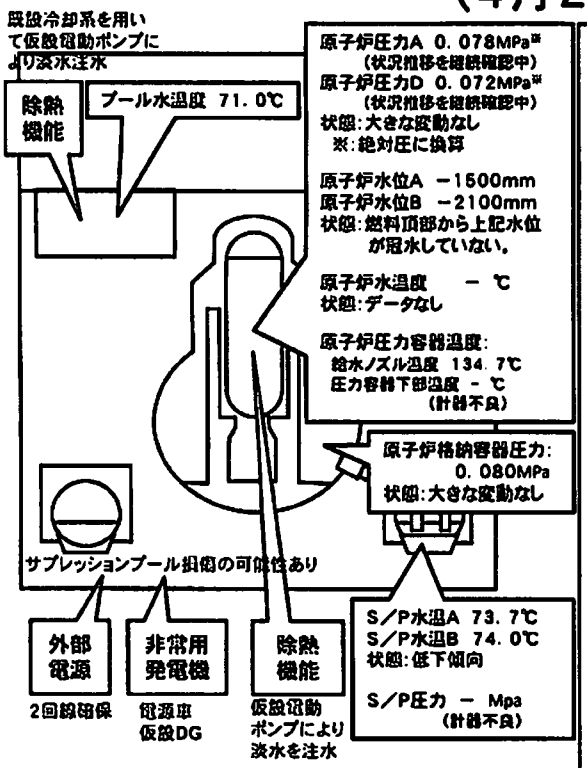


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

- 3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
- 3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
- 3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
- 3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
- 3/12　10:17　ベント開始
- 3/12　15:36　爆発音
- 3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
- 3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（2m³/h → 18m³/h）。9:00に給水系のみに切替（18m³/h → 11m³/h）
- 3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
- 3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
- 3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
- 3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
- 3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
- 4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
- 4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
- 4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
- 4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
- 4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
- 4/11　17:56　外部電源復旧
- 4/11　18:04　炉心注水再開
- 4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
- 4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
- 4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月20日　13:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

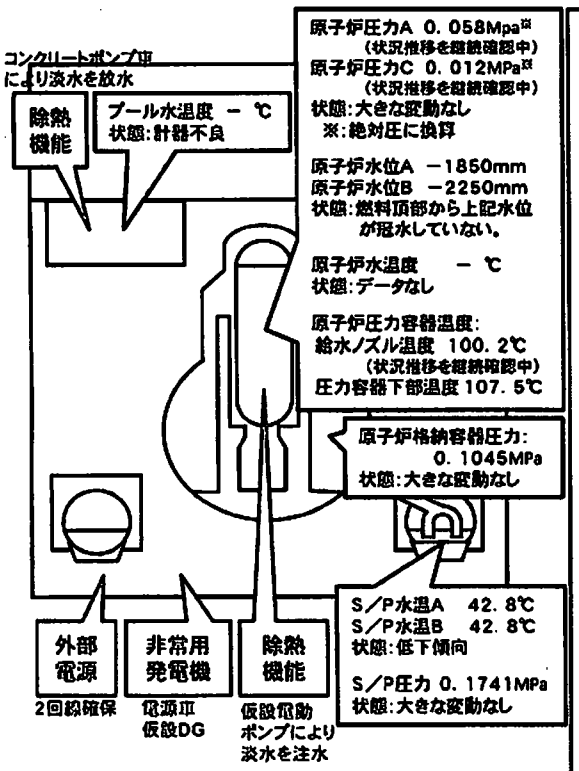
主要な出来事1/2

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　11:00　ベント開始
3/14　13:25　15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14　16:34　海水の炉心注水開始
3/14　22:50　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15　00:02　ベント開始
3/15　06:10　爆発音発生
3/15　06:20頃　サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20　15:05～17:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20　15:46　パワーセンター受電
3/21　18:22　白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22　16:07　SFPに海水を注水
3/25　10:30～12:19　FPCからSFPに海水を注水
3/26　10:10　淡水の炉心注水開始
3/26　16:46　中央制御室の照明復帰
3/27　18:31　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29　16:30～18:25　仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29　16:45～4/1　11:50　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30　09:25～23:50　SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1　14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2　09:30頃　取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2　17:10　復水器からCSTへ移送開始
4/3　12:12　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:47～14:30　ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、銀断処理した新聞紙3袋を投入
4/4　07:08～07:11　トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4　11:05～13:37　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5　14:15　トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6　05:38頃　ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7　13:29～14:34　FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9　13:10　復水器からCSTへの移送完了
4/10　10:37～12:38　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12　19:35～4/13　17:04　タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13　11:00　漏えい確認等のため一時停止
4/13　13:15～14:55　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16　10:13～11:54　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により満水を確認。）
4/16　11:19頃　地震発生（茨城県南部）
4/18　13:42～　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:13～12:37　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18　9:30～17:40　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　8:00～15:30　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　10:08　タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19　16:08～17:28　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月20日　13:00現在）



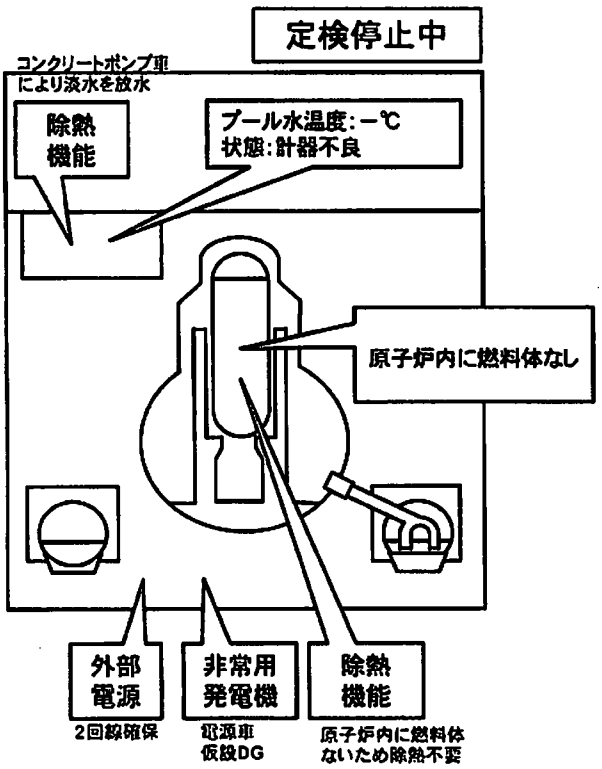
現状:プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月20日　13:00現在）



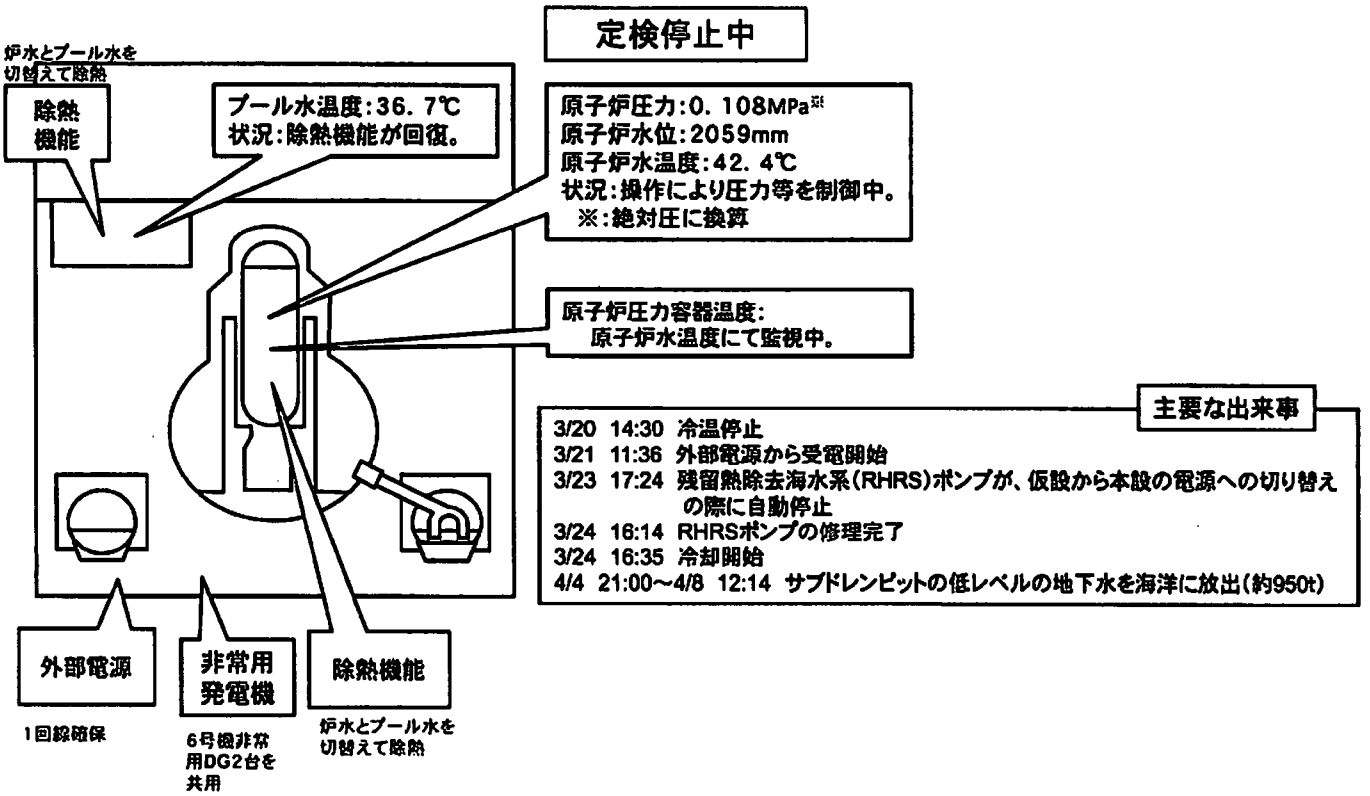
現状:原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

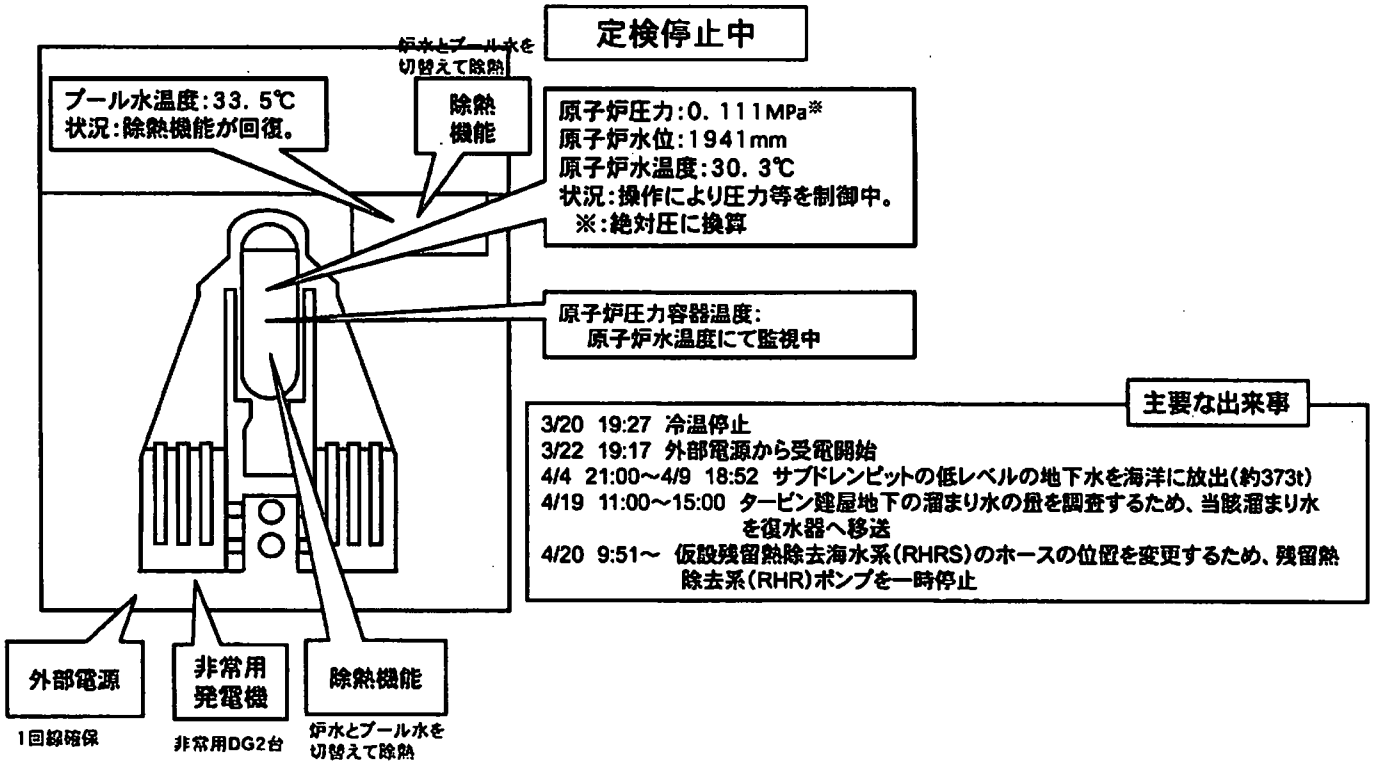
地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17　17:39～21:22、4/19　10:17～11:35

福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月20日　13:00現在）



福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月20日　13:00現在）



【留意事項】
各計測器については、地震やその他の事故進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月20日　13:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1700mm 燃料域B：−1700mm （4/20 1200現在）	燃料域A：−1600mm 燃料域B：−2100mm （4/20 1200現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/20 1200現在）		停止域 2059mm （4/20 1300現在）	停止域 1941mm （4/20 1300現在）
原子炉圧力	A系0.420MPa g（A） B系1.078MPa g（B）※3 （4/20 1200現在）	A系−0.023MPa g（A）※3 B系−0.029MPa g（D）※3 （4/20 1200現在）	A系−0.043MPa g（A）※3 B系−0.089MPa g（C）※3 （4/20 1200現在）		0.007MPa g （4/20 1300現在）	0.010MPa g （4/20 1300現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				42.4℃ （4/20 1300現在）	30.3℃ （4/20 1300現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：154.1℃ ※3 圧力容器下部温度：113.3℃ （4/20 1200現在）	給水ノズル温度：134.7℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/20 1200現在）	給水ノズル温度：100.2℃ ※3 圧力容器下部温度：107.5℃ （4/20 1200現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C圧力	D/W 0.160MPa abs S/C 0.160MPa abs （4/20 1200現在）	D/W 0.0830MPa abs S/C ※1 （4/20 1200現在）	D/W 0.1045MPa abs S/C 0.1741MPa abs （4/20 1200現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W雰囲気温度	RPVベローシール：117.2℃ HVH戻り：96.2℃ （4/20 1200現在）	RPVベローシール：※1 HVH戻り：123℃ （4/20 1200現在）	RPVベローシール：210.7℃※3 HVH戻り：71.5℃ （4/20 1200現在）			
CAMS放射線モニタ	D/W（A）※1 （B）※1 S/C（A）9.91×10^{-1}Sv/h ※3 （B）2.05×10^{0}Sv/h ※3 （4/20 1200現在）	D/W（A）2.49×10^{1}Sv/h （B）2.83×10^{1}Sv/h S/C（A）5.51×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.03×10^{0}Sv/h ※3 （4/20 1200現在）	D/W（A）1.55×10^{1}Sv/h （B）1.16×10^{1}Sv/h S/C（A）5.85×10^{-1}Sv/h ※3 （B）5.41×10^{-1}Sv/h ※3 （4/20 1200現在）			
S/C温度	A系：53.2℃ B系：53.1℃ （4/20 1200現在）	A系：73.7℃ B系：74.0℃ （4/20 1200現在）	A系：42.8℃ B系：42.8℃ （4/20 1200現在）			
D/W設計使用圧力	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	－	－	
D/W最高使用圧力	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）			
使用済燃料プール温度	※1	71.0℃ （4/20 1200現在）	※1	※1	36.7℃ （4/20 1300現在）	33.5℃ （4/20 1300現在）
FPCスキマーサージタンクレベル	4500mm （4/20 1200現在）	5000mm （4/20 1200現在）	※1	4200mm （4/20 1200現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：30℃程度 （4/20 8:00）	5u：非常モード （4/20 9:41～）	6u：点検作業に伴いSHC停止中

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続監視中

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 22, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 107th Release)
(As of 08:00 April 22nd, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

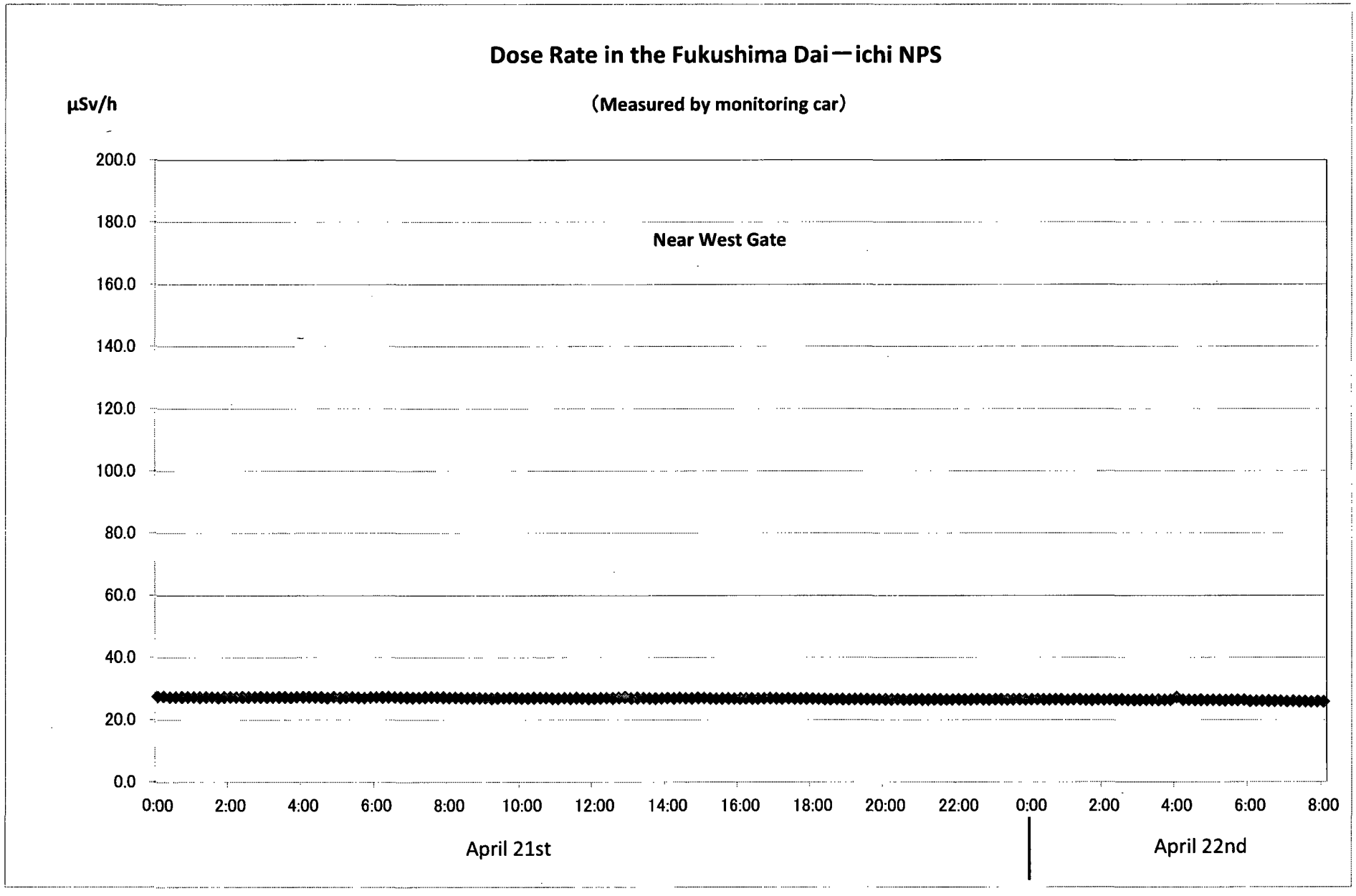
Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS
     - Fresh water spray of around 140t for Unit 4 using Concrete Pump Truck (62m class) was carried out. (From 17:14 till 21:20 April 21st)
     - The test implementation of spraying anti-scattering agent to prevent the spread of radioactive materials on the ground surface was carried out, in the areas of about 1,300 m^2 on the mountain-side of the Radioactive Waste Treatment Facilities and about 5,100 m^2 on the mountain-side of switchyard for the high-pressure power supply of Units 5 and 6. (From 12:00 till 15:00 April 21st)
     - Removal of rubble (Amount equivalent to a container) using remote-control heavy machineries was carried out. (From 9:00 till 16:00 April 21st)

<Directives regarding foods and drinks>

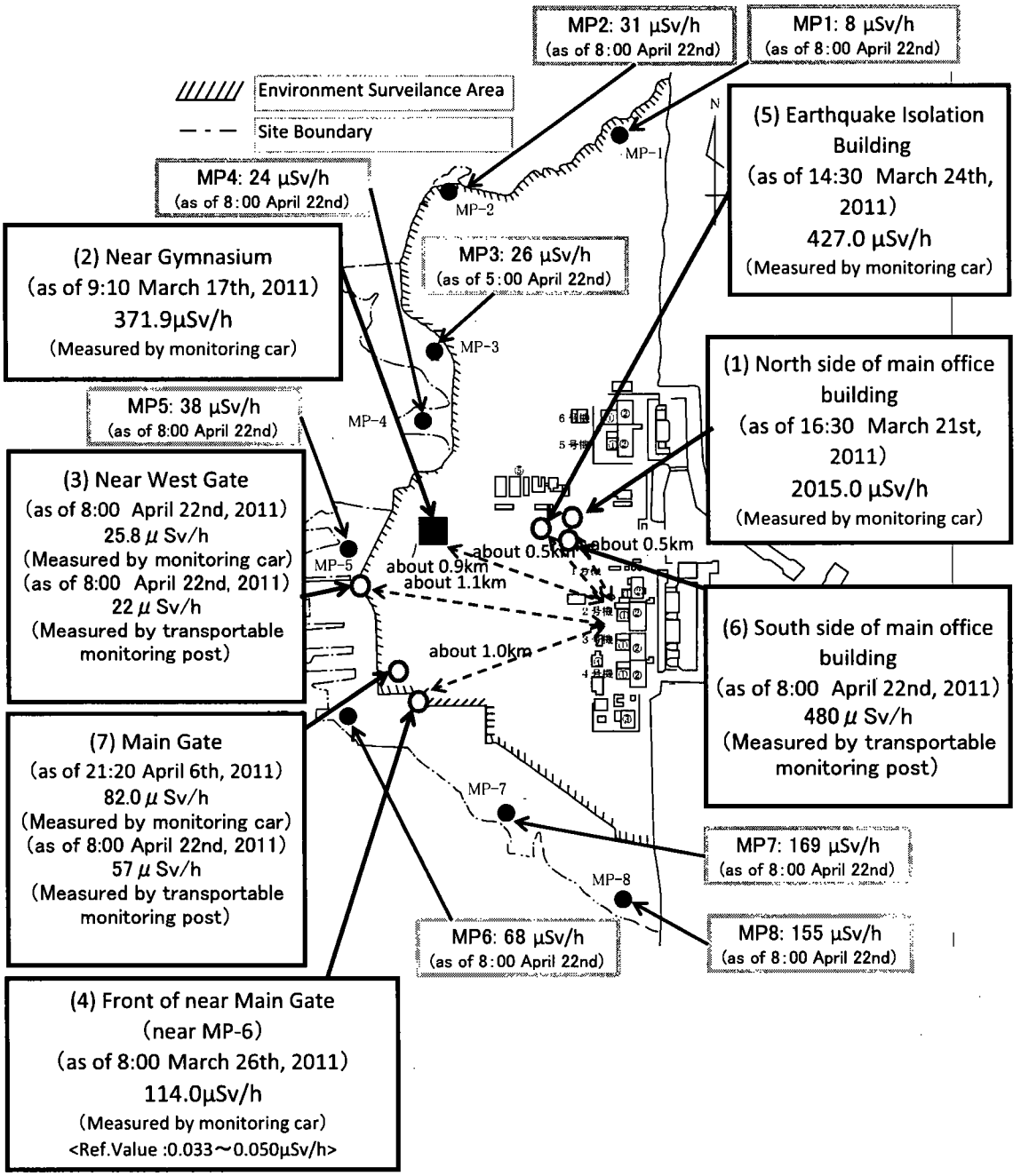
- Lifting the restrictions on shipment. (08:00 April 21st)
  Raw milk from Souma-City and Shinchi-Town, Fukushima Prefecture.
  Spinach from Shiobara-City and Shioya-Town, Tochigi Prefecture.

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html


Dose Rate in the Fukushima Dai－ichi NPS
(Measured by monitoring car)
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
Near West Gate
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
April 21st
April 22nd

Fukushima Dai－ichi NPS

as of 10:00, April 22nd, 2011



Fukushima Dai-ni NPS

as of 10:00, April 22nd, 2011

MP1 : 2.4μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value:0.035～0.054μSv/h)

MP2 : 1.8μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value:0.042～0.062μSv/h)

MP3 : 2.5μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value:0.036～0.052μSv/h)

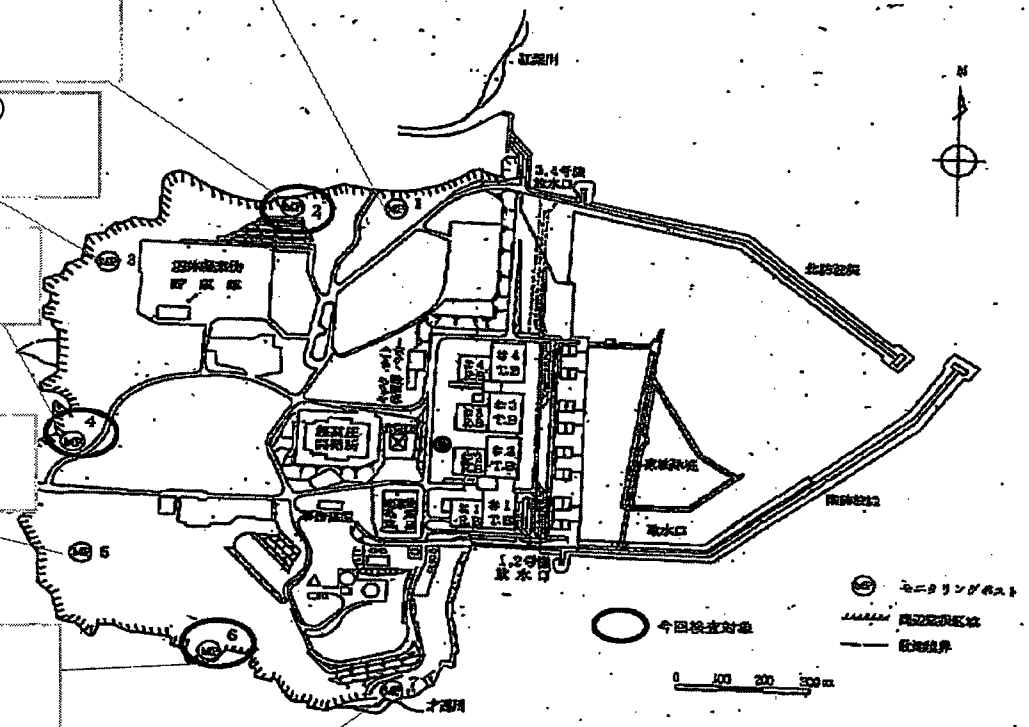
MP4 : 2.0μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value: 0.036～0.052μSv/h)

MP5 : 2.1μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value:0.041～0.058μSv/h)

MP6 : 2.0μSv/h (as of 8:00 April 22nd)
(Ref. Value:0.044～0.063μSv/h)

MP7 : 1.5μSv/h (as of 9:00 April 21st)
(Ref. Value: 0.043～0.062μSv/h)

Location of Monitoring Post



2011/4/2218:22

Results of environmental monitoring at each NPSs etc. (as of 9:00PM, April 21st)

unit: μSv/h

Range of normal average value	Company	NPS	April 21, 2011											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	Hokkaido Electric Power Co.	Tomari NPS	0.033	0.033	0.033	0.034	0.035	0.035	0.034	0.033	0.033	0.033	NM *1	NM *1
0.024～0.060	Tohoku Electric Power Co.	Onagawa NPS	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.060		Higashidori NPS	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
0.033～0.050	Tokyo Electric Power Co.	Fukushima Dai-ichi※	(publicized in another place.)											
0.036～0.052		Fukushima Dai-ni												
0.011～0.159		Kashiwazaki kariwa NPS	0.065	0.064	0.065	0.066	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.064	0.065
0.036～0.053	Japan Atomic Power Co.	Tokai Dai-ni NPS	0.337	0.337	0.334	0.335	0.336	0.333	0.334	0.334	0.336	0.337	0.331	0.332
0.039～0.110		Tsuruga NPS	0.074	0.072	0.073	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072	0.073	0.073
0.064～0.108	Chubu Electric Power Co.	Hamaoka NPS	0.043	0.042	0.042	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.042
0.0207～0.132	Hokuriku Electric Power Co.	Shika NPS	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.033	0.032
0.028～0.130	Chugoku Electric Power Co.	Shimane NPS	0.029	0.031	0.029	0.030	0.031	0.030	0.029	0.030	0.031	0.030	0.030	0.029
0.070～0.077	Kansai Electric Power Co.	Mihama NPS	0.071	0.073	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072	0.075	0.073
0.045～0.047		Takahama NPS	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.043	0.044	0.044	0.044	0.044
0.036～0.040		Ooi NPS	0.035	0.036	0.036	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.036	0.036	0.036
0.011～0.080	Shikoku Electeic Power Co.	Ikata NPS	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013
0.023～0.087	Kyushu Electric Power Co.	Genkai NPS	0.026	0.027	0.025	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.028	0.026	0.026
0.034～0.120		Sendai NPS	0.038	0.038	0.040	0.038	0.039	0.038	0.035	0.034	0.040	0.042	0.036	0.039
0.009～0.069	Japan Nuclear Fuel Limited	Japan Nuclear Fuel Reprocessing Plant	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016
0.009～0.071		Japan Nuclear Fuel Plant Disposal	0.022	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

※ Chubu Electric Power Co. reported that from 12:00, April 1st, the data did not include the contribution of cosmic rays.

Range of normal average value	Company	NPS	April 21, 2011											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	Hokkaido Electric Power Co.	Tomari NPS	NM *1	NM *1	NM *1	NM *1	0.031	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032		
0.024～0.060	Tohoku Electric Power Co.	Onagawa NPS	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.060		Higashidori NPS	0.016	0.016	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.017	0.017	0.016		
0.033～0.050	Tokyo Electric Power Co.	Fukushima Dai-ichi※	(publicized in another place.)											
0.036～0.052		Fukushima Dai-ni												
0.011～0.159		Kashiwazaki kariwa NPS	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.064	0.065	0.065	0.065	0.065		
0.036～0.053	Japan Atomic Power Co.	Tokai Dai-ni NPS	0.336	0.339	0.336	0.335	0.334	0.333	0.335	0.332	0.331	0.334		
0.039～0.110		Tsuruga NPS	0.072	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073	0.075	0.073	0.073	0.074		
0.064～0.108	Chubu Electric Power Co.	Hamaoka NPS	0.042	0.043	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043		
0.0207～0.132	Hokuriku Electric Power Co.	Shika NPS	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033		
0.028～0.130	Chugoku Electric Power Co.	Shimane NPS	0.030	0.030	0.029	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.030	0.030		
0.070～0.077	Kansai Electric Power Co.	Mihama NPS	0.072	0.074	0.075	0.074	0.072	0.072	0.074	0.073	0.073	0.075		
0.045～0.047		Takahama NPS	0.044	0.044	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.036～0.040		Ooi NPS	0.035	0.034	0.035	0.035	0.034	0.035	0.036	0.035	0.034	0.034		
0.011～0.080	Shikoku Electeic Power Co.	Ikata NPS	0.013	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014		
0.023～0.087	Kyushu Electric Power Co.	Genkai NPS	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026		
0.034～0.120		Sendai NPS	0.037	0.037	0.037	0.036	0.038	0.038	0.035	0.038	0.035	0.037		
0.009～0.069	Japan Nuclear Fuel Limited	Japan Nuclear Fuel Reprocessing Plant	0.016	0.016	0.015	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.009～0.071		Japan Nuclear Fuel Plant Disposal	0.022	0.022	0.021	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022		

※ Chubu Electric Power Co. reported that from 12:00, April 1st, the data did not include the contribution of cosmic rays.

*1: NM: Not measured due to the inspection

Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Major Parameters of the Plant (Data such as water level, pressure, temperature, etc.) (As of 7:00, April 22nd)

Unit No.	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	Unit 5	Unit 6
Situation of water injection to reactor	Injecting fresh water via the Water Supply Line. Flow rate of injected water : 6 m^3/h (As of 17:30, April 3rd) temporary measuring instrument	Injecting fresh water via the Fire Extinguish Line. Flow rate of injected water : $7m^3/h$ (As of 17:00, April 15th) temporary measuring instrument	Injecting fresh water via the Fire Extinguish Line. Flow rate of injected water: $6.8m^3/h$ (As of 11:25, April 21st) temporary measuring instrument	#2 (Out of monitoring scope as all fuels are discharged from the core.)	#2 (Water injection is unnecessary as cooling function of the reactor cores are in normal operation.)	
Reactor water level	Fuel range A : -1,650mm Fuel range B : -1,650mm (As of 6:00, April 22nd)	Fuel range A : -1,500mm Fuel range B : -2,100mm (As of 6:00, April 22ndt)	Fuel range A:-1,850mm Fuel range B:-2,250mm (As of 6:00, April 22nd)		Shutdown range measurement 1,730mm (As of 7:00, April 22nd)	Shutdown range measurement 2,323mm (As of 7:00, April 22nd)
Reactor pressure	0.435MPa g(A) 1.113MPa g(B) #3 (As of 6:00, April 22nd)	-0.023MPa g (A) #3 -0.027MPa g (D) #3 (As of 6:00,April 22nd)	-0.047MPa g (A) #3 -0.087MPa g (C) #3 (As of 6:00, April 22nd)		0.004MPa g (As of 7:00, April 22nd)	0.013MPa g (As of 7:00, April 22nd)
Reactor water temperature	(Collection Impossible due to low system flow rate)				35.4℃ (As of 7:00, April 22nd)	23.5℃ (As of 7:00, April 22nd)
Temperature related to Reactor Pressure Vessel (RPV)	Feedwater nozzle temperature: 137.4℃ #3 Temperature at the bottom head of RPV: 113.0℃ (As of 6:00, April 22nd)	Feedwater nozzle temperature: 131.2℃ Temperature at the bottom head of RPV: #1 (As of 6:00, April 22nd)	Feedwater nozzle temperature: 93.3℃ #3 Temperature at the bottom head of RPV: 110.4℃ (As of 6:00, April 22nd)		#2 (Monitoring water temperature in the reactor.)	
D/W*1 Pressure, S/C*2 Pressure	D/W: 0.160MPa abs S/C: 0.160MPa abs (As of 6:00, April 22nd)	D/W: 0.085MPa abs S/C: #1 (As of 6:00, April 22nd)	D/W: 0.1055MPa abs S/C: 0.1780MPa abs (As of 6:00, April 22nd)		#2 (Out of monitoring scope as cooling function of the reactor is maintained.)	
D/W*1 atmosphere temperature	RPV bellows seal: 116.8℃ Return line to HVH*6: 96.4℃ (As of 6:00, April 22nd)	RPV bellows seal: #1 Return line to HVH*6: 122℃ (As of 6:00, April 22nd)	RPV bellows seal: 138.6℃ #3 Return line to HVH*6: 63.7℃ (As of 6:00, April 22nd)			
CAMS*3 radiation monitors	D/W (A) #1 (B) #1 S/C (A) 9.94×10^{-1}Sv/h #3 (B) 1.85×10^{0}Sv/h #3 (As of 6:00, April 22nd)	D/W (A) 2.43×10^{1}Sv/h (B) 2.76×10^{1}Sv/h S/C (A) 5.22×10^{-1}Sv/h #3 (B) 1.37×10^{2}Sv/h #3 (As of 6:00,April 22nd)	D/W (A) 1.52×10^{1}Sv/h (B) 1.14×10^{1}Sv/h S/C (A) 5.70×10^{-1}Sv/h #3 (B) 5.32×10^{-1}Sv/h #3 (As of 6:00, April 22nd)			
S/C temperature	A: 52.8℃ B: 52.7℃ (As of 6:00, April 22nd)	A: 72.5℃ B: 72.8℃ (As of 6:00, April 22nd)	A: 42.3℃ B: 42.3℃ (As of 6:00, April 22nd)			
D/W*1 design operating pressure	0.384MPa g(0.485MPa abs)	0.384MPa g(0.485MPa abs)	0.384MPa g(0.485MPa abs)	-	-	
D/W*1 maximum operating pressure	0.427MPa g(0.528MPa abs)	0.427MPa g(0.528MPa abs)	0.427MPa g(0.528MPa abs)			

Spent Fuel Pool water	#1	46.0℃ (As of 6:00, April 22nd)	#1	#1	37.5℃ (As of 7:00, April 22nd)	32.5℃ (As of 7:00, April 22nd)
FPC skimmer level	4,500mm (As of 6:00, April 22nd)	4,300mm (As of 6:00, April 22nd)	#1	4,200mm (As of 6:00, April 22nd)	#2	
Power supply	Receiving external power supply (P/C*4 2C)		Receiving external power supply (P/ C*4 4D)		Receiving external power supply	
Other information				Common pool: about 29 ℃ (As of 7:10, April 21st)	Unit5: SHC*5 mode (From 19:14 April 21st)	Unit6: SHC*5 mode (From 9:45 April 21st)

Pressure conversion	Gauge pressure (MPa g) = Absolute pressure (MPa abs) – Atmospheric pressure (Normal atmospheric pressure 0.1013MPa) Absolute pressure (MPa abs) = Gauge pressure (MPa g) + Atmospheric pressure (Normal atmospheric pressure 0.1013MPa)

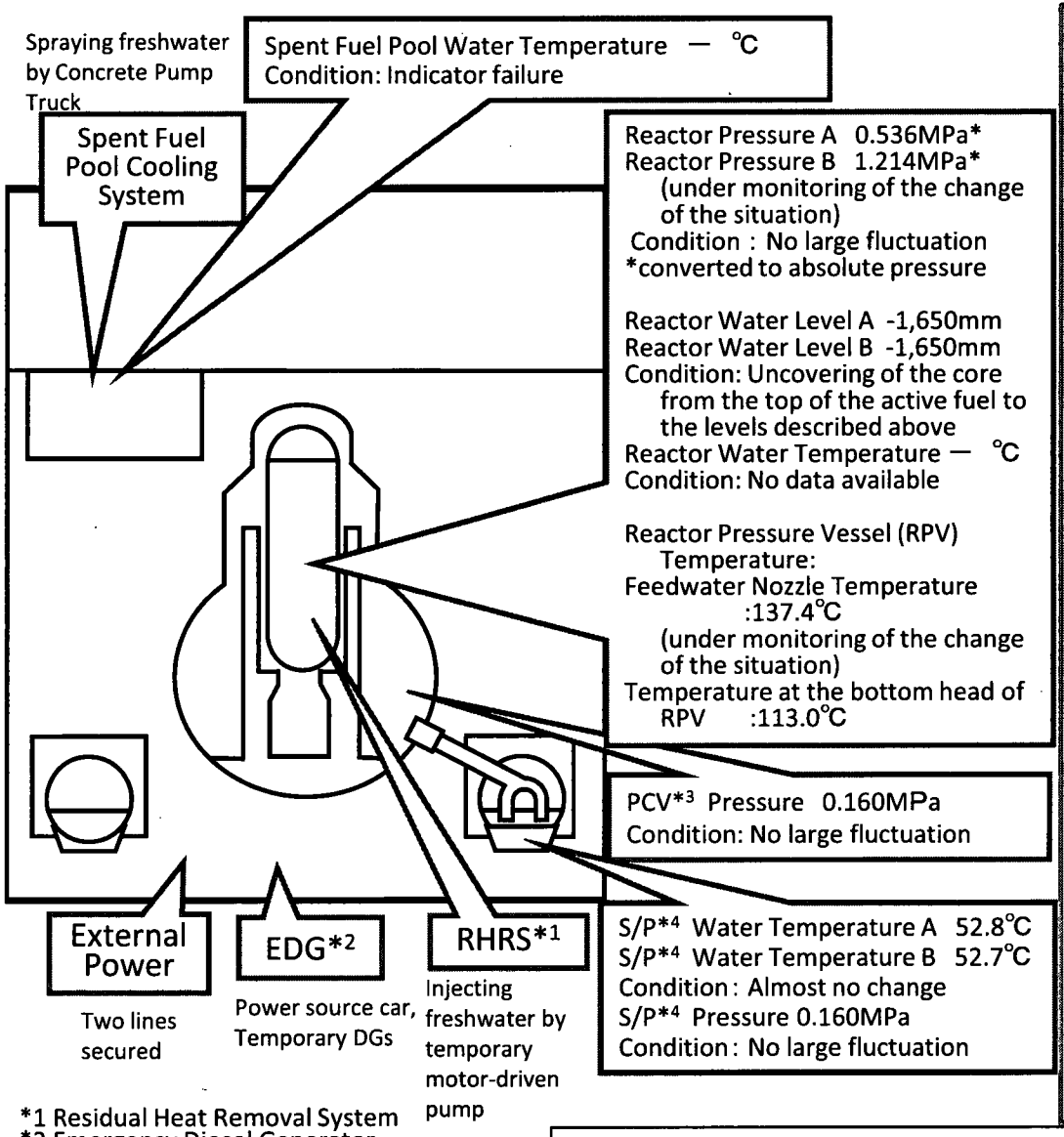
*1 D/W : Dry Well
*2 S/C : Suppression Chamber
*3 CAMS : Containment Atmospheric Monitoring System
*4 P/C : Power Center
*5 SHC : Shutdown Cooling
*6 HVH : Heating and Ventilating Handling Unit

#1 : Measuring instrument malfunction
#2 : Except from data collection
#3 : Under monitoring of the change of the situation

[Note]
There is a possibility that some instruments may not indicate correct values as they have been exposed to the conditions beyond the usual atmospheric ones due to the earthquake and the developments of the event. Taking into account the uncertainty of those instruments, the plants' conditions are judged in an integrated manner paying attention to the trends of the change, using the information obtained through multiple instruments.

(Open to Public)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 1
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

Major Events after the Earthquake

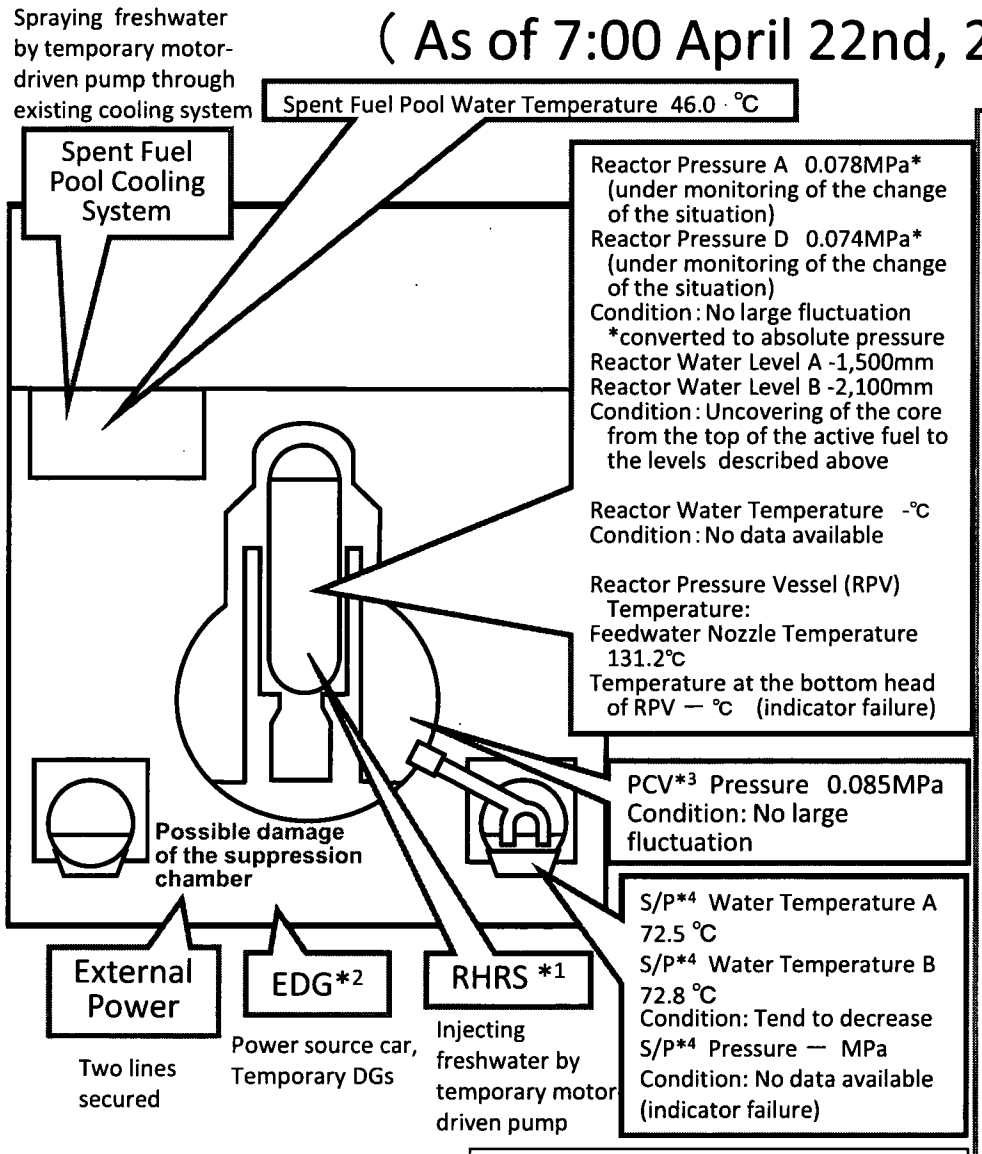
March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 12th 01:20 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 12th 10:17 Started to vent.
March 12th 15:36 Sound of explosion
March 12th 20:20 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 23rd 02:33 The amount of injected water to the Reactor Core was increased utilizing the Feedwater Line in addition to the Fire Extinguish Line. ($2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$)
09:00 Switched to the Feedwater Line only.($18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$)
March 24th 11:30 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 25th 15:37 Started to inject fresh water.
March 29th 08:32 Switched to the water injection to the Reactor Core using the temporary motor-driven pump.
March 31st 12:00 ～2nd 15:26 Started to transfer the stagnant water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 31st 13:03～16:04 Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)
April 3rd 12:02 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:55 Started to transfer the water from the Condenser to CST.
April 6th 22:30 Started the operation for the injection of nitrogen to PCV.
April 7th 01:31 Confirmed starting the injection of nitrogen to PCV.
April 9th 04:10 Started using highly pure nitrogen generator in the injection of nitrogen to PCV.
April 10th 09:30 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core and nitrogen injection to PCV were suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 11th 23:19 Restarted operation for injecting nitrogen to PCV.
April 11th 23:34 Confirmed starting injection of nitrogen to PCV.
April 17th 16:00～17:30 Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.
April 18th 11:50～12:12 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 2

(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

Major Events after the Earthquake 1/2

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 11:00 Started to vent.
March 14th 13:25 Occurrence of the Article 15 event (Loss of reactor cooling functions)
March 14th 16:34 Started to inject seawater to the Reactor Core.
March 14th 22:50 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 15th 00:02 Started to vent.
March 15th 06:10 Sound of explosion
March 15th around 06:20 Possible damage of the suppression chamber
March 20th 15:05～17:20 Approximately 40 ton seawater injection to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 20th 15:46 Power Center received electricity.
March 21st 18:22 White smoke generated. The smoke died down and almost invisible at 07:11 March 22nd.
March 22nd 16:07 Injection of around 18 tons of seawater to SFP
March 25th 10:30～12:19 Sea water injection to SFP via FPC
March 26th 10:10 Started to inject fresh water to the Reactor Core.
March 26th 16:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 27th 18:31 Switched to the water injection to the core using the temporary motor-driven pump.
March 29th 16:30～18:25 Switched to the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP.
March 29th 16:45～1st 11:50 Transferred the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 30th 9:25～23:50 Confirmed malfunction of the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP(9:45). Switched to the injection using the fire pump Truck, but suspended as cracks were confirmed in the hose. (12:47, 13:10) Resumed injection of fresh water(19:05)
April 1st 14:56～17:05 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 2nd around 9:30 The water, of which the dose rate was at the level of more than 1,000mSv/h, was confirmed to be collected in the pit located near the Intake Channel of Unit 2. The outflow from the lateral surface of the pit into the sea was also confirmed.
April 2nd 17:10 Started to transfer the water from the Condenser to the CST.
April 3rd 12:12 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:47～14:30 20 bags of sawdust, 80 bags of high polymer absorbent and 3 bags of cutting-processed newspaper were put into the Pit for the Conduit.
April 4th 7:08～7:11 Approximately 13kg of tracer (bath agent) was put in from the Pit for the Duct for Seawater Pipe.
April 4th 11:05～13:37 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 5th 14:15 Tracer is confirmed to outflow through the permeable layer around the pit into the sea. 15:07 Started to inject coagulant.
April 6th around 5:38 The water outflow from the lateral surface of the pit was confirmed to stopped.
April 7th 13:29～14:34 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 9th 13:10 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 10th 10:37～12:38 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture). Water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.

Major Events after the Earthquake 2/2

April 12th 19:35～April 13th 17:04 Transfer from the trench of the turbine building to the Condenser.

April 13th 11:00 Suspended the transfer for checking leaks, etc.

April 13th 13:15～14:55 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.

April 16th 10:13～11:54 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump. (The temporary motor-driven pump stopped at 11:39 due to an earthquake that occurred at around 11:19. SFP was confirmed to be filled to capacity through observing a rise of the water level in the Skimmer Tank.)

April 16th around 11:19 An earthquake occurred (in the southern part of Ibaraki Prefecture).

April 18th 13:42～ Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.

April 18th 12:13～12:37 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.

April 18th 09:30～17:40 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

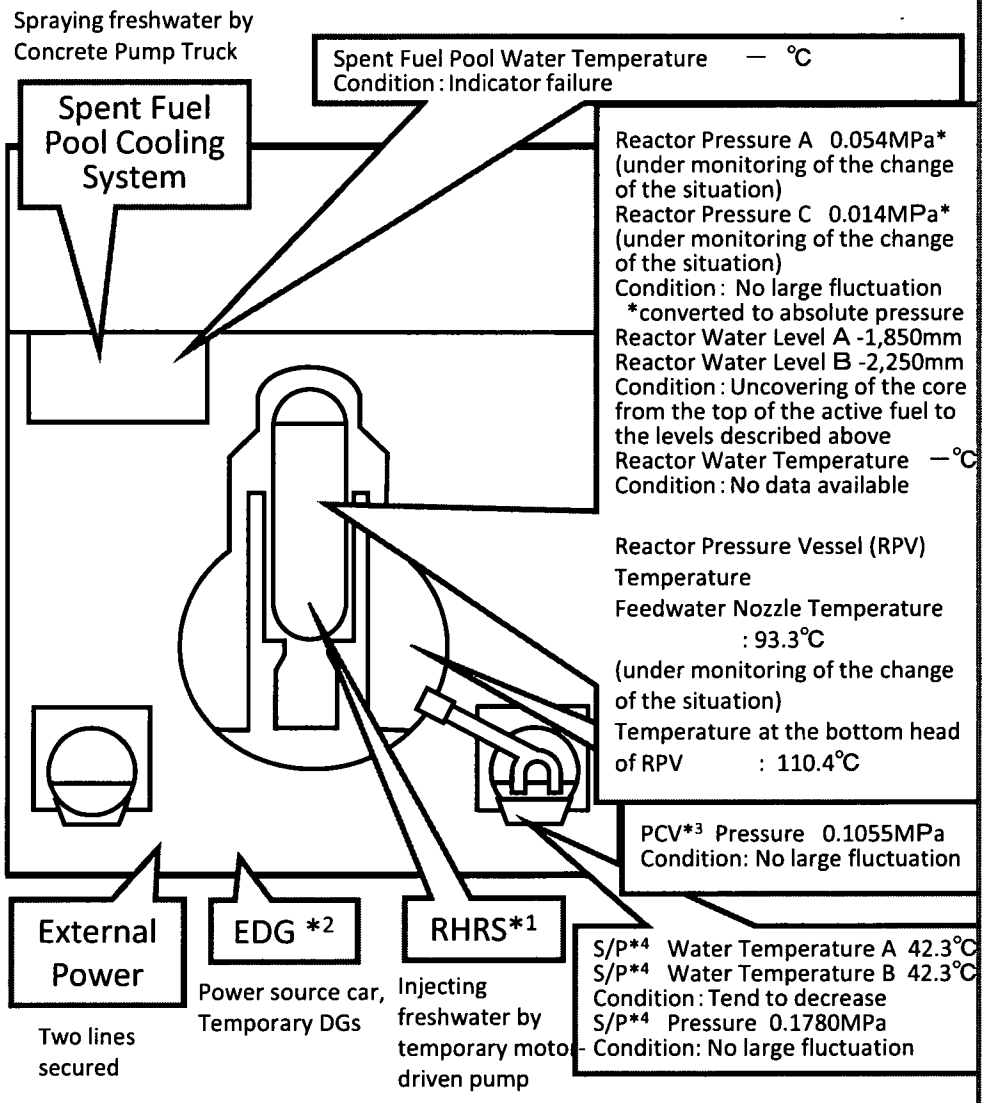
April 19th 08:00～15:30 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

April 19th 10:08～ Started to transfer the stagnant water with high-level radioactivity from the trench of the turbine building to the buildings of radioactive waste treatment facilities.

April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

April 19th 16:08～17:28 Injected freshwater to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 3
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

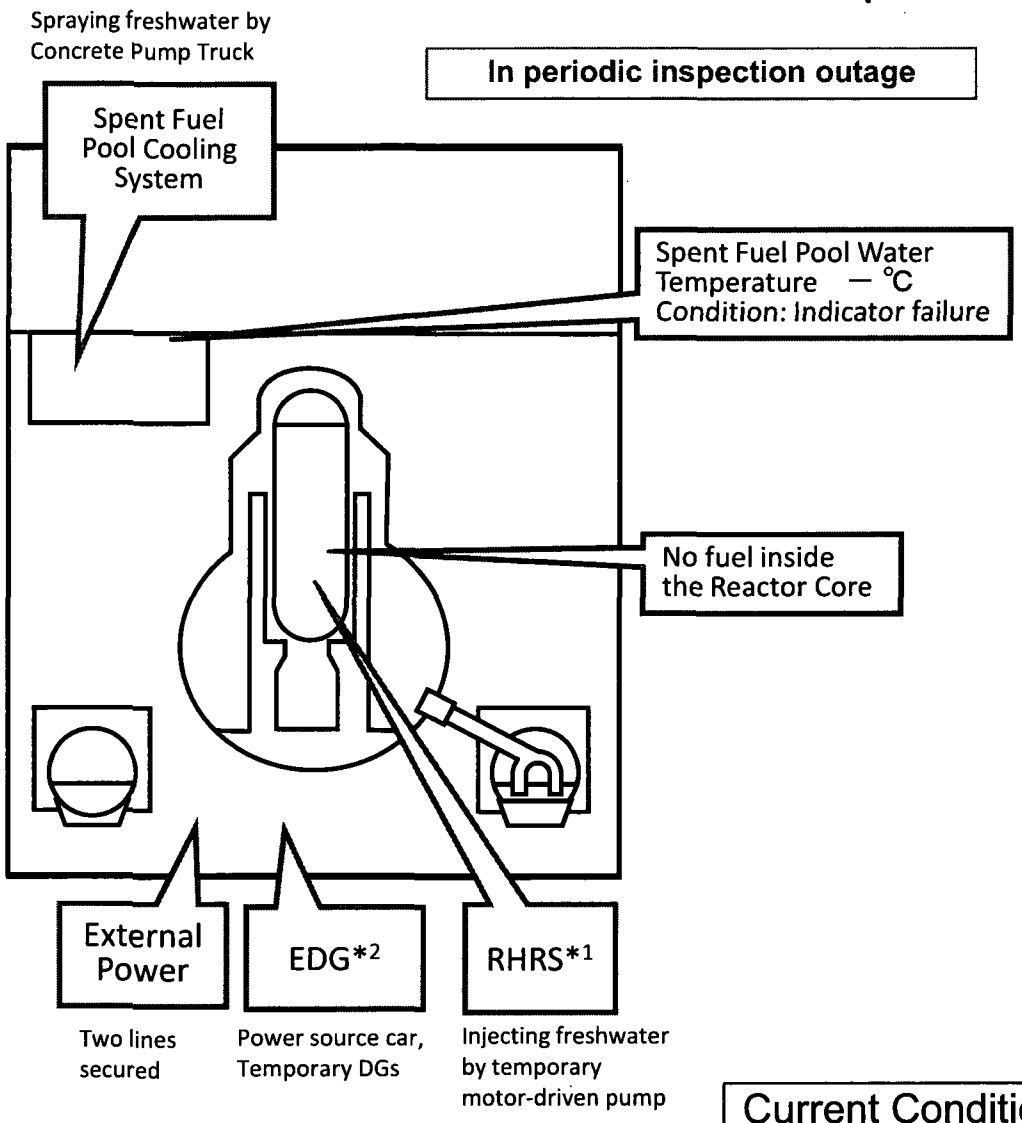
(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

Major Events after the Earthquake

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 13th 05:10 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 08:41 Started to vent.
March 13th 13:12 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 14th 05:20 Started to vent.
March 14th 07:44 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 14th 11:01 Sound of explosion
March 16th around 08:30 White smoke generated.
March 17th 09:48～10:01 Water discharge by the helicopters of Self-Defense Force
March 17th 19:05～19:15 Water spray from the ground by High pressure water-cannon trucks of Police
March 17th 19:35～20:09 Water spray from the ground by fire engines of Self-Defense Force
March 18th before 14:00～14:38 Water spray from the ground by 6 fire engines of Self-Defense Force
March 18th ～14:45 Water spray from the ground by a fire engine of the US Military
March 19th 00:30 ～01:10 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 19th 14:10 ～ 20th 03:40 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 20th 11:00 Pressure of PCV rose(320kPa).Afterward fell.
March 20th 21:36 ～ 21st 03:58 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 21st around 15:55 Grayish smoke generated and was confirmed to be died down at 17:55.
March 22nd 15:10 ～16:00 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department and Osaka City Fire Bureau.
March 22nd 22:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 23rd 11:03 ～13:20 Injection of about 35 ton of sea water to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 23rd around 16:20 Black smoke generated and was confirmed to died down at around 23:30 and 24th 04:50.
March 24th 05:35～16:05 Injection of around 120 ton of sea water to SFP via FPC
March 25th 13:28～16:00 Water spray by Kawasaki City Fire Bureau supported by Tokyo Fire Department
March 25th 18:02 Started fresh water injection to the core.
March 27th 12:34～14:36 Water spray by Concrete Pump Truck
March 28th 17:40～31st around 8:40 Transferring the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 28th 20:30 Switched to the water injection to the core using a temporary motor-driven pump.
April 3rd 12:18 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply of Unit 1 and 2 due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 18:04 External power supply of Units 1 and 2 recovered (April 11th 17:56). Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 17th 11:30～14:00 Confirmed the situation in the reactor building using unmanned robot.
April 18th 12:38～13:05 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.
<Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)>
March 29th 14:17～18:18, March 31st 16:30～19:33, April 2nd 09:52～12:54, April 4th 17:03 ～19:19, April 7th 06:53 ～08:53, April 8th 17:06～20:00, April 10th 17:15～19:15, April 12th 16:26～17:16, April 14th 15:56～16:32, April 18th 14:17～15:02

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 4
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

*3 Reactor Pressure Vessel

Major Events after the Earthquake

In periodic inspection outage when the earthquake occurred

March 14th 04:08 Water temperature in the Spent Fuel Pool (SFP), 84℃

March 15th 06:14 Confirmed the partial damage of wall in the 4th floor.

March 15th 09:38 Fire occurred in the 3rd floor. (12:25 extinguished)

March 16th 05:45 Fire occurred. TEPCO couldn't confirm any fire on the ground. (06:15)

March 20th 08:21～09:40 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 20th around 18:30～19:46 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 21st 06:37～08:41 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 21st around 15:00 Work for laying cable to Power Center was completed.

March 22nd 10:35 Power Center received electricity.

<Water spray by Concrete Pump Truck (Seawater)>
March 22nd 17:17～20:32, March 23rd 10:00～13:02, March 24th 14:36～17:30, March 25th 19:05～22:07, March 27th 16:55～19:25

March 25th 06:05～10:20 Sea water injection to SFP via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)

March 29th 11:50 Lighting in the Central Control Room was recovered.

April 11th around 17:16 An earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture).

April 12th 12:00～13:04 Sampled the water in SFP.

April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

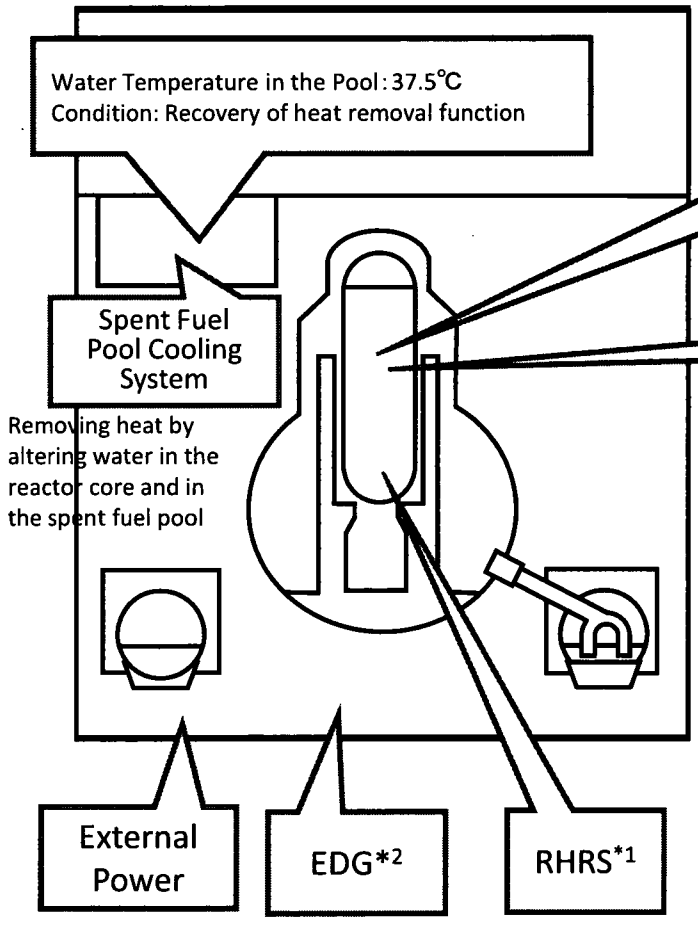
< Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)> March 30th 14:04～18:33, April 1st 08:28～14:14, April 3rd 17:14～22:16, April 5th 17:35～18:22, April 7th 18:23～19:40, April 9th 17:07～19:24, April 13th 0:30～6:57, April 15th 14:30～18:29, April 17th 17:39～21:22, April 19th 10:17～11:35, April 20th 17:08～20:31, April 21st 17:14～21:20

Current Conditions: No fuel is in RPV*3.
Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool.

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 5
(As of 7:00 April 22nd, 2011)

In periodic inspection outage



One line secured

Share two EDGs of Unit 6

Removing heat by altering water in the reactor core and in the spent fuel pool

Reactor Pressure : 0.105MPa*
Reactor Water Level : 1,730mm
Reactor Water Temperature : 35.4℃
Condition : Pressure is under control.
*converted to absolute pressure

Reactor Pressure Vessel Temperature:
Monitoring by Reactor Water Temperature

Major Events after the Earthquake :

March 20th 14:30 Cold shutdown

March 21st 11:36 Receiving electricity from external power supply

March 23rd 17:24 Pump for Residual Heat Removal Seawater System (RHRS) was automatically stopped when the power supply was switched from the temporary to the permanent.

March 24th 16:14 Repair of the RHRS pump was completed.

March 24th 16:35 Started to cooling.

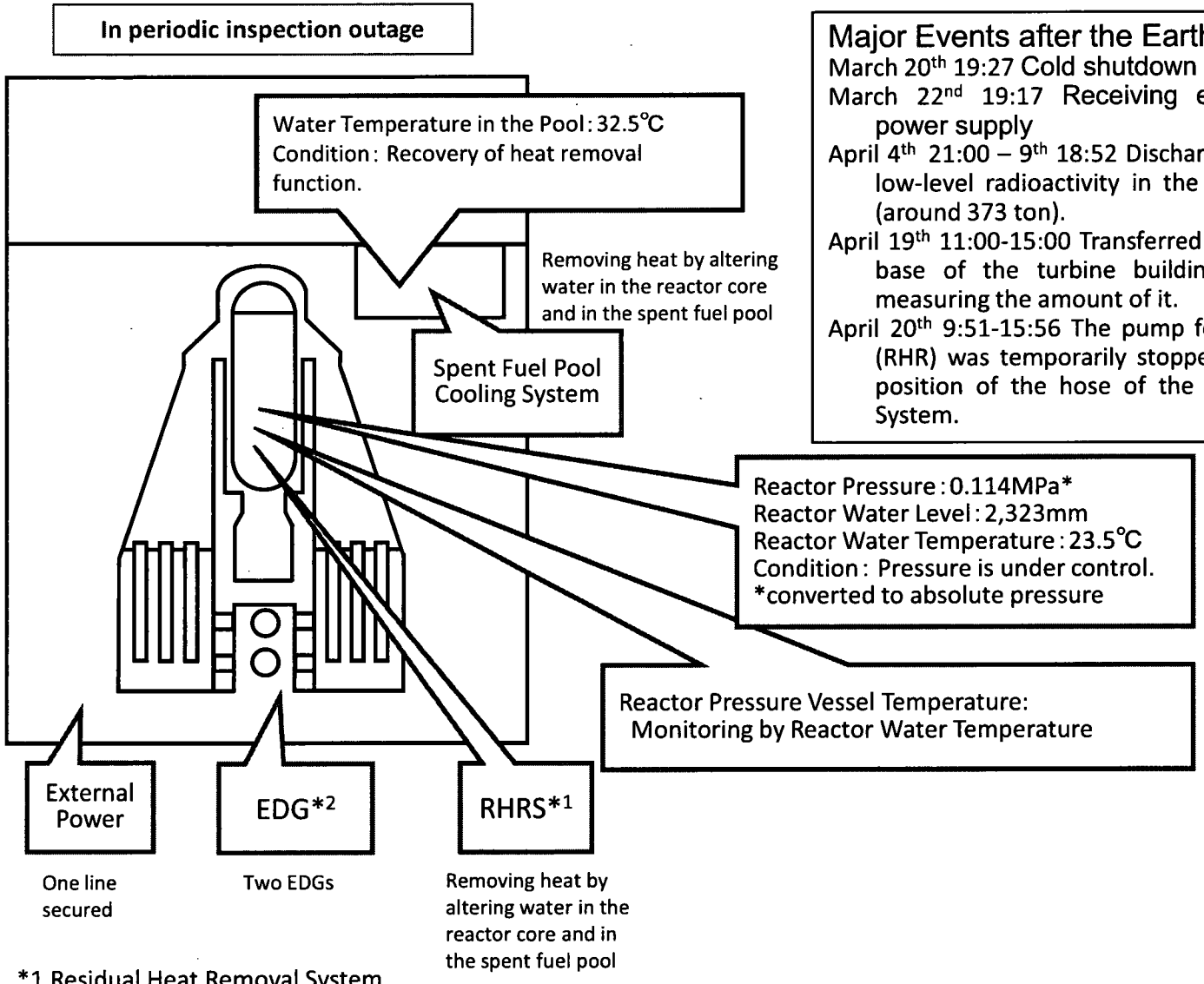
April 4th 21:00 – 8th 12:14 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 950 ton).

*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 6
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



Major Events after the Earthquake:

March 20th 19:27 Cold shutdown

March 22nd 19:17 Receiving electricity from external power supply

April 4th 21:00 – 9th 18:52 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 373 ton).

April 19th 11:00-15:00 Transferred stagnant water under the base of the turbine building to the condenser for measuring the amount of it.

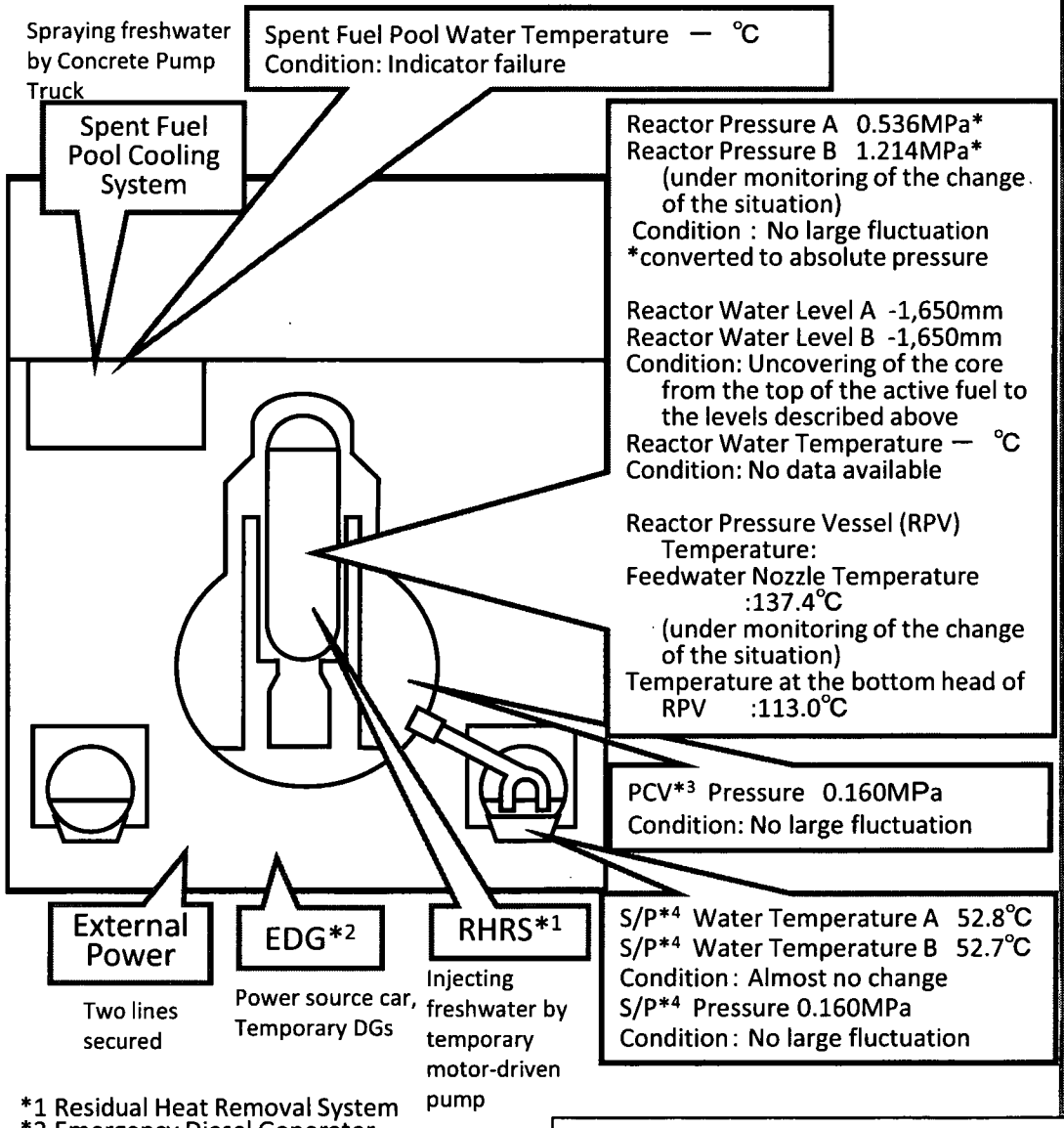
April 20th 9:51-15:56 The pump for Residual Heat Removal (RHR) was temporarily stopped in order to change the position of the hose of the temporary RHR Seawater System.

*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 1
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

Major Events after the Earthquake

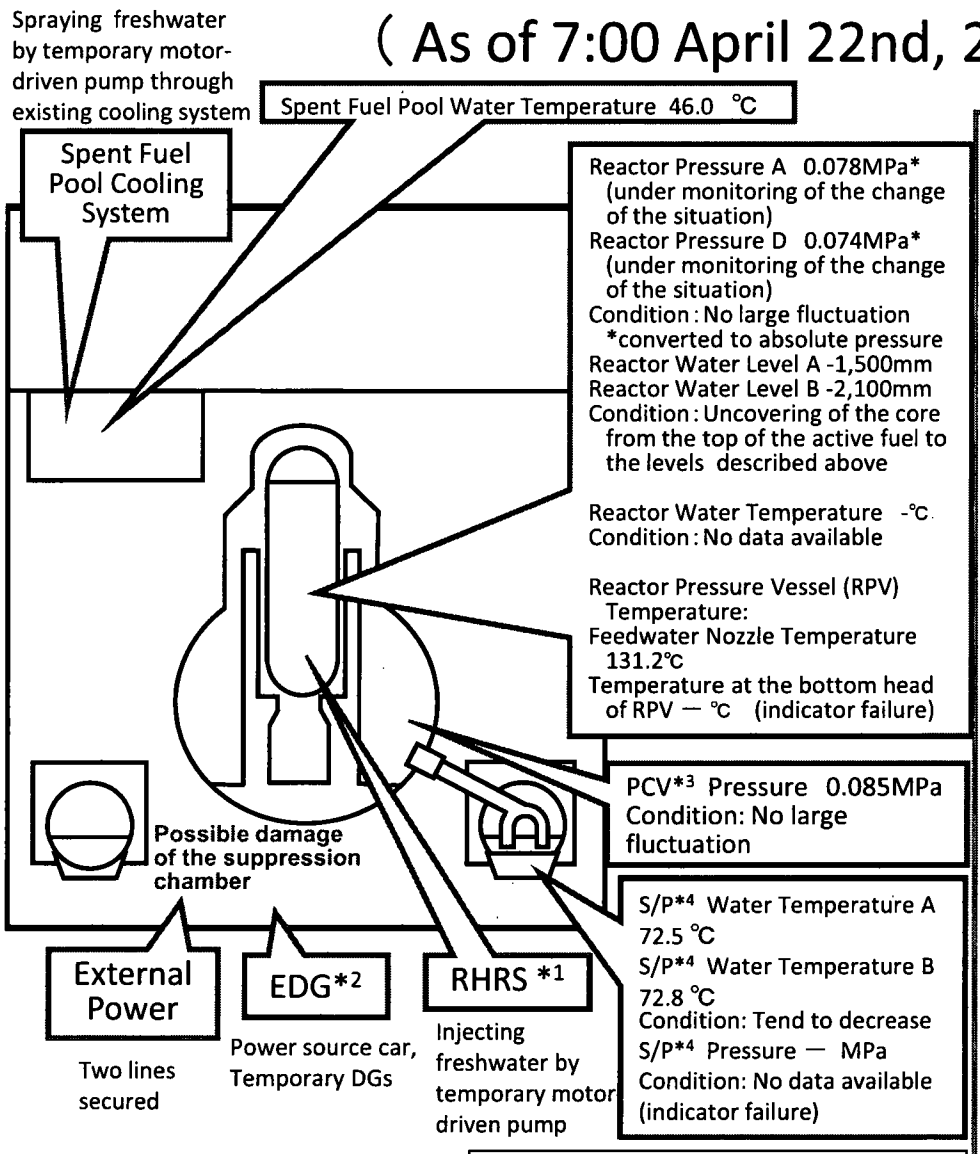
March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 12th 01:20 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 12th 10:17 Started to vent.
March 12th 15:36 Sound of explosion
March 12th 20:20 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 23rd 02:33 The amount of injected water to the Reactor Core was increased utilizing the Feedwater Line in addition to the Fire Extinguish Line. ($2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$)
09:00 Switched to the Feedwater Line only.($18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$)
March 24th 11:30 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 25th 15:37 Started to inject fresh water.
March 29th 08:32 Switched to the water injection to the Reactor Core using the temporary motor-driven pump.
March 31st 12:00 ～2nd 15:26 Started to transfer the stagnant water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 31st 13:03～16:04 Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)
April 3rd 12:02 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:55 Started to transfer the water from the Condenser to CST.
April 6th 22:30 Started the operation for the injection of nitrogen to PCV.
April 7th 01:31 Confirmed starting the injection of nitrogen to PCV.
April 9th 04:10 Started using highly pure nitrogen generator in the injection of nitrogen to PCV.
April 10th 09:30 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core and nitrogen injection to PCV were suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 11th 23:19 Restarted operation for injecting nitrogen to PCV.
April 11th 23:34 Confirmed starting injection of nitrogen to PCV.
April 17th 16:00～17:30 Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.
April 18th 11:50～12:12 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 2

(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Major Events after the Earthquake 1/2

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 11:00 Started to vent.
March 14th 13:25 Occurrence of the Article 15 event (Loss of reactor cooling functions)
March 14th 16:34 Started to inject seawater to the Reactor Core.
March 14th 22:50 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 15th 00:02 Started to vent.
March 15th 06:10 Sound of explosion
March 15th around 06:20 Possible damage of the suppression chamber
March 20th 15:05～17:20 Approximately 40 ton seawater injection to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 20th 15:46 Power Center received electricity.
March 21st 18:22 White smoke generated. The smoke died down and almost invisible at 07:11 March 22nd.
March 22nd 16:07 Injection of around 18 tons of seawater to SFP
March 25th 10:30～12:19 Sea water injection to SFP via FPC
March 26th 10:10 Started to inject fresh water to the Reactor Core.
March 26th 16:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 27th 18:31 Switched to the water injection to the core using the temporary motor-driven pump.
March 29th 16:30～18:25 Switched to the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP.
March 29th 16:45～1st 11:50 Transferred the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 30th 9:25～23:50 Confirmed malfunction of the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP(9:45). Switched to the injection using the fire pump Truck, but suspended as cracks were confirmed in the hose. (12:47, 13:10) Resumed injection of fresh water(19:05)
April 1st 14:56～17:05 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 2nd around 9:30 The water, of which the dose rate was at the level of more than 1,000mSv/h, was confirmed to be collected in the pit located near the Intake Channel of Unit 2. The outflow from the lateral surface of the pit into the sea was also confirmed.
April 2nd 17:10 Started to transfer the water from the Condenser to the CST.
April 3rd 12:12 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:47～14:30 20 bags of sawdust, 80 bags of high polymer absorbent and 3 bags of cutting-processed newspaper were put into the Pit for the Conduit.
April 4th 7:08～7:11 Approximately 13kg of tracer (bath agent) was put in from the Pit for the Duct for Seawater Pipe.
April 4th 11:05～13:37 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 5th 14:15 Tracer is confirmed to outflow through the permeable layer around the pit into the sea. 15:07 Started to inject coagulant.
April 6th around 5:38 The water outflow from the lateral surface of the pit was confirmed to stopped.
April 7th 13:29～14:34 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 9th 13:10 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 10th 10:37～12:38 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture). Water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.

Major Events after the Earthquake 2/2

April 12th 19:35～April 13th 17:04 Transfer from the trench of the turbine building to the Condenser.

April 13th 11:00 Suspended the transfer for checking leaks, etc.

April 13th 13:15～14:55 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.

April 16th 10:13～11:54 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump. (The temporary motor-driven pump stopped at 11:39 due to an earthquake that occurred at around 11:19. SFP was confirmed to be filled to capacity through observing a rise of the water level in the Skimmer Tank.)

April 16th around 11:19 An earthquake occurred (in the southern part of Ibaraki Prefecture).

April 18th 13:42～ Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.

April 18th 12:13～12:37 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.

April 18th 09:30～17:40 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

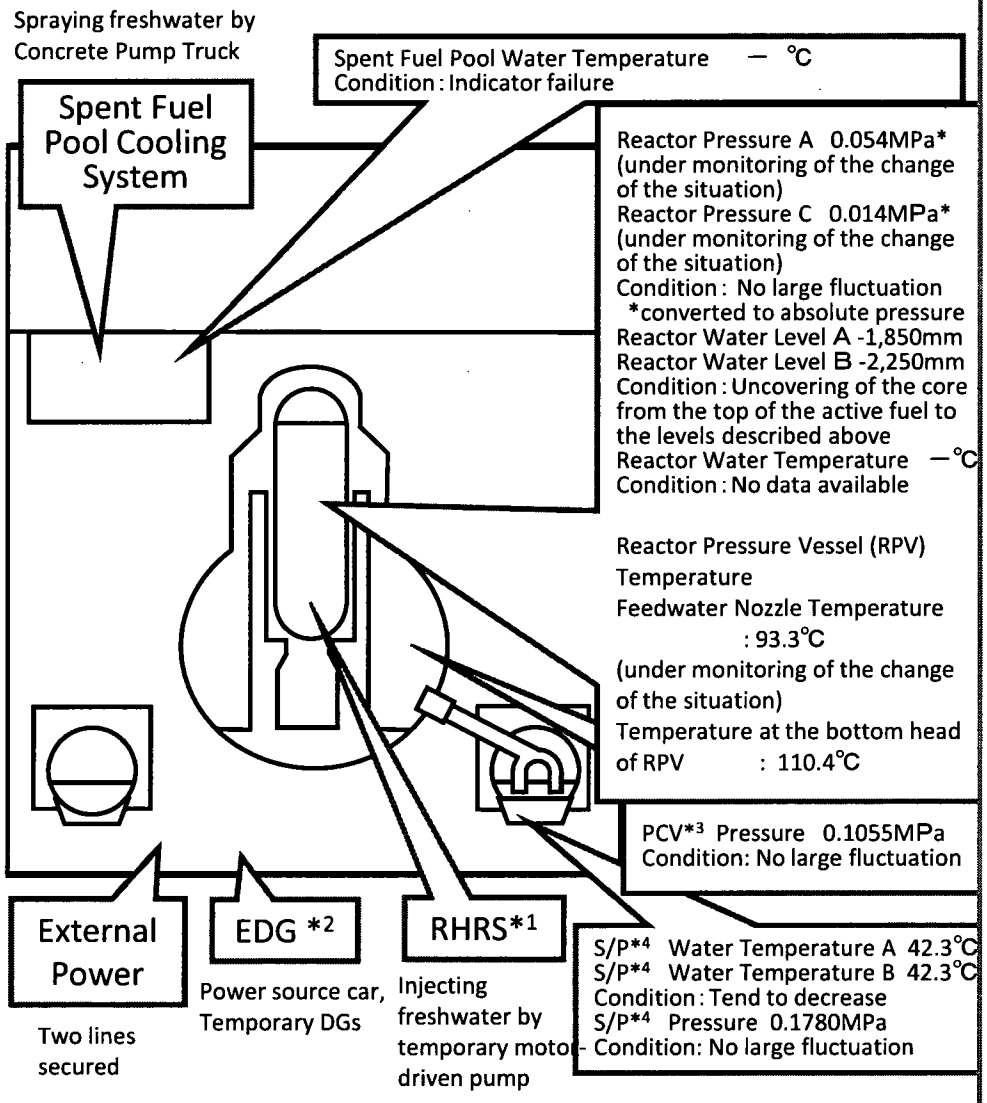
April 19th 08:00～15:30 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

April 19th 10:08～ Started to transfer the stagnant water with high-level radioactivity from the trench of the turbine building to the buildings of radioactive waste treatment facilities.

April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

April 19th 16:08～17:28 Injected freshwater to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 3
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

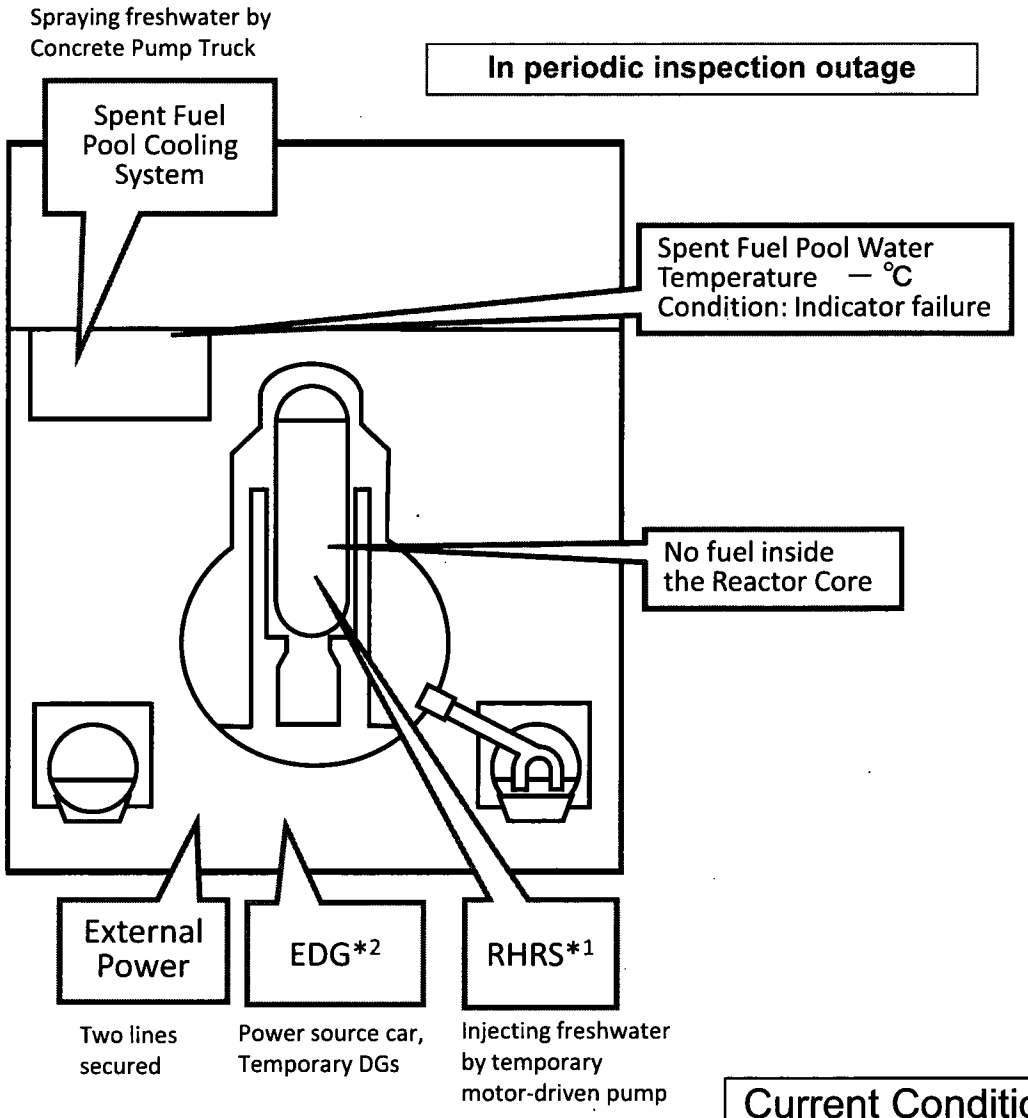
Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Major Events after the Earthquake

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 13th 05:10 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 08:41 Started to vent.
March 13th 13:12 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 14th 05:20 Started to vent.
March 14th 07:44 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 14th 11:01 Sound of explosion
March 16th around 08:30 White smoke generated.
March 17th 09:48～10:01 Water discharge by the helicopters of Self-Defense Force
March 17th 19:05～19:15 Water spray from the ground by High pressure water-cannon trucks of Police
March 17th 19:35～20:09 Water spray from the ground by fire engines of Self-Defense Force
March 18th before 14:00～14:38 Water spray from the ground by 6 fire engines of Self-Defense Force
March 18th ～14:45 Water spray from the ground by a fire engine of the US Military
March 19th 00:30 ～01:10 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 19th 14:10 ～ 20th 03:40 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 20th 11:00 Pressure of PCV rose(320kPa).Afterward fell.
March 20th 21:36 ～ 21st 03:58 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 21st around 15:55 Grayish smoke generated and was confirmed to be died down at 17:55.
March 22nd 15:10 ～16:00 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department and Osaka City Fire Bureau.
March 22nd 22:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 23rd 11:03 ～13:20 Injection of about 35 ton of sea water to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 23rd around 16:20 Black smoke generated and was confirmed to died down at around 23:30 and 24th 04:50.
March 24th 05:35～16:05 Injection of around 120 ton of sea water to SFP via FPC
March 25th 13:28～16:00 Water spray by Kawasaki City Fire Bureau supported by Tokyo Fire Department
March 25th 18:02 Started fresh water injection to the core.
March 27th 12:34～14:36 Water spray by Concrete Pump Truck
March 28th 17:40～31st around 8:40 Transferring the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 28th 20:30 Switched to the water injection to the core using a temporary motor-driven pump.
April 3rd 12:18 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply of Unit 1 and 2 due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 18:04 External power supply of Units 1 and 2 recovered (April 11th 17:56). Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 17th 11:30～14:00 Confirmed the situation in the reactor building using unmanned robot.
April 18th 12:38～13:05 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.
<Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)>
March 29th 14:17～18:18, March 31st 16:30～19:33, April 2nd 09:52～12:54, April 4th 17:03 ～19:19, April 7th 06:53 ～08:53, April 8th 17:06～20:00, April 10th 17:15～19:15, April 12th 16:26～17:16, April 14th 15:56～16:32, April 18th 14:17～15:02

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 4
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

*3 Reactor Pressure Vessel

Major Events after the Earthquake

In periodic inspection outage when the earthquake occurred

March 14th 04:08 Water temperature in the Spent Fuel Pool (SFP), 84℃

March 15th 06:14 Confirmed the partial damage of wall in the 4th floor.

March 15th 09:38 Fire occurred in the 3rd floor. (12:25 extinguished)

March 16th 05:45 Fire occurred. TEPCO couldn't confirm any fire on the ground. (06:15)

March 20th 08:21～09:40 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 20th around 18:30～19:46 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 21st 06:37～08:41 Water spray over SFP by Self-Defense Force

March 21st around 15:00 Work for laying cable to Power Center was completed.

March 22nd 10:35 Power Center received electricity.

<Water spray by Concrete Pump Truck (Seawater)>
March 22nd 17:17～20:32, March 23rd 10:00～13:02, March 24th 14:36～17:30, March 25th 19:05～22:07, March 27th 16:55～19:25

March 25th 06:05～10:20 Sea water injection to SFP via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)

March 29th 11:50 Lighting in the Central Control Room was recovered.

April 11th around 17:16 An earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture).

April 12th 12:00～13:04 Sampled the water in SFP.

April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

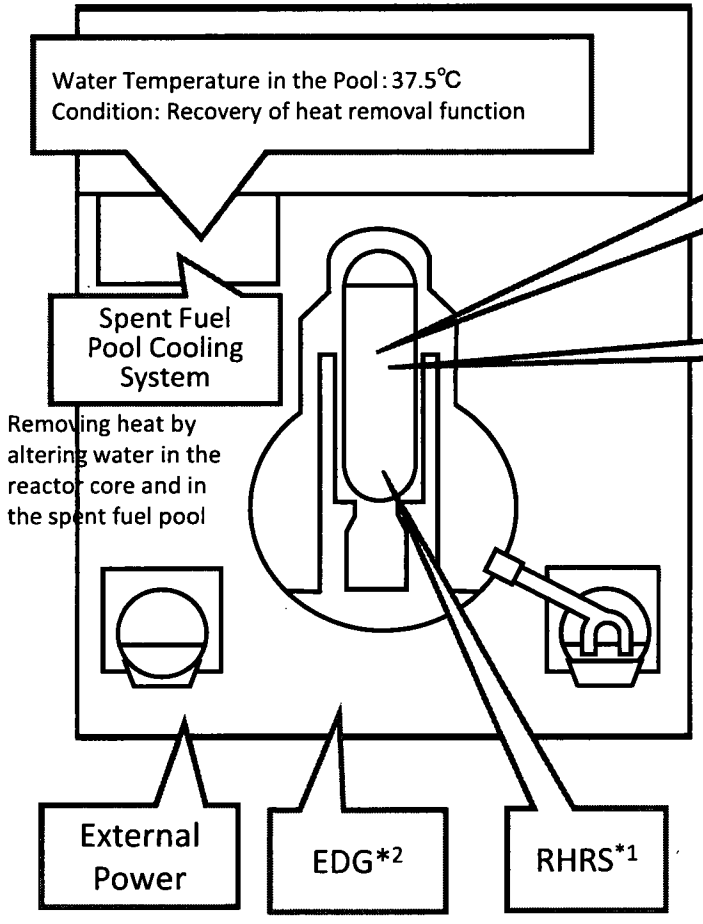
< Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)> March 30th 14:04～18:33, April 1st 08:28～14:14, April 3rd 17:14～22:16, April 5th 17:35～18:22, April 7th 18:23～19:40, April 9th 17:07～19:24, April 13th 0:30～6:57, April 15th 14:30～18:29, April 17th 17:39～21:22, April 19th 10:17～11:35, April 20th 17:08～20:31, April 21st 17:14～21:20

Current Conditions: No fuel is in RPV*3.
Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool.

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 5
(As of 7:00 April 22nd, 2011)

In periodic inspection outage



One line secured

Share two EDGs of Unit 6

Removing heat by altering water in the reactor core and in the spent fuel pool

Reactor Pressure : 0.105MPa*
Reactor Water Level : 1,730mm
Reactor Water Temperature : 35.4℃
Condition : Pressure is under control.
*converted to absolute pressure

Reactor Pressure Vessel Temperature:
Monitoring by Reactor Water Temperature

Major Events after the Earthquake :

March 20th 14:30 Cold shutdown

March 21st 11:36 Receiving electricity from external power supply

March 23rd 17:24 Pump for Residual Heat Removal Seawater System (RHRS) was automatically stopped when the power supply was switched from the temporary to the permanent.

March 24th 16:14 Repair of the RHRS pump was completed.

March 24th 16:35 Started to cooling.

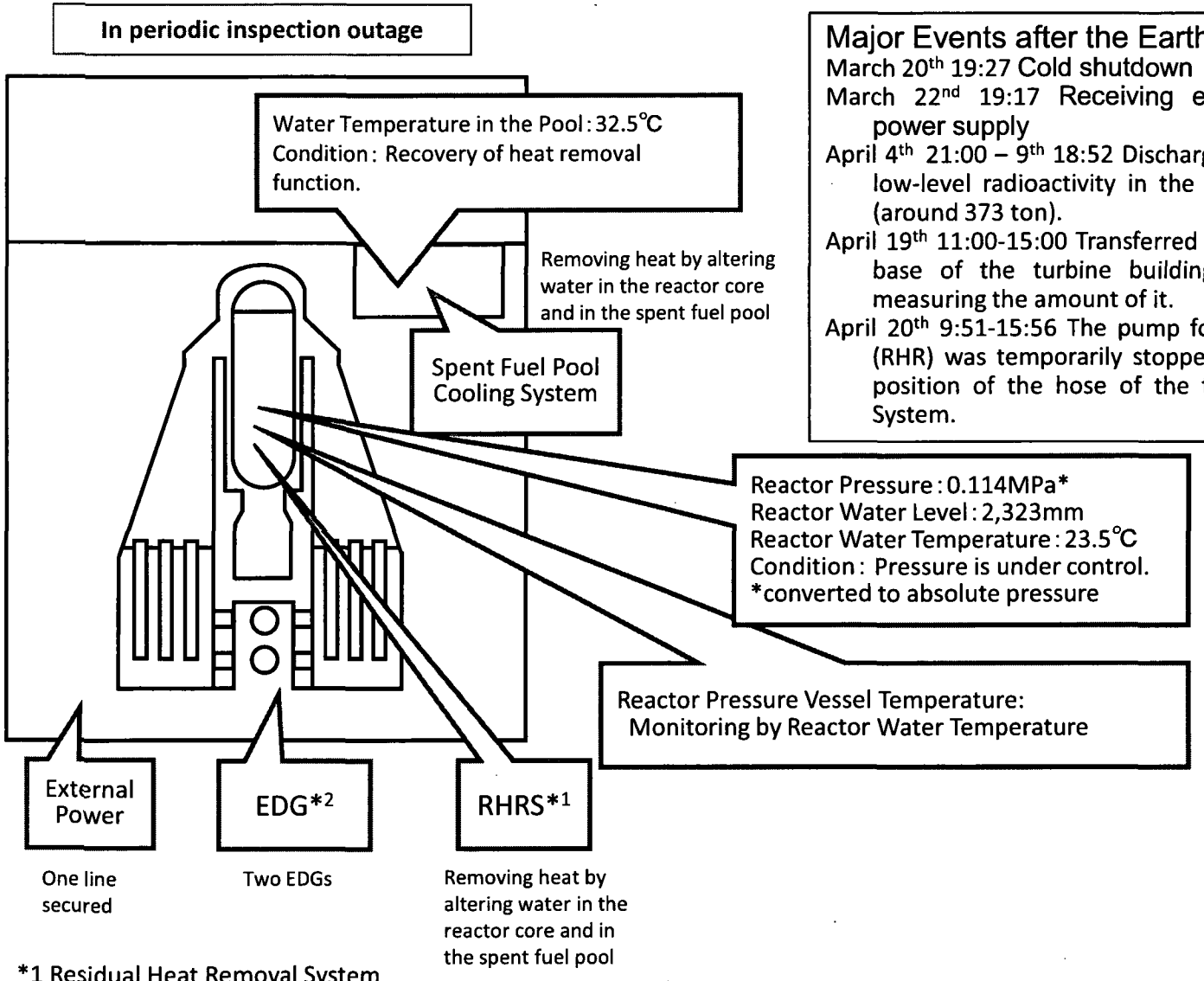
April 4th 21:00 – 8th 12:14 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 950 ton).

*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 6
(As of 7:00 April 22nd, 2011)



Major Events after the Earthquake:

March 20th 19:27 Cold shutdown

March 22nd 19:17 Receiving electricity from external power supply

April 4th 21:00 – 9th 18:52 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 373 ton).

April 19th 11:00-15:00 Transferred stagnant water under the base of the turbine building to the condenser for measuring the amount of it.

April 20th 9:51-15:56 The pump for Residual Heat Removal (RHR) was temporarily stopped in order to change the position of the hose of the temporary RHR Seawater System.

*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/22 7:00	25.9	<0.01	雨	WNW	0.5
西門	2011/4/22 7:10	26.0	<0.01	雨	W	0.5
西門	2011/4/22 7:20	25.9	<0.01	雨	W	0.6
西門	2011/4/22 7:30	25.9	<0.01	雨	ENE	0.5
西門	2011/4/22 7:40	25.8	<0.01	雨	NNW	0.4
西門	2011/4/22 7:50	25.9	<0.01	雨	W	0.3
西門	2011/4/22 8:00	25.8	<0.01	雨	W	0.3

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事故本部時刻 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/21 14:00	476	59	23
2011/4/21 14:30	475	60	23
2011/4/21 15:00	474	59	23
2011/4/21 15:30	477	59	22
2011/4/21 16:00	475	59	23
2011/4/21 16:30	478	59	23
2011/4/21 17:00	479	59	23
2011/4/21 17:30	480	59	23
2011/4/21 18:00	479	59	23
2011/4/21 18:30	479	59	23
2011/4/21 19:00	480	58	23
2011/4/21 19:30	484	58	23
2011/4/21 20:00	484	58	23
2011/4/21 20:30	483	58	23
2011/4/21 21:00	483	58	23
2011/4/21 15:00	485	59	23
2011/4/21 22:00	485	58	23
2011/4/21 22:30	485	58	23
2011/4/21 23:00	486	59	23
2011/4/21 23:30	485	58	23
2011/4/22 0:00	486	58	23
2011/4/22 0:30	486	59	23
2011/4/22 1:00	488	58	23
2011/4/22 1:30	485	58	23
2011/4/22 2:00	486	58	23
2011/4/22 2:30	485	59	22
2011/4/22 3:00	485	59	23
2011/4/22 3:30	484	58	23
2011/4/22 4:00	484	58	23
2011/4/22 4:30	485	58	23
2011/4/22 5:00	485	58	23
2011/4/22 5:30	480	58	23
2011/4/22 6:00	481	57	23
2011/4/22 6:30	479	57	23
2011/4/22 7:00	480	57	23
2011/4/22 7:30	479	57	23
2011/4/22 8:00	480	57	22

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は車両を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/22 0:00	26.5	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/22 0:10	26.5	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/22 0:20	26.5	<0.01	晴れ	W	0.4
西門	2011/4/22 0:30	26.5	<0.01	晴れ	NNE	0.3
西門	2011/4/22 0:40	26.5	<0.01	晴れ	W	0.3
西門	2011/4/22 0:50	26.5	<0.01	晴れ	W	0.3
西門	2011/4/22 1:00	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/22 1:10	26.5	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/22 1:20	26.5	<0.01	晴れ	WNW	0.3
西門	2011/4/22 1:30	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/22 1:40	26.4	<0.01	晴れ	WSW	0.4
西門	2011/4/22 1:50	26.5	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/22 2:00	26.4	<0.01	晴れ	SSE	0.3
西門	2011/4/22 2:10	26.5	<0.01	晴れ	W	0.3
西門	2011/4/22 2:20	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.4
西門	2011/4/22 2:30	26.5	<0.01	晴れ	NE	0.4
西門	2011/4/22 2:40	26.4	<0.01	晴れ	NNW	0.3
西門	2011/4/22 2:50	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.2
西門	2011/4/22 3:00	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/22 3:10	26.4	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/22 3:20	26.4	<0.01	晴れ	N	0.2
西門	2011/4/22 3:30	26.4	<0.01	晴れ	NE	0.2
西門	2011/4/22 3:40	26.4	<0.01	晴れ	NNE	0.2
西門	2011/4/22 3:50	26.4	<0.01	晴れ	N	0.2
西門	2011/4/22 4:00	27.3	<0.01	晴れ	NW	0.2
西門	2011/4/22 4:10	26.4	<0.01	晴れ	WNW	0.4
西門	2011/4/22 4:20	26.4	<0.01	晴れ	NE	0.4
西門	2011/4/22 4:30	26.3	<0.01	晴れ	WNW	0.4
西門	2011/4/22 4:40	26.4	<0.01	晴れ	SW	0.4
西門	2011/4/22 4:50	26.3	<0.01	晴れ	N	0.3
西門	2011/4/22 5:00	26.4	<0.01	曇り	NE	0.3
西門	2011/4/22 5:10	26.3	<0.01	曇り	NNW	0.2
西門	2011/4/22 5:20	26.2	<0.01	曇り	NNW	0.4
西門	2011/4/22 5:30	26.3	<0.01	曇り	NW	0.5
西門	2011/4/22 5:40	26.3	<0.01	曇り	NNW	0.3
西門	2011/4/22 5:50	26.4	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/22 6:00	26.0	<0.01	雨	NNE	0.3
西門	2011/4/22 6:10	26.0	<0.01	雨	NNW	0.3
西門	2011/4/22 6:20	26.1	<0.01	雨	N	0.3
西門	2011/4/22 6:30	26.0	<0.01	雨	W	0.5
西門	2011/4/22 6:40	26.0	<0.01	雨	NW	0.5
西門	2011/4/22 6:50	26.0	<0.01	雨	WSW	0.6
西門	2011/4/22 7:00	25.9	<0.01	雨	WNW	0.5

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

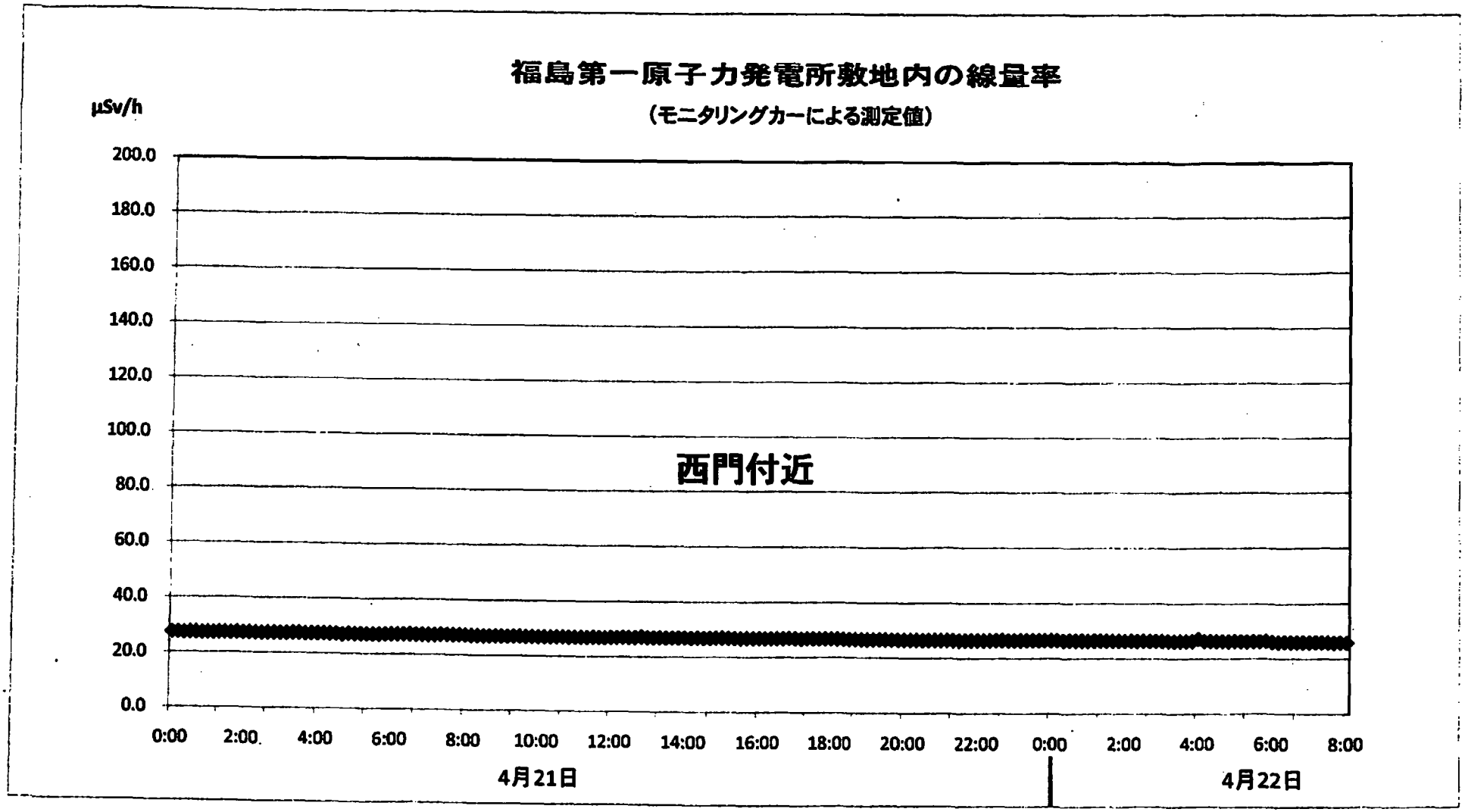
注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv／h）	中性子線量率（μSv／h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/21 22:30	26.6	<0.01	晴れ	W	0.3
西門	2011/4/21 22:40	26.5	<0.01	晴れ	NW	0.3
西門	2011/4/21 22:50	26.5	<0.01	晴れ	SE	0.3
西門	2011/4/21 23:00	26.5	<0.01	晴れ	W	0.5
西門	2011/4/21 23:10	26.5	<0.01	晴れ	SW	0.5
西門	2011/4/21 23:20	26.5	<0.01	晴れ	SW	0.5
西門	2011/4/21 23:30	26.5	<0.01	晴れ	WSW	0.7
西門	2011/4/21 23:40	26.5	<0.01	晴れ	W	0.5
西門	2011/4/21 23:50	26.5	<0.01	晴れ	NNW	0.5

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/21 15:00	27.0	<0.01	晴れ	E	2.1
西門	2011/4/21 15:10	26.9	<0.01	晴れ	ESE	2.1
西門	2011/4/21 15:20	26.8	<0.01	晴れ	E	2.0
西門	2011/4/21 15:30	26.8	<0.01	晴れ	SSE	1.9
西門	2011/4/21 15:40	26.9	<0.01	曇り	E	1.4
西門	2011/4/21 15:50	26.8	<0.01	曇り	E	1.8
西門	2011/4/21 16:00	26.9	<0.01	曇り	S	1.5
西門	2011/4/21 16:10	26.8	<0.01	曇り	E	1.9
西門	2011/4/21 16:20	26.8	<0.01	曇り	NNE	2.1
西門	2011/4/21 16:30	26.8	<0.01	曇り	E	1.8
西門	2011/4/21 16:40	26.8	<0.01	曇り	W	2.0
西門	2011/4/21 16:50	26.9	<0.01	曇り	SE	1.8
西門	2011/4/21 17:00	26.9	<0.01	曇り	S	1.5
西門	2011/4/21 17:10	26.7	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/21 17:20	26.9	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/21 17:30	26.8	<0.01	曇り	NE	1.5
西門	2011/4/21 17:40	26.8	<0.01	曇り	E	1.5
西門	2011/4/21 17:50	26.8	<0.01	曇り	S	1.9
西門	2011/4/21 18:00	26.8	<0.01	曇り	N	1.1
西門	2011/4/21 18:10	26.7	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/21 18:20	26.6	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/21 18:30	26.6	<0.01	曇り	E	1.2
西門	2011/4/21 18:40	26.6	<0.01	曇り	S	1.2
西門	2011/4/21 18:50	26.6	<0.01	曇り	N	1.4
西門	2011/4/21 19:00	26.5	<0.01	曇り	ESE	1.4
西門	2011/4/21 19:10	26.6	<0.01	曇り	E	1.6
西門	2011/4/21 19:20	26.6	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/21 19:30	26.6	<0.01	曇り	E	1.4
西門	2011/4/21 19:40	26.5	<0.01	曇り	SE	1.3
西門	2011/4/21 19:50	26.6	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/21 20:00	26.6	<0.01	曇り	E	1.2
西門	2011/4/21 20:10	26.6	<0.01	曇り	E	0.9
西門	2011/4/21 20:20	26.6	<0.01	曇り	SE	1.1
西門	2011/4/21 20:30	26.5	<0.01	曇り	E	1.0
西門	2011/4/21 20:40	26.5	<0.01	曇り	E	1.2
西門	2011/4/21 20:50	26.5	<0.01	曇り	SE	1.0
西門	2011/4/21 21:00	26.5	<0.01	曇り	ESE	0.8
西門	2011/4/21 21:10	26.5	<0.01	晴れ	SE	0.7
西門	2011/4/21 21:20	26.5	<0.01	晴れ	NE	0.3
西門	2011/4/21 21:30	26.5	<0.01	晴れ	SW	0.2
西門	2011/4/21 21:40	26.5	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/21 21:50	26.5	<0.01	晴れ	WSW	0.3
西門	2011/4/21 22:00	26.5	<0.01	晴れ	SW	0.2
西門	2011/4/21 22:10	26.5	<0.01	晴れ	SSW	0.3
西門	2011/4/21 22:20	26.5	<0.01	晴れ	W	0.3


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
4月21日
4月22日

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/22 7:00	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:10	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:20	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:30	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:40	8	31	26	24	38	68	169	156
2011/4/22 7:50	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:00	8	31	26	24	38	68	169	155

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/22 0:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 0:10	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 0:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 0:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 0:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 0:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:10	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 1:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:10	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 2:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:10	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 3:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/22 4:00	8	31	26	24	38	69	172	158
2011/4/22 4:10	8	31	26	24	38	69	172	157
2011/4/22 4:20	8	31	26	24	38	69	171	158
2011/4/22 4:30	8	31	26	24	38	69	171	157
2011/4/22 4:40	8	31	26	24	38	69	171	157
2011/4/22 4:50	8	31	26	24	38	69	171	157
2011/4/22 5:00	8	31	26	24	38	69	170	157
2011/4/22 5:10	8	31	26	24	38	69	170	157
2011/4/22 5:20	8	31	26	24	38	69	171	157
2011/4/22 5:30	8	31	26	24	38	69	170	157
2011/4/22 5:40	8	31	26	24	38	69	170	157
2011/4/22 5:50	8	31	26	24	38	69	170	157
2011/4/22 6:00	8	31	26	24	38	68	170	157
2011/4/22 6:10	8	31	26	24	38	68	170	157
2011/4/22 6:20	8	31	26	24	38	68	170	157
2011/4/22 6:30	8	31	26	24	38	68	170	157
2011/4/22 6:40	8	31	26	24	38	68	170	157
2011/4/22 6:50	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:00	8	31	26	24	38	68	170	156

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

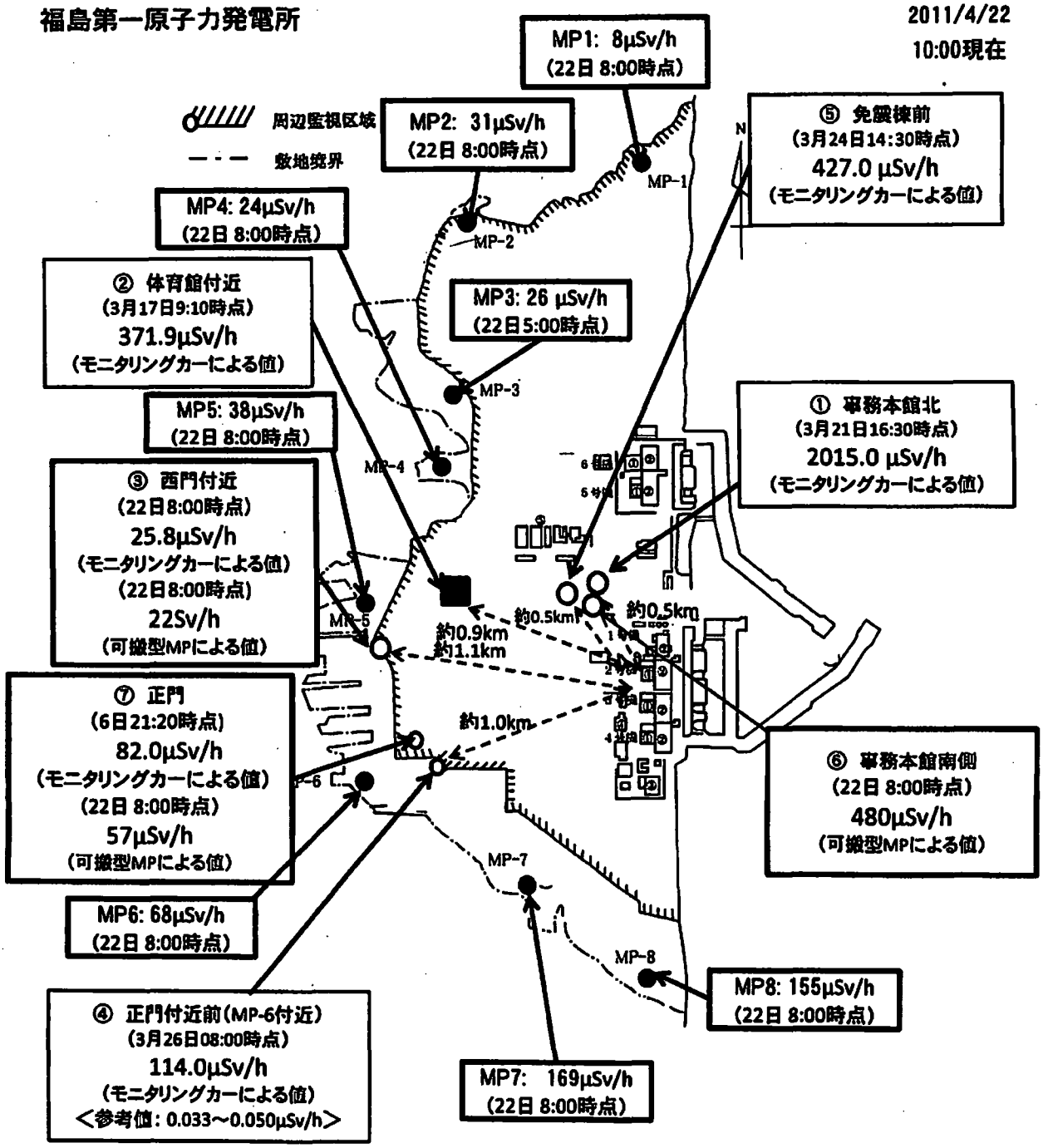
測定日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 22:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 22:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 22:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 22:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:10	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:20	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:30	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:40	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 23:50	8	31	26	24	39	69	172	158

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

測定日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 15:00	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 15:10	8	31	26	25	40	70	173	160
2011/4/21 15:20	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 15:30	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 15:40	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 15:50	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:00	8	31	27	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:10	8	31	27	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:20	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:30	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:40	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 16:50	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:00	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:10	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:20	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:30	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:40	8	31	26	25	39	70	173	160
2011/4/21 17:50	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:00	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:10	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:20	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:30	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:40	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 18:50	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:00	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:10	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:20	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:30	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:40	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 19:50	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 20:00	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 20:10	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 20:20	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 20:30	8	31	26	25	39	70	173	159
2011/4/21 20:40	8	31	26	25	39	70	172	159
2011/4/21 20:50	8	31	26	25	39	70	172	159
2011/4/21 21:00	8	31	26	25	39	70	172	159
2011/4/21 21:10	8	31	26	25	39	70	172	158
2011/4/21 21:20	8	31	26	25	39	70	172	158
2011/4/21 21:30	8	31	26	25	39	70	172	158
2011/4/21 21:40	8	31	26	24	39	70	172	158
2011/4/21 21:50	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 22:00	8	31	26	24	39	69	172	158
2011/4/21 22:10	8	31	26	24	39	69	172	158

福島第一原子力発電所

2011/4/22
10:00現在



福島第二MP情報及びMS情報

単位：μSv/h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/22 7:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	–	北北西	4.1	雨
2011/4/22 7:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	–	北	3.5	–
2011/4/22 7:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	–	北	3.0	–
2011/4/22 7:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	–	北	3.3	雨
2011/4/22 7:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	–	北	2.7	–
2011/4/22 7:50	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	–	北	1.9	–
2011/4/22 8:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	–	北	1.6	雨

福島第二MP情報及びMS情報

単位：μSv/h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/22 0:00	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	1.6	晴れ
2011/4/22 0:10	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.5	-
2011/4/22 0:20	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	1.4	-
2011/4/22 0:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南東	1.4	晴れ
2011/4/22 0:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.3	-
2011/4/22 0:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.0	-	南	2.5	-
2011/4/22 1:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.4	晴れ
2011/4/22 1:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	3.1	-
2011/4/22 1:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	2.9	-
2011/4/22 1:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	-	南	3.6	晴れ
2011/4/22 1:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	-	南	3.4	-
2011/4/22 1:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	-	南	2.7	-
2011/4/22 2:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.7	晴れ
2011/4/22 2:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.5	-
2011/4/22 2:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南東	2.7	-
2011/4/22 2:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	2.7	晴れ
2011/4/22 2:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	2.4	-
2011/4/22 2:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.5	-
2011/4/22 3:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.3	晴れ
2011/4/22 3:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.8	-
2011/4/22 3:20	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.6	-
2011/4/22 3:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.6	晴れ
2011/4/22 3:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	南	1.4	-
2011/4/22 3:50	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南	1.4	-
2011/4/22 4:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	東	0.4	晴れ
2011/4/22 4:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南東	0.3	-
2011/4/22 4:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	南南西	0.4	-
2011/4/22 4:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	西北西	0.0	雨
2011/4/22 4:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北北西	0.3	-
2011/4/22 4:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	北	1.6	-
2011/4/22 5:00	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	-	北北東	1.9	雨
2011/4/22 5:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	北北東	2.1	-
2011/4/22 5:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北	2.7	-
2011/4/22 5:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	北	2.5	晴れ
2011/4/22 5:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	北北西	2.7	-
2011/4/22 5:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北	3.3	-
2011/4/22 6:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北	3.0	雨
2011/4/22 6:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	-	北	3.2	-
2011/4/22 6:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	-	北	3.0	-
2011/4/22 6:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北	3.9	雨
2011/4/22 6:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	-	北北西	3.2	-
2011/4/22 6:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北	3.7	-
2011/4/22 7:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	-	北北西	4.1	雨

福島第一MP情報及びMS情報

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 22:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	4.5	－
2011/4/21 23:00	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	4.5	晴れ
2011/4/21 23:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.4	－
2011/4/21 23:20	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.0	－
2011/4/21 23:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	－	南南東	2.9	晴れ
2011/4/21 23:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	－	南	2.2	－
2011/4/21 23:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	1.9	－

福島第二MP情報及びMS情報

単位：μSv／h　　単位m／s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 15:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南東	5.1	晴れ
2011/4/21 15:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南東	5.0	−
2011/4/21 15:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南東	6.0	−
2011/4/21 15:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	東南東	5.6	晴れ
2011/4/21 15:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	東南東	5.3	−
2011/4/21 15:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	東南東	5.2	−
2011/4/21 16:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南東	4.0	晴れ
2011/4/21 16:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	東	4.2	−
2011/4/21 16:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	東南東	3.9	−
2011/4/21 16:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南東	4.1	晴れ
2011/4/21 16:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.6	−
2011/4/21 16:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.9	−
2011/4/21 17:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.6	晴れ
2011/4/21 17:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.3	−
2011/4/21 17:20	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.9	−
2011/4/21 17:30	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.6	晴れ
2011/4/21 17:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.5	−
2011/4/21 17:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.7	−
2011/4/21 18:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.7	晴れ
2011/4/21 18:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.0	−
2011/4/21 18:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.5	−
2011/4/21 18:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.8	晴れ
2011/4/21 18:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.0	−
2011/4/21 18:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.1	−
2011/4/21 19:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.2	晴れ
2011/4/21 19:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.1	−
2011/4/21 19:20	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	1.9	−
2011/4/21 19:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	1.1	晴れ
2011/4/21 19:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	3.2	−
2011/4/21 19:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	2.5	−
2011/4/21 20:00	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	3.3	晴れ
2011/4/21 20:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	2.9	−
2011/4/21 20:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	3.2	−
2011/4/21 20:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	2.6	晴れ
2011/4/21 20:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	1.7	−
2011/4/21 20:50	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.9	−
2011/4/21 21:00	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.8	晴れ
2011/4/21 21:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	1.9	−
2011/4/21 21:20	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.6	−
2011/4/21 21:30	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.8	晴れ
2011/4/21 21:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	3.0	−
2011/4/21 21:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	3.1	−
2011/4/21 22:00	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.9	晴れ
2011/4/21 22:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南	2.8	−
2011/4/21 22:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	1.9	−
2011/4/21 22:30	2.4	1.9	2.5	2.1	2.1	2.1	−	南南東	3.7	晴れ
2011/4/21 22:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	−	南南東	4.1	−

福島第二原子力発電所

2011/4/22
10:00現在

MP1:2.4μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.8μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

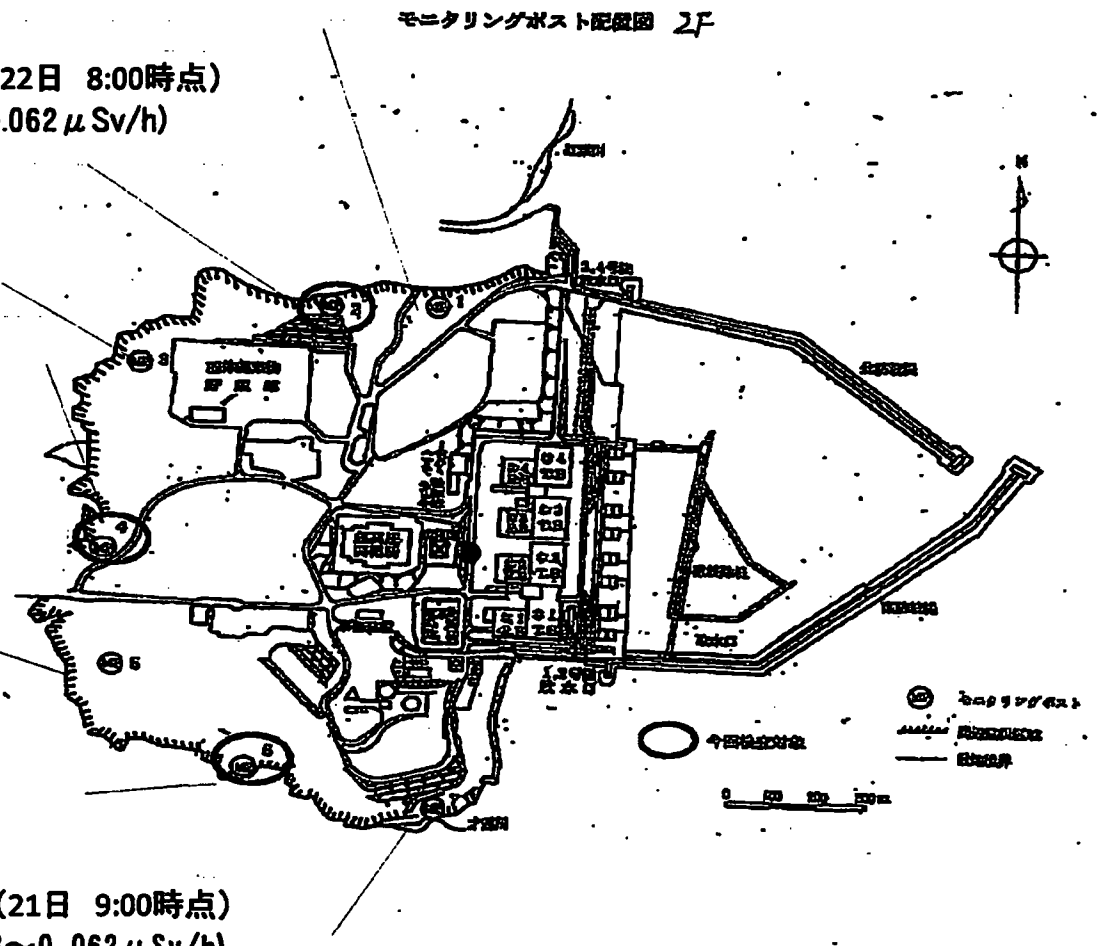
MP3:2.5μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.0μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.0μSv/h(22日 8:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7 : 1.5μSv/h(21日 9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月21日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.034	0.035	0.035	0.034	0.033	0.033	0.033	点検中	点検中
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.085	0.084	0.085	0.086	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.084	0.085
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.337	0.337	0.334	0.335	0.336	0.333	0.334	0.334	0.336	0.337	0.331	0.332
0.039～0.110		敦賀発電所	0.074	0.072	0.073	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072	0.073	0.073
0.084～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.042	0.042	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.042
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.033	0.032
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.029	0.031	0.029	0.030	0.031	0.030	0.029	0.030	0.031	0.030	0.030	0.029
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.071	0.073	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072	0.075	0.073
0.045～0.047		高浜発電所	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.043	0.044	0.044	0.044	0.044
0.036～0.040		大飯発電所	0.035	0.036	0.036	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.036	0.036	0.036
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.026	0.027	0.025	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.028	0.026	0.026
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.038	0.038	0.040	0.038	0.039	0.038	0.035	0.034	0.040	0.042	0.036	0.039
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

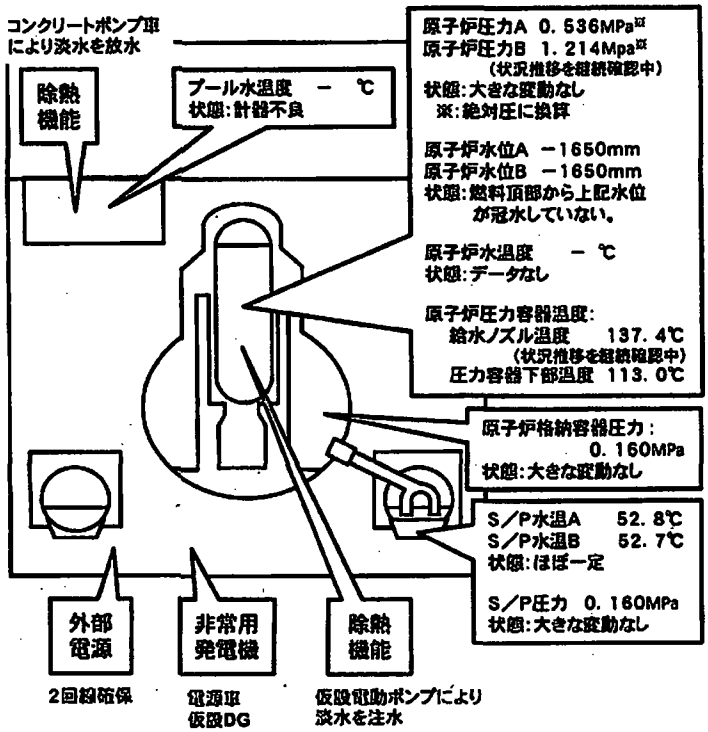
注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月21日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	点検中	点検中	点検中	点検中	0.031	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.017	0.017	0.016		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.084	0.085	0.085	0.085	0.085		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.336	0.339	0.336	0.335	0.334	0.333	0.335	0.332	0.331	0.334		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.072	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073	0.075	0.073	0.073	0.074		
0.084～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.042	0.043	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.030	0.029	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.030	0.030		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.074	0.075	0.074	0.072	0.072	0.074	0.073	0.073	0.075		
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.044	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.036～0.040		大飯発電所	0.035	0.034	0.035	0.035	0.034	0.035	0.036	0.035	0.034	0.034		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.037	0.037	0.036	0.038	0.038	0.035	0.038	0.035	0.037		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.015	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.021	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月21日(木) 21時まで

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月22日　7:00現在）

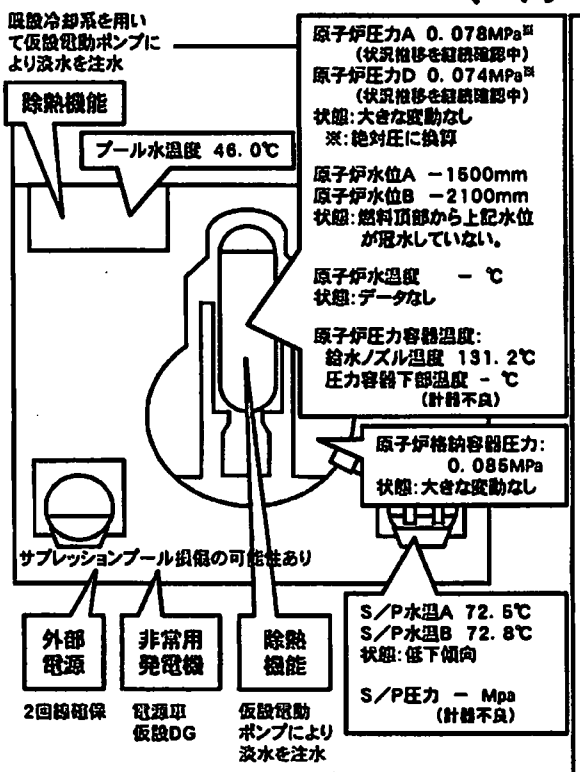


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（2m³/h → 18m³/h）。9:00に給水系のみに切替（18m³/h →11m³/h）
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生（福島県沖通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月22日　7:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

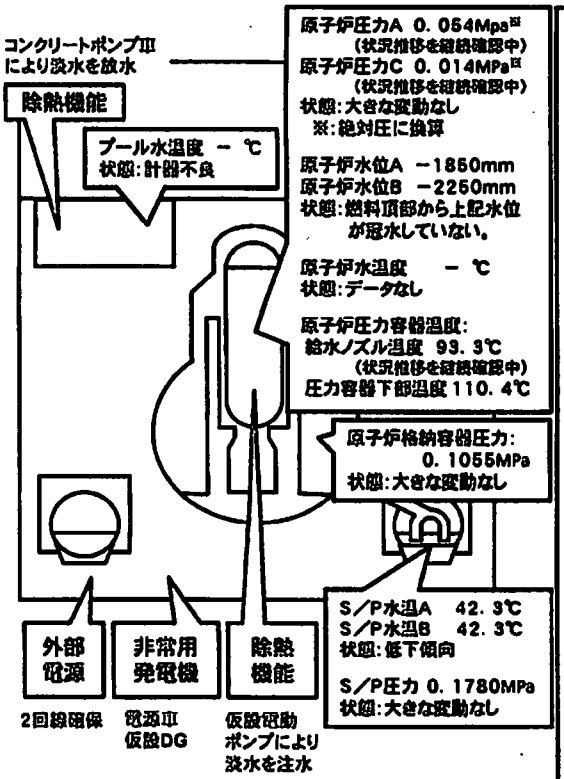
主要な出来事1/2

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　11:00　ベント開始
3/14　13:25　15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14　16:34　海水の炉心注水開始
3/14　22:50　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15　00:02　ベント開始
3/15　06:10　爆発音発生
3/15　06:20頃　サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20　15:05～17:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20　15:46　パワーセンター受電
3/21　18:22　白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22　16:07　SFPに海水を注水
3/25　10:30～12:19　FPCからSFPに海水を注水
3/26　10:10　淡水の炉心注水開始
3/26　16:46　中央制御室の照明復帰
3/27　18:31　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29　16:30～18:25　仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29　16:45～4/1　11:50　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30　09:25～23:50　SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1　14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2　09:30頃　取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2　17:10　復水器からCSTへ移送開始
4/3　12:12　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:47～14:30　ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、凝集処理した新聞紙3袋を投入
4/4　07:08～07:11　トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4　11:05～13:37　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5　14:15　トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6　05:38頃　ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7　13:29～14:34　FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9　13:10　復水器からCSTへの移送完了
4/10　10:37～12:38　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12　19:35～4/13　17:04　タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13　11:00　溜まり確認等のため一時停止
4/13　13:15～14:55　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16　10:13～11:54　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により淡水を確認。）
4/16　11:19頃　地震発生（茨城県南部）
4/18　13:42～　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:13～12:37　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18　9:30～17:40　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　8:00～15:30　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　10:08　タービン建屋トレンチから仮中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19　16:08～17:28　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月22日　7:00現在）



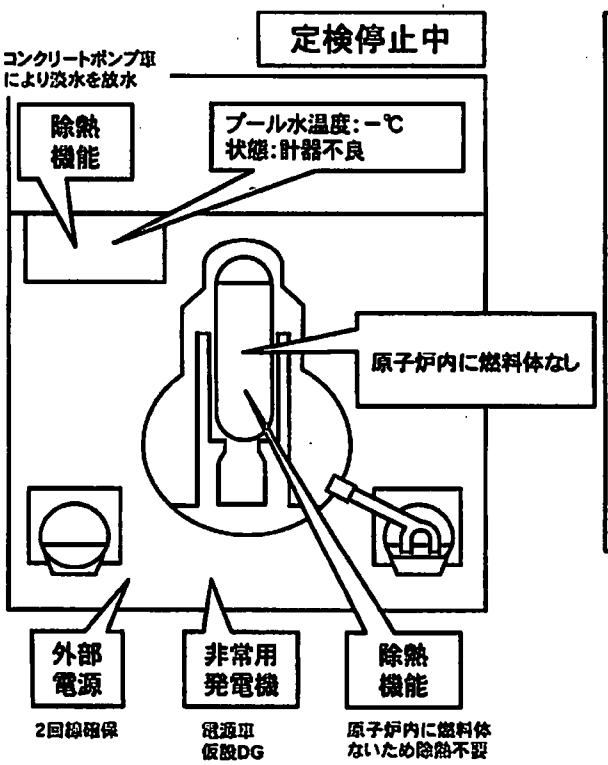
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20　使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月22日　7:00現在）



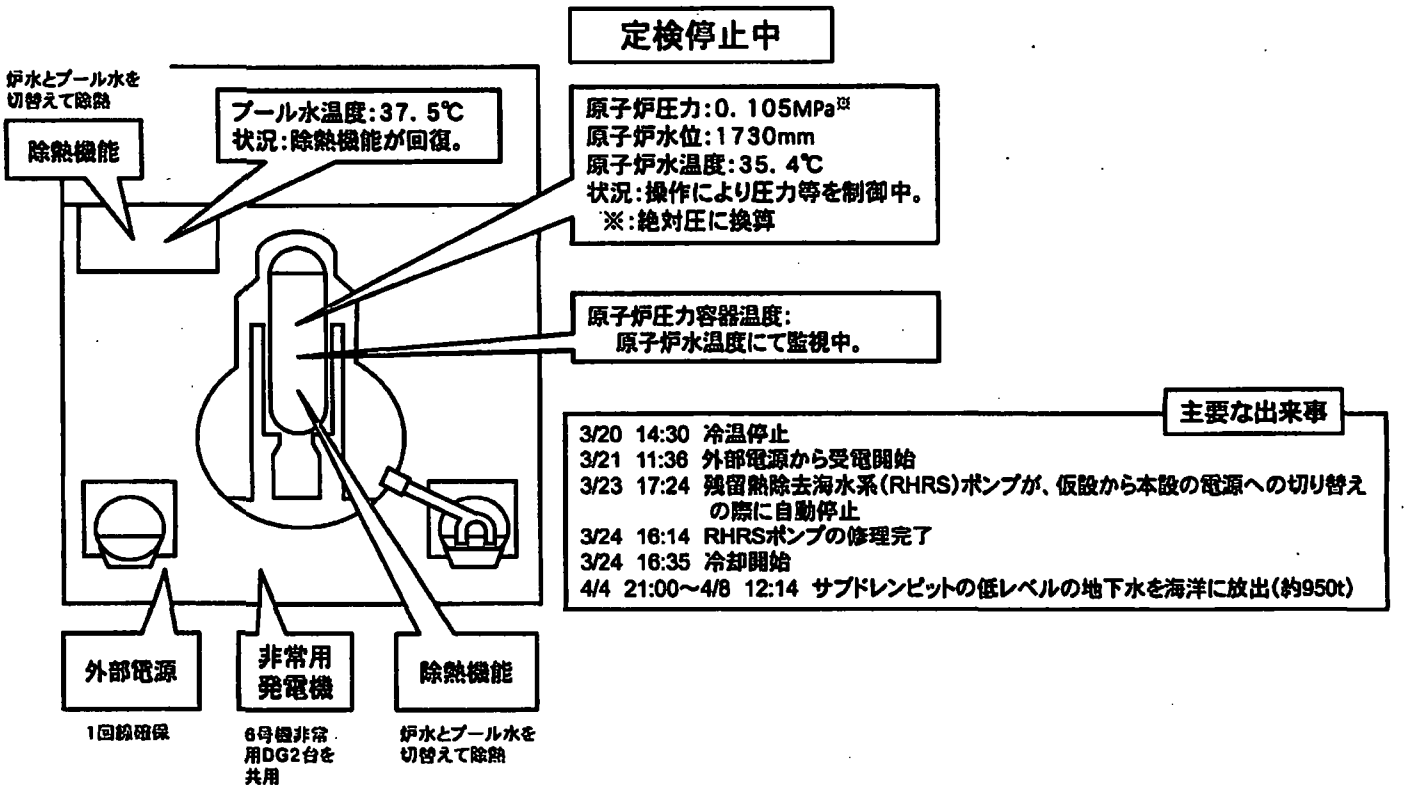
現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

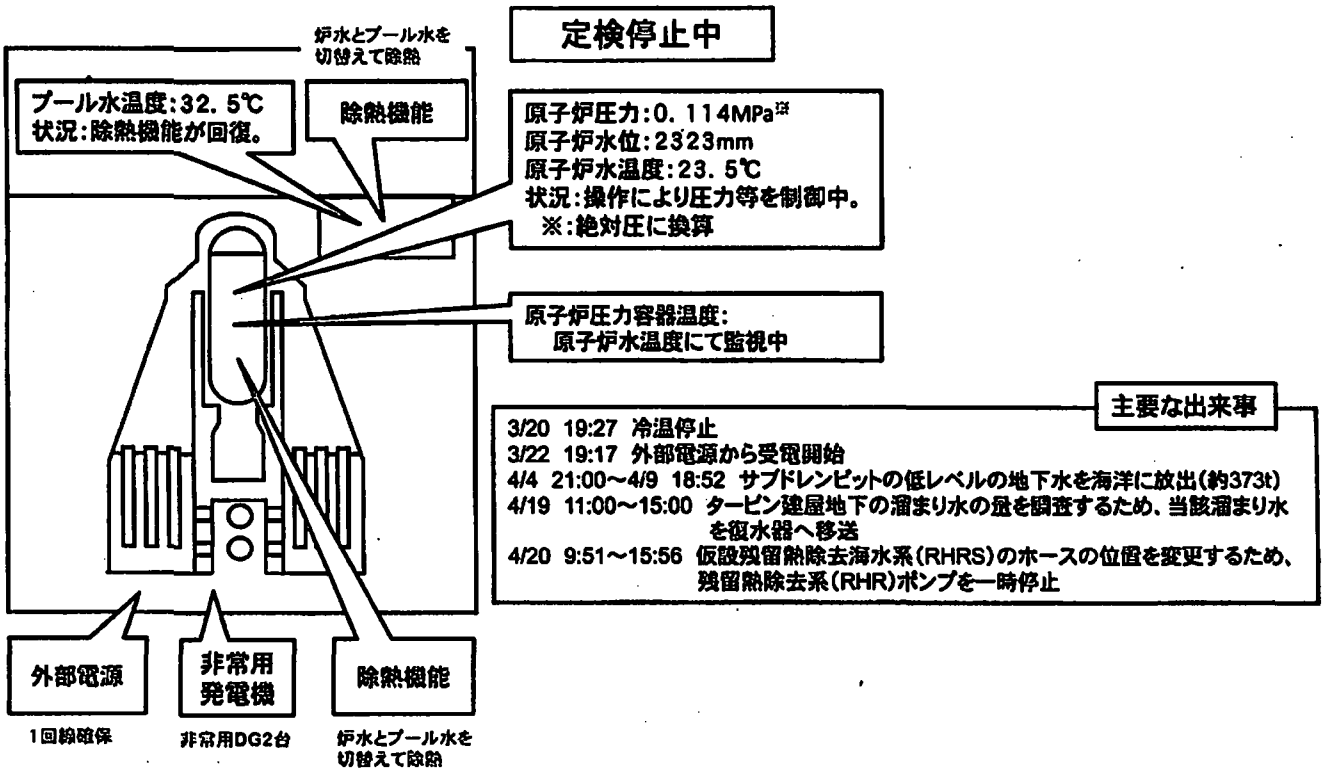
地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17　17:39～21:22、4/19　10:17～11:35、4/20　17:08～20:31、4/21　17:14～21:20

福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月22日　7:00現在）



福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月22日　7:00現在）



福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月22日　7:00 現在

【留意事項】
各計測器については、地震やその後の事故進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 6.8m³/h （4/21 11:25）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1650mm 燃料域B：−1650mm （4/22 6:00 現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2100mm （4/22 6:00 現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/22 6:00 現在）		停止域 1730mm （4/22 7:00 現在）	停止域 2323mm （4/22 7:00 現在）
原子炉圧力	A系 0.435MPa g（A） B系 1.113MPa g（B）　※3 （4/22 6:00 現在）	A系−0.023MPa g（A）※3 B系−0.027MPa g（D）※3 （4/22 6:00 現在）	A系−0.047MPa g（A）※3 B系−0.087MPa g（C）※3 （4/22 6:00 現在）		0.004MPa g （4/22 7:00 現在）	0.013MPa g （4/22 7:00 現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				35.4℃ （4/22 7:00 現在）	23.5℃ （4/22 7:00 現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：137.4℃ ※3 圧力容器下部温度：113.0℃ （4/22 6:00 現在）	給水ノズル温度：131.2℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/22 6:00 現在）	給水ノズル温度：93.3℃ ※3 圧力容器下部温度：110.4℃ （4/22 6:00 現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C 圧力	D/W　0.160MPa abs S/C　0.160MPa abs （4/22 6:00 現在）	D/W　0.085MPa abs S/C　※1 （4/22 6:00 現在）	D/W　0.1055MPa abs S/C　0.1780MPa abs （4/22 6:00 現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W 雰囲気温度	RPV ベローシール：116.8℃ HVH 戻り：96.4℃ （4/22 6:00 現在）	RPV ベローシール：※1 HVH 戻り：122℃ （4/22 6:00 現在）	RPV ベローシール：138.6℃ ※3 HVH 戻り：63.7℃ （4/22 6:00 現在）			
CAMS 放射線モニタ	D/W（A）※1 （B）※1 S/C（A）9.94×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.85×10^{0}Sv/h ※3 （4/22 6:00 現在）	D/W（A）2.43×10^{1}Sv/h （B）2.76×10^{1}Sv/h S/C（A）5.22×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.37×10^{2}Sv/h ※3 （4/22 6:00 現在）	D/W（A）1.52×10^{1}Sv/h （B）1.14×10^{1}Sv/h S/C（A）5.70×10^{-1}Sv/h ※3 （B）5.32×10^{-1}Sv/h ※3 （4/22 6:00 現在）			
S/C 温度	A系：52.8℃ B系：52.7℃ （4/22 6:00 現在）	A系：72.5℃ B系：72.8℃ （4/22 6:00 現在）	A系：42.3℃ B系：42.3℃ （4/22 6:00 現在）			
D/W 設計使用圧力	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	−	−	
D/W 最高使用圧力	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）			
使用済燃料プール温度	※1	46.0℃ （4/22 6:00 現在）	※1	※1	37.5℃ （4/22 7:00 現在）	32.5℃ （4/22 7:00 現在）
FPC スキマーサージタンクレベル	4500mm （4/22 6:00 現在）	4300mm （4/22 6:00 現在）	※1	4200mm （4/22 6:00 現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール： 29℃程度 （4/21 7:10）	5u：SHC モード （4/21 19:14〜）	6u：SHC モード （4/21 9:45〜）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２２日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０７報）
（４月２２日８時００分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・４号機について、コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 21 日 17:14～21:20）

・共用プール山側の約 1,300 ㎡及び５，６号機高圧開閉所山側の約 5,100 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 21 日 12:00～15:00）

・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 21 日 9:00～16:00）

２．産業保安関係

別紙参照

＜飲食物への指示＞

・出荷制限の解除（4 月 21 日）

福島県相馬市、新地町において産出された原乳。

栃木県那須塩原市、塩谷町において産出されたホウレンソウ。

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 22 日 7:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.536(A) 1.214(B)	0.078(A) 0.074(D)	0.054(A) 0.014(C)	—	0.105	0.114
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	85	105.5	—	—	—
原子炉水位*2 [mm]	-1650(A) -1650(B)	-1500(A) -2100(B)	-1850(A) -2250(B)	—	1730	2323
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	52.8(A) 52.7(B)	72.5(A) 72.8(B)	42.3(A) 42.3(B)	—	—	—
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	178.0	—	—	—
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	46.0	計器不良	計器不良	37.5	32.5
備　考	4/22 6:00 現在の値	4/22 6:00 現在の値	4/22 6:00 現在の値	4/22 現在	4/22 7:00 現在の値	4/22 7:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3 月 14 日 1:10）
・１号機で爆発音（3 月 12 日 15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3 月 23 日 2:33）。その後、給水系のみに切替（約 11m^3/h）（3 月 23 日 9:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 24 日 11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3 月 25 日 15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として ^{131}I（ヨウ素）が 2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 29 日 8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3 月 24 日 17 時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3 月 29 日 7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3 月 31 日 12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3 月 31 日 15:25）、移送を再開し、終了した（4 月 2 日 15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が約 90t 放水（淡水）（3 月 31 日 13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m 級）による放水位置の確認のため、試験放水（4 月 2 日 17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 3 日 13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4 月 6 日 22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4 月 7 日 1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4 月 9 日 4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 10 日 09:30）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4 月 11 日 18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4 月 11 日 23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月22日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月22日8:00現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象(原子炉冷却機能喪失)である旨、受信(3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始(3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋トレンチにある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 22 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 22 日 8:00 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・引き続き白煙の吐出確認（4月22日6:30現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月22日8:00現在）

＜４号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3月14日4:08時点84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3月15日6:14）
・火災発生（3月15日9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3月15日11:00頃）
・火災が発生（3月16日5:45頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3月16日6:15頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日18:30頃～19:46）
・自衛隊消防車13台が使用済燃料プールに放水（3月21日6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3月21日15:00頃）
・パワーセンター受電（3月22日10:35）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150ｔ放水(3月22日17:17～20:32)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約130ｔ放水(3月23日10:00～13:02)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150ｔ放水(3月24日14:36～17:30)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150ｔ放水(3月25日19:05～22:07)
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約125t放水（3月27日16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3月29日11:50）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約140t放水（3月30日14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月1日8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・4月2日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を４号機のタービン建屋内に移送していたところ、4月3日より３号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断（4月4日9:22）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月3日17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約20t放水（4月5日17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約38ｔ放水（4月7日18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m級）が淡水約90ｔ放水（4月9日17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4月12日12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4月13日）。その結果、^{131}I

（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 21 日 17:14～21:20）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 22 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^{3}）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51）し、仮設のＲＨＲＳ

ポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4月20日15:56）

＜使用済燃料共用プール＞

・3月18日6:00過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3月21日10:37～15:30）
・電源供給を開始（3月24日15:37）し、冷却を開始（3月24日18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4月17日14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4月17日17:30）
・4月21日7:10時点でのプール水温度は29℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の1850.5倍）検出された（3月26日14:30）
（3月29日に計測した結果、水中濃度限度の3,355.0倍となった。（3月29日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同1,262.5倍）検出された。（3月29日14:10））
・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3月21日及び3月22日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3月28日23:45東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3月31日）。測定値については１日１回の予定。
・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3月25日（４地点）及び3月28日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月6日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3月28日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の4385.0倍）検出された。（3月30日13:55）
・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3月31日及び4月4日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月14日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）

・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）

・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）

・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）

・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）

・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）

・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞

・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）

・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）

・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）

・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）

・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）

・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）

・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）

・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）

・共用プール山側の約 1900m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散

防止剤を試験的に散布（4月15日11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約1,800㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月16日11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約1,900㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月17日10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約1,200㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月18日9:00～14:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約1,900㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月20日12:00～13:30）
・共用プール山側の約1,300㎡及び５，６号機高圧開閉所山側の約5,100㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4月21日12:00～15:00）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4月10日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4月13日11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4月15日9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4月16日9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4月17日9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4月18日9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4月19日9:00～15:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4月20日9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4月21日9:00～16:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が0.4mSv/h、２号機が1,000mSv/h以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3月27日15:30頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14mから約-1.14mに減少（3月31日9:20～11:25）
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、

協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）

・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^{3}、非管理区域で総量 2.2×10^{1}Bq/cm^{3} の放射能を検出

・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40）

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10）

・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15）

・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t）

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20）

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日）

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28）

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃)。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前)。その後、鎮火確認（同日 9:12）

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 15 日 8:02～9:55）

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4 月 15 日 10:19～17:00）

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4 月 18 日)。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 21 日 11:43～12:50）

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 17:00 冷温停止）
２号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 18:00 冷温停止）
３号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 12 日 12:15 冷温停止）
４号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 15 日 7:15 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 22 日 6:00 現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.13	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.2	24.7	33.2	28.2
原子炉水位*2	mm	9346	10296	7790	8785
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算
＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。
・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）
・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）
・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）
・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発

生（3月12日5:32）
・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3月12日6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52万4千kW）（自動停止、3月12日0:58冷温停止）
２号機（82万5千kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）
３号機（82万5千kW）（自動停止、3月12日1:17冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：
約0.28μSv/h（4月21日16:00）（約0.28μSv/h（4月20日16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下1階の発煙は消火確認（3月11日22:55）
・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月13日13:09）

２　産業保安

○電気（4月21日23:00）

・東北電力（4月21日16:00現在）

停電戸数：約14万戸
停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）
宮城県　一部地域で停電（約８万２千戸）
福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月20日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万４千戸
②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万７千戸
③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸
④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月21日16:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機
常陸那珂火力発電所　１号機
鹿島火力発電所　６号機
・東北電力（4月21日16:00現在）
仙台火力発電所　４号機
新仙台火力発電所　１，２号機
原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月21日10:00現在）
・供給停止戸数約５千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4月21日10:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者1名、負傷者10名
3月14日8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者1名
3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）3,986戸供給停止

（２）簡易ガス（4月21日10:00現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）370戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）145戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68戸供給停止

○熱供給（4月21日10:00現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4月14日21:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
3月13日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4月14日21:00現在）

・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
　ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3月21日午前鎮火。

・JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
　出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3月15日午後鎮火。

・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）

（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3月11日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は1,864人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。
　・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。
　・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3月12日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。

当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０

ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動

５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示

を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3月22日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3月22日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3月25日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月24日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3月28日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3月29日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3月30日】

各電気事業者等に対し、平成23年福島第一・第二原子力発電所事

故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力

安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が

１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において４月１日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

【4月21日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

- 避難区域として、福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内区域から半径８ｋｍ圏内区域への変更を指示。

・内閣総理大臣より、福島県知事、富岡町長、双葉町長、大熊町長、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長及び葛尾村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

- 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。

＜被ばくの可能性（4月22日8:00現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約100名について、100名のうち、9名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm 弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では100,000cpmを超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3月12日から3月15日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに162名が検査済み。初め除染の基準値を6,000cpmとし、110名が6,000cpm未満、41名が6,000cpm以上の値を示した。後に基準値を13,000cpmと引き上げた際には、８名が13,000cpm未満、３名が13,000cpm以上の値を示した。

検査を受けた162名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員60名のスクリーニングで3名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60名に対し除染を行った。

（６）福島県は3月13日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等11ヶ所（常設）で実施中。4月19日までに162,126人に対し実施。そのうち、100,000cpm以上の値を示した者は102人であったが、100,000cpm以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で100mSvを超過した作業員は、計29名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3月24日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3月25日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Svと推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３

名とも、入院して経過を見ることとなった。3月28日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は4月11日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3月24日、川俣町保健センター等において、１～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3月28日～3月30日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15歳までの946名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3月20日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより40ベクレル/c㎡または6,000cpm

新：1マイクロシーベルト／時（10cm離れた場所での線量率）またはこれに相当する100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）3月16日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（２）3月21日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」

として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4月22日8:00現在）＞

1．3月11日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3月30日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4月2日までに死亡が確認された。）

2．3月12日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

3．3月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「（独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

4．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。（タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。）
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3月12日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。）
・3月12日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3月13日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3月22日、23日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。（１名は既に仕事復帰、残り１

名は自宅療養中）

・4月7日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4月8日、「脱水、一過性意識消失」と診断。

・4月9日午前9時19分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靱帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。

・4月10日午前11時10分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後2時27分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4月22日8:00現在）＞

3月15日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。

・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。

・3月28日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第二原子力発電所で発生した事故に関する避難区域を福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内から半径８ｋｍ圏内に変更するよう指示。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。（警戒区域の発動日時：4月22日0:00）

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 22 日 8:00 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※1を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ（一部地域※2を除く）	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※１：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、相馬市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、新地町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村、

※２：那須塩原市、塩谷町

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 22 日 8:00 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、杉山
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

※)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可搬性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/22 14:00	25.6	<0.01	曇り	W	1.0
西門	2011/4/22 14:10	25.6	<0.01	曇り	N	0.9
西門	2011/4/22 14:20	25.6	<0.01	曇り	W	0.9
西門	2011/4/22 14:30	25.6	<0.01	曇り	W	0.9
西門	2011/4/22 14:40	25.6	<0.01	曇り	NNW	1.1
西門	2011/4/22 14:50	25.6	<0.01	曇り	WSW	0.8
西門	2011/4/22 15:00	25.7	<0.01	曇り	NNW	1.0

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	本館北西側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/22 6:00	481	57	23
2011/4/22 6:30	479	57	23
2011/4/22 7:00	480	57	23
2011/4/22 7:30	479	57	23
2011/4/22 8:00	480	57	22
2011/4/22 8:30	478	57	22
2011/4/22 9:00	479	57	23
2011/4/22 9:30	476	57	23
2011/4/22 10:00	477	57	22
2011/4/22 10:30	475	57	22
2011/4/22 11:00	475	57	22
2011/4/22 11:30	474	57	22
2011/4/22 12:00	475	57	22
2011/4/22 12:30	475	57	22
2011/4/22 13:00	475	57	22
2011/4/22 13:30	473	57	22
2011/4/22 14:00	473	57	22
2011/4/22 14:30	474	57	22
2011/4/22 15:00	474	57	22

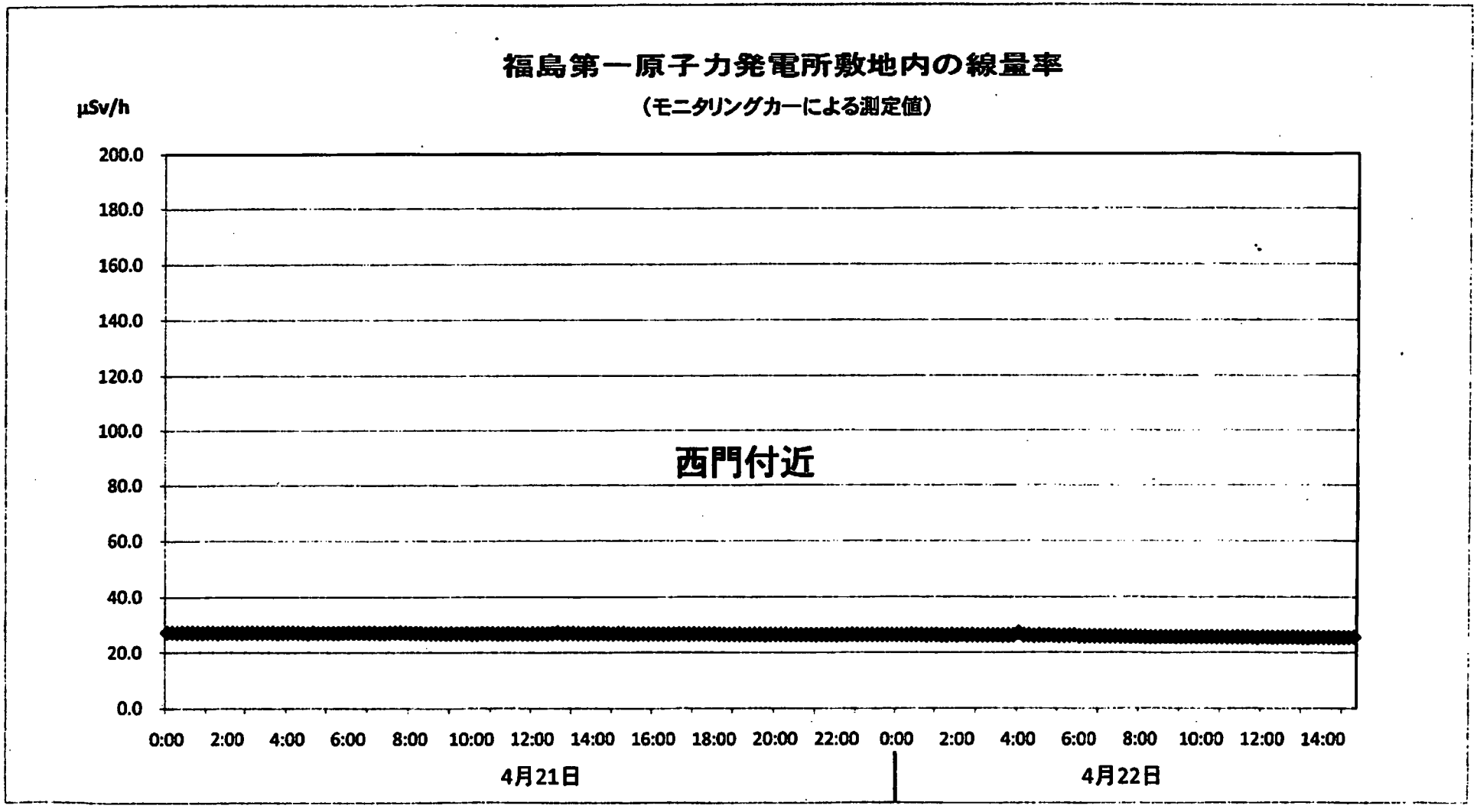
福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/22 7:00	25.9	<0.01	雨	WNW	0.5
西門	2011/4/22 7:10	26.0	<0.01	雨	W	0.5
西門	2011/4/22 7:20	25.9	<0.01	雨	W	0.6
西門	2011/4/22 7:30	25.9	<0.01	雨	ENE	0.5
西門	2011/4/22 7:40	25.8	<0.01	雨	NNW	0.4
西門	2011/4/22 7:50	25.8	<0.01	雨	W	0.3
西門	2011/4/22 8:00	25.8	<0.01	雨	W	0.3
西門	2011/4/22 8:10	25.8	<0.01	雨	S	0.6
西門	2011/4/22 8:20	25.8	<0.01	雨	NE	0.4
西門	2011/4/22 8:30	25.8	<0.01	雨	N	0.7
西門	2011/4/22 8:40	25.8	<0.01	雨	W	0.8
西門	2011/4/22 8:50	25.8	<0.01	雨	N	0.8
西門	2011/4/22 9:00	25.8	<0.01	雨	NE	0.5
西門	2011/4/22 9:10	25.8	<0.01	曇り	NW	0.6
西門	2011/4/22 9:20	25.8	<0.01	曇り	NW	0.5
西門	2011/4/22 9:30	25.8	<0.01	曇り	NE	0.7
西門	2011/4/22 9:40	25.8	<0.01	曇り	NW	0.7
西門	2011/4/22 9:50	25.8	<0.01	曇り	NW	0.6
西門	2011/4/22 10:00	25.8	<0.01	曇り	NE	0.6
西門	2011/4/22 10:10	25.8	<0.01	雨	NNE	0.6
西門	2011/4/22 10:20	25.8	<0.01	雨	NW	0.6
西門	2011/4/22 10:30	25.7	<0.01	雨	NW	0.6
西門	2011/4/22 10:40	25.8	<0.01	雨	NE	0.6
西門	2011/4/22 10:50	25.7	<0.01	雨	N	0.6
西門	2011/4/22 11:00	25.7	<0.01	雨	N	0.6
西門	2011/4/22 11:10	25.8	<0.01	雨	NNW	0.9
西門	2011/4/22 11:20	25.7	<0.01	雨	NW	0.8
西門	2011/4/22 11:30	25.8	<0.01	雨	W	1.0
西門	2011/4/22 11:40	25.7	<0.01	雨	NW	0.8
西門	2011/4/22 11:50	25.5	<0.01	雨	NE	0.7
西門	2011/4/22 12:00	25.8	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/22 12:10	25.7	<0.01	曇り	WNW	0.7
西門	2011/4/22 12:20	25.6	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/22 12:30	25.6	<0.01	曇り	WNW	0.8
西門	2011/4/22 12:40	25.7	<0.01	曇り	N	0.8
西門	2011/4/22 12:50	25.6	<0.01	曇り	ENE	0.7
西門	2011/4/22 13:00	25.7	<0.01	曇り	NNW	0.9
西門	2011/4/22 13:10	25.6	<0.01	曇り	WNW	0.8
西門	2011/4/22 13:20	25.6	<0.01	曇り	ENE	1.0
西門	2011/4/22 13:30	25.5	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/22 13:40	25.6	<0.01	曇り	W	1.0
西門	2011/4/22 13:50	25.6	<0.01	曇り	NNW	1.1
西門	2011/4/22 14:00	25.6	<0.01	曇り	W	1.0

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/22 6:00	481	57	23
2011/4/22 6:30	479	57	23
2011/4/22 7:00	480	57	23
2011/4/22 7:30	479	57	23
2011/4/22 8:00	480	57	22
2011/4/22 8:30	478	57	22
2011/4/22 9:00	479	57	23
2011/4/22 9:30	476	57	23
2011/4/22 10:00	477	57	22
2011/4/22 10:30	475	57	22
2011/4/22 11:00	475	57	22
2011/4/22 11:30	474	57	22
2011/4/22 12:00	475	57	22
2011/4/22 12:30	475	57	22
2011/4/22 13:00	475	57	22
2011/4/22 13:30	473	57	22
2011/4/22 14:00	473	57	22


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
4月21日
4月22日

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

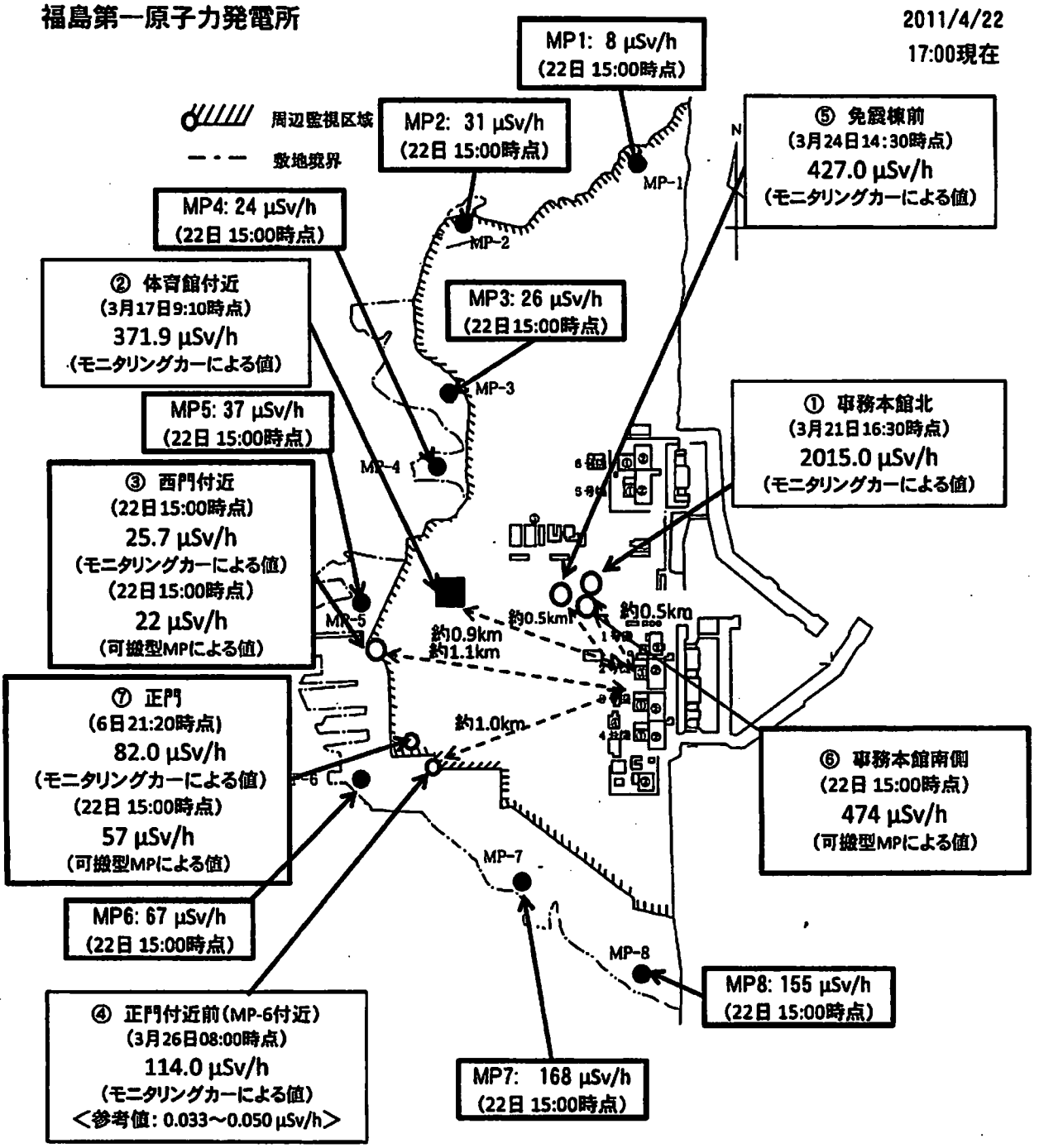
日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/22 14:00	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:10	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:20	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:30	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:40	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:50	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 15:00	8	31	26	24	37	67	168	155

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率(μSv/h)

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/22 7:00	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:10	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:20	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:30	8	31	26	24	38	68	170	156
2011/4/22 7:40	8	31	26	24	38	68	169	156
2011/4/22 7:50	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:00	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:10	8	31	26	24	38	68	169	156
2011/4/22 8:20	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:30	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:40	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 8:50	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:00	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:10	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:20	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:30	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:40	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 9:50	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:00	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:10	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:20	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:30	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:40	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 10:50	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 11:00	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 11:10	8	31	26	24	38	68	169	155
2011/4/22 11:20	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 11:30	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 11:40	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 11:50	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 12:00	8	31	26	24	38	67	168	154
2011/4/22 12:10	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 12:20	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 12:30	8	31	25	24	38	67	168	155
2011/4/22 12:40	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 12:50	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 13:00	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 13:10	8	31	26	24	38	67	168	155
2011/4/22 13:20	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 13:30	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 13:40	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 13:50	8	31	26	24	37	67	168	155
2011/4/22 14:00	8	31	26	24	37	67	168	155

福島第一原子力発電所

2011/4/22
17:00現在



福島第二MP情報

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/22 14:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	7.7	くもり
2011/4/22 14:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	6.1	－
2011/4/22 14:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	6.3	－
2011/4/22 14:30	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	7.5	くもり
2011/4/22 14:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北北西	7.5	－
2011/4/22 14:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	7.7	－
2011/4/22 15:00	2.3	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	4.8	くもり

福島第二MP情報

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/22 7:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北北西	4.1	雨
2011/4/22 7:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	3.5	－
2011/4/22 7:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	3.0	－
2011/4/22 7:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	3.3	雨
2011/4/22 7:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	2.7	－
2011/4/22 7:50	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	1.9	－
2011/4/22 8:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	1.6	雨
2011/4/22 8:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	2.2	－
2011/4/22 8:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北北東	2.7	－
2011/4/22 8:30	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北北西	1.9	雨
2011/4/22 8:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北北西	2.6	－
2011/4/22 8:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北北西	4.0	－
2011/4/22 9:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	1.5	北北西	3.5	晴
2011/4/22 9:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	3.0	－
2011/4/22 9:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	4.1	－
2011/4/22 9:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	4.4	雨
2011/4/22 9:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	4.7	－
2011/4/22 9:50	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	4.7	－
2011/4/22 10:00	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	5.9	雨
2011/4/22 10:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北北西	5.1	－
2011/4/22 10:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.5	－
2011/4/22 10:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	4.7	晴
2011/4/22 10:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	4.1	－
2011/4/22 10:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	4.1	－
2011/4/22 11:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	4.7	晴
2011/4/22 11:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.2	－
2011/4/22 11:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	6.2	－
2011/4/22 11:30	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.8	くもり
2011/4/22 11:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北北西	6.1	－
2011/4/22 11:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北北西	6.0	－
2011/4/22 12:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.7	くもり
2011/4/22 12:10	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.7	－
2011/4/22 12:20	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	6.6	－
2011/4/22 12:30	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	5.9	くもり
2011/4/22 12:40	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	6.3	－
2011/4/22 12:50	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	5.6	－
2011/4/22 13:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	7.3	くもり
2011/4/22 13:10	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北北西	6.4	－
2011/4/22 13:20	2.4	1.8	2.5	2.0	2.0	2.0	－	北北西	7.7	－
2011/4/22 13:30	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	6.9	くもり
2011/4/22 13:40	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	8.1	－
2011/4/22 13:50	2.4	1.8	2.5	2.1	2.1	2.0	－	北	7.7	－
2011/4/22 14:00	2.4	1.8	2.5	2.0	2.1	2.0	－	北	7.7	くもり

福島第二原子力発電所

2011/4/22
17:00現在

MP1:2.3μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.8μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

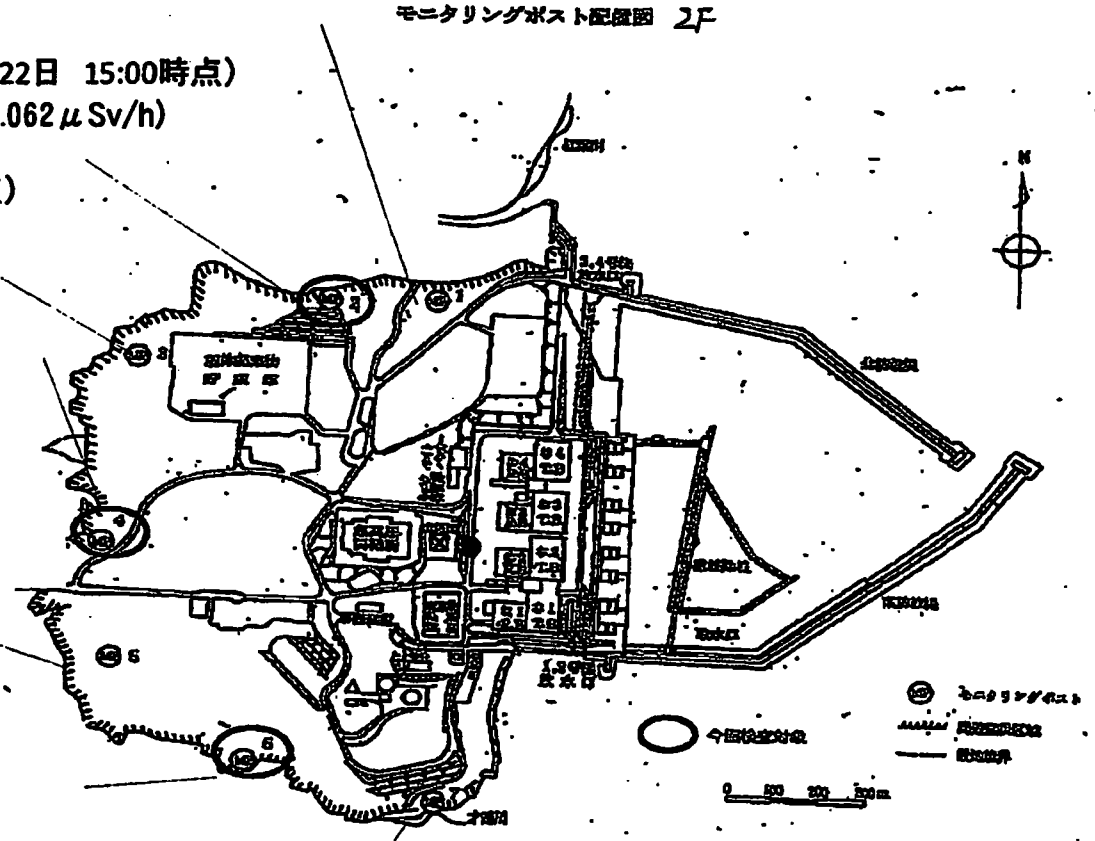
MP3:2.5μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.1μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.0μSv/h(22日　15:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.5μSv/h(22日　9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



別紙資料(2)

各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

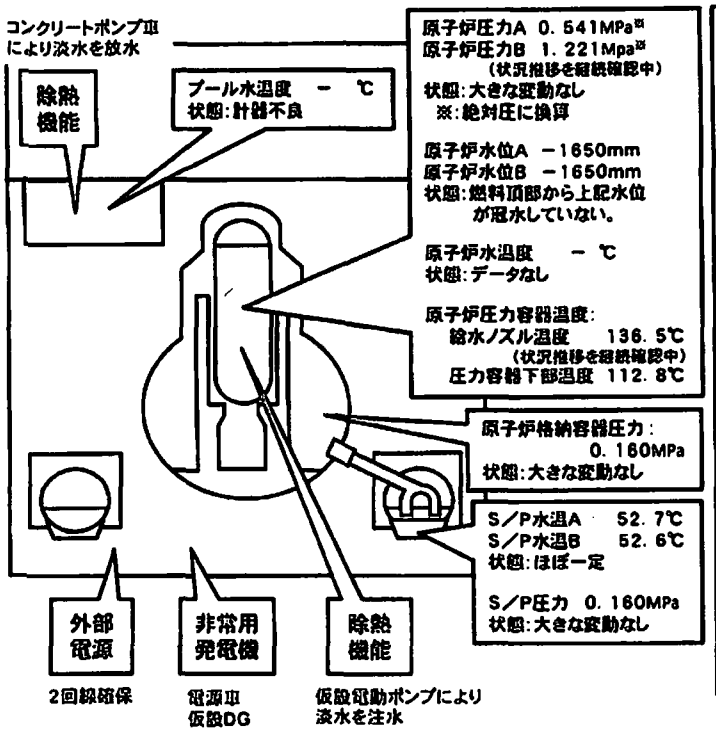
通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月21日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	点検中	点検中	点検中	点検中	0.031	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032	0.031	0.032
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.084	0.085	0.085	0.085	0.085	0.086	0.085
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.336	0.339	0.336	0.335	0.334	0.333	0.335	0.332	0.331	0.334	0.335	0.333
0.039～0.110		敦賀発電所	0.072	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073	0.075	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073
0.084～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.042	0.043	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043	0.042	0.043
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.032	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.030	0.029	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.030	0.030	0.030	0.030
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.074	0.075	0.074	0.072	0.072	0.074	0.073	0.073	0.075	0.074	0.074
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.044	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043
0.036～0.040		大飯発電所	0.035	0.034	0.035	0.035	0.034	0.035	0.036	0.035	0.034	0.034	0.036	0.035
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026	0.027	0.027
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.037	0.037	0.036	0.038	0.038	0.035	0.038	0.035	0.037	0.039	0.039
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.015	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.021	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月22日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.032	0.032		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.27	0.28	0.27	0.28	0.28		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.017	0.016	0.017	0.017	0.017	0.018	0.019	0.018		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.086	0.085	0.085	0.086	0.086	0.086	0.086	0.085	0.086	0.087		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.331	0.328	0.328	0.328	0.328	0.327	0.329	0.327	0.331	0.329		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073	0.074	0.073	0.073	0.073		
0.084～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.033	0.034	0.033	0.034	0.034	0.034	0.034	0.034	0.033	0.034		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.031	0.030	0.030	0.031		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.074	0.074	0.074	0.074	0.072	0.072	0.074	0.074	0.072	0.074		
0.045～0.047		高浜発電所	0.044	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.044	0.043		
0.036～0.040		大飯発電所	0.036	0.037	0.036	0.037	0.036	0.037	0.036	0.037	0.034	0.035		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.013	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.018	0.016	0.016		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.026	0.027	0.027	0.026	0.026	0.027	0.030	0.030	0.031	0.032		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.037	0.036	0.038	0.037	0.038	0.036	0.037	0.041	0.038		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.018	0.019	0.018	0.017	0.018	0.017		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.022	0.023	0.024	0.024	0.025	0.025	0.024	0.024		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月22日　13:00現在）

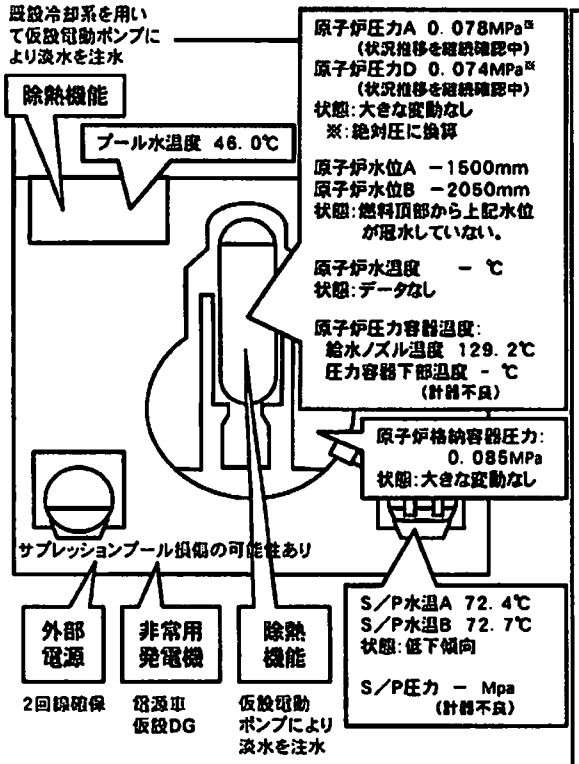


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（2m³/h → 18m³/h）。9:00に給水系のみに切替（18m³/h → 11m³/h）
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月22日　13:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

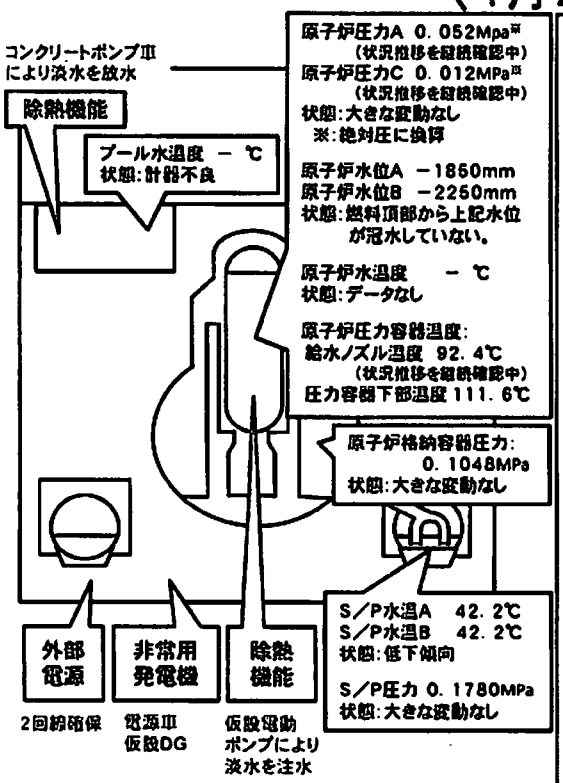
主要な出来事1/2

3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
3/11 15:42 10条通報（全交流電源喪失）
3/11 16:36 15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13 11:00 ベント開始
3/14 13:25 15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14 16:34 海水の炉心注水開始
3/14 22:50 15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15 00:02 ベント開始
3/15 06:10 爆発音発生
3/15 06:20頃 サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20 15:05～17:20 使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20 15:46 パワーセンター受電
3/21 18:22 白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22 16:07 SFPに海水を注水
3/25 10:30～12:19 FPCからSFPに海水を注水
3/26 10:10 淡水の炉心注水開始
3/26 16:46 中央制御室の照明復帰
3/27 18:31 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29 16:30～18:25 仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29 16:45～4/1 11:50 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30 09:25～23:50 SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1 14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2 09:30頃 取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2 17:10 復水器からCSTへ移送開始
4/3 12:12 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3 13:47～14:30 ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、裁断処理した新聞紙3袋を投入
4/4 07:08～07:11 トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4 11:05～13:37 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5 14:15 トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6 05:38頃 ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7 13:29～14:34 FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9 13:10 復水器からCSTへの移送完了
4/10 10:37～12:38 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11 17:16頃 地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11 17:56 外部電源復旧
4/11 18:04 炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12 19:35～4/13 17:04 タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13 11:00 漏えい確認等のため一時停止
4/13 13:15～14:55 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16 10:13～11:54 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により満水を確認。）
4/16 11:19頃 地震発生（茨城県南部）
4/18 13:42～ 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18 12:13～12:37 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18 9:30～17:40 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 8:00～15:30 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 10:08 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19 16:08～17:28 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月22日　13:00現在）



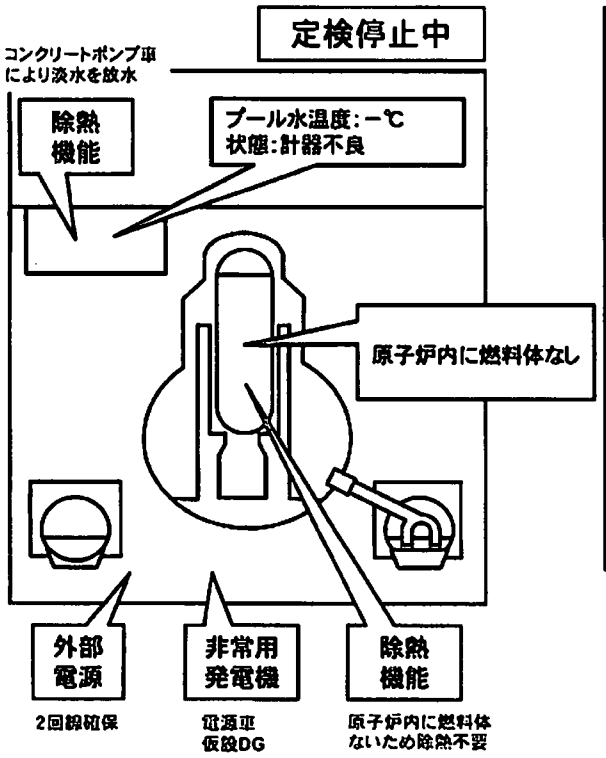
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/22　13:40～14:00　燃料プール冷却材浄化系を用いて使用済燃料プールに淡水を試験注水

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02、
4/22　14:19～15:40

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月22日　13:00現在）

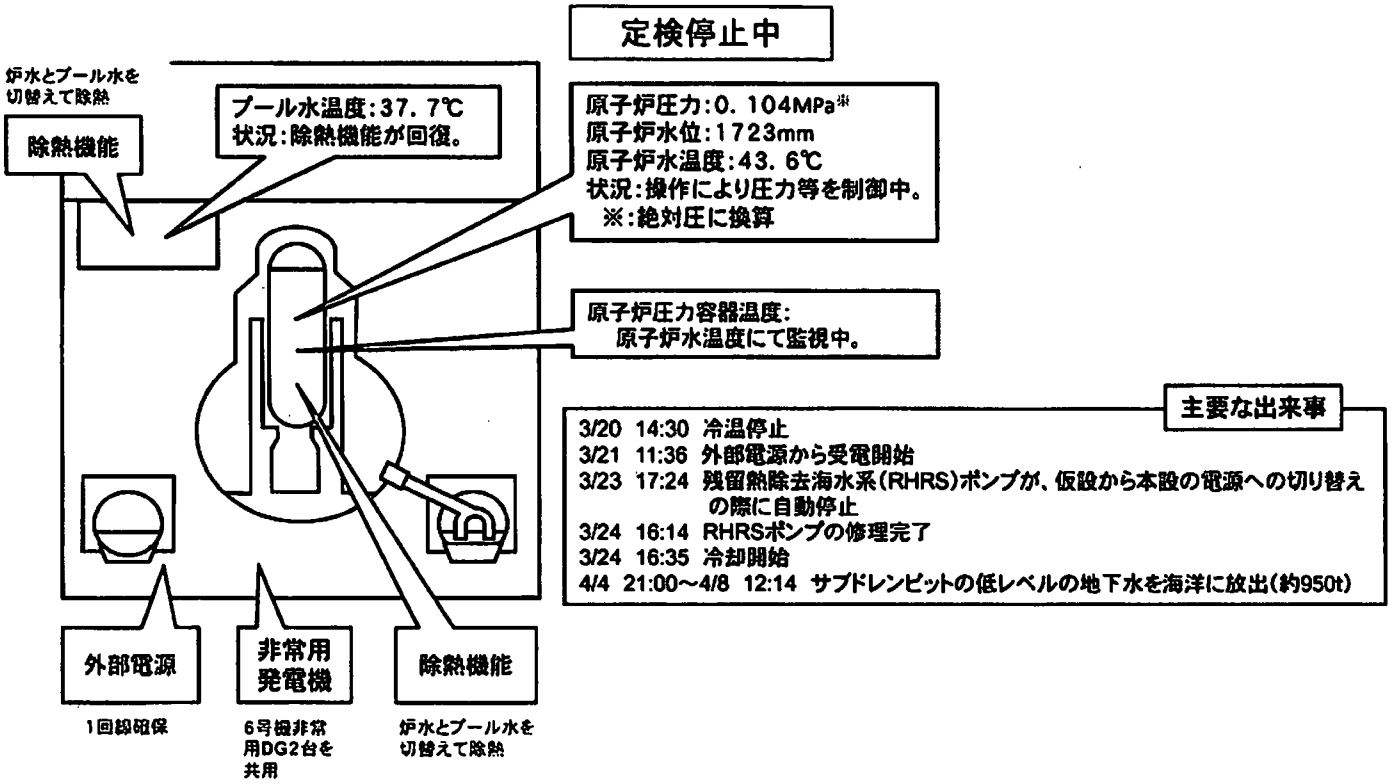


現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

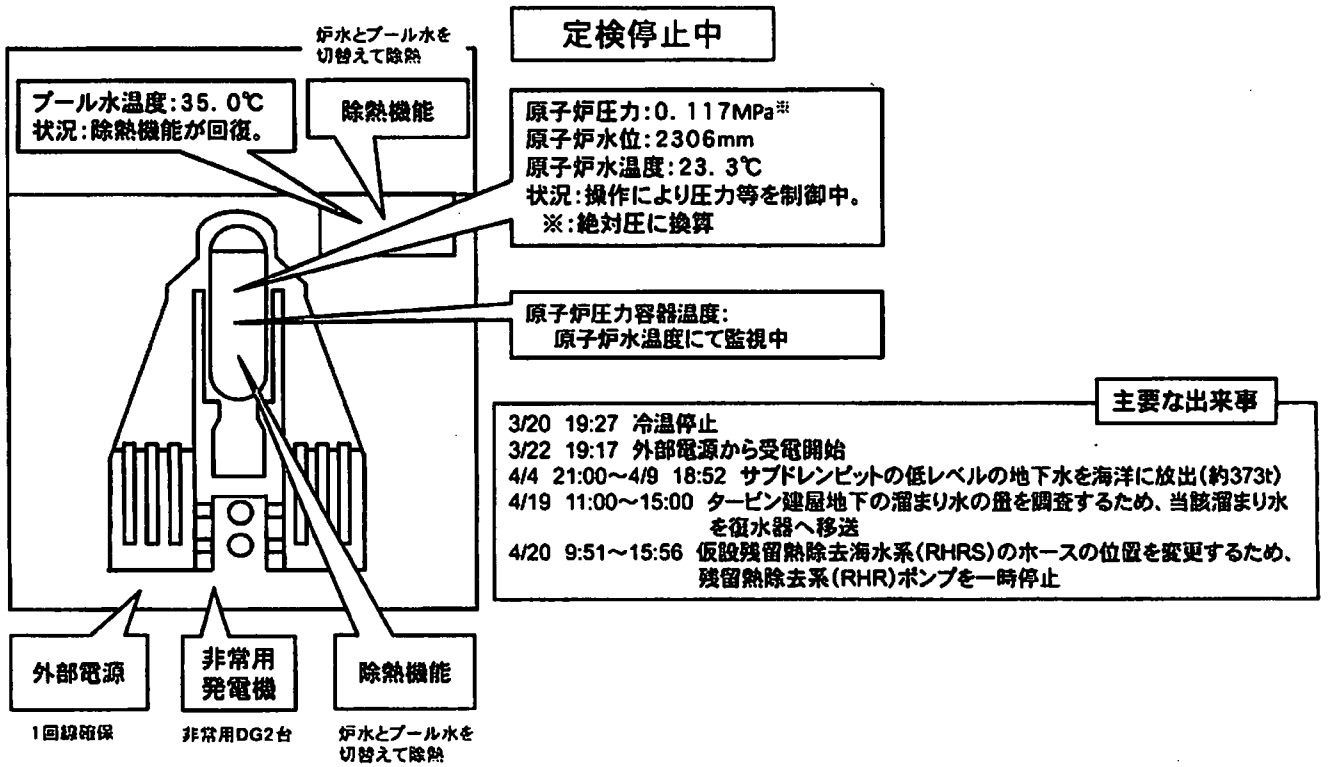
主要な出来事

地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/22　コンクリートポンプ車（62m級）を用いて計測装置を吊り下げ、使用済燃料プールの水位等を測定
＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17　17:39～21:22、4/19　10:17～11:35、4/20　17:08～20:31、4/21　17:14～21:20

福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月22日　13:00現在）



福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月22日　13:00現在）



【留意事項】
各計測器については、地震やその他の事象連鎖の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月22日　13:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/22 12:00 現在）	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/22 12:00 現在）	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 6.8m³/h （4/22 12:00 現在）	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1650mm 燃料域B：−1650mm （4/22 12:00 現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2050mm （4/22 12:00 現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/22 11:50 現在）		停止域 1723mm （4/22 13:00 現在）	停止域 2306mm （4/22 13:00 現在）
原子炉圧力	A系 0.440MPa g (A) B系 1.120MPa g (B)　※3 （4/22 12:00 現在）	A系 −0.023MPa g (A)　※3 B系 −0.027MPa g (D)　※3 （4/22 12:00 現在）	A系 −0.049MPa g (A)　※3 B系 −0.089MPa g (C)　※3 （4/22 11:50 現在）		0.003MPa g （4/22 13:00 現在）	0.016MPa g （4/22 13:00 現在）
原子炉水温度	（系統循環がないため採取不可）				43.6℃ （4/22 13:00 現在）	23.3℃ （4/22 13:00 現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：136.5℃　※3 圧力容器下部温度：112.8℃ （4/22 12:00 現在）	給水ノズル温度：129.2℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/22 12:00 現在）	給水ノズル温度：92.4℃　※3 圧力容器下部温度：111.6℃ （4/22 11:50 現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C 圧力	D/W　0.160MPa abs S/C　0.160MPa abs （4/22 12:00 現在）	D/W　0.085MPa abs S/C　※1 （4/22 12:00 現在）	D/W　0.1048MPa abs S/C　0.1780MPa abs （4/22 11:50 現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W 雰囲気温度	RPV ベローシール：116.4℃ HVH 戻り：96.5℃ （4/22 12:00 現在）	RPV ベローシール：※1 HVH 戻り：120℃ （4/22 12:00 現在）	RPV ベローシール：137.9℃　※3 HVH 戻り：62.8℃ （4/22 11:50 現在）			
CAMS 放射線モニタ	D/W (A)　※1 (B)　※1 S/C (A) 9.94×10^{-1}Sv/h　※3 (B) 1.83×10^{0}Sv/h　※3 （4/22 12:00 現在）	D/W (A) 2.42×10^{1}Sv/h (B) 2.75×10^{1}Sv/h S/C (A) 5.19×10^{-1}Sv/h　※3 (B) 1.36×10^{2}Sv/h　※3 （4/22 12:00 現在）	D/W (A) 1.52×10^{1}Sv/h (B) 1.14×10^{1}Sv/h S/C (A) 5.69×10^{-1}Sv/h　※3 (B) 5.31×10^{-1}Sv/h　※3 （4/22 11:50 現在）			
S/C 温度	A系：52.7℃ B系：52.6℃ （4/22 12:00 現在）	A系：72.4℃ B系：72.7℃ （4/22 12:00 現在）	A系：42.2℃ B系：42.2℃ （4/22 11:50 現在）			
D/W 設計使用圧力	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	−	−	
D/W 最高使用圧力	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)			
使用済燃料プール温度	※1	46.0℃ （4/22 12:00 現在）	※1	※1	37.7℃ （4/22 13:00 現在）	35.0℃ （4/22 13:00 現在）
FPC スキマーサージタンクレベル	4500mm （4/22 12:00 現在）	4300mm （4/22 12:00 現在）	※1	4200mm （4/22 11:50 現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：29℃程度 （4/21 7:10）	5u：SHC モード （4/21 19:14〜）	6u：SHC モード （4/21 9:45〜）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続監視中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２２日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０８報）
（４月２２日１５時３０分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・３号機について、燃料プール冷却材浄化系を用いて使用済燃料プールに淡水を試験注水（4 月 22 日 13:40～14:00）

・３号機の使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 50t 放水（4 月 22 日 14:19～15:40）

・４号機の使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）を用いて計測装置を吊り下げ、使用済燃料プールの水位等を測定（4 月 22 日）

２．産業保安関係

別紙参照

３．原子力安全・保安院等の対応

【4 月 22 日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長、葛尾村長、広野町長、いわき市長、飯舘村長及び川俣村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項に基づき、次の指示を出した。

➢ 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内に設定されていた屋内への退避を解除し、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定したので、当該区域内における避難のための計画的な立退き若しくは常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を居住者等が行うように指示。

・原子力災害対策本部は、事故状況の全体像を把握するとともに、計画的避

難区域等の設定の評価等のため、下記項目を取り組むべく「環境モニタリング強化計画」を定めた。

- 福島第一原子力発電所周辺を含む適切な範囲での放射性物質の分布状況の把握
- 今後の各区域（避難区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域）における線量評価や放射性物質の蓄積状況評価のための準備
- 周辺住民等の被ばく線量評価のための環境の線量情報の提供

＜住民避難の状況＞

4月22日9:44、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避を解除するとともに、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定し、当該区域内における避難のための計画的な立退き若しくは常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を居住者等が行うよう指示。

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 22 日 13:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.541(A) 1.221(B)	0.078(A) 0.074(D)	0.052(A) 0.012(C)	－	0.104	0.117
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	85	104.8	－	－	－
原子炉水位*2 [mm]	-1650(A) -1650(B)	-1500(A) -2050(B)	-1850(A) -2250(B)	－	1723	2306
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	52.7(A) 52.6(B)	72.4(A) 72.7(B)	42.2(A) 42.2(B)	－	－	－
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	178.0	－	－	－
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	46.0	計器不良	計器不良	37.7	35.0
備　考	4/22 12:00 現在の値	4/22 12:00 現在の値	4/22 11:50 現在の値	4/22 現在	4/22 13:00 現在の値	4/22 13:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3 月 14 日 1:10）
・１号機で爆発音（3 月 12 日 15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3 月 23 日 2:33）。その後、給水系のみに切替（約 11m^3/h）（3 月 23 日 9:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 24 日 11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3 月 25 日 15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として ^{131}I（ヨウ素）が 2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 29 日 8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3 月 24 日 17 時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3 月 29 日 7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3 月 31 日 12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3 月 31 日 15:25）、移送を再開し、終了した（4 月 2 日 15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が約 90t 放水（淡水）（3 月 31 日 13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m 級）による放水位置の確認のため、試験放水（4 月 2 日 17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 3 日 13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4 月 6 日 22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4 月 7 日 1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4 月 9 日 4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 10 日 09:30）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4 月 11 日 18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4 月 11 日 23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月22日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月22日15:30現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信（3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始（3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋トレンチにある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 22 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 22 日 15:30 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・燃料プール冷却材浄化系を用いて使用済燃料プールに淡水を試験注水（4 月 22 日 13:40～14:00）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 50t 放水（4 月 22 日 14:19～15:40）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 22 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 22 日 15:30 現在）

＜４号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3 月 14 日 4:08 時点 84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3 月 15 日 6:14）
・火災発生（3 月 15 日 9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3 月 15 日 11:00 頃）
・火災が発生（3 月 16 日 5:45 頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3 月 16 日 6:15 頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3 月 20 日 11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3 月 20 日 18:30 頃～19:46）
・自衛隊消防車 13 台が使用済燃料プールに放水（3 月 21 日 6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3 月 21 日 15:00 頃）
・パワーセンター受電（3 月 22 日 10:35）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 22 日 17:17～20:32）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 130 t 放水（3 月 23 日 10:00～13:02）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 24 日 14:36～17:30）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 150 t 放水（3 月 25 日 19:05～22:07）
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3 月 25 日 6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が海水約 125t 放水（3 月 27 日 16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3 月 29 日 11:50）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 140t 放水（3 月 30 日 14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 1 日 8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・4 月 2 日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を４号機のタービン建屋内に移送していたところ、4 月 3 日より３号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断（4 月 4 日 9:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 180t 放水（4 月 3 日 17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 20t 放水（4 月 5 日 17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 38 t 放水（4 月 7 日 18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m 級）が淡水約 90 t 放水（4 月 9 日 17:07～19:24）

・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4 月 12 日 12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4 月 13 日）。その結果、^{131}I（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 21 日 17:14～21:20）
・コンクリートポンプ車（62m 級）を用いて計測装置を吊り下げ、使用済燃料プールの水位等を測定（4 月 22 日）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 22 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日

12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t))

・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^3) を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00)

・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4 月 20 日 15:56)

＜使用済燃料共用プール＞

・3 月 18 日 6:00 過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認

・共用プールに注水（3 月 21 日 10:37～15:30)

・電源供給を開始（3 月 24 日 15:37）し、冷却を開始（3 月 24 日 18:05)

・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4 月 17 日 14:34)。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4 月 17 日 17:30)

・4 月 21 日 7:10 時点でのプール水温度は 29℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 7.4×10^{1}Bq/cm^3（周辺監視区域外の水中濃度限度の 1850.5 倍）検出された（3 月 26 日 14:30)
（3 月 29 日に計測した結果、水中濃度限度の 3,355.0 倍となった。(3 月 29 日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.6×10^{1}Bq/cm^3（同 1,262.5 倍）検出された。(3 月 29 日 14:10))

・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3 月 21 日及び 3 月 22 日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム)、^{239}Pu（プルトニウム)、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3 月 28 日 23:45 東京電力発表)。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3 月 31 日)。測定値については１日１回の予定。

・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3 月 25 日（４地点）及び 3 月 28 日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム)、^{239}Pu（プルトニウム)、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 6 日 18:30 東京電力発表)。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3 月 28 日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が 1.8×10^{2}Bq/cm^3（周辺監視区域外の水中濃度限度の 4385.0 倍）検出された。(3 月 30 日 13:55)

・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3 月 31 日及び 4 月 4 日に採取した試料（合計６検体）

のうち、３検体から ^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4 月 14 日 18:30 東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）
・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞

・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）

・共用プール山側の約 400m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）
・共用プール山側の約 1900m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）
・共用プール山側の約 1,300 ㎡及び５，６号機高圧開閉所山側の約 5,100 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 21 日 12:00～15:00）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 21 日 9:00～16:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機

が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25）

・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）

・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^3、非管理区域で総量 2.2×10^{1}Bq/cm^3 の放射能を検出

・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42）。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58）。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40）

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10）

・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15）

・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t）

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20）

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日）

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28）

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃）。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前）。その後、鎮火確認（同日 9:12）

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動

画撮影を実施（4月15日8:02～9:55）

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4月15日10:19～17:00）

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4月18日）。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4月19日10:23）

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4月21日11:43～12:50）

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110万kW）（自動停止、3月14日17:00冷温停止）

２号機（110万kW）（自動停止、3月14日18:00冷温停止）

３号機（110万kW）（自動停止、3月12日12:15冷温停止）

４号機（110万kW）（自動停止、3月15日7:15冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4月22日6:00現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.13	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.2	24.7	33.2	28.2
原子炉水位*2	mm	9346	10296	7790	8785
原子炉格納容器内ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3月30日17:56頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3月30日14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）
・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）
・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）
・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）
・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52 万 4 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 0:58 冷温停止）
２号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）
３号機（82 万 5 千 kW）（自動停止、3 月 12 日 1:17 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：
約 0.28μSv/h（4 月 21 日 16:00）（約 0.28μSv/h（4 月 20 日 16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下 1 階の発煙は消火確認（3 月 11 日 22:55）
・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 13 日 13:09）

２　産業保安

○電気（4 月 21 日 23:00）

・東北電力（4 月 21 日 16:00 現在）

停電戸数：約 14 万戸
停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）
宮城県　一部地域で停電（約８万２千戸）
福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4 月 20 日 16:00 現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万４千戸
②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万７千戸
③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸
④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は 3 月 19 日 1:00 までに復旧済（延べ停電戸数　約 405 万戸）

・北海道電力

停電は 3 月 12 日 14:00 までに復旧済　（延べ停電戸数　約 3 千戸）

・中部電力
　停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）
・東京電力（4月21日16:00現在）※地震により停止中の発電所
　広野火力発電所　２，４号機
　常陸那珂火力発電所　１号機
　鹿島火力発電所　６号機
・東北電力（4月21日16:00現在）
　仙台火力発電所　４号機
　新仙台火力発電所　１，２号機
　原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月22日10:00現在）
・供給停止戸数約４千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4月22日10:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者1名、負傷者10名
　3月14日8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者1名
　3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）3,626戸供給停止

（２）簡易ガス（4月22日10:00現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）94戸供給停止

○熱供給（4月22日10:00現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4月14日21:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
　3月13日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。

（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4月14日21:00現在）

・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3月21日午前鎮火。

・JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3月15日午後鎮火。

・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）

（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3月11日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は1,864人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。
・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。
・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3月12日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。

当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容に

ついて指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ

移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用

に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3 月 22 日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3 月 22 日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3 月 25 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 24 日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3 月 28 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 27 日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3 月 29 日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向

けた、ニュースレター第１号を公表。

【3 月 30 日】

各電気事業者等に対し、平成 23 年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3 月 31 日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3 月 31 日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4 月 1 日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4 月 2 日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4 月 4 日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4 月 5 日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡に

ついて、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において４月１日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

【4月21日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

- 避難区域として、福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内区域から半径８ｋｍ圏内区域への変更を指示。

・内閣総理大臣より、福島県知事、富岡町長、双葉町長、大熊町長、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長及び葛尾村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

- 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。

【4月22日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長、葛尾村長、広野町長、いわき市長、飯舘村

長及び川俣村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項に基づき、次の指示を出した。

- 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内に設定されていた屋内への退避を解除し、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定したので、当該区域内における避難のための計画的な立退き若しくは常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を居住者等が行うように指示。

・原子力災害対策本部は、事故状況の全体像を把握するとともに、計画的避難区域等の設定の評価等のため、下記項目を取り組むべく「環境モニタリング強化計画」を定めた。

- 福島第一原子力発電所周辺を含む適切な範囲での放射性物質の分布状況の把握
- 今後の各区域（避難区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域）における線量評価や放射性物質の蓄積状況評価のための準備
- 周辺住民等の被ばく線量評価のための環境の線量情報の提供

＜被ばくの可能性（4 月 22 日 15:30 現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約 60 名を含む 133 名の測定を行い、13,000cpm 以上の 23 名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した 35 名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約 100 名について、100 名のうち、9 名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm 弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では 100,000cpm を超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3 月 12 日から 3 月 15 日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに 162 名が検査済み。初め除染の基準値を

6,000cpm とし、110 名が 6,000cpm 未満、41 名が 6,000cpm 以上の値を示した。後に基準値を 13,000cpm と引き上げた際には、８名が 13,000cpm 未満、３名が 13,000cpm 以上の値を示した。

検査を受けた 162 名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3 名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員 60 名のスクリーニングで 3 名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60 名に対し除染を行った。

（６）福島県は 3 月 13 日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等 11 ヶ所（常設）で実施中。4 月 20 日までに 163,842 人に対し実施。そのうち、100,000cpm 以上の値を示した者は 102 人であったが、100,000cpm 以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm 以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で 100mSv を超過した作業員は、計 29 名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3 月 24 日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3 月 25 日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Sv と推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3 月 28 日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は 4 月 11 日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4 月 1 日 11:35 頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4 月 12 日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3 月 17 日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3 月 24 日、川俣町保健センター等において、１～15 歳までの 66 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3 月 26 日～3 月 27 日、いわき市保健所において、0～15 歳までの 137 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3 月 28 日～3 月 30 日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15 歳までの 946 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3 月 20 日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより 40 ベクレル/c ㎡または 6,000cpm

新：1 マイクロシーベルト／時（10cm 離れた場所での線量率）またはこれに相当する 100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）3 月 16 日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（２）3 月 21 日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4 月 22 日 15:30 現在）＞

１．3 月 11 日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3 月 30 日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4 月 2 日までに死亡が確認された。）

２．3 月 12 日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

３．3 月 14 日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「(独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3 月 17 日退院）

４．その他の被害

・3 月 11 日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。(タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。)
・3 月 11 日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3 月 12 日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3 月 12 日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。)
・3 月 12 日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3 月 13 日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3 月 22 日、23 日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。(１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・4 月 7 日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4 月 8 日、「脱水、一過性意識消失」と診断。
・4 月 9 日午前 9 時 19 分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。
・4 月 10 日午前 11 時 10 分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後 2 時 27 分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4 月 22 日 15:30 現在）＞

3月15日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。
・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。
・3月28日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第二原子力発電所で発生した事故に関する避難区域を福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内から半径８ｋｍ圏内に変更するよう指示。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。（警戒区域の発動日時：4月22日0:00）

4月22日9:44、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避を解除するとともに、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定し、当該区域内における避難のための計画的な立退き若しくは常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を居住者等が行うよう指示。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4月22日15:30現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目

福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※1を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ（一部地域※2を除く）	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※１：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、相馬市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、新地町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村、

※２：那須塩原市、塩谷町

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 22 日 15:30 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、

南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

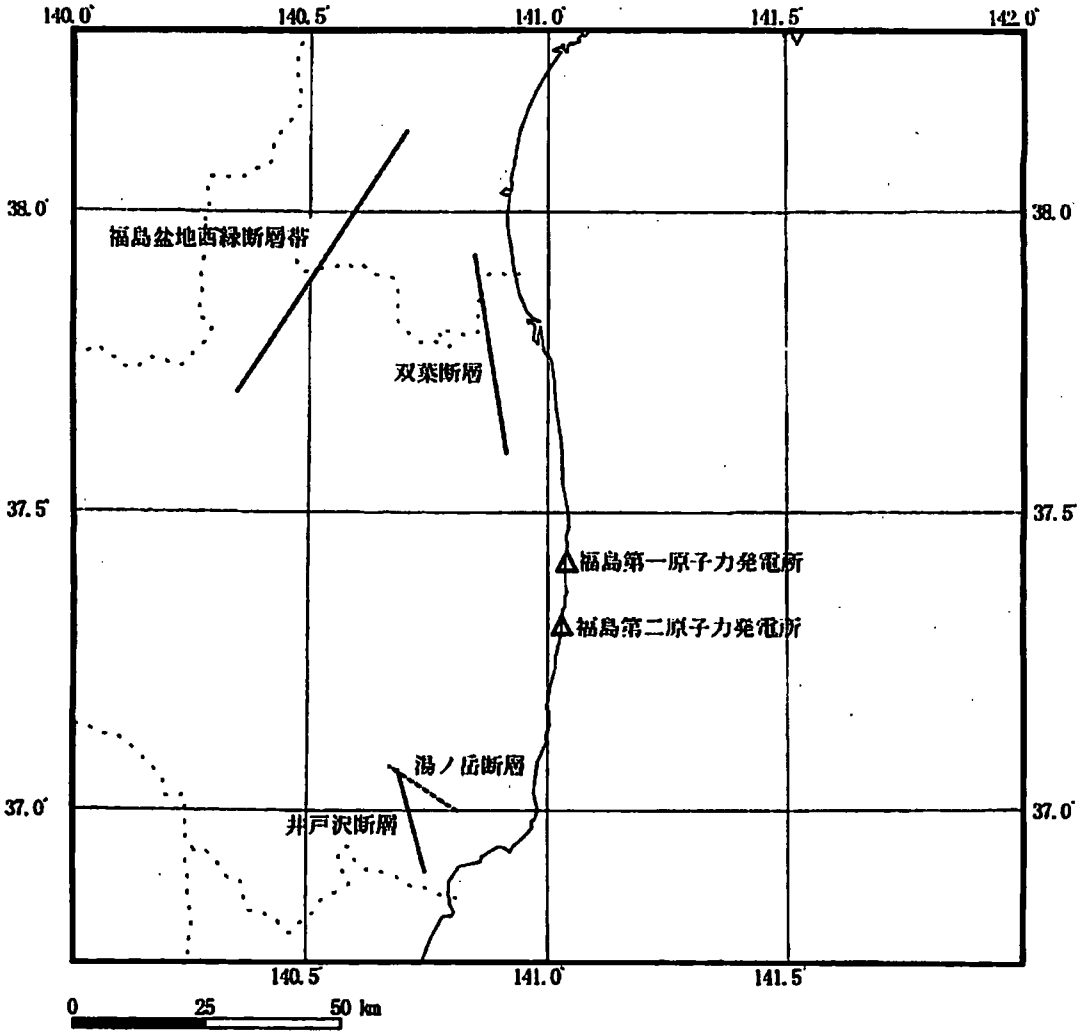
・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。

・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、杉山
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

耐震設計上考慮している各断層の位置

（湯ノ岳断層については、耐震設計上考慮する断層としていないため波線で表示）



※各断層の位置は，福島第一原子炉設置変更許可申請書（６号原子炉施設の変更，平成 22 年８月一部補正）による。

福島第一原子力発電所４号機　使用済燃料プール水位の詳細調査について

平成 23 年 4 月 22 日
東京電力株式会社

■目　的

福島第一４号機の使用済燃料プールの水位について、コンクリートポンプ車に一定間隔で印付けしたケーブルに熱電対などを取り付け、主に注水中の水位上昇を調査する。

■主な測定項目（案）

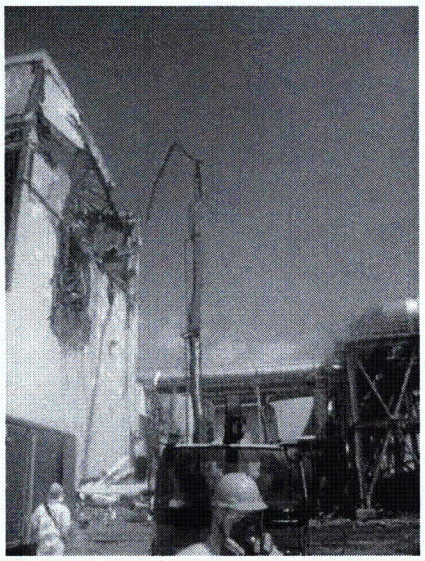
- 使用済燃料プール水位（注水中の変化を含む）
- 使用済燃料プール水温度
- 使用済燃料プール上の放射線量
- 使用済燃料プール水分析　等

■作業予定

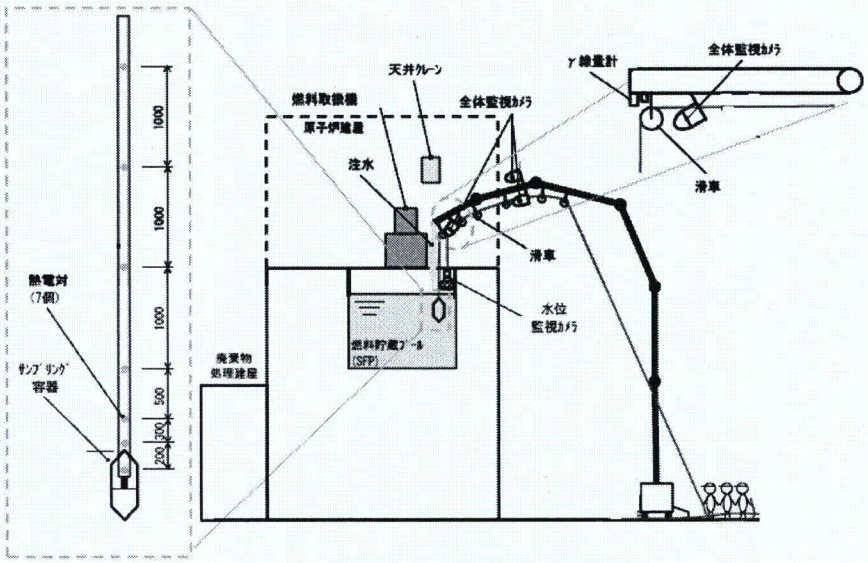
平成 23 年４月 22 日（金）午前 10 時より
※天候、現場の作業状況等により延期の可能性有り

■作業手順

手　順
(4/22)：機材取付、状態監視（プール水位、プール水温、放射線量）
(4/23～)：注水、状態監視（プール水位、プール水温、放射線量）
(未定)：サンプリング容器回収、(プールの状態を監視しつつ回収日を決定)



４月 12 日のサンプリング風景



今回の水位測定イメージ

以　上

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Friday, April 22, 2011 1:16 PM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M; (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6); Jih, Rongsong; (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: METI_NISA_105_(Jap)_Exract.pdf; METI_NISA_105_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_105_(Jap)_monitoring_results.pdf; METI_NISA_105_(Jap)_plant_status.pdf; Swedish_environmental_monitoring_results.pdf; Summary_of_reactor_unit_status_at_21-April_1700UTC.pdf; Air_contamination_Belgium_(Update_2011-04-21)(1).xls; IAEA_2011_3_2.html; Sri_Lanka_Monotoring_data_1.pdf; Iceland_monitoring_data_20_April.pdf

CG\26

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
* all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%											
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/22/2011	4 h 05	23/03/2011	8 h 20	< 0.12	< 0.11	< 0.12	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.43	< 0.45	< 0.50	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.44	< 0.49	< 0.56	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.44	< 0.44	< 0.51	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/22/2011	23 h 00	23/03/2011	23 h 00	< 0.49	< 0.52	< 0.54	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/23/2011	8 h 20	24/03/2011	8 h 00	0.09 ± 0.03	< 0.13	< 0.12	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	0.61 ± 0.40	< 0.48	< 0.52	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	< 0.50	NM	< 0.50	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/23/2011	23 h 00	3/24/2011	23 h 00	< 0.51	< 0.49	< 0.55	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/23/2011	23 h 00	24/03/2011	23 h 00	< 0.39	< 0.39	< 0.47	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/22/2011	9 h 00	25/03/2011	9 h 00	0.02 ± 0.02	< 0.02	< 0.03	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/23/2011	14 h 45	25/03/2011	3 h 05	< 0.16	< 0.13	< 0.17	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/24/2011	8 h 00	25/03/2011	7 h 10	0.07 ± 0.03	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.66	< 0.50	< 0.55	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.70	< 0.34	< 0.38	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	< 0.57	< 0.47	< 0.54	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/24/2011	23 h 00	25/03/2011	23 h 00	0.59 ± 0.28	< 0.37	< 0.38	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.06 ± 0.04	< 0.10	< 0.11	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.11 ± 0.03	< 0.06	< 0.06	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.08 ± 0.04	< 0.07	< 0.08	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/20/2011	23 h 00	27/03/2011	22 h 00	0.11 ± 0.04	< 0.05	< 0.05	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/25/2011	8 h 00	28/03/2011	7 h 00	0.33 ± 0.05	< 0.12	< 0.13	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/25/2011	3 h 05	28/03/2011	16 h 48	0.14 ± 0.02	< 0.03	< 0.03	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	1.33 ± 1.11	< 1.86	< 2.07	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	1.30 ± 0.70	< 1.35	< 1.35	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/27/2011	22 h 00	28/03/2011	22 h 00	2.46 ± 0.95	< 1.07	< 1.17	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/25/2011	9 h 00	29/03/2011	8 h 00	0.05 ± 0.02	< 0.05	< 0.05	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	1.71 ± 0.86	< 1.38	< 1.53	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	1.77 ± 0.91	< 1.05	< 1.08	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	0.91 ± 0.23	< 0.18	< 0.21	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/28/2011	22 h 00	29/03/2011	22 h 00	< 2.22	< 1.80	< 2.24	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	0.94 ± 0.18	< 0.22	< 0.26	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.38 ± 0.25	< 0.14	< 0.17	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/27/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.31 ± 0.18	< 0.17	< 0.21	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.05 ± 0.75	< 1.76	< 1.93	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	1.58 ± 0.83	< 1.11	< 1.21	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/29/2011	22 h 00	30/03/2011	22 h 00	< 1.63	< 1.39	< 1.51	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/28/2011	7 h 00	31/03/2011	7 h 10	0.86 ± 0.08	0.06 ± 0.02	< 0.09	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.75	< 1.27	< 1.51	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.89	< 1.47	< 1.63	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
*all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%											
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.98	< 1.38	< 1.54	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/30/2011	22 h 00	31/03/2011	22 h 00	< 1.32	< 0.98	< 0.77	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/28/2011	16 h 48	31/03/2011	16 h 28	0.53 ± 0.07	< 0.08	< 0.09	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 2.20	< 1.93	< 2.15	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.35	< 0.99	< 1.22	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.66	< 1.42	< 1.39	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/31/2011	22 h 00	01/04/2011	22 h 00	< 1.12	< 0.88	< 0.99	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 2.16	< 1.83	< 2.13	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.32	< 1.02	< 1.18	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.59	< 1.52	< 1.47	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/1/2011	22 h 00	02/04/2011	22 h 00	< 1.10	< 0.95	< 1.04	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	3/29/2011	8 h 00	02/04/2011	8 h 00	0.27 ± 0.03	< 0.02	0.02 ± 0.01	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.41 ± 0.10	< 0.17	< 0.18	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.26 ± 0.07	< 0.12	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.35 ± 0.11	< 0.10	0.05 ± 0.00	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	3/30/2011	22 h 00	03/04/2011	22 h 00	0.31 ± 0.09	< 0.10	< 0.11	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	3/31/2011	16 h 28	03/04/2011	16 h 53	0.47 ± 0.07	< 0.14	< 0.14	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	3/31/2011	7 h 10	04/04/2011	7 h 10	0.35 ± 0.03	< 0.03	< 0.04	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/2/2011	8 h 00	06/04/2011	8 h 00	0.27 ± 0.02	0.03 ± 0.01	0.03 ± 0.01	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	1.11 ± 0.19	< 0.23	< 0.25	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.98 ± 0.22	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.87 ± 0.15	< 0.17	< 0.13	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/3/2011	22 h 00	06/04/2011	22 h 00	0.96 ± 0.19	< 0.12	0.07 ± 0.06	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/4/2011	7 h 10	07/04/2011	7 h 15	0.93 ± 0.08	0.04 ± 0.02	< 0.08	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/4/2011	13 h 30	07/04/2011	12 h 45	0.48 ± 0.06	0.04 ± 0.02	< 0.07	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.35 ± 0.09	< 0.18	< 0.20	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.22 ± 0.08	< 0.13	< 0.14	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.26 ± 0.10	< 0.12	0.06 ± 0.03	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/6/2011	22 h 00	10/04/2011	22 h 00	0.30 ± 0.09	< 0.10	< 0.13	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/6/2011	8 h 00	10/04/2011	8 h 00	0.17 ± 0.02	0.04 ± 0.00	0.04 ± 0.01	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/7/2011	12 h 45	10/04/2011	15 h 36	0.20 ± 0.03	0.03 ± 0.01	0.04 ± 0.02	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/7/2011	7 h 15	11/04/2011	7 h 00	0.23 ± 0.03	0.05 ± 0.01	< 0.06	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/10/2011	8 h 00	13/04/2011	8 h 00	0.07 ± 0.02	< 0.04	< 0.05	mBq/m³
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	< 0.20	< 0.22	< 0.24	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.12 ± 0.10	< 0.18	< 0.20	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.17 ± 0.07	< 0.14	< 0.16	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/10/2011	22 h 00	13/04/2011	22 h 00	0.09 ± 0.07	< 0.13	< 0.15	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/11/2011	7 h 00	14/04/2011	7 h 05	0.12 ± 0.04	< 0.13	< 0.13	mBq/m³
Doel	Air dust	51.332518	4.248723	4/10/2011	15 h 36	4/14/2011	12 h 30	0.07 ± 0.03	< 0.06	< 0.07	mBq/m³
Coxyde	Air dust	51.088612	2.652298	4/13/2011	8 h 00	4/17/2011	8 h 00	0.04 ± 0.01	0.01 ± 0.00	< 0.02	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Brussels	Air dust	50.824170	4.382071	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.09 ± 0.06	< 0.14	< 0.15	mBq/m³
Ampsin	Air dust	50.515835	5.265395	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.12 ± 0.07	< 0.11	< 0.12	mBq/m³
Lixhe	Air dust	50.750321	5.686856	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.10 ± 0.08	< 0.13	< 0.16	mBq/m³
Fleurus	Air dust	50.446057	4.532179	4/13/2011	22 h 00	4/17/2011	22 h 00	0.08 ± 0.05	< 0.10	< 0.12	mBq/m³
Mol	Air dust	51.218635	5.091801	4/14/2011	7 h 00	4/18/2011	7 h 05	0.11 ± 0.02	0.02 ± 0.01	0.02 ± 0.01	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Meldert	Charcoal filter	50.991690	5.179170	3/30/2011	6 h 55	30/03/2011	13 h 30	2.99 ± 0.36	< 0.80	< 0.90	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	3/30/2011	6 h 25	30/03/2011	13 h 22	3.30 ± 0.50	< 1.20	< 1.20	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/4/2011	7 h 20	04/04/2011	13 h 40	1.11 ± 0.19	< 0.60	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/5/2011	7 h 00	05/04/2011	13 h 20	4.60 ± 0.35	< 0.60	< 0.70	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/6/2011	7 h 15	06/04/2011	13 h 40	2.49 ± 0.29	< 0.60	0.23 ± 0.21	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/7/2011	6 h 40	07/04/2011	13 h 00	2.87 ± 0.37	< 0.90	< 0.90	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/8/2011	6 h 30	08/04/2011	13 h 15	0.96 ± 0.18	< 0.60	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/11/2011	7 h 00	11/04/2011	13 h 40	0.99 ± 0.19	< 0.70	< 0.70	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/13/2011	6 h 10	13/04/2011	13 h 10	0.48 ± 0.15	< 0.50	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/14/2011	6 h 20	14/04/2011	12 h 40	0.55 ± 0.16	< 0.70	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/15/2011	6 h 15	4/15/2011	12 h 30	0.52 ± 0.15	< 0.70	< 0.60	mBq/m³
Mol	Charcoal filter	51.219440	5.093056	4/18/2011	6 h 30	4/18/2011	12 h 50	< 0.60	< 0.60	< 0.60	mBq/m³

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
** all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%*											
Ampsin	Total deposit	50.515835	5.265395	2/28/2011		3/25/2011		< 1.44	< 1.38	< 1.53	Bq/m²
Lixhe	Total deposit	50.750321	5.686856	2/28/2011		3/25/2011		< 1.40	< 1.42	< 1.52	Bq/m²
Herr-Agimont	Total deposit	50.171150	4.825841	2/28/2011		3/25/2011		< 1.52	< 1.16	< 1.27	Bq/m²
Brussels	Total deposit	50.824170	4.382071	3/1/2011		3/25/2011		< 1.48	< 1.38	< 1.48	Bq/m²
Mol	Total deposit	51.218635	5.091801	3/21/2011	9 h 00	3/25/2011	7 h 00	< 4.00	< 3.50	< 3.80	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/21/2011		3/25/2011	7 h 00	< 1.39	< 1.46	< 1.49	Bq/m²
Doel	Total deposit	51.329185	4.237890	3/22/2011	12 h 45	3/25/2011	8 h 45	< 3.50	< 3.10	< 3.20	Bq/m²
Mol	Total deposit	51.218635	5.091801	3/25/2011	7 h 00	31/03/2011	13 h 45	9.50 ± 1.20	< 1.80	< 1.80	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/25/2011	7 h 00	31/03/2011	15 h 00	11.20 ± 1.33	< 1.10	< 1.18	Bq/m²
FleurusB12	Total deposit	50.445957	4.532039	3/31/2011	15 h 00	04/04/2011	6 h 30	12.40 ± 3.28	< 5.56	< 5.49	Bq/m²
Lixhe	Total deposit	50.750321	5.686856	3/25/2011		06/04/2011		10.70 ± 1.19	< 0.92	< 0.62	Bq/m²

site	sample	Lat_North	Long_East	begin date	begin time	end date	end time	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	units
		(DD.dd)	(DD.dd)	UTC		UTC					
* all reported uncertainties refer to the expanded uncertainty (2 σ), providing a level of confidence of approximately 95%											
Namur	Deposit on grass	50.498262	4.878558			3/25/2011	6 h 30	< 0.25	< 0.20	< 0.22	Bq/m²
Ciney	Deposit on grass	50.234155	5.110071			3/25/2011	6 h 30	< 0.22	< 0.19	< 0.20	Bq/m²
Postel	Deposit on grass	51.247570	5.190220			30/03/2011	12 h 00	0.33 ± 0.12	< 0.50	< 0.50	Bq/m²
Westerlo	Deposit on grass	51.083333	4.917278			04/04/2011	6 h 00	1.08 ± 0.21	< 0.50	< 0.50	Bq/m²
Geel	Deposit on grass	51.164500	5.029472			04/04/2011	6 h 00	1.30 ± 0.18	< 0.38	0.33 ± 0.17	Bq/m²
Mol-Archterbos	Deposit on grass	51.202222	5.100333			04/04/2011	6 h 00	0.78 ± 0.12	< 0.35	< 0.38	Bq/m²
Doel	Deposit on grass	51.326833	4.241083			05/04/2011	6 h 00	1.15 ± 0.16	< 0.40	< 0.40	Bq/m²
Dessel-Europalaan	Deposit on grass	51.224917	5.075222			07/04/2011	6 h 00	0.38 ± 0.09	< 0.32	< 0.33	Bq/m²
Dessel-retieseweg	Deposit on grass	51.228528	5.060583			08/04/2011	6 h 00	0.83 ± 0.14	< 0.33	< 0.38	Bq/m²
Dessel-Boeretang	Deposit on grass	51.234417	5.065806			11/04/2011	6 h 00	0.50 ± 0.11	< 0.40	< 0.40	Bq/m²
Vrassene (vliegstal)	Deposit on grass	51.239417	4.198833			12/04/2011	6 h 00	0.39 ± 0.10	< 0.36	< 0.37	Bq/m²
Mol-Turnhoutsebaan	Deposit on grass	51.210472	5.116472			14/04/2011	6 h 00	0.25 ± 0.07	< 0.32	0.70 ± 0.15	Bq/m²
Mol-Kleine Boeretang	Deposit on grass	51.217222	5.090500			4/15/2011	6 h 00	0.66 ± 0.16	< 0.70	< 0.70	Bq/m²
Dessel-Retiebaan Sas 7	Deposit on grass	51.212833	5.040778			4/18/2011	6 h 00	< 0.30	< 0.33	< 0.32	Bq/m²

MESSAGE No. **2**

To: **IAEA(ERC)**

EMERCON ADVISORY

FORM Type:	**Measurements and Protective Actions (MPA)**
IAEA message number:	**IAEA/2011/3/2**
Message Status:	**Verified by IAEA**
Cover note:	**FANC provided monitoring data in Belgium. The attached excel file is available also on ENAC as a document in the Published documents on this event.**
Changed by IAEA:	**No**
Changes by IAEA:	**none**
Fax distribution list:	**none**
Name of duty manager:	**F. Baciu**

1. Reporting STATE: **Belgium**

2. Competent Authority: **Federal Agency for Nuclear Control (FANC)**
   Tel: **+3222892068**
   Fax: **+3222892152**
   Email: (b)(6)
   URL:
   Contact person (official position): (b)(6)

3. Principal actual (not predicted) off-site measurements:

Type of measurement (dose rate, air, surface, or other)	*Isotope (if known)*	*Measured Value and Unit (SI)*	*Date and Time of Measurement (UTC)*	*Location (either co-ordinate system or distance from facility and direction): Latitude (deg.dec) and Longitude (deg.dec)*	*Distance (km) and Direction (deg)*

4. Off-site protective actions:

Protective action	*Status*	*Distance (km)*	*Remarks*
Stable iodine			
Sheltering			
Evacuation			
Food restrictions / advisories			
Traffic restrictions (road, water, air, rail)			
Other actions (travel advice, trade issues, embassies, etc.)			

5. Information VALID at (UTC): **2011-04-21 06:56**

6. Further information in attachment: **Yes**
   Further information web: **http://www.fanc.fgov.be**
   Final message: **No**

GEISLAVARNIR RÍKISINS
ICELANDIC RADIATION SAFETY AUTHORITY

Reykjavík, April 20th 2011

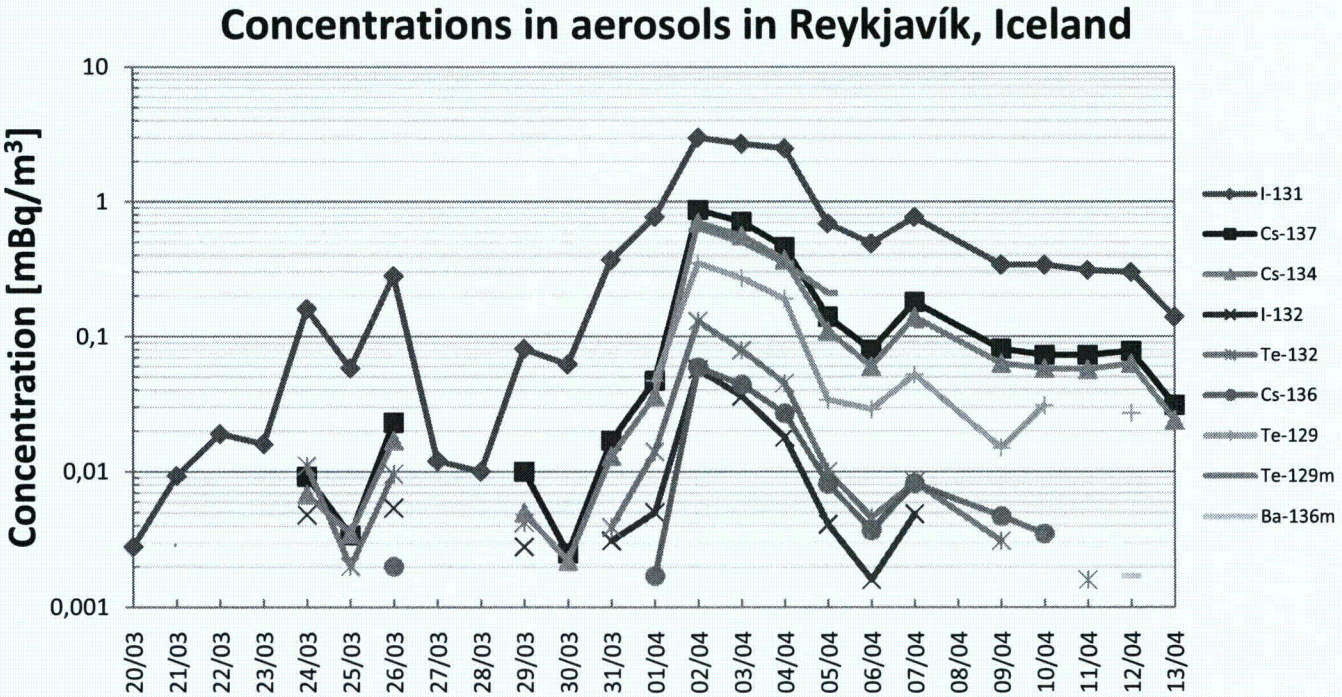
Summary of radionuclide concentrations in air

March 19th - April 13th, Reykjavík, Iceland (64°08′N, 21°56′W)

Radionuclides from Fukushima were first detected in samples collected during the March 19th-20th sampling period. Aerosol samples are collected for 24 hours, with filters changed daily at 13:30 UTC. Total daily air volume throughput is on average 15 000 m^3. Minimum detectable concentrations for I-131, Cs-137, Cs-134, and Cs-136 are approximately 0.002-0.003 mBq/m^3 (2–3 $\mu Bq/m^3$).

The Cs-137/I-131 ratio was typically 4–8% in the beginning (March 25th – April 2nd, with the exception of March 27th–28th. After the increase in concentrations observed on April 3rd, the ratio increased to 20–30%.

The Cs-134/Cs-137 ratio has remained relatively stable at 70 – 80% during the period since these radionuclides were first detected in a sample from March 23rd–24th.



Aðsetur/Address:
Rauðarárstíg 10
IS-150 REYKJAVÍK
ICELAND

Sími/Telephone:
+354-440 8200
Mynds.nr./Telefax:
+354-552 8202

Veffang/Website:
http://www.gr.is/
Netfang/E-mail:
gr@gr.is

Kennitala/Id.No.
540286-1169

BSI
FS 540268

Data table

Date*	I-131	Cs-137	Cs-134	I-132	Te-132	Cs-136	Te-129	Te-129m	Ba-136m
20/03	0.0028	-	-	-	-	-	-	-	-
21/03	0.0093	-	-	-	-	-	-	-	-
22/03	0.019	-	-	-	-	-	-	-	-
23/03	0.016	-	-	-	-	-	-	-	-
24/03	0.16	0.0092	0.0068	0.0048	0.011	-	-	-	-
25/03	0.058	0.0034	0.0035	-	0.002	-	-	-	-
26/03	0.28	0.023	0.017	0.0054	0.0096	0.002	-	-	-
27/03	0.012	-	-	-	-	-	-	-	-
28/03	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
29/03	0.081	0.01	0.005	0.0028	0.0042	-	-	-	-
30/03	0.062	0.0025	0.0022	-	-	-	-	-	-
31/03	0.37	0.017	0.013	0.0031	0.0039	-	-	-	-
01/04	0.77	0.047	0.036	0.005	0.014	0.0017	0.047	-	-
02/04	3	0.87	0.7	0.057	0.13	0.059	0.35	0.64	-
03/04	2.7	0.71	0.56	0.036	0.079	0.044	0.27	0.5	-
04/04	2.5	0.46	0.37	0.018	0.045	0.027	0.19	0.35	-
05/04	0.69	0.14	0.11	0.0041	0.01	0.0081	0.034	0.21	-
06/04	0.49	0.08	0.06	0.0016	0.0046	0.0037	0.029	-	-
07/04	0.77	0.18	0.14	0.0049	0.0084	0.0082	0.052	0.12	-
09/04	0.34	0.081	0.063	-	0.0031	0.0047	0.015	-	-
10/04	0.34	0.073	0.058	-	-	0.0035	0.031	-	-
11/04	0.31	0.073	0.057	-	0.0016	-	-	-	-
12/04	0.3	0.078	0.063	-	-	-	0.027	-	0.0017
13/04	0.14	0.031	0.024	-	-	-	-	-	-

*The dates in the first column refer to the end of the 24h sampling period. The data for the last few days could be subject to minor changes following validation.

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 21, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 105th Release)
(As of 08:00 April 21st, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS

     - In order to cool the Spent Fuel Pool of Unit 4, the Fresh water spray of around 100t using Concrete Pump Truck (62m class) was carried out. (From 17:08 till 20:31 April 20th)

     - The pump for Residual Heat Removal (RHR) was temporarily stopped in order to change the position of the hose of the temporary RHR Seawater System of Unit 6. (09:51 April 20th) After carrying out the work of transferring of the pump for temporary Residual Heat Removal (RHR), cooling was resumed.

     - The test implementation of spraying anti-scattering agent to prevent the spread of radioactive materials on the ground surface was carried out in the area of about 1,900 m^2 around the Radioactive Waste Treatment Facilities (From 12:00 till 13:30 April 20th).

     - Removal of rubble (Amount equivalent to a container) using remote-control heavy machineries was carried out. (From 9:00 till 16:00 April 20th)

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv／h）	中性子線量率（μSv／h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/21 5:00	27.1	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 5:10	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 5:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 5:30	27.1	<0.01	曇り	NW	0.2
西門	2011/4/21 5:40	27.1	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:50	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 6:00	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.6
西門	2011/4/21 6:10	27.2	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 6:20	27.2	<0.01	曇り	E	0.2
西門	2011/4/21 6:30	27.2	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/21 6:40	27.2	<0.01	晴れ	NW	0.3
西門	2011/4/21 6:50	27.2	<0.01	晴れ	E	0.7
西門	2011/4/21 7:00	27.1	<0.01	晴れ	S	0.9
西門	2011/4/21 7:10	27.1	<0.01	晴れ	WNW	1.0
西門	2011/4/21 7:20	27.2	<0.01	晴れ	E	1.0
西門	2011/4/21 7:30	27.3	<0.01	晴れ	E	1.1
西門	2011/4/21 7:40	27.2	<0.01	晴れ	SE	1.5
西門	2011/4/21 7:50	27.2	<0.01	晴れ	E	2.1
西門	2011/4/21 8:00	27.1	<0.01	晴れ	E	2.2

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事務本館南側 線量率（μSv／h）	正門 線量率（μSv／h）	西門 線量率（μSv／h）
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	488	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24
2011/4/20 22:30	489	60	24
2011/4/20 23:00	489	59	24
2011/4/20 23:30	489	60	24
2011/4/21 0:00	486	59	24
2011/4/21 0:30	490	60	24
2011/4/21 1:00	490	60	24
2011/4/21 1:30	493	59	24
2011/4/21 2:00	489	60	24
2011/4/21 2:30	489	59	24
2011/4/21 3:00	492	60	24
2011/4/21 3:30	493	59	24
2011/4/21 4:00	489	60	24
2011/4/21 4:30	489	60	24
2011/4/21 5:00	491	60	24
2011/4/21 5:30	493	59	24
2011/4/21 6:00	490	60	24
2011/4/21 6:30	488	60	24
2011/4/21 7:00	494	60	24
2011/4/21 7:30	494	60	24
2011/4/21 8:00	489	60	23

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/20 23:00	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.8
西門	2011/4/20 23:10	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/20 23:20	27.3	<0.01	曇り	N	0.3
西門	2011/4/20 23:30	27.3	<0.01	曇り	SW	0.3
西門	2011/4/20 23:40	27.4	<0.01	曇り	NW	0.5
西門	2011/4/20 23:50	28.1	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 0:00	27.4	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 0:10	27.4	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/21 0:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 0:30	27.3	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 0:40	27.3	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 0:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.9
西門	2011/4/21 1:00	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/21 1:10	27.2	<0.01	曇り	SW	0.6
西門	2011/4/21 1:20	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 1:30	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 1:40	27.1	<0.01	曇り	WSW	0.5
西門	2011/4/21 1:50	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 2:00	27.3	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 2:10	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 2:20	27.3	<0.01	曇り	W	0.3
西門	2011/4/21 2:30	27.2	<0.01	曇り	SW	0.6
西門	2011/4/21 2:40	27.3	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 2:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/21 3:00	27.2	<0.01	曇り	SW	0.4
西門	2011/4/21 3:10	27.2	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 3:20	27.3	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 3:30	27.3	<0.01	曇り	WSW	0.5
西門	2011/4/21 3:40	27.1	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 3:50	27.3	<0.01	曇り	W	0.7
西門	2011/4/21 4:00	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 4:10	27.3	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 4:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 4:30	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 4:40	27.0	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/21 4:50	27.3	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:00	27.1	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 5:10	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 5:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 5:30	27.1	<0.01	曇り	NW	0.2
西門	2011/4/21 5:40	27.1	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:50	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 6:00	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.6

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	本館本館南側 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	488	60	24
2011/4/20 22:00	495	60	24
2011/4/20 22:30	489	60	24
2011/4/20 23:00	489	59	24
2011/4/20 23:30	489	60	24
2011/4/21 0:00	486	59	24
2011/4/21 0:30	490	60	24
2011/4/21 1:00	490	60	24
2011/4/21 1:30	493	59	24
2011/4/21 2:00	489	60	24
2011/4/21 2:30	489	59	24
2011/4/21 3:00	492	60	24
2011/4/21 3:30	493	59	24
2011/4/21 4:00	489	60	24
2011/4/21 4:30	489	60	24
2011/4/21 5:00	491	60	24
2011/4/21 5:30	493	59	24
2011/4/21 6:00	490	60	24

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/20 17:00	27.8	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 17:10	27.8	<0.01	曇り	NE	0.9
西門	2011/4/20 17:20	27.7	<0.01	曇り	NNW	0.9
西門	2011/4/20 17:30	27.8	<0.01	曇り	ENE	0.7
西門	2011/4/20 17:40	27.8	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/20 17:50	27.8	<0.01	曇り	NE	0.8
西門	2011/4/20 18:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/20 18:10	27.7	<0.01	曇り	E	0.3
西門	2011/4/20 18:20	27.6	<0.01	曇り	NW	0.4
西門	2011/4/20 18:30	27.7	<0.01	曇り	SE	0.6
西門	2011/4/20 18:40	27.5	<0.01	曇り	ENE	0.6
西門	2011/4/20 18:50	27.6	<0.01	曇り	N	0.4
西門	2011/4/20 19:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 19:10	27.6	<0.01	曇り	NNW	0.7
西門	2011/4/20 19:20	27.5	<0.01	曇り	NNW	0.4
西門	2011/4/20 19:30	27.5	<0.01	曇り	NE	0.3
西門	2011/4/20 19:40	27.5	<0.01	曇り	NE	0.5
西門	2011/4/20 19:50	27.5	<0.01	曇り	S	0.4
西門	2011/4/20 20:00	27.5	<0.01	曇り	W	0.3
西門	2011/4/20 20:10	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/20 20:20	27.5	<0.01	曇り	W	0.5
西門	2011/4/20 20:30	27.5	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 20:40	27.5	<0.01	曇り	WSW	0.8
西門	2011/4/20 20:50	27.6	<0.01	曇り	WNW	0.8
西門	2011/4/20 21:00	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.6
西門	2011/4/20 21:10	27.5	<0.01	曇り	NE	0.3
西門	2011/4/20 21:20	27.5	<0.01	曇り	SW	0.2
西門	2011/4/20 21:30	27.5	<0.01	曇り	N	0.4
西門	2011/4/20 21:40	27.4	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/20 21:50	27.5	<0.01	曇り	WNW	0.5
西門	2011/4/20 22:00	27.5	<0.01	曇り	W	0.6

福島第一原子力発電所 モニタリング結果(可搬型MP)

日時	本館北西側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	489	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24

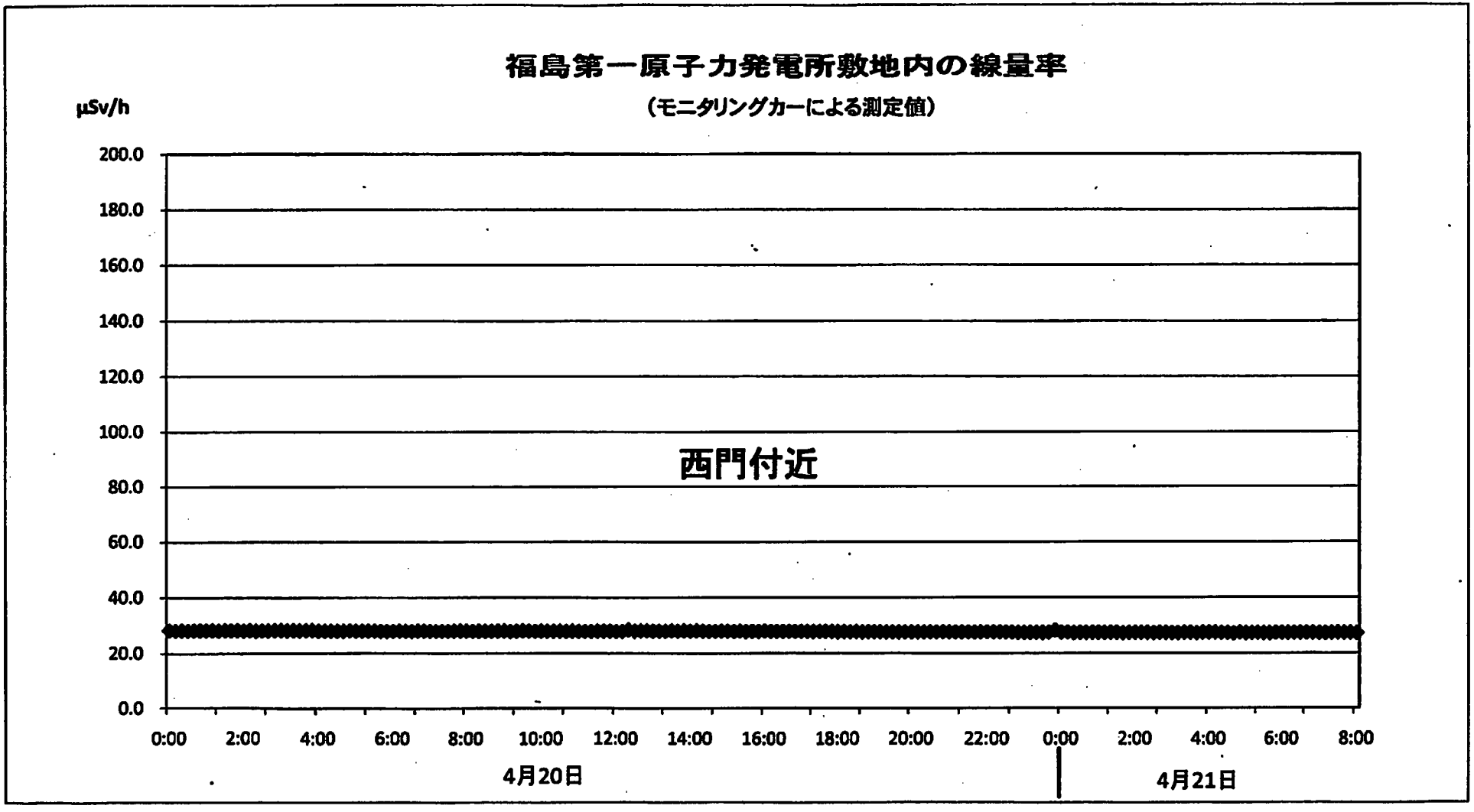
福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

注）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/20 12:00	27.8	<0.01	曇り	N	1.3
西門	2011/4/20 12:10	27.8	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 12:20	28.3	<0.01	曇り	WSW	1.0
西門	2011/4/20 12:30	27.9	<0.01	曇り	NE	1.0
西門	2011/4/20 12:40	28.0	<0.01	曇り	ESE	0.9
西門	2011/4/20 12:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.8
西門	2011/4/20 13:00	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:10	27.9	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 13:20	27.9	<0.01	曇り	NE	1.1
西門	2011/4/20 13:30	28.0	<0.01	曇り	N	1.2
西門	2011/4/20 13:40	27.9	<0.01	曇り	N	1.0
西門	2011/4/20 13:50	28.0	<0.01	曇り	W	0.9
西門	2011/4/20 14:00	27.9	<0.01	曇り	SE	1.4
西門	2011/4/20 14:10	28.0	<0.01	曇り	NNE	1.2
西門	2011/4/20 14:20	27.9	<0.01	曇り	SE	1.0
西門	2011/4/20 14:30	27.8	<0.01	曇り	W	1.2
西門	2011/4/20 14:40	27.8	<0.01	曇り	NE	1.4
西門	2011/4/20 14:50	27.9	<0.01	曇り	E	1.0
西門	2011/4/20 15:00	27.9	<0.01	曇り	NW	1.2
西門	2011/4/20 15:10	27.8	<0.01	曇り	N	0.9
西門	2011/4/20 15:20	27.9	<0.01	曇り	N	0.9
西門	2011/4/20 15:30	27.7	<0.01	曇り	E	1.8
西門	2011/4/20 15:40	27.8	<0.01	曇り	ESE	1.5
西門	2011/4/20 15:50	27.8	<0.01	曇り	NE	1.3
西門	2011/4/20 16:00	27.9	<0.01	曇り	E	1.1
西門	2011/4/20 16:10	27.8	<0.01	曇り	ENE	1.3
西門	2011/4/20 16:20	27.8	<0.01	曇り	E	1.6
西門	2011/4/20 16:30	27.8	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/20 16:40	27.8	<0.01	曇り	E	1.3
西門	2011/4/20 16:50	27.8	<0.01	曇り	NE	1.2
西門	2011/4/20 17:00	27.8	<0.01	曇り	NW	1.0
西門	2011/4/20 17:10	27.8	<0.01	曇り	NE	0.9
西門	2011/4/20 17:20	27.7	<0.01	曇り	NNW	0.9
西門	2011/4/20 17:30	27.8	<0.01	曇り	ENE	0.7
西門	2011/4/20 17:40	27.8	<0.01	曇り	SE	1.2
西門	2011/4/20 17:50	27.8	<0.01	曇り	NE	0.8
西門	2011/4/20 18:00	27.6	<0.01	曇り	W	0.5

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事務本館南側 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
4月20日
4月21日

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 5:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:00	8	31	26	25	40	71	173	159

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 23:00	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:30	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:40	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:50	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:00	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:10	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:20	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:30	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:40	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 0:50	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:00	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:10	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:20	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:30	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 1:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 2:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 3:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 4:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:00	8	31	26	25	40	71	173	159

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 17:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:10	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:10	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 19:50	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:00	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:10	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:20	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:30	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:40	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 20:50	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:00	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:10	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:20	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:30	8	31	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 21:40	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 21:50	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 22:00	8	31	27	25	41	72	175	159
2011/4/20 22:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:30	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:40	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 22:50	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:00	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:10	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:20	8	31	27	25	40	72	175	159
2011/4/20 23:30	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:40	8	31	27	25	40	72	174	159
2011/4/20 23:50	8	31	27	25	40	71	174	159
2011/4/21 0:00	8	31	27	25	40	71	174	159

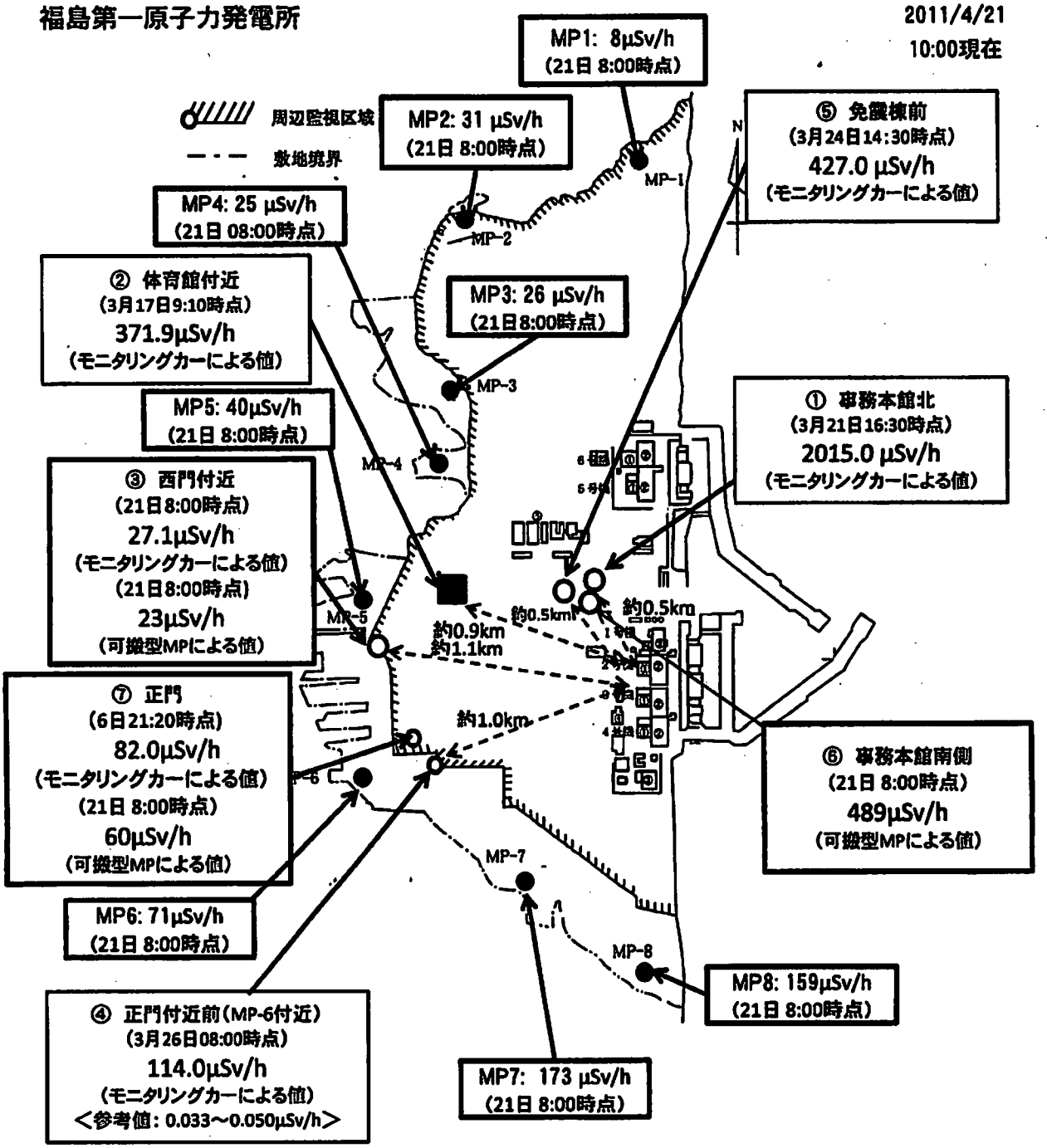
2/3

福島第一原子力発電所 モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/20 12:00	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:10	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:20	9	32	27	25	41	73	176	160
2011/4/20 12:30	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 12:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 13:40	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 13:50	9	32	27	25	41	73	175	160
2011/4/20 14:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:20	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:30	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:40	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 14:50	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:00	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:10	9	32	27	25	41	73	175	161
2011/4/20 15:20	9	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:30	9	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:40	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 15:50	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:20	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:30	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:40	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 16:50	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:00	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:10	8	32	27	25	41	72	175	161
2011/4/20 17:20	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:30	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:40	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 17:50	8	32	27	25	41	72	175	160
2011/4/20 18:00	8	32	27	25	41	72	175	160

福島第一原子力発電所

2011/4/21
10:00現在



福島第一MP及びMS情報

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 5:00	2.5	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西北西	0.5	晴れ
2011/4/21 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	1.1	晴れ
2011/4/21 5:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.3	－
2011/4/21 5:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	－
2011/4/21 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	晴れ
2011/4/21 6:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.7	－
2011/4/21 6:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.9	－
2011/4/21 6:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.2	晴れ
2011/4/21 6:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.3	－
2011/4/21 6:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.7	－
2011/4/21 7:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.8	晴れ
2011/4/21 7:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.8	－
2011/4/21 7:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.0	－
2011/4/21 7:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.9	晴れ
2011/4/21 7:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.3	－
2011/4/21 7:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.1	－
2011/4/21 8:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.2	晴れ
2011/4/21 8:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.6	－

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 23:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.0	晴れ
2011/4/20 23:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	－
2011/4/20 23:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.2	－
2011/4/20 23:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.4	晴れ
2011/4/20 23:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	0.9	－
2011/4/20 23:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.6	－
2011/4/21 0:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	晴れ
2011/4/21 0:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	0.5	－
2011/4/21 0:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	0.4	－
2011/4/21 0:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.5	晴れ
2011/4/21 0:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.5	－
2011/4/21 0:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.5	－
2011/4/21 1:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.8	晴れ
2011/4/21 1:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 1:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西南西	0.8	－
2011/4/21 1:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.0	晴れ
2011/4/21 1:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.7	－
2011/4/21 1:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.3	－
2011/4/21 2:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.6	晴れ
2011/4/21 2:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.7	－
2011/4/21 2:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.2	－
2011/4/21 2:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	1.9	晴れ
2011/4/21 2:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.1	－
2011/4/21 2:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	1.2	－
2011/4/21 3:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.8	晴れ
2011/4/21 3:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	0.8	－
2011/4/21 3:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 3:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.6	晴れ
2011/4/21 3:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	0.9	－
2011/4/21 3:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	0.6	－
2011/4/21 4:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西南西	0.0	晴れ
2011/4/21 4:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.3	－
2011/4/21 4:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.7	－
2011/4/21 4:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	1.1	晴れ
2011/4/21 4:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.8	－
2011/4/21 4:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	0.4	－
2011/4/21 5:00	2.5	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西北西	0.5	晴れ
2011/4/21 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	1.1	晴れ
2011/4/21 5:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.3	－
2011/4/21 5:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	－
2011/4/21 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	晴れ

単位m／s

単位：μSv／h

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 17:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.1	晴れ
2011/4/20 17:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 17:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	5.8	－
2011/4/20 17:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 18:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	晴れ
2011/4/20 18:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.2	－
2011/4/20 18:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.2	－
2011/4/20 18:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 18:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.5	－
2011/4/20 18:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	4.6	－
2011/4/20 19:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	4.9	晴れ
2011/4/20 19:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	2.7	－
2011/4/20 19:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	2.4	－
2011/4/20 19:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.3	晴れ
2011/4/20 19:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.4	－
2011/4/20 19:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.7	－
2011/4/20 20:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.4	晴れ
2011/4/20 20:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.9	－
2011/4/20 20:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	2.5	－
2011/4/20 20:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.7	晴れ
2011/4/20 20:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.6	－
2011/4/20 20:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.1	－
2011/4/20 21:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.2	晴れ
2011/4/20 21:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	2.6	－
2011/4/20 21:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.9	－
2011/4/20 21:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.8	晴れ
2011/4/20 21:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	2.0	－
2011/4/20 21:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.9	－
2011/4/20 22:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.9	晴れ
2011/4/20 22:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.1	－
2011/4/20 22:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.2	－
2011/4/20 22:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	1.6	晴れ
2011/4/20 22:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.4	－
2011/4/20 22:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	1.3	－
2011/4/20 23:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	1.0	晴れ
2011/4/20 23:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	－
2011/4/20 23:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.2	－
2011/4/20 23:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北西	0.4	晴れ
2011/4/20 23:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北西	0.9	－
2011/4/20 23:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北	0.6	－
2011/4/21 0:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	0.8	晴れ

福島第二MP及びMS情報

単位：μSv/h　　単位m/s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/20 12:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	9.9	雨
2011/4/20 12:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	13.2	－
2011/4/20 12:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	11.1	－
2011/4/20 12:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	10.3	晴れ
2011/4/20 12:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	8.1	－
2011/4/20 12:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北	6.8	－
2011/4/20 13:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.9	晴れ
2011/4/20 13:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 13:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.0	晴れ
2011/4/20 13:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.3	－
2011/4/20 13:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.9	－
2011/4/20 14:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	8.8	晴れ
2011/4/20 14:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	8.7	－
2011/4/20 14:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.5	－
2011/4/20 14:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.6	雨
2011/4/20 14:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	7.8	－
2011/4/20 14:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	7.6	－
2011/4/20 15:00	2.5	1.9	2.6	2.2	2.2	2.1	－	北北東	6.0	晴れ
2011/4/20 15:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	6.6	－
2011/4/20 15:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 15:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.0	晴れ
2011/4/20 15:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	7.4	－
2011/4/20 15:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	7.4	－
2011/4/20 16:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.9	晴れ
2011/4/20 16:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.8	－
2011/4/20 16:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.9	－
2011/4/20 16:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	6.4	晴れ
2011/4/20 16:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	－
2011/4/20 16:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北北東	5.8	－
2011/4/20 17:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.1	晴れ
2011/4/20 17:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	6.3	－
2011/4/20 17:30	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.7	晴れ
2011/4/20 17:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.2	2.1	－	北東	5.8	－
2011/4/20 17:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	5.6	－
2011/4/20 18:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北北東	5.7	晴れ

福島第二原子力発電所

2011/4/21
10:00現在

MP1:2.4μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.9μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

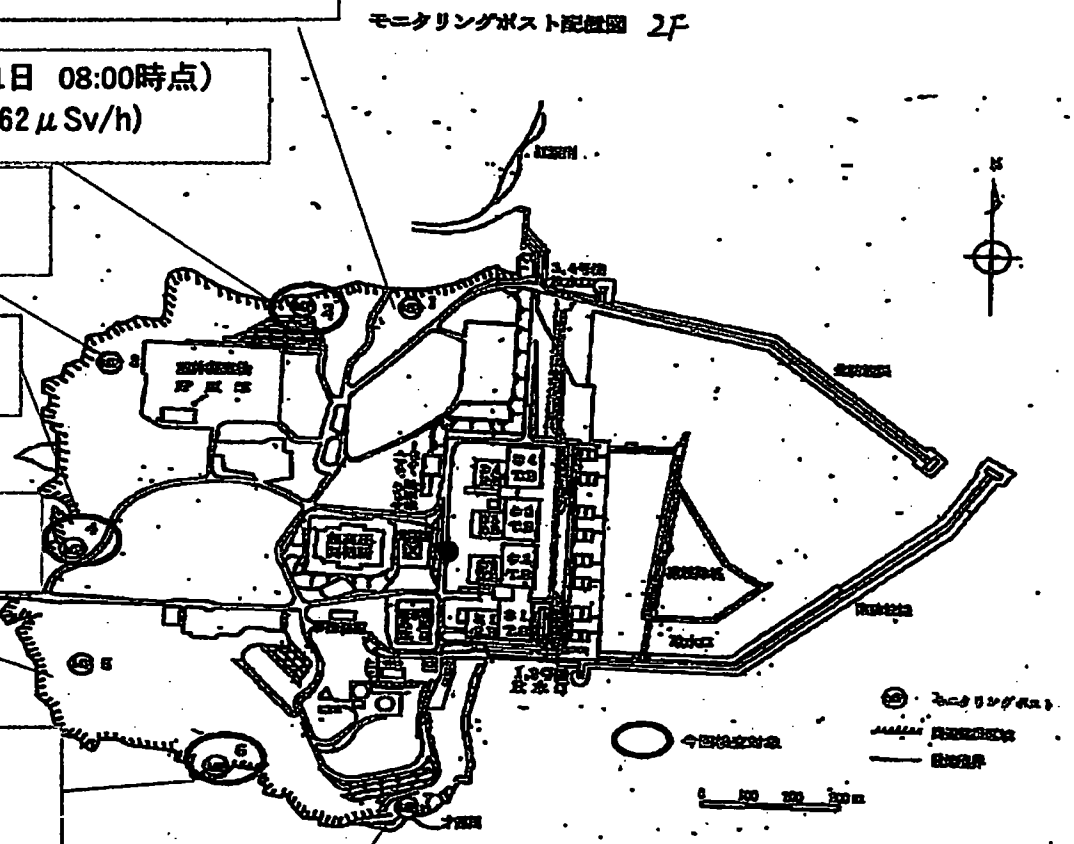
MP3:2.6μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.1μSv/h(21日　08:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.5μSv/h(20日　09:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033	0.033	0.034	0.033	0.032	0.033
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.018	0.018	0.018	0.019	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.074	0.076	0.081	0.082	0.077	0.070	0.070	0.070	0.067	0.064	0.066	0.065
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.335	0.338	0.336	0.338	0.337	0.339	0.337	0.339	0.338	0.342	0.337	0.338
0.039～0.110		敦賀発電所	0.073	0.075	0.073	0.075	0.076	0.072	0.071	0.073	0.072	0.071	0.073	0.072
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.033	0.033	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.032	0.031	0.032
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029	0.030	0.030	0.027	0.029	0.029
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.076	0.073	0.076	0.075	0.074	0.072	0.071	0.072	0.072	0.072	0.071
0.045～0.047		高浜発電所	0.043	0.045	0.044	0.044	0.045	0.044	0.043	0.044	0.044	0.043	0.042	0.042
0.036～0.040		大飯発電所	0.039	0.042	0.038	0.038	0.039	0.037	0.035	0.035	0.034	0.035	0.035	0.035
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.025	0.026	0.025	0.027	0.025
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.036	0.038	0.038	0.037	0.038	0.038	0.038	0.037	0.037	0.037	0.034	0.037
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.024	0.024	0.023	0.023	0.023	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

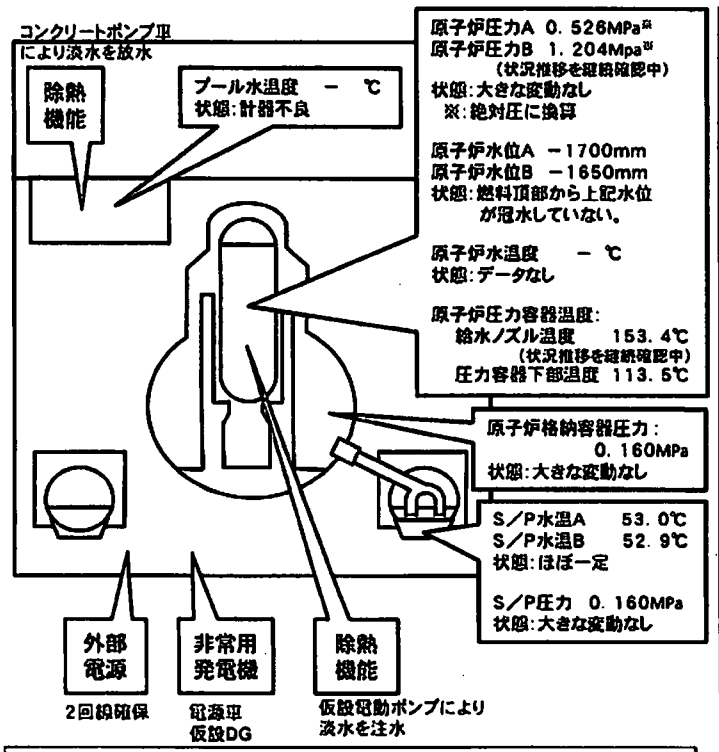
注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力(株)	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034		
0.024～0.060	東北電力(株)	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.033～0.050	東京電力(株)	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.065	0.065	0.065	0.064	0.064	0.066	0.064	0.065	0.064	0.064		
0.036～0.053	日本原子力発電(株)	東海第二発電所	0.341	0.343	0.337	0.339	0.337	0.336	0.338	0.333	0.336	0.333		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.071	0.071	0.072	0.072	0.070	0.071	0.072	0.072	0.073	0.071		
0.064～0.108	中部電力(株)	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力(株)	志賀原子力発電所	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032	0.031	0.032	0.032		
0.028～0.130	中国電力(株)	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029		
0.070～0.077	関西電力(株)	美浜発電所	0.072	0.072	0.072	0.072	0.073	0.071	0.071	0.072	0.072	0.072		
0.045～0.047		高浜発電所	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042		
0.036～0.040		大飯発電所	0.034	0.034	0.034	0.034	0.033	0.032	0.034	0.034	0.034	0.034		
0.011～0.080	四国電力(株)	伊方発電所	0.013	0.014	0.013	0.013	0.013	0.130	0.130	0.013	0.013	0.014		
0.023～0.087	九州電力(株)	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.036	0.039	0.037	0.033	0.036	0.035	0.037	0.039	0.037		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.021	0.021	0.022	0.021	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

4月20日21時まで

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月21日　7:00現在）

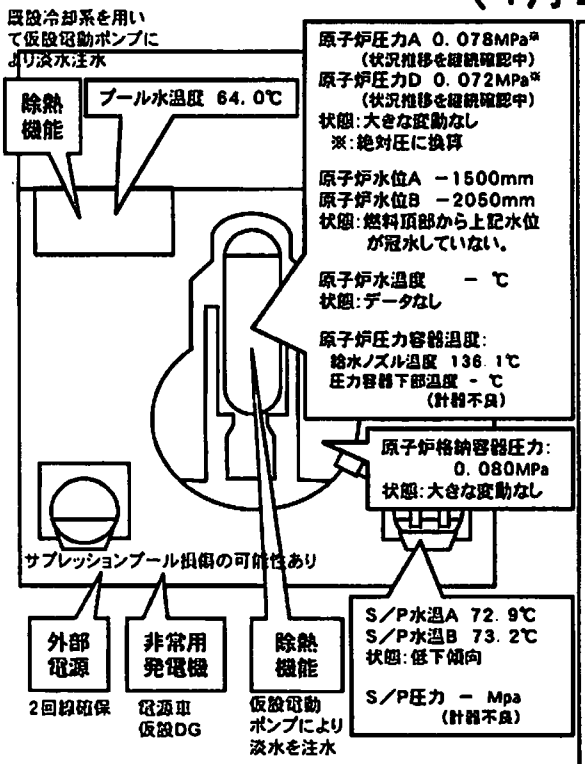


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（$2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$）。9:00に給水系のみに切替（$18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$）
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月21日　7:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

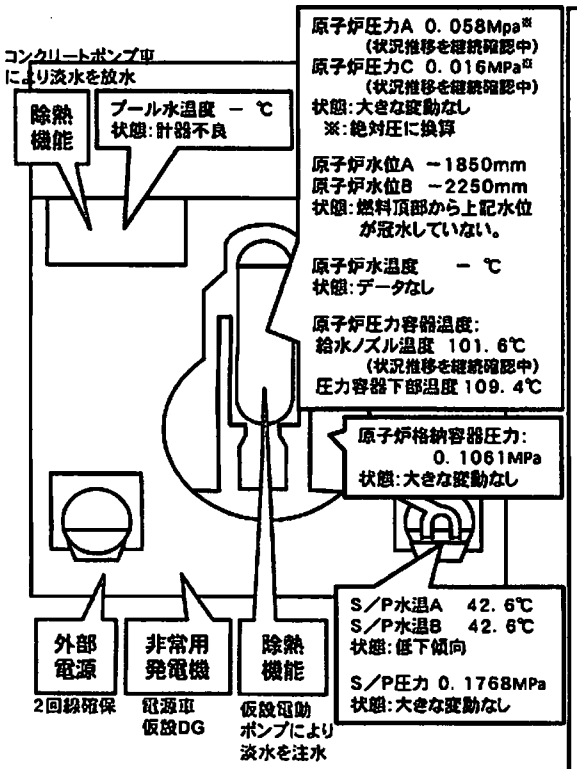
主要な出来事1/2

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　11:00　ベント開始
3/14　13:25　15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14　16:34　海水の炉心注水開始
3/14　22:50　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15　00:02　ベント開始
3/15　06:10　爆発音発生
3/15　06:20頃　サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20　15:05～17:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20　15:46　パワーセンター受電
3/21　18:22　白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22　16:07　SFPに海水を注水
3/25　10:30～12:19　FPCからSFPに海水を注水
3/26　10:10　淡水の炉心注水開始
3/26　16:46　中央制御室の照明復帰
3/27　18:31　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29　16:30～18:25　仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29　16:45～4/1　11:50　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30　09:25～23:50　SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1　14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2　09:30頃　取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2　17:10　復水器からCSTへ移送開始
4/3　12:12　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:47～14:30　ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、凝断処理した新聞紙3袋を投入
4/4　07:08～07:11　トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4　11:05～13:37　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5　14:15　トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6　05:38頃　ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7　13:29～14:34　FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9　13:10　復水器からCSTへの移送完了
4/10　10:37～12:38　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12　19:35～4/13　17:04　タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13　11:00　溢えい確認等のため一時停止
4/13　13:15～14:55　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16　10:13～11:54　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により溢水を確認。）
4/16　11:19頃　地震発生（茨城県南部）
4/18　13:42～　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:13～12:37　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18　9:30～17:40　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　8:00～15:30　電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19　10:08　タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19　16:08～17:28　FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月21日　7:00現在）



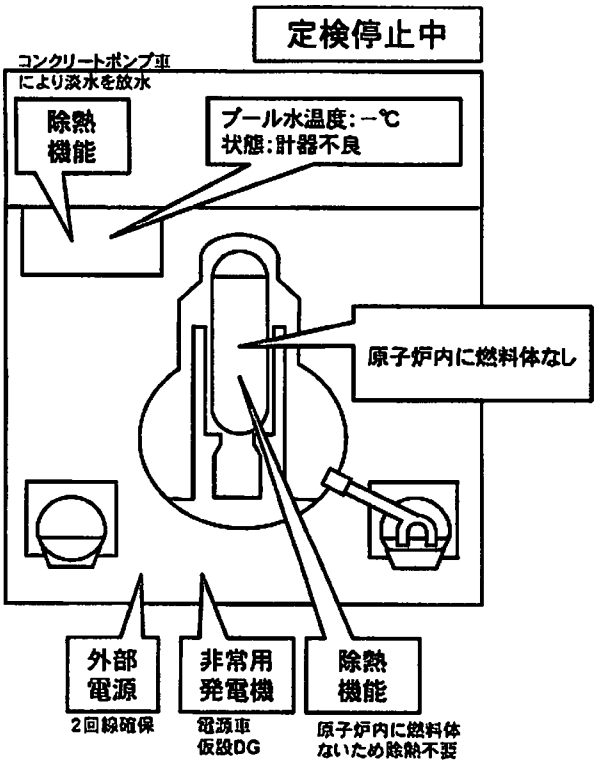
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による散水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月21日　7:00現在）



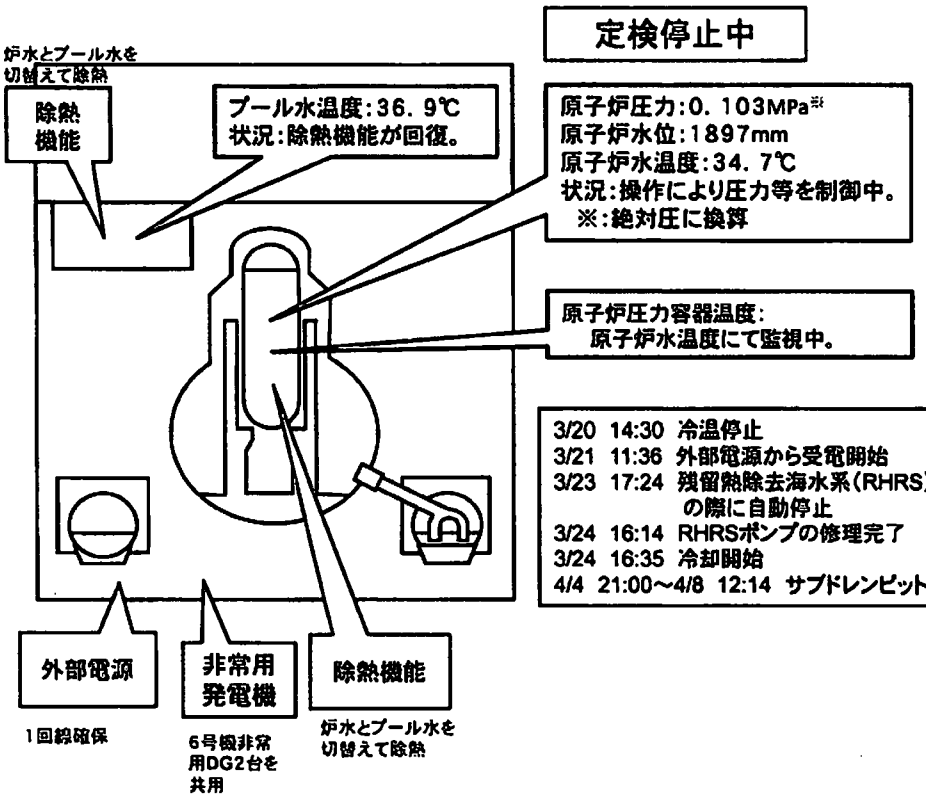
現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃～19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17　17:39～21:22、4/19　10:17～11:35、4/20　17:08～20:31

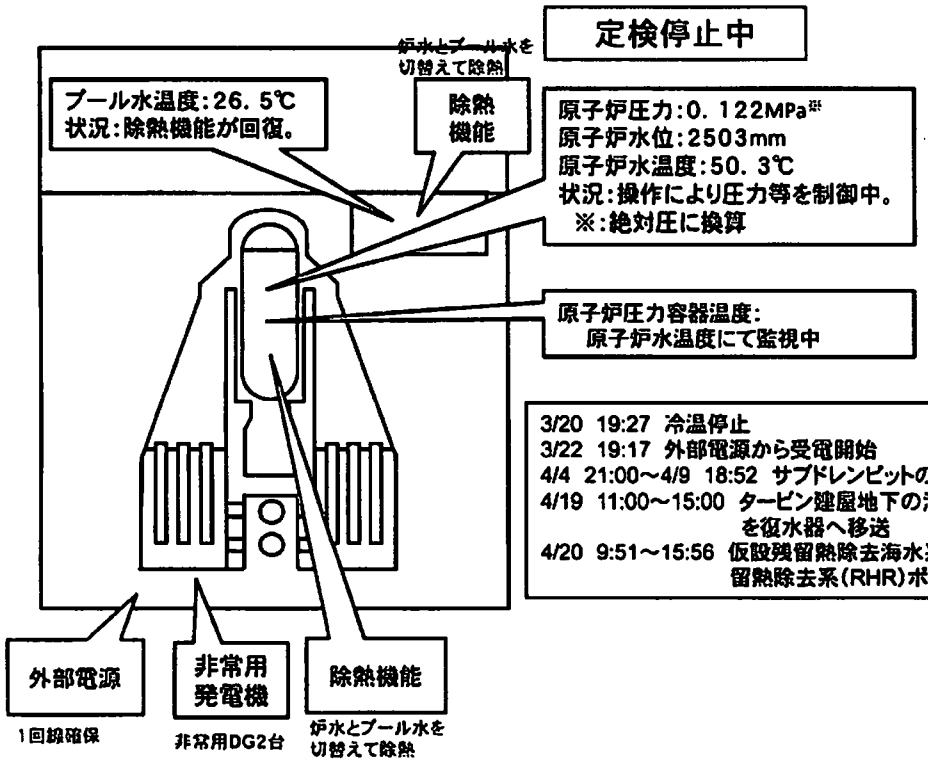
福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月21日　7:00現在）



主要な出来事

3/20　14:30　冷温停止
3/21　11:36　外部電源から受電開始
3/23　17:24　残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際に自動停止
3/24　16:14　RHRSポンプの修理完了
3/24　16:35　冷却開始
4/4　21:00～4/8　12:14　サプドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出（約950t）

福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月21日　7:00現在）



主要な出来事

3/20　19:27　冷温停止
3/22　19:17　外部電源から受電開始
4/4　21:00～4/9　18:52　サプドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出（約373t）
4/19　11:00～15:00　タービン建屋地下の溜まり水の量を調査するため、当該溜まり水を復水器へ移送
4/20　9:51～15:56　仮設残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変更するため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の現象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月21日　7:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/3 17:32）仮設計器	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1700mm 燃料域B：−1650mm （4/21 06:00現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2050mm （4/21 06:00現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/21 06:00現在）		停止域 1897mm （4/21 7:00現在）	停止域 2503mm （4/21 7:00現在）
原子炉圧力	A系 0.425MPa g (A) B系 1.103MPa g (B) ※3 （4/21 06:00）	A系−0.023MPa g (A) ※3 B系−0.029MPa g (D) ※3 （4/21 06:00現在）	A系−0.043MPa g (A) ※3 B系−0.085MPa g (C) ※3 （4/21 06:00現在）		0.002MPa g （4/21 7:00現在）	0.021MPa g （4/21 7:00現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				34.7℃ （4/21 7:00現在）	50.3℃ （4/21 7:00現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：153.4℃ ※3 圧力容器下部温度：113.5℃ （4/21 06:00現在）	給水ノズル温度：136.1℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/21 06:00現在）	給水ノズル温度：101.6℃ ※3 圧力容器下部温度：109.4℃ （4/21 06:00現在）		※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W・S/C圧力	D/W 0.160MPa abs S/C 0.160MPa abs （4/21 06:00現在）	D/W 0.080MPa abs S/C ※1 （4/21 06:00現在）	D/W 0.1061MPa abs S/C 0.1768MPa abs （4/21 06:00現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W雰囲気温度	RPVベローシール：117.1℃ HVH戻り：96.7℃ （4/21 06:00現在）	RPVベローシール：※1 HVH戻り：126℃ （4/21 06:00現在）	RPVベローシール：193.9℃※3 HVH戻り：61.9℃ （4/21 06:00現在）			
CAMS放射線モータ	D/W (A) ※1 (B) ※1 S/C (A) 9.94×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 1.99×10⁰Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）	D/W (A) 2.46×10¹Sv/h (B) 2.80×10¹Sv/h S/C (A) 5.38×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 1.09×10⁰Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）	D/W (A) 1.54×10¹Sv/h (B) 1.15×10¹Sv/h S/C (A) 5.79×10⁻¹Sv/h ※3 (B) 5.38×10⁻¹Sv/h ※3 （4/21 06:00現在）			
S/C温度	A系：53.0℃ B系：52.9℃ （4/21 06:00現在）	A系：72.9℃ B系：73.2℃ （4/21 06:00現在）	A系：42.6℃ B系：42.6℃ （4/21 06:00現在）			
D/W設計使用圧力	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	0.384MPa g (0.485MPa abs)	−	−	
D/W最高使用圧力	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)	0.427MPa g (0.528MPa abs)			
使用済燃料プール温度	※1	64.0℃ （4/21 06:00現在）	※1	※1	36.9℃ （4/21 7:00現在）	26.5℃ （4/21 7:00現在）
FPCスキマーサージタンクレベル	4500mm （4/21 06:00現在）	4400mm （4/21 06:00現在）	※1	4200mm （4/21 06:00現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報				共用プール：30℃程度 （4/20 8:00）	5u：SHCモード （4/20 18:16〜）	6u：非熱モード （4/20 18:44〜）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２１日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０５報）
（４月２１日０８時００分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・４号機について、使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車（62m級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）

・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4 月 20 日 15:56）

・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）

・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）

２．産業保安関係

別紙参照

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 21 日 07:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.526(A) 1.204(B)	0.078(A) 0.072(D)	0.058(A) 0.016(C)	－	0.103	0.122
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	80	106.1	－	－	－
原子炉水位*2 [mm]	-1700(A) -1650(B)	-1500(A) -2050(B)	-1850(A) -2250(B)	－	1897	2503
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.0(A) 52.4(B)	72.9(A) 73.2(B)	42.6(A) 42.6(B)	－	－	－
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	176.8	－	－	－
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	64.0	計器不良	計器不良	36.9	26.5
備　考	4/21 06:00 現在の値	4/21 06:00 現在の値	4/21 06:00 現在の値	4/21 現在	4/21 07:00 現在の値	4/21 07:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3 月 14 日 1:10）
・１号機で爆発音（3 月 12 日 15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3 月 23 日 2:33）。その後、給水系のみに切替（約 11m^3/h）（3 月 23 日 9:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 24 日 11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3 月 25 日 15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として ^{131}I（ヨウ素）が 2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 29 日 8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3 月 24 日 17 時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3 月 29 日 7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3 月 31 日 12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3 月 31 日 15:25）、移送を再開し、終了した（4 月 2 日 15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が約 90t 放水（淡水）（3 月 31 日 13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m 級）による放水位置の確認のため、試験放水（4 月 2 日 17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 3 日 13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4 月 6 日 22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4 月 7 日 1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4 月 9 日 4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 10 日 09:30）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4 月 11 日 18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4 月 11 日 23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月21日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日08:00現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信（3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始（3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 21 日 08:00 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・引き続き白煙の吐出確認（4月21日6:30現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日08:00現在）

＜4号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3月14日4:08時点84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3月15日6:14）
・火災発生（3月15日9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3月15日11:00頃）
・火災が発生（3月16日5:45頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3月16日6:15頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日18:30頃～19:46）
・自衛隊消防車13台が使用済燃料プールに放水（3月21日6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3月21日15:00頃）
・パワーセンター受電（3月22日10:35）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月22日17:17～20:32)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約130t放水(3月23日10:00～13:02)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月24日14:36～17:30)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月25日19:05～22:07)
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約125t放水（3月27日16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3月29日11:50）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約140t放水（3月30日14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月1日8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・4月2日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を4号機のタービン建屋内に移送していたところ、4月3日より3号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断(4月4日9:22)
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月3日17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約20t放水（4月5日17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約38t放水（4月7日18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m級）が淡水約90t放水（4月9日17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4月12日12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4月13日）。その結果、^{131}I

（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^{3}）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残

留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4月20日9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4月20日15:56）

＜使用済燃料共用プール＞

・3月18日6:00過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3月21日10:37～15:30）
・電源供給を開始（3月24日15:37）し、冷却を開始（3月24日18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4月17日14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4月17日17:30）
・4月20日8:00時点でのプール水温度は30℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の1850.5倍）検出された（3月26日14:30）
（3月29日に計測した結果、水中濃度限度の3,355.0倍となった。（3月29日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同1,262.5倍）検出された。（3月29日14:10））
・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3月21日及び3月22日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3月28日23:45東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3月31日）。測定値については１日１回の予定。
・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3月25日（４地点）及び3月28日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月6日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3月28日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の4385.0倍）検出された。（3月30日13:55）
・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3月31日及び4月4日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月14日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題と

なるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）
・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞

・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）

・共用プール山側の約 1900m²の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25）
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm³、非管理区域で総量 2.2

×10^1Bq/cm^3の放射能を検出

・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40)

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10)

・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15)

・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t)

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20)

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日)

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28)

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃)。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前)。その後、鎮火確認（同日 9:12)

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 15 日 8:02～9:55)

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4 月 15 日 10:19～17:00)

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4 月 18 日)。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23)

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110万kW）（自動停止、3月14日17:00冷温停止）

２号機（110万kW）（自動停止、3月14日18:00冷温停止）

３号機（110万kW）（自動停止、3月12日12:15冷温停止）

４号機（110万kW）（自動停止、3月15日7:15冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4月21日06:00現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力*1	MPa	0.15	0.14	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.2	24.5	32.8	28.2
原子炉水位*2	mm	9346	10296	7789	8785
原子炉格納容器内ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3月30日17:56頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3月30日14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月11日18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3月11日18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3月12日5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3月12日5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3月12日6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52万4千kW）（自動停止、3月12日0:58冷温停止）

２号機（82万5千kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82万5千kW）（自動停止、3月12日1:17冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約0.28μSv/h（4月20日16:00）（約0.29μSv/h（4月19日16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下１階の発煙は消火確認（3月11日22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月13日13:09）

２　産業保安

○電気（4月20日22:00）

・東北電力（4月20日16:00現在）

停電戸数：約15万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万３千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月19日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万５千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸

③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸

④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月20日16:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機

常陸那珂火力発電所　１号機

鹿島火力発電所　６号機
・東北電力（4 月 20 日 16:00 現在）
仙台火力発電所　４号機
新仙台火力発電所　１，２号機
原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
・供給停止戸数約５千戸（延べ供給停止戸数※　約 48 万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者 1 名、負傷者 10 名
3 月 14 日 8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者 1 名
3 月 12 日 11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）4,188 戸供給停止

（２）簡易ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）370 戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）145 戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68 戸供給停止

○熱供給（4 月 20 日 10:00 現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4 月 14 日 21:00 現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
3 月 13 日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4 月 14 日 21:00 現在）
・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）

ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3 月 21 日午前鎮火。

・JX 日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3 月 15 日午後鎮火。

・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）

（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3 月 11 日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は 1,864 人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3 月 12 日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20 通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。
・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。
当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象

（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月18日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3月19日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動

５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月20日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3月21日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3月22日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3月22日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3月25日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月24日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3月28日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3月29日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3月30日】

各電気事業者等に対し、平成23年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じ

て安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において4月1日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

＜被ばくの可能性（4月21日08:00現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約100名について、100名のうち、9名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では100,000cpmを超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3月12日から3月15日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに162名が検査済み。初め除染の基準値を6,000cpmとし、110名が6,000cpm未満、41名が6,000cpm以上の値を示した。後に基準値を13,000cpmと引き上げた際には、８名が13,000cpm未満、３名が13,000cpm以上の値を示した。

検査を受けた162名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員60名のスクリーニングで3名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60名に対し除染を行った。

（６）福島県は3月13日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等11ヶ所（常設）で実施中。4月18日までに161,181人に対し実施。そのうち、100,000cpm以上の値を示した者は102人であったが、100,000cpm以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で100mSvを超過した作業員は、計29名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3月24日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3月25日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Svと推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3月28日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は4月11日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3月24日、川俣町保健センター等において、１～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の

小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3 月 28 日～3 月 30 日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15 歳までの 946 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3 月 20 日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより 40 ベクレル/c ㎡または 6,000cpm

新：1 マイクロシーベルト／時（10cm 離れた場所での線量率）またはこれに相当する 100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）3 月 16 日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（２）3 月 21 日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4 月 21 日 08:00 現在）＞

１．3 月 11 日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3 月 30 日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4 月 2 日までに死亡が確認された。）

２．3 月 12 日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

３．３月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「(独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

４．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。(タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。)
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3月12日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。)
・3月12日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3月13日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3月22日、23日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。(１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・4月7日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4月8日、「脱水、一過性意識消失」と診断。
・4月9日午前9時19分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。
・4月10日午前11時10分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後2時27分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4月21日08:00現在）＞

3月15日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。
・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。
・3 月 28 日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 21 日 08:00 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	

千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 21 日 08:00 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、小山田
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

Atomic Energy Authority of Sri Lanka started radiation monitoring from 16th March 2011 after the announcement of accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant in Fukushima, Japan.

Radiation monitoring that carried out is as follows:

- Continuous measurement of environmental gamma dose rate.
- Collection of air samples from different areas of the country and measurement for radioactivity
- Collection of water samples in different locations of the country and analysis for radioactivity
- Analysis of samples of food items imported from Japan
- Contamination measurement of vehicles imported from Japan
- Collection and analysis of fresh milk samples

No any increase in radioactivity or contamination was detected in the above analyses.

- Screening of passengers coming from Japan

Altogether 225 returnees from Japan have been screened up to 18-04-2011.

Shoes of One person came from Koriyama, 50 km from Fukushima was found to be slightly contaminated. Contamination level was 5.7 Bq/cm$^{2.}$ Gamma spectroscopy Analysis revealed that contamination was due to Cs-137, Cs-134 and I-131.

Results of analysis can be summarized as follows.

Type of sample/test	No of samples tested/frequency of testing	Period of testing	comments
Environmental gamma dose rate measurements	Continuous monitoring	From 16.03.2011 To 18.04.2011	No increase in environmental radiation level
	morning and afternoon	From 19.04.2011	
Air samples	16 Air samples from different areas of the country	From 16.03.2011 To 31.03.2011	No contamination was found

Water samples	33 Samples of rain water collected by Meteorology Department from various parts of the country.	From 20.03.2011 To 27.03.2011	No contamination was found
Ships came from Japan	7 cargo vessels which were carrying vehicles from Japan.	From 23.03.2011 To 11.04.2011	No contamination was found
Food samples	13 food items such as milk, fish, dhal, sausages were tested.	From 28.03.2011 up to date.	No contamination was found
In situ measurement for ground radiation levels and environmental radiation level	08 locations of the country were monitored.	From 17.03.2011 to 10.04.2011	No increase above reference level
Screening of passengers	225 passengers who were coming from different parts of Japan were checked for body contamination.	From 16.03.2011 up to date.	Only a pair of shoes of one person was slightly contaminated.

The AEA, Sri Lanka has no objection in using this information by the IAEA for public information or posting on ENAC websites.

Strålsäkerhetsmyndigheten
Swedish Radiation Safety Authority

PROMEMORIA

Date: 2011-04-21
Referens: Lilian del Risco Norrlid

Swedish environmental monitoring results

The monitoring of radioactivity in the air at ground level in Sweden has been conducted daily at six aerosol filter stations since the Fukushima accident. The present report includes the results for Cs-137, I-131, I-132, Te129m.

At thirteen of the Swedish automatic gamma monitoring stations and three other locations grass samples have been collected. The report contains results for concentrations of Cs-137 and I-131 in the grass samples.

The Swedish Radiation Safety Authority reports the following:

- Isotope concentrations in aerosol filters in the period March 18th to April 15th, 2011
- Isotope concentration in grass samples together with the corresponding dose rate value for the sites with gamma monitoring

Strålsäkerhetsmyndigheten

Swedish Radiation Safety Authority

Swedish air sampling data and isotope concentrations from aerosol filters (μBq/m^3)

Location	**Kiruna**	N 67.84°, E 20.42°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 06:05	2011-03-22 06:15	20999	50	(3)	<2					
2011-03-22 00:00	2011-03-23 05:30	21917	25	(3)	<2					
2011-03-23 06:30	2011-03-24 05:27	21804	*25*	*(24)*	*<1.4*					
2011-03-24 06:27	2011-03-25 06:24	22021	*48*	*(14)*	*<1.4*					
2011-03-25 06:24	2011-03-28 05:16	48222	440	(1)	22	(3)	2	(20)		
2011-03-28 05:16	2011-03-29 05:15	16799	950	(1)	91	(2)	7	(9)	81	(15)
2011-03-29 05:15	2011-03-30 08:05	18759	1034	(2)	96	(2)	6	(11)	93	(15)
2011-03-30 08:05	2011-03-31 09:40	17552	690	(1)	69	(2)	3	(15)	66	(18)
2011-03-31 09:40	2011-04-01 06:25	14187	852	(1)	128	(2)	*7*	(11)	*95*	(15)
2011-04-01 06:25	2011-04-04 06:10	46260	423	(1)	152	(1)	*9*	(4)	*109*	(7)
2011-04-04 06:10	2011-04-05 08:00	16664	378	(2)	58	(3)	2	(20)	18	(46)
2011-04-05 08:00	2011-04-06 05:55	14144	421	(2)	65	(3)	2	(32)	43	(29)
2011-04-06 05:55	2011-04-08 05:50	30792	149	(2)	19	(3)	<1.6			
2011-04-08 05:50	2011-04-11 05:11	46097	254	(2)	69	(3)	3	17	41	(27)
Location	**Umeå**	N 63.85°, E 20.34°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-18 09.45	2011-03-21 12:00	71186	2.0	(30)	1.9	(21)				

Strålsäkerhetsmyndigheten

Swedish Radiation Safety Authority

Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 12:00	2011-03-22 09:00	20347	37.1	(7)	<3.9					
2011-03-22 09:00	2011-03-23 09:00	23656	52.8	(5)	3.2	(33)				
2011-03-23 09:00	2011-03-24 09:00	23464	36.2	(8)	<3.4					
2011-03-24 09:00	2011-03-25 09:00	23329	28.8	(9)	<3.5					
2011-03-25 09:00	2011-03-26 07:05	23430	22.5	(9)	<3.8					
2011-03-26 07:10	2011-03-27 07:20	24573	319	(3)	12.5					
2011-03-27 07:25	2011-03-28 09:00	24573	799	(3)	29	(7)				
2011-03-28 09:00	2011-03-29 09:00	25514	1510	(3)	239	(3)	30	(8)	220	(18)
2011-03-29 09:00	2011-03-30 09:00	25059	1420	(3)	198	(3)	23	(10)	201	(20)
2011-03-30 09:00	2011-03-31 09:00	25405	1140	(3)	129	(3)	14	(13)	142	(26)
2011-03-31 09:00	2011-04-01 09:00	24488	1100	(3)	256	(3)	26	(9)	220	(18)
2011-04-01 09:00	2011-04-02 09:09	24506	1720	(3)	371	(3)	35	(8)	295	(16)
2011-04-02 09:09	2011-04-03 12:05	26666	303	(3)	54	(5)	4	(39)	<12	
2011-04-03 12:05	2011-04-04 09:00	20150	104	(4)	23	(8)	<3.8		<131	
2011-04-04 09:00	2011-04-05 09:00	23812	136	(4)	31	(8)	<3.3		<115	
2011-04-05 09:00	2011-04-06 09:00	23540	235	(3)	72	(4)	5	(27)	<125	
2011-04-06 09:00	2011-04-08 09:00	47775	79	(3)	8	(7)	<1.5		<52	
2011-04-08 09:05	2011-04-11 09:00	71802	277	(3)	66	(5)	4.4	(14)	42	(20)
2011-04-11 09:00	2011-04-13 09:23	49058	39	(3)	23	(5)	<1.4		<48	
2011-04-13 09:23	2011-04-15 09:35	48205	68	(3)	26.0	(3)	<1.0		<34	

Location	**Gävle**	N 60.67°, E 17.19°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 09:25	2011-03-22 06:50	16952	<7		<10					
2011-03-22 06:50	2011-03-23 06:00	18360	135	(2)	8.5	(12)				
2011-03-23 06:00	2011-03-24 09:10	21596	*50*	*(11)*	*<15*					
2011-03-24 10:10	2011-03-25 08:05	17553	*72*	*(11)*	*<31*					
2011-03-25 08:05	2011-03-28 08:20	43358	373	(1)	21	(4)	2	(35)		
2011-03-28 08:20	2011-03-29 06:20	13391	1545	(2)	112	(2)	8	(9)	167	(12)
2011-03-29 06:20	2011-03-30 08:20	15524	1548	(1)	244	(2)	16	(5)	179	(11)
2011-03-30 08:20	2011-03-31 06:40	13528	1970	(1)	447	(2)	31	(4)	359	(6)
2011-03-31 06:40	2011-04-01 08:25	15395	1306	(1)	371	(1)	22	(4)	280	(8)
2011-04-01 08:25	2011-04-04 06:55	39793	440	(1)	148	(1)	8	(2)	110	(7)
2011-04-04 06:45	2011-04-05 06:20	13736	257	(2)	66	(3)	3	(31)		
2011-04-05 06:20	2011-04-06 07:00	14523	193	(3)	60	(4)	<8.7			
2011-04-06 07:00	2011-04-08 05:35	27145	225	(2)	31	(3)	<3			
2011-04-08 05:35	2011-04-11 06:25	42605	181	(2)	42	(3)	<3,7			
Location	**Kista**	N 59.40°, E 17.95°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 05:46	2011-03-22 07:45	22772	<4.0		<3.7					

Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-22 07:45	2011-03-23 06:47	27003	258	(2)	9	(6)				
2011-03-23 06:47	2011-03-24 06:45	29239	56	(3)	4	(15)				
2011-03-24 06:45	2011-03-25 07:47	28327	220	(2)	1	(50)				
2011-03-25 07:47	2011-03-26 07:47	28443	29.2	(4)	0.93	(29)				
2011-03-26 07:47	2011-03-27 08:47	28372	64	(3)	<3.8					
2011-03-27 08:27	2011-03-28 09:31	27792	807	(1)	59.6	(2)				
2011-03-28 09:31	2011-03-29 07:31	25595	1560	(1)	77	(2)	4	(18)		
2011-03-29 07:31	2011-03-30 07:31	28115	1395	(1)	164	(2)	9.5	(7)	136	(16)
2011-03-30 07:31	2011-03-31 07:31	28246	2145	(1)	557	(1)	39	(3)	488	(5)
2011-03-31 07:31	2011-04-01 06:31	27656	2023	(1)	427	(2)	27	(3)	369	(5)
2011-04-01 06:31	2011-04-02 06:31	27042	1276	(1)	311	(2)	19	(2)	244	(7)
2011-04-02 09:30	2011-04-03 06:31	23893	417	(1)	31	(3)	<4			
2011-04-03 06:31	2011-04-04 06:31	26775	225	(2)	12	(6)	<4.0			
2011-04-04 06:31	2011-04-05 06:31	27802	549	(1)	105	(2)	5	(12)	59	(21)
2011-04-05 06:31	2011-04-06 06:32	27571	313	(2)	77	(2)	2.5	(23)	44	(20)
2011-04-06 06:32	2011-04-07 06:32	27587	48	(4)	5	(11)	<4			
2011-04-07 06:32	2011-04-08 06:32	27779	354	(1)	38	(2)	1.4	(36)		
2011-04-08 06:32	2011-04-09 06:32	27747	100	(2)	10	(6)	<3			
2011-04-09 06:32	2011-04-10 06:32	27762	210	(3)	26	(3)	<3			
2011-04-10 06:32	2011-04-11 06:32	28292	398	(2)	65	(2)				
2011-04-11 06:32	2011-04-12 06:32	27295	127	(2)	41	(3)	<6.2			

Location	**Visby**	N 57.61°, E 18.32°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 06:30	2011-03-22 06:15	18770	<28		<31					
2011-03-22 06:15	2011-03-23 05:40	18740	197	(2)	11	(10)				
2011-03-23 05:40	2011-03-24 06:05	19375	*65*	*(7)*	*<18*					
2011-03-24 07:05	2011-03-25 08:35	20247	*502*	*(4)*	*14*	*(38)*				
2011-03-25 08:35	2011-03-28 06:20	41338	482	(1)	21	(3)	2	(11)		
2011-03-28 06:20	2011-03-29 07:35	15311	779	(2)	45	(3)	3	(40)		
2011-03-29 07:35	2011-03-30 06:00	13484	960	(1)	136	(2)	8.7	(9)	82	(25)
2011-03-30 06:00	2011-03-31 06:25	14663	1419	(1)	420	(2)	28	(4)	311	(9)
2011-03-31 06:25	2011-04-01 06:15	14008	1868	(1)	422	(2)	29	(4)	332	(7)
2011-04-01 06:15	2011-04-04 07:30	37472	325	(2)	56	(2)	3	(22)		
2011-04-04 07:30	2011-04-05 06:10	13502	484	(2)	86	(2)	5	(16)	33	(37)
2011-04-05 06:10	2011-04-06 06:05	13999	643	(2)	99	(2)	4.42	(19)	49	(42)
2011-04-06 06:05	2011-04-07 06:20	14297	42	(7)	4.53	(38)	<8			
2011-04-07 06:20	2011-04-08 06:10	14243	232	(2)	31	(4)	<3.5			
2011-04-08 06:10	2011-04-11 06:10	42683	202	(2)	43	(2)	2	(19)		

Location	**Ljungbyhed**	N 56.08°, E 13.22°								
Start (UTC)	Stop (UTC)	Sample volume (m^3)	I-131	1σ (%)	Cs-137	1σ (%)	Cs-136	1σ (%)	Te-129m	1σ (%)
2011-03-21 07:15	2011-03-22 07:40	18048	<12		<11					
2011-03-22 08:40	2011-03-23 06:50	19573	143	(3)	8.3	(24)				
2011-03-23 06:50	2011-03-24 11:10	22407	80	(4)	7	(26)				
2011-03-24 07:05	2011-03-25 08:35	15604	2	(42)	<3					
2011-03-25 11:55	2011-03-28 06:30	44925	746	(1)	56	(2)	4.6	(11)	35	(31)
2011-03-28 06:30	2011-03-29 08:50	15348	1897	(1)	194	(2)	19	(11)	121	(38)
2011-03-29 08:50	2011-03-30 07:30	14697	1000	(2)	155	(2)	12	(17)	77	(60)
2011-03-30 07:30	2011-03-31 08:10	14277	380	(2)	29	(6)	<8			
2011-03-31 08:10	2011-04-01 04:50	11177	788	(2)	82	(5)	<10			
2011-04-01 04:50	2011-04-02 08:00	17537	160	(2)	7	(18)	<6			
2011-04-02 08:00	2011-04-03 07:00	14212	623	(2)	61	(4)	<5			
2011-04-03 07:00	2011-04-04 05:35	13455	252	(2)	24	(8)	<8			
2011-04-04 05:35	2011-04-05 07:20	14710	507	(2)	77	(4)	<8		61	(37)
2011-04-05 07:20	2011-04-06 05:15	14045	628	(2)	69	(5)	<8			
2011-04-06 05:15	2011-04-08 06:00	27714	250	(2)	56	(4)	<3.59			
2011-04-08 06:00	2011-04-11 05:40	42522	76	(3)	23	(3)	<1.18			

Strålsäkerhetsmyndigheten

Swedish Radiation Safety Authority

Swedish isotope concentration in grass samples (Bq/kg w.w.) at sites with automatic gamma monitoring stations

Sampling location	Latitude Degrees N	Longitude Degrees E	Sampling date	I-131	2σ (%)	Cs-137	2σ (%)	Dose rate (nSv/h)	Comments
Stockholm	59.35	18.01	2011-04-06	10.9	(3.7)				
Lindholmen	59.68	18.86	2011-04-06	5.4	(3.7)	0.85	(12)		
Gävle	60.71	17.16	2011-04-08	5.0	(6.0)	6.4	(4.7)	160	Normal
Sala	59.91	16.68	2011-04-08	2.4	(8.3)	2	(15)	140-150	Normal
Kilsbergen Suttarboda	59.29	14.89	2011-04-09	12.8	(4.7)	3.3	(12)	100-110	Normal
Hällum	58.32	13.04	2011-04-09	18.8	(4.3)	2.7	(19)	130-140	Normal
Göteborg	57.71	11.99	2011-04-10	13.6	(4.4)	3.0	(10)	130	Normal
Gränna	58.03	14.45	2011-04-10	7.9	(6.3)				
Norrköping	58.58	16.14	2011-04-10	7.1	(7.0)	2.6	(20)	130	Normal
Ölands norra udde	57.36	17.09	2011-04-08	11	(9.1)			80 - 90	Normal
Ölands södra udde	56.19	16.40	2011-04-08	9	(22)	4.6	(17)	100-110	Normal
Torekov (Hallands väderö)	56.45	12.54	2011-04-08	34	(5.9)	3.2	(13)	90	Normal
Växjö	56.84	14.83	2011-04-08	15	(6.7)	6.5	(9.2)	100-110	Normal
Gislövshammar	55.49	14.32	2011-04-08	24	(21)			80	Normal
Ljungbyhed	56.08	13.22	2011-04-08	16	(6.3)				
Jägersro	55.57	13.07	2011-04-08	19	(21)			90-100	Normal

From: Kenagy, W David <KenagyWD@state.gov>
Sent: Friday, April 22, 2011 6:02 AM
To: Kenagy, W David; vince.mcclelland@nnsa.doe.gov; Rodriguez, Veronica; ann.heinrich@nnsa.doe.gov; HOO Hoc; HOO2 Hoc; Huffman, William; decair.sara@epamail.epa.gov; timothy.greten@dhs.gov; maria.marinissen@hhs.gov; (b)(6) doehqeoc@oem.doe.gov; hhs.soc@hhs.gov; james.kish@dhs.gov; HOO Hoc; Smith, Brooke; Zubarev, Jill E; Shaffer, Mark R; nitops@nnsa.doe.gov; Skypek, Thomas M; (b)(6) clark.ray@epamail.epa.gov; Stern, Warren; DeLaBarre, Robin; Burkart, Alex R; Metz, Patricia J; Fladeboe, Jan P; Withers, Anne M; Lowe, Thomas J; Lewis, Brian M; SES-O_OS; EAP-J-Office-DL; O'Brien, Thomas P; Lane, Charles D; Conlon, John N; Foughty, Michael A; Mahaffey, Charles T; (b)(6); Jih, Rongsong; (b)(6) (b)(6) Cutler, Kirsten B
Subject: RE: IAEA distributed documents
Attachments: Results_Compilation_Emergency_Response_Governmental_Decision_and_Recommendation_Rev_15_20_April.pdf; No106E_Conditions.pdf; METI_NISA_106_(eng)_extracts.pdf; METI_NISA_106_(Jap)_press_release.pdf; METI_NISA_106_(Jap)_plant_status_(0421_1300).pdf; METI_NISA_106_(Jap)_monitoring_results_(0421_1730).pdf; Environmental_monitoring_in_Italy.pdf; Fax_Cover_Page_-_Status_of_the_Fukushima_Daiichi_NPP_1700_April_21 (2).pdf; METI_NISA_105_(Jap)_Exract.pdf; METI_NISA_105_(Jap)_press_release.pdf

CG/27

Environmental monitoring in Italy following the nuclear emergency in Japan

Since the 12th of March the Italian National Institute for the Environmental Protection and Research (ISPRA) requested the national network of laboratories for the surveillance of the environmental radioactivity belonging to Regional and Provincial Environmental Agencies to intensify the environmental radiological monitoring activities with specific regard to radioactivity concentration measurements in air and in the fall-out.

Starting from March 23rd measurement results showed the presence of I-131 in small concentrations. Analysis of vegetable and milk were therefore also requested.

Table 1 summarizes the number of performed measurements until April 11th.

Table 2 reports a synthesis of the measurements results grouped for the three macro-region (North, Central and South Italy) and referred to minimum and maximum concentration values detected.

Table 1

Sample type	Radionuclide	Total N° measurements	N° of measurements > MDA
Airborne particulate	Cs-137	588	17
	I-131	601	194
Total Fallout	Cs-137	54	1
	I-131	68	49
Milk	Cs-137	15	0
	I-131	21	11
Leaf Vegetables	Cs-137	15	3
	I-131	18	12
Other Vegetables (Forage)	Cs-137	15	4
	I-131	21	18

Table 2

Sample type	Regional area	I - 131 Min	I - 131 Max	Max value Date	Cs - 137 Min	Cs - 137 Max	Max value Date
Airborne particulate (Bq/m^3)	IT-Nord	3,25E-05	1,43E-03	30/03/2011	8,06E-06	8,06E-06	04/04/2011
	IT-Center	5,00E-05	1,10E-03	30/03/2011	3,61E-05	2,40E-04	05/04/2011
	IT-Sud	4,10E-04	3,10E-03	29/03/2011	4,70E-04	4,70E-04	30/03/2011
Iodine gas fraction (Bq/m^3)	IT-Nord	1,56E-04	2,20E-03	06/04/2011			
	IT-Center	< MDA					
	IT-Sud	3,90E-03	3,90E-03	30/03/2011			
Fallout (total) (Bq/m^2)	IT-Nord	8,50E-01	1,96E+01	30/03/2011	1,00E-02	1,00E-02	28/03/2011
	IT-Center	7,00E-01	2,54E+01	29/03/2011	< MDA		
	IT-Sud	1,15E+00	2,10E+01	29/03/2011	< MDA		
Leaf Vegetables (Bq/kg)	IT-Nord	4,00E-02	7,97E-01	31/03/2011	7,00E-02	6,58E-01	29/03/2011
	IT-Center	1,90E-01	1,90E-01	06/04/2011	< MDA		
	IT-Sud	2,90E-01	2,90E-01	07/04/2011	< MDA		
Other Vegetables (Forage) (Bq/kg)	IT-Nord	4,90E-01	2,10E+00	05/04/2011	3,95E-01	1,58E+01	04/04/2011
	IT-Center	1,80E+00	2,80E+00	30/03/2011	NO DATA		
	IT-Sud	NO DATA			NO DATA		
Milk (Bq/l)	IT-Nord	3,00E-01	1,70E+00	05/04/2011	< MDA		
	IT-Center	1,20E+00	5,24E+00	05/04/2011	< MDA		
	IT-Sud	2,80E-01	2,80E-01	07/04/2011	< MDA		

When Cs-134 was measured the ratio Cs-134 / Cs137 ranged between 0.55 and 1.23, arithmetic mean 0.80

MDA - Minimum Detectable Activity depending on used measurement instruments

IAEA
International Atomic Energy Agency

INCIDENT AND EMERGENCY CENTRE

EMERCON EMERCON EMERCON

(b)(4)

Date: **2011-4-21**
18:15 UTC

Pages incl. cover sheet: 31

(b)(4)

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 21, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 105th Release)
(As of 08:00 April 21st, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS

     - In order to cool the Spent Fuel Pool of Unit 4, the Fresh water spray of around 100t using Concrete Pump Truck (62m class) was carried out. (From 17:08 till 20:31 April 20th)

     - The pump for Residual Heat Removal (RHR) was temporarily stopped in order to change the position of the hose of the temporary RHR Seawater System of Unit 6. (09:51 April 20th) After carrying out the work of transferring of the pump for temporary Residual Heat Removal (RHR), cooling was resumed.

     - The test implementation of spraying anti-scattering agent to prevent the spread of radioactive materials on the ground surface was carried out in the area of about 1,900 m^2 around the Radioactive Waste Treatment Facilities (From 12:00 till 13:30 April 20th).

     - Removal of rubble (Amount equivalent to a container) using remote-control heavy machineries was carried out. (From 9:00 till 16:00 April 20th)

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２１日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０５報）
（４月２１日０８時００分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・４号機について、使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車（62m級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）

・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4 月 20 日 9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4 月 20 日 15:56）

・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）

・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）

２．産業保安関係

別紙参照

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 21 日 07:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.526(A) 1.204(B)	0.078(A) 0.072(D)	0.058(A) 0.016(C)	—	0.103	0.122
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	80	106.1	—	—	—
原子炉水位*2 [mm]	-1700(A) -1650(B)	-1500(A) -2050(B)	-1850(A) -2250(B)	—	1897	2503
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.0(A) 52.4(B)	72.9(A) 73.2(B)	42.6(A) 42.6(B)	—	—	—
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	176.8	—	—	—
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	64.0	計器不良	計器不良	36.9	26.5
備　考	4/21 06:00 現在の値	4/21 06:00 現在の値	4/21 06:00 現在の値	4/21 現在	4/21 07:00 現在の値	4/21 07:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3月14日1:10）
・１号機で爆発音（3月12日15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3月23日2:33）。その後、給水系のみに切替（約11m^3/h）（3月23日9:00）
・中央制御室の照明復帰（3月24日11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3月25日15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として^{131}I（ヨウ素）が2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月29日8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3月24日17時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3月29日7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3月31日12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3月31日15:25）、移送を再開し、終了した（4月2日15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m級）が約90t放水（淡水）（3月31日13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m級）による放水位置の確認のため、試験放水（4月2日17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4月3日10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4月3日12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4月3日13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4月6日22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4月7日1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4月9日4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4月10日09:30）
・地震発生（4月11日17:16頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4月11日17:16頃）
・外部電源復旧（4月11日17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4月11日18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4月11日23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4月17日16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月21日6:30現在)

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日08:00現在)

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象(原子炉冷却機能喪失)である旨、受信(3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始(3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在)

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 21 日 08:00 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・引き続き白煙の吐出確認（4月21日6:30現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日08:00現在）

＜４号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3月14日4:08時点84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3月15日6:14）
・火災発生（3月15日9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3月15日11:00頃）
・火災が発生（3月16日5:45頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3月16日6:15頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日18:30頃～19:46）
・自衛隊消防車13台が使用済燃料プールに放水（3月21日6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3月21日15:00頃）
・パワーセンター受電（3月22日10:35）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月22日17:17～20:32)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約130t放水(3月23日10:00～13:02)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月24日14:36～17:30)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月25日19:05～22:07)
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約125t放水（3月27日16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3月29日11:50）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約140t放水（3月30日14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月1日8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・4月2日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を４号機のタービン建屋内に移送していたところ、4月3日より３号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断(4月4日9:22)
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月3日17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約20t放水（4月5日17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約38t放水（4月7日18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m級）が淡水約90t放水（4月9日17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4月12日12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4月13日）。その結果、^{131}I

（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^{3}）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残

留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4月20日9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4月20日15:56）

＜使用済燃料共用プール＞

・3月18日6:00過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3月21日10:37～15:30）
・電源供給を開始（3月24日15:37）し、冷却を開始（3月24日18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4月17日14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4月17日17:30）
・4月20日8:00時点でのプール水温度は30℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の1850.5倍）検出された（3月26日14:30）
（3月29日に計測した結果、水中濃度限度の3,355.0倍となった。（3月29日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同1,262.5倍）検出された。（3月29日14:10））
・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3月21日及び3月22日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3月28日23:45東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3月31日）。測定値については１日１回の予定。
・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3月25日（４地点）及び3月28日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月6日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3月28日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の4385.0倍）検出された。（3月30日13:55）
・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3月31日及び4月4日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月14日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題と

なるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）
・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞

・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）

・共用プール山側の約 1900m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25）
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^3、非管理区域で総量 2.2

×10^1Bq/cm^3の放射能を検出

・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40)

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10)

・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15)

・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t)

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20)

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日)

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28)

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃)。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前)。その後、鎮火確認（同日 9:12)

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 15 日 8:02～9:55)

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4 月 15 日 10:19～17:00)

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4 月 18 日)。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23)

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 17:00 冷温停止）

２号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 18:00 冷温停止）

３号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 12 日 12:15 冷温停止）

４号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 15 日 7:15 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 21 日 06:00 現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力＊1	MPa	0.15	0.14	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.2	24.5	32.8	28.2
原子炉水位＊2	mm	9346	10296	7789	8785
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52万4千kW）（自動停止、3月12日0:58冷温停止）

２号機（82万5千kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82万5千kW）（自動停止、3月12日1:17冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約0.28μSv/h（4月20日16:00）（約0.29μSv/h（4月19日16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下１階の発煙は消火確認（3月11日22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月13日13:09）

２　産業保安

○電気（4月20日22:00）

・東北電力（4月20日16:00現在）

停電戸数：約15万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万３千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月19日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万５千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸

③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸

④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月20日16:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機

常陸那珂火力発電所　１号機

鹿島火力発電所　６号機
・東北電力（4 月 20 日 16:00 現在）
仙台火力発電所　４号機
新仙台火力発電所　１，２号機
原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
・供給停止戸数約５千戸（延べ供給停止戸数※　約 48 万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者 1 名、負傷者 10 名
3 月 14 日 8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者 1 名
3 月 12 日 11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）4,188 戸供給停止

（２）簡易ガス（4 月 20 日 10:00 現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）370 戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）145 戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68 戸供給停止

○熱供給（4 月 20 日 10:00 現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4 月 14 日 21:00 現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
3 月 13 日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4 月 14 日 21:00 現在）
・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）

ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3 月 21 日午前鎮火。

・JX 日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3 月 15 日午後鎮火。

・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）

（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

３　原子力安全・保安院等の対応

【3 月 11 日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は 1,864 人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3 月 12 日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20 通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。
・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。
当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月14日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3月15日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象

（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳について当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3 月 22 日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3 月 22 日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3 月 25 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 24 日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3 月 28 日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3 月 27 日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3 月 29 日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3 月 30 日】

各電気事業者等に対し、平成 23 年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じ

て安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において4月1日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4月18日】

・4月10日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4月18日）し、その内容を確認（4月19日）。

＜被ばくの可能性（4月21日08:00現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約60名を含む133名の測定を行い、13,000cpm以上の23名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した35名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約100名について、100名のうち、9名について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では100,000cpmを超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3月12日から3月15日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに162名が検査済み。初め除染の基準値を6,000cpmとし、110名が6,000cpm未満、41名が6,000cpm以上の値を示した。後に基準値を13,000cpmと引き上げた際には、８名が13,000cpm未満、３名が13,000cpm以上の値を示した。

検査を受けた162名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員60名のスクリーニングで3名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60名に対し除染を行った。

（６）福島県は3月13日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等11ヶ所（常設）で実施中。4月18日までに161,181人に対し実施。そのうち、100,000cpm以上の値を示した者は102人であったが、100,000cpm以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で100mSvを超過した作業員は、計29名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3月24日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3月25日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Svと推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3月28日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は4月11日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員１名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

３．その他

（１）福島第一原発で作業していた自衛隊員４名が爆発により負傷。うち、１名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（２）警察官について、警察庁において２名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（３）3月24日、川俣町保健センター等において、１～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（４）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の

小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（５）3 月 28 日～3 月 30 日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15 歳までの 946 名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（１）3 月 20 日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより 40 ベクレル/c ㎡または 6,000cpm

新：1 マイクロシーベルト／時（10cm 離れた場所での線量率）またはこれに相当する 100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（１）3 月 16 日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（２）3 月 21 日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4 月 21 日 08:00 現在）＞

１．3 月 11 日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3 月 30 日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4 月 2 日までに死亡が確認された。）

２．3 月 12 日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

３．３月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「(独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

４．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。(タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。)
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3月12日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。)
・3月12日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3月13日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3月22日、23日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。(１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・4月7日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4月8日、「脱水、一過性意識消失」と診断。
・4月9日午前9時19分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。
・4月10日午前11時10分頃、２号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員１名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後2時27分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4月21日08:00現在）＞

3月15日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。
・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。
・3 月 28 日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする
・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案しつつ総合的に判断
・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施
・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（１）出荷制限・摂取制限品目（4 月 21 日 08:00 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	

千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（２）水道水の飲用制限の要請（4 月 21 日 08:00 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水供給事業	なし

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

3 月 21 日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3 月 22 日 11:00～14:00 頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3 月 23 日 8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、小山田
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

News Release

Extract

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

April 21, 2011
Nuclear and Industrial Safety Agency

Seismic Damage Information (the 106th Release)
(As of 15:30 April 21st, 2011)

Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) confirmed the current situation of Onagawa NPS, Tohoku Electric Power Co. Inc.; Fukushima Dai-ichi and Fukushima Dai-ni NPSs, Tokyo Electric Power Co. Inc. (TEPCO); Tokai Dai-ni NPS, Japan Atomic Power Co. Inc. as follows:

Major updates are as follows.

1. Nuclear Power Stations (NPSs)
   - Fukushima Dai-ichi NPS
     - Videotaping using a wireless helicopter was carried out in order to grasp the situations of the reactor building for Units 1 to 4 (11:43-12:50, April 21st).

2. Actions taken by NISA

   (April 21st)

   - The Prime Minister issued the following instruction in relation to the accident at Fukushima Dai-ni NPS of TEPCO to the Governor of Fukushima prefecture, and Mayors of Hirono-Town, Naraha-Town, Tomioka-Town and Okuma-Town, in accordance with the provisions of the Article 20, paragraph 3 of the Act on Special Measures Concerning Nuclear Emergency Preparedness.
     - Instruction to change the evacuation area from within 10km radius to within 8km radius from Fukushima Dai-ni NPS.
   - The Prime Minister issued the following instruction in relation to the accident at Fukushima Dai-ichi NPS of TEPCO to the Governor of Fukushima prefecture, and Mayors of Tomioka-Town, Futaba-Town, Okuma-Town, Namie-Town, Kawauchi-Village, Naraha-Town, Minamisouma-City, Tamura-City and Katsurao-Village, in accordance

with the provisions of the Article 20, paragraph 3 of the Act on Special Measures Concerning Nuclear Emergency Preparedness.

- Instruction to establish a restricted area as the area within 20km radius from Fukushima Dai-ichi NPS, and to prohibit the access to the area or to order to leave the area to any persons other than those engaged in emergency response measures, excluding the case that the mayor of the city or town or the head of the village permits the temporary access.

<Situation of resident evacuation> (as of 15:30 April 21st)

11:00 April 21st, the Prime Minister issued a instruction to change the evacuation area in relation to the accident that occurred at Fukushima Dai-ni NPS from within 10km radius to within 8km radius from Fukushima Dai-ni NPS.

11:00 of April 21st, the Prime Minister issued instruction to establish a restricted area as the area within 20km radius from Fukushima Dai-ichi NPS, and to prohibit the access to the area or to order to leave the area to any persons other than those engaged in emergency response measures, excluding the case that the mayor of the city or town or the head of the village permits the temporary access. (Date of establishment: 0:00 April 22nd)

For more information:
NISA English Home Page
http://www.nisa.meti.go.jp/english/index.html

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（モニタリングカー）

※）モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率（μSv/h）	中性子線量率（μSv/h）	天候	風向	風速（m/s）
西門	2011/4/21 11:00	26.9	<0.01	晴れ	E	3.0
西門	2011/4/21 11:10	27.0	<0.01	晴れ	E	3.1
西門	2011/4/21 11:20	26.9	<0.01	晴れ	E	3.4
西門	2011/4/21 11:30	27.0	<0.01	晴れ	S	2.4
西門	2011/4/21 11:40	26.9	<0.01	晴れ	SSE	1.7
西門	2011/4/21 11:50	26.8	<0.01	晴れ	ENE	1.9
西門	2011/4/21 12:00	26.9	<0.01	晴れ	S	2.0
西門	2011/4/21 12:10	26.9	<0.01	晴れ	E	2.7
西門	2011/4/21 12:20	27.0	<0.01	晴れ	E	2.4
西門	2011/4/21 12:30	26.9	<0.01	晴れ	SW	1.9
西門	2011/4/21 12:40	27.0	<0.01	晴れ	S	2.2
西門	2011/4/21 12:50	27.2	<0.01	晴れ	E	1.8
西門	2011/4/21 13:00	26.9	<0.01	晴れ	E	2.2
西門	2011/4/21 13:10	27.0	<0.01	晴れ	E	3.2
西門	2011/4/21 13:20	27.0	<0.01	晴れ	E	1.7
西門	2011/4/21 13:30	26.9	<0.01	晴れ	ESE	1.9
西門	2011/4/21 13:40	26.9	<0.01	晴れ	ENE	3.0
西門	2011/4/21 13:50	26.9	<0.01	晴れ	ESE	3.1
西門	2011/4/21 14:00	27.0	<0.01	晴れ	E	2.1
西門	2011/4/21 14:10	26.9	<0.01	晴れ	ESE	3.0
西門	2011/4/21 14:20	27.0	<0.01	晴れ	SE	2.4
西門	2011/4/21 14:30	26.9	<0.01	晴れ	E	2.0
西門	2011/4/21 14:40	26.9	<0.01	晴れ	E	2.6
西門	2011/4/21 14:50	27.0	<0.01	晴れ	ESE	2.6
西門	2011/4/21 15:00	27.0	<0.01	晴れ	E	2.1

福島第一原子力発電所　モニタリング結果（可搬型MP）

日時	事務本館南側 線量率（μSv/h）	正門 線量率（μSv/h）	西門 線量率（μSv/h）
2011/4/21 14:00	476	59	23
2011/4/21 14:30	475	60	23
2011/4/21 15:00	474	59	23

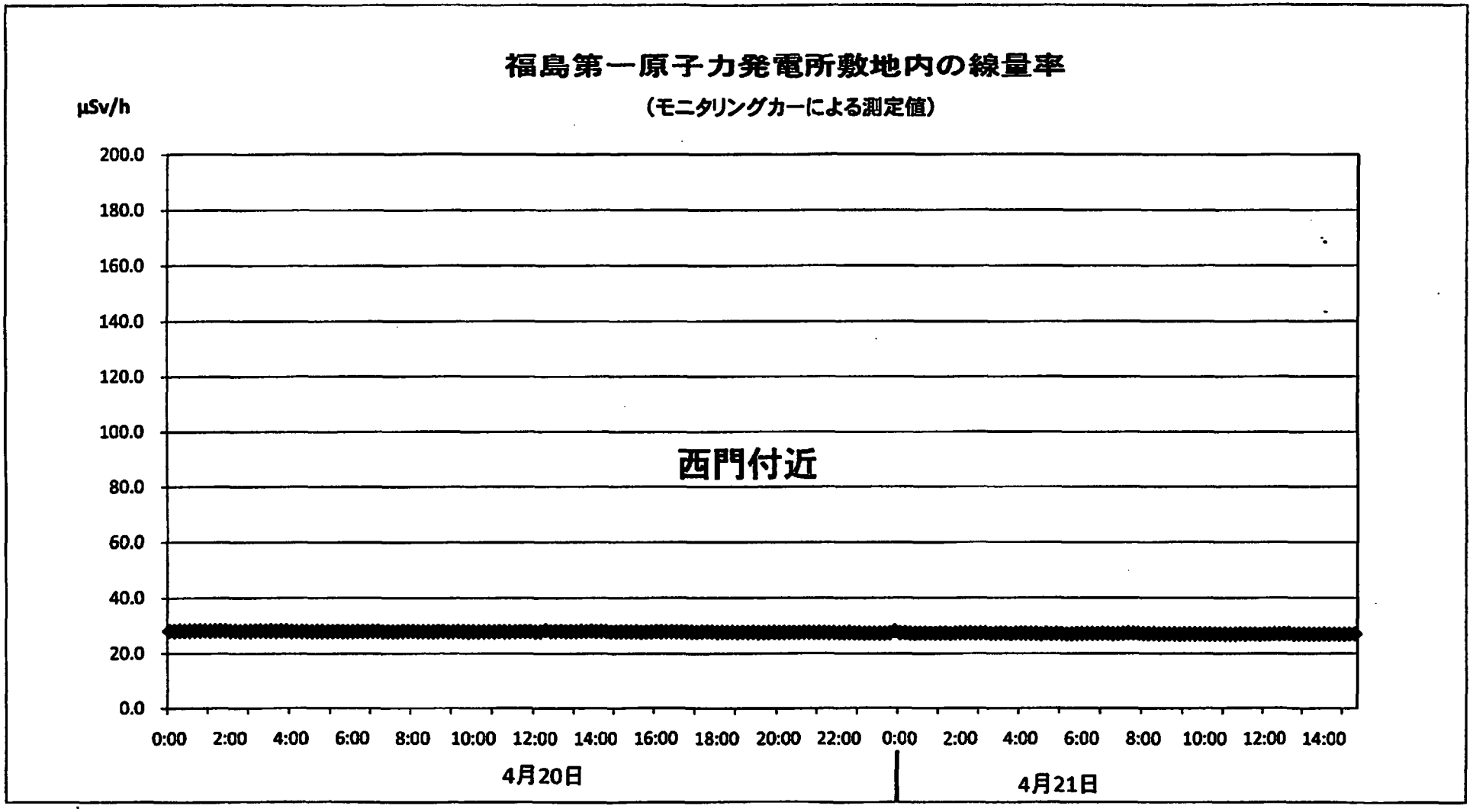
福島第一原子力発電所　モニタリング結果(モニタリングカー)

注)モニタリングカーでの測定は場所を移動する可能性があり、データが欠ける場合もある。

場所	日時	線量率 (μSv/h)	中性子線量率 (μSv/h)	天候	風向	風速 (m/s)
西門	2011/4/21 5:00	27.1	<0.01	曇り	W	0.4
西門	2011/4/21 5:10	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.7
西門	2011/4/21 5:20	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 5:30	27.1	<0.01	曇り	NW	0.2
西門	2011/4/21 5:40	27.1	<0.01	曇り	WNW	0.3
西門	2011/4/21 5:50	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.4
西門	2011/4/21 6:00	27.2	<0.01	曇り	WSW	0.6
西門	2011/4/21 6:10	27.2	<0.01	曇り	SW	0.5
西門	2011/4/21 6:20	27.2	<0.01	曇り	E	0.2
西門	2011/4/21 6:30	27.2	<0.01	晴れ	SW	0.3
西門	2011/4/21 6:40	27.2	<0.01	晴れ	NW	0.3
西門	2011/4/21 6:50	27.2	<0.01	晴れ	E	0.7
西門	2011/4/21 7:00	27.1	<0.01	晴れ	S	0.9
西門	2011/4/21 7:10	27.1	<0.01	晴れ	WNW	1.0
西門	2011/4/21 7:20	27.2	<0.01	晴れ	E	1.0
西門	2011/4/21 7:30	27.3	<0.01	晴れ	E	1.1
西門	2011/4/21 7:40	27.2	<0.01	晴れ	SE	1.5
西門	2011/4/21 7:50	27.2	<0.01	晴れ	E	2.1
西門	2011/4/21 8:00	27.1	<0.01	晴れ	E	2.2
西門	2011/4/21 8:10	27.1	<0.01	晴れ	E	1.9
西門	2011/4/21 8:20	27.1	<0.01	晴れ	ESE	2.2
西門	2011/4/21 8:30	27.0	<0.01	晴れ	E	2.3
西門	2011/4/21 8:40	27.0	<0.01	晴れ	SE	2.4
西門	2011/4/21 8:50	27.0	<0.01	晴れ	E	2.0
西門	2011/4/21 9:00	27.0	<0.01	晴れ	E	2.5
西門	2011/4/21 9:10	26.9	<0.01	晴れ	SE	2.7
西門	2011/4/21 9:20	27.0	<0.01	晴れ	E	2.0
西門	2011/4/21 9:30	27.0	<0.01	晴れ	E	2.6
西門	2011/4/21 9:40	27.0	<0.01	晴れ	E	2.8
西門	2011/4/21 9:50	27.0	<0.01	晴れ	SE	2.2
西門	2011/4/21 10:00	26.9	<0.01	晴れ	ESE	1.7
西門	2011/4/21 10:10	26.9	<0.01	晴れ	SE	1.8
西門	2011/4/21 10:20	27.0	<0.01	晴れ	SE	1.9
西門	2011/4/21 10:30	27.0	<0.01	晴れ	NE	1.8
西門	2011/4/21 10:40	27.0	<0.01	晴れ	E	2.6
西門	2011/4/21 10:50	26.9	<0.01	晴れ	E	3.3
西門	2011/4/21 11:00	26.9	<0.01	晴れ	E	3.0

福島第一原子力発電所　モニタリング結果(可搬型MP)

日時	事務本館南側 線量率 (μSv/h)	正門 線量率 (μSv/h)	西門 線量率 (μSv/h)
2011/4/20 17:30	485	60	24
2011/4/20 18:00	485	60	23
2011/4/20 18:30	483	60	24
2011/4/20 19:00	487	60	24
2011/4/20 19:30	487	60	24
2011/4/20 20:00	489	60	24
2011/4/20 20:30	490	60	24
2011/4/20 21:00	491	60	24
2011/4/20 21:30	488	60	24
2011/4/20 22:00	485	60	24
2011/4/20 22:30	489	60	24
2011/4/20 23:00	489	59	24
2011/4/20 23:30	489	60	24
2011/4/21 0:00	486	59	24
2011/4/21 0:30	490	60	24
2011/4/21 1:00	490	60	24
2011/4/21 1:30	493	59	24
2011/4/21 2:00	489	60	24
2011/4/21 2:30	489	59	24
2011/4/21 3:00	492	60	24
2011/4/21 3:30	493	59	24
2011/4/21 4:00	489	60	24
2011/4/21 4:30	489	60	24
2011/4/21 5:00	491	60	24
2011/4/21 5:30	493	59	24
2011/4/21 6:00	490	60	24
2011/4/21 6:30	488	60	24
2011/4/21 7:00	494	60	24
2011/4/21 7:30	494	60	24
2011/4/21 8:00	489	60	23
2011/4/21 8:30	489	60	24
2011/4/21 9:00	486	60	23
2011/4/21 9:30	485	60	23
2011/4/21 10:00	484	60	23
2011/4/21 10:30	481	60	23
2011/4/21 11:00	484	59	23


福島第一原子力発電所敷地内の線量率
（モニタリングカーによる測定値）
μSv/h
200.0
180.0
160.0
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
西門付近
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
16:00
18:00
20:00
22:00
0:00
2:00
4:00
6:00
8:00
10:00
12:00
14:00
4月20日
4月21日

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

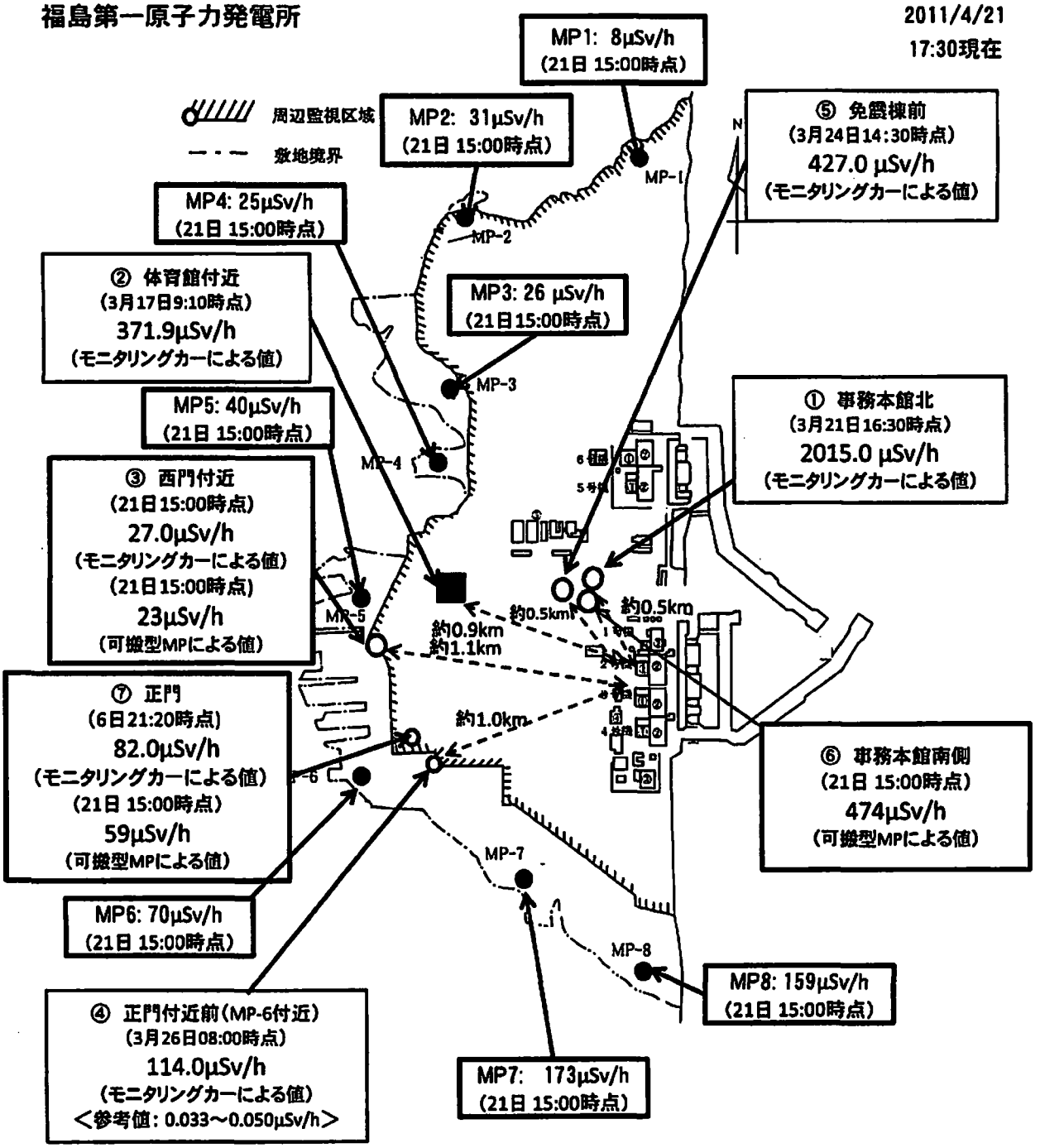
日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 11:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:20	8	32	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:40	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:50	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 12:00	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 12:10	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 12:20	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 12:30	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 12:40	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 12:50	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 13:00	8	31	27	25	40	70	173	156
2011/4/21 13:10	8	31	27	25	40	70	173	158
2011/4/21 13:20	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 13:30	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 13:40	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 13:50	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:00	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:10	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:20	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:30	8	31	27	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:40	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 14:50	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 15:00	8	31	26	25	40	70	173	159

福島第一原子力発電所　モニタリングポスト空間線量率（μSv/h）

日時	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8
2011/4/21 5:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 5:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 6:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 7:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 8:40	8	31	26	25	40	70	173	159
2011/4/21 8:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:00	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:10	8	31	27	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 9:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:00	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:10	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:20	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:30	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:40	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 10:50	8	31	26	25	40	71	173	159
2011/4/21 11:00	8	31	26	25	40	71	173	159

福島第一原子力発電所

2011/4/21
17:30現在



福島第二MP及びMS情報

単位：μSv／h　　単位m／s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 11:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南南東	4.7	晴れ
2011/4/21 11:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南南東	6.3	–
2011/4/21 11:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南南東	6.3	–
2011/4/21 11:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南南東	5.6	晴れ
2011/4/21 11:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南南東	6.8	–
2011/4/21 11:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	4.6	–
2011/4/21 12:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.5	晴れ
2011/4/21 12:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.7	–
2011/4/21 12:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	6.1	–
2011/4/21 12:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.9	晴れ
2011/4/21 12:40	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	6.3	–
2011/4/21 12:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	6.3	–
2011/4/21 13:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.8	晴れ
2011/4/21 13:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.9	–
2011/4/21 13:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.2	–
2011/4/21 13:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.3	晴れ
2011/4/21 13:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.6	–
2011/4/21 13:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.2	–
2011/4/21 14:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.7	晴れ
2011/4/21 14:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.5	–
2011/4/21 14:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.0	–
2011/4/21 14:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.7	晴れ
2011/4/21 14:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	5.0	–
2011/4/21 14:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	東南東	6.0	–
2011/4/21 15:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	–	南東	5.1	晴れ

福島第二MP及びMS情報

単位：μSv／h　　単位m／s

日時	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	スタック 風向	スタック 風速	天候
2011/4/21 5:00	2.5	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西北西	0.5	晴れ
2011/4/21 5:10	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:20	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	西	0.3	－
2011/4/21 5:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	北東	1.1	晴れ
2011/4/21 5:40	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南西	0.3	－
2011/4/21 5:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	－
2011/4/21 6:00	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.5	晴れ
2011/4/21 6:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.7	－
2011/4/21 6:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.9	－
2011/4/21 6:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.2	晴れ
2011/4/21 6:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.3	－
2011/4/21 6:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.7	－
2011/4/21 7:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	2.8	晴れ
2011/4/21 7:10	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南西	3.8	－
2011/4/21 7:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	3.0	－
2011/4/21 7:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	2.9	晴れ
2011/4/21 7:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.3	－
2011/4/21 7:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.1	－
2011/4/21 8:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.2	晴れ
2011/4/21 8:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	3.6	－
2011/4/21 8:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南東	3.3	－
2011/4/21 8:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	4.9	晴れ
2011/4/21 8:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	5.3	－
2011/4/21 8:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	5.7	－
2011/4/21 9:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	1.5	南南東	5.6	晴れ
2011/4/21 9:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	6.2	－
2011/4/21 9:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	6.3	－
2011/4/21 9:30	2.4	1.8	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	6.6	晴れ
2011/4/21 9:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	6.6	－
2011/4/21 9:50	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	7.0	－
2011/4/21 10:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	6.8	晴れ
2011/4/21 10:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	7.5	－
2011/4/21 10:10	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南	7.5	－
2011/4/21 10:20	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	7.0	－
2011/4/21 10:30	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	7.1	晴れ
2011/4/21 10:40	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	7.7	－
2011/4/21 10:50	2.5	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	6.3	－
2011/4/21 11:00	2.4	1.9	2.6	2.1	2.1	2.1	－	南南東	4.7	晴れ

福島第二原子力発電所

2011/4/21
17:30現在

MP1:2.4μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.035～0.054μSv/h)

MP2:1.9μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.042～0.062μSv/h)

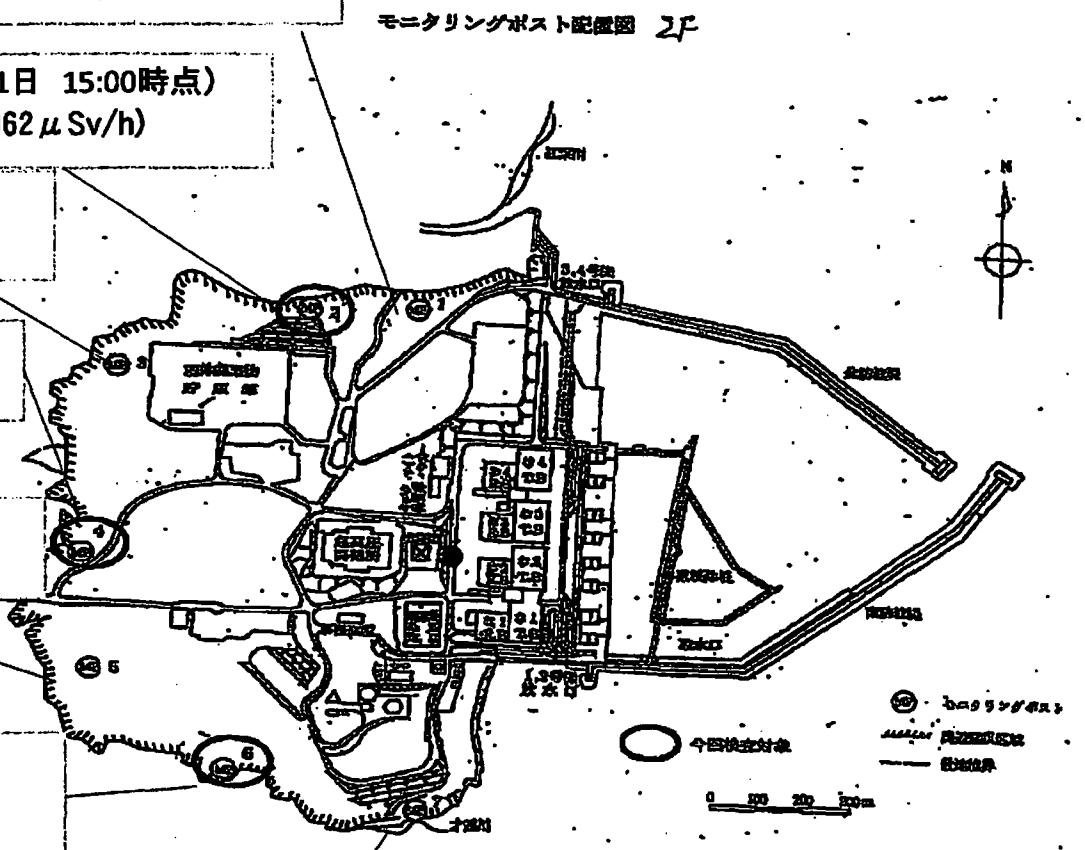
MP3:2.6μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP4:2.1μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.036～0.052μSv/h)

MP5:2.1μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.041～0.058μSv/h)

MP6:2.1μSv/h(21日　15:00時点)
(参考値:0.044～0.063μSv/h)

MP7：1.5μSv/h(21日　9:00時点)
(参考値:0.043～0.062μSv/h)



各発電所等の環境モニタリング結果

単位：μSv/h

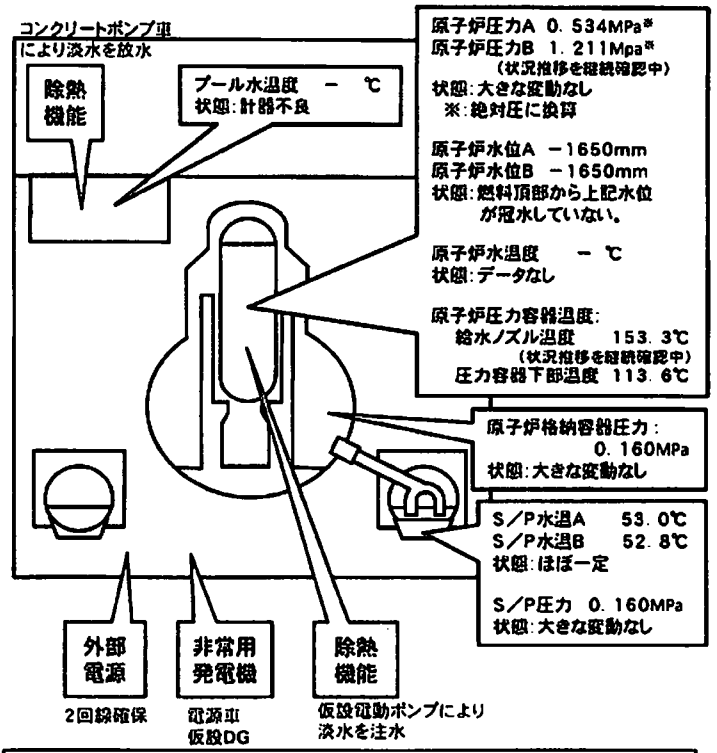
通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月20日											
			12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0.023～0.027	北海道電力㈱	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.033	0.032	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033
0.024～0.060	東北電力㈱	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
0.033～0.050	東京電力㈱	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.065	0.065	0.065	0.064	0.064	0.066	0.064	0.065	0.064	0.064	0.064	0.065
0.036～0.053	日本原子力発電㈱	東海第二発電所	0.341	0.343	0.337	0.339	0.337	0.336	0.338	0.333	0.336	0.333	0.333	0.335
0.039～0.110		敦賀発電所	0.071	0.071	0.072	0.072	0.070	0.071	0.072	0.072	0.073	0.071	0.072	0.072
0.064～0.108	中部電力㈱	浜岡原子力発電所	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043
0.0207～0.132	北陸電力㈱	志賀原子力発電所	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.031	0.032	0.031	0.032	0.032	0.032	0.032
0.028～0.130	中国電力㈱	島根原子力発電所	0.030	0.029	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029	0.029	0.029	0.028
0.070～0.077	関西電力㈱	美浜発電所	0.072	0.072	0.072	0.072	0.073	0.071	0.071	0.072	0.072	0.072	0.072	0.072
0.045～0.047		高浜発電所	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042
0.036～0.040		大飯発電所	0.034	0.034	0.034	0.034	0.033	0.032	0.034	0.034	0.034	0.034	0.034	0.035
0.011～0.080	四国電力㈱	伊方発電所	0.013	0.014	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.014	0.013	0.013
0.023～0.087	九州電力㈱	玄海原子力発電所	0.025	0.026	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.037	0.036	0.039	0.037	0.033	0.036	0.035	0.037	0.039	0.037	0.038	0.037
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016	0.015	0.016
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.021	0.021	0.022	0.021	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

通常の平常値の範囲	会社名	発電所名	4月21日											
			0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00
0.023～0.027	北海道電力㈱	泊発電所	0.033	0.033	0.033	0.034	0.035	0.035	0.034	0.033	0.033	0.033		
0.024～0.060	東北電力㈱	女川原子力発電所	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
0.012～0.060		東通原子力発電所	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016		
0.033～0.050	東京電力㈱	福島第一原子力発電所※	※ 別途公表済											
0.036～0.052		福島第二原子力発電所												
0.011～0.159		柏崎刈羽原子力発電所	0.065	0.064	0.065	0.066	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		
0.036～0.053	日本原子力発電㈱	東海第二発電所	0.337	0.337	0.334	0.335	0.336	0.333	0.334	0.334	0.336	0.337		
0.039～0.110		敦賀発電所	0.074	0.072	0.073	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072		
0.064～0.108	中部電力㈱	浜岡原子力発電所	0.043	0.042	0.042	0.043	0.042	0.042	0.043	0.043	0.043	0.043		
0.0207～0.132	北陸電力㈱	志賀原子力発電所	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032		
0.028～0.130	中国電力㈱	島根原子力発電所	0.029	0.031	0.029	0.030	0.031	0.030	0.029	0.030	0.031	0.030		
0.070～0.077	関西電力㈱	美浜発電所	0.071	0.073	0.072	0.072	0.073	0.072	0.072	0.072	0.073	0.072		
0.045～0.047		高浜発電所	0.042	0.042	0.042	0.042	0.041	0.042	0.042	0.043	0.044	0.044		
0.036～0.040		大飯発電所	0.035	0.036	0.036	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.036		
0.011～0.080	四国電力㈱	伊方発電所	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014		
0.023～0.087	九州電力㈱	玄海原子力発電所	0.026	0.027	0.025	0.027	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026		
0.034～0.120		川内原子力発電所	0.038	0.038	0.040	0.038	0.039	0.038	0.035	0.034	0.040	0.042		
0.009～0.069	日本原燃(株)	六ヶ所 再処理事業所	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016		
0.009～0.071		六ヶ所 埋設事業所	0.022	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022	0.022		

注）中部電力(株)からの4月1日12時データより、宇宙線寄与分を加算しない値で報告を受けています。

福島第一原子力発電所1号機の状況
（4月21日　13:00現在）

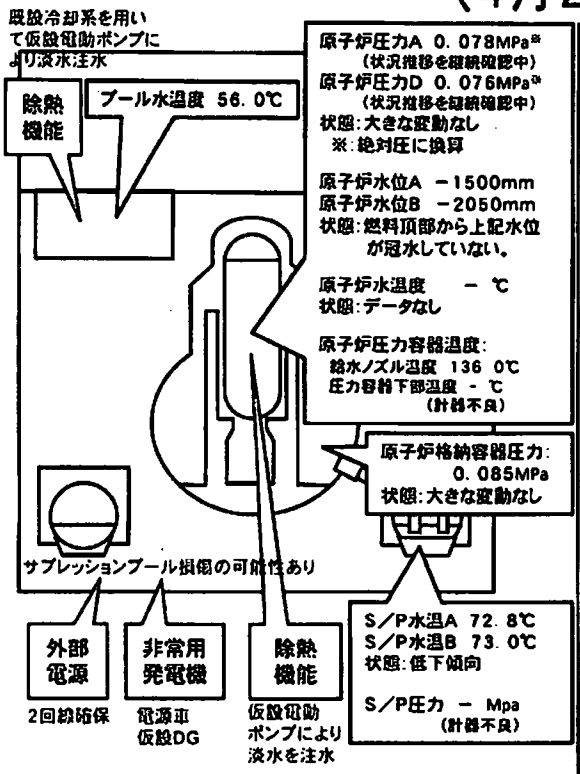


現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/11　16:36　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/12　01:20　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/12　10:17　ベント開始
3/12　15:36　爆発音
3/12　20:20　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/23　02:33　消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量（$2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$）。9:00に給水系のみに切替（$18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$）
3/24　11:30　中央制御室の照明復帰
3/25　15:37　淡水の炉心注水開始
3/29　08:32　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/31　12:00～4/2 15:26　復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送開始
3/31　13:03～16:04 コンクリートポンプ車による放水（淡水）
4/3　12:02　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3　13:55　復水器からCSTへ移送開始
4/6　22:30　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/7　01:31　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/9　04:10　原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
4/10　09:30　復水器からCSTへの移送完了
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
4/11　17:56　外部電源復旧
4/11　18:04　炉心注水再開
4/11　23:19　原子炉格納容器への窒素封入操作開始
4/11　23:34　原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
4/17　16:00～17:30　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　11:50～12:12　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

福島第一原子力発電所2号機の状況
（4月21日　13:00現在）



現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

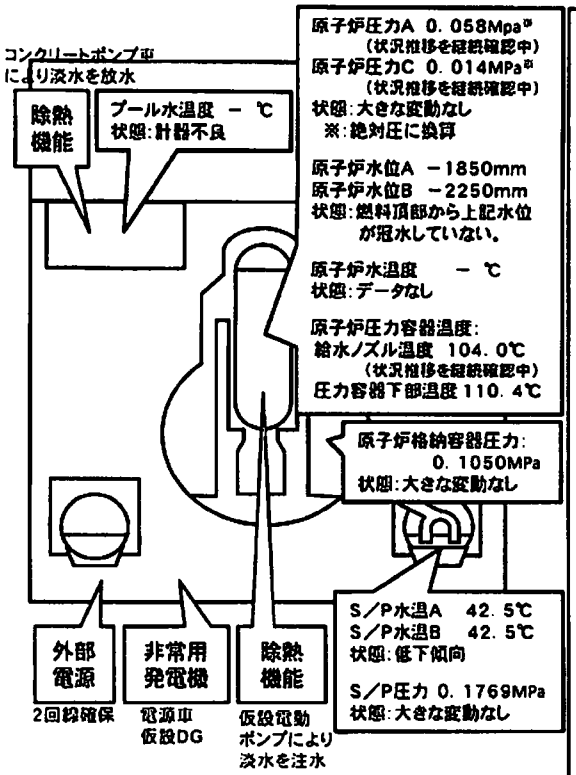
主要な出来事1/2

3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
3/11 15:42 10条通報（全交流電源喪失）
3/11 16:36 15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13 11:00 ベント開始
3/14 13:25 15条事象の発生（原子炉冷却機能喪失）
3/14 16:34 海水の炉心注水開始
3/14 22:50 15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/15 00:02 ベント開始
3/15 06:10 爆発音発生
3/15 06:20頃 サプレッションプール（圧力抑制室）損傷の可能性あり
3/20 15:05～17:20 使用済燃料プール冷却系（FPC）から使用済燃料プール（SFP）に海水を注水
3/20 15:46 パワーセンター受電
3/21 18:22 白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/22 16:07 SFPに海水を注水
3/25 10:30～12:19 FPCからSFPに海水を注水
3/26 10:10 淡水の炉心注水開始
3/26 16:46 中央制御室の照明復帰
3/27 18:31 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29 16:30～18:25 仮設電動ポンプでの淡水のSFP注水に切替
3/29 16:45～4/1 11:50 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/30 09:25～23:50 SFPへ注水していたところ、仮設電動ポンプの不調を確認（9:45）。消防ポンプに切替えて注水するが、ホース破損が確認（12:47,13:10）されたため、注水中断。19:05に淡水注水を再開
4/1 14:56～17:05 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/2 09:30頃 取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、水が流出していることを確認
4/2 17:10 復水器からCSTへ移送開始
4/3 12:12 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3 13:47～14:30 ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、裁断処理した新聞紙3袋を投入
4/4 07:08～07:11 トレーサー（入浴剤）約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/4 11:05～13:37 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/5 14:15 トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注入開始
4/6 05:38頃 ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/7 13:29～14:34 FPCからSFPに仮設電動ポンプにより淡水注水
4/9 13:10 復水器からCSTへの移送完了
4/10 10:37～12:38 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/11 17:16頃 地震発生（福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11 17:56 外部電源復旧
4/11 18:04 炉心注水再開

主要な出来事2/2

4/12 19:35～4/13 17:04 タービン建屋トレンチから復水器への移送
4/13 11:00 溜えい確認等のため一時停止
4/13 13:15～14:55 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水
4/16 10:13～11:54 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水（11:19頃発生した地震の影響で、11:39に仮設電動ポンプ停止。11:54にスキマーレベルの上昇の確認により溜水を確認。）
4/16 11:19頃 地震発生（茨城県南部）
4/18 13:42～ 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18 12:13～12:37 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18 9:30～17:40 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 8:00～15:30 電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を注入
4/19 10:08 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ高線量滞留水の移送開始
4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
4/19 16:08～17:28 FPCからSFPへ仮設電動ポンプにより淡水注水

福島第一原子力発電所3号機の状況
（4月21日　13:00現在）



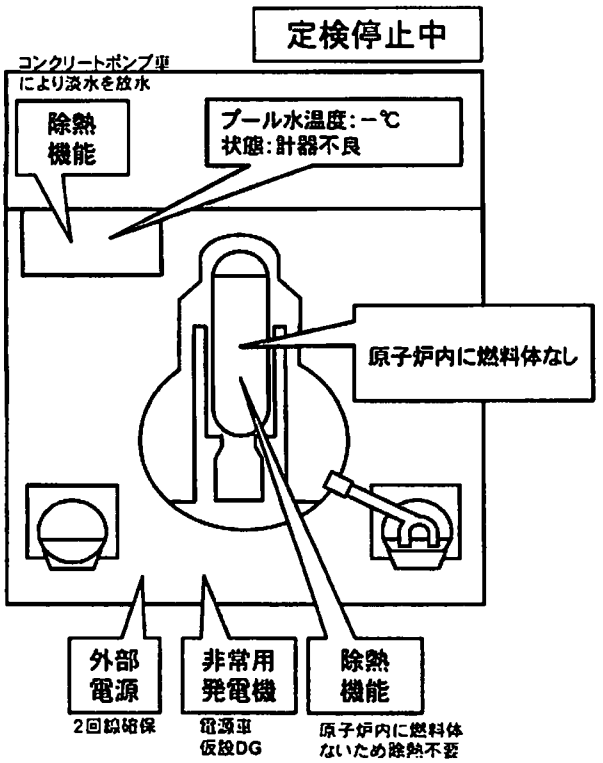
現状：プール及び炉心への淡水注入を継続

主要な出来事

3/11　14:46　運転中、地震により自動停止
3/11　15:42　10条通報（全交流電源喪失）
3/13　05:10　15条事象の発生（非常用炉心冷却装置注水不能）
3/13　08:41　ベント開始
3/13　13:12　海水及びホウ酸の炉心注水開始
3/14　05:20　ベント開始
3/14　07:44　15条事象の発生（格納容器圧力異常上昇）
3/14　11:01　爆発音
3/16　08:30頃　白煙が発生
3/17　09:48～10:01　自衛隊ヘリによる放水
3/17　19:05～19:15　警察の高圧放水車による放水
3/17　19:35～20:09　自衛隊の消防車により放水
3/18　14時前～14:38　自衛隊消防車6台による地上放水～14:45　米軍消防車1台による地上放水
3/19　0:30～01:10　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/19　14:10～3/20　03:40　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/20　11:00　格納容器内圧力が上昇（320kPa）。その後、低下
3/20　21:36～3/21　03:58　東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
3/21　15:55頃　灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
3/22　15:10～16:00　東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
3/22　22:46　中央制御室の照明復帰
3/23　11:03-13:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
3/23　16:20頃　黒煙が発生。23:30頃及び3/24　04:50に煙の発生が止んでいることを確認
3/24　05:35～16:05　FPCからSFPに海水を注水
3/25　13:28～16:00　東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
3/25　18:02　淡水の炉心注水開始
3/27　12:34～14:36 コンクリートポンプ車による放水（海水）
3/28　17:40～3/31　08:40頃 復水貯蔵タンク（CST）からサプレッションプール水サージタンク（SPT）へ移送
3/28　20:30　仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
4/3　12:18　仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/11　17:16頃　地震発生（福島県浜通り）による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
4/11　18:04　1,2号機の外部電源復旧（4/11 17:56）により、炉心注水再開
4/17　11:30～14:00　原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18　12:38～13:05　炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/29　14:17～18:18、3/31　16:30～19:33、4/2　09:52～12:54、4/4　17:03～19:19、4/7　06:53～8:53
4/8　17:06～20:00、4/10　17:15～19:15、4/12　16:26～17:16、4/14　15:56～16:32、4/18　14:17～15:02

福島第一原子力発電所4号機の状況
（4月21日　13:00現在）



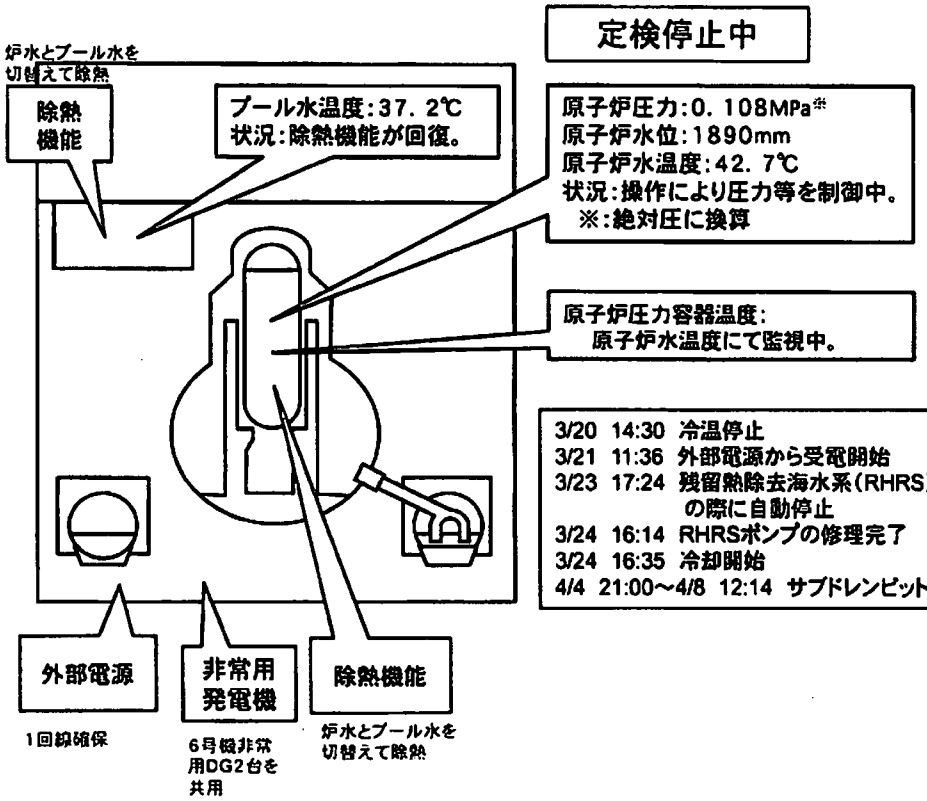
現状：原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの淡水注入を継続

主要な出来事

地震発生時、定期検査により停止中
3/14　04:08　使用済燃料プール温度84℃
3/15　06:14　4Fの壁が一部破損の確認
3/15　09:38　3階部分で火災(12:25鎮火)
3/16　05:45　4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
3/20　08:21～09:40　自衛隊による使用済燃料プール（SFP）への放水
3/20　18:30頃 ～ 19:46　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　06:37～08:41　自衛隊によるSFPへの放水
3/21　15:00頃　パワーセンターまでのケーブル敷設完了
3/22　10:35　パワーセンター受電
＜コンクリートポンプ車による放水（海水）＞
3/22　17:17～20:32、3/23　10:00～13:02、3/24　14:36～17:30、3/25　19:05～22:07、
3/27　16:55～19:25
3/25　06:05～10:20　使用済燃料プール冷却系（FPC）からSFPに海水を注入
3/29　11:50　中央制御室の照明復帰
4/12　12:00～13:04　SFP内の水のサンプリング作業を実施
4/19　10:23　1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

＜コンクリートポンプ車による放水（淡水）＞
3/30　14:04～18:33、4/1　08:28～14:14、4/3　17:14～22:16、4/5　17:35～18:22、
4/7　18:23～19:40、4/9　17:07～19:24、4/13　0:30～6:57、4/15　14:30～18:29、
4/17 17:39～21:22、4/19　10:17～11:35、4/20　17:08～20:31

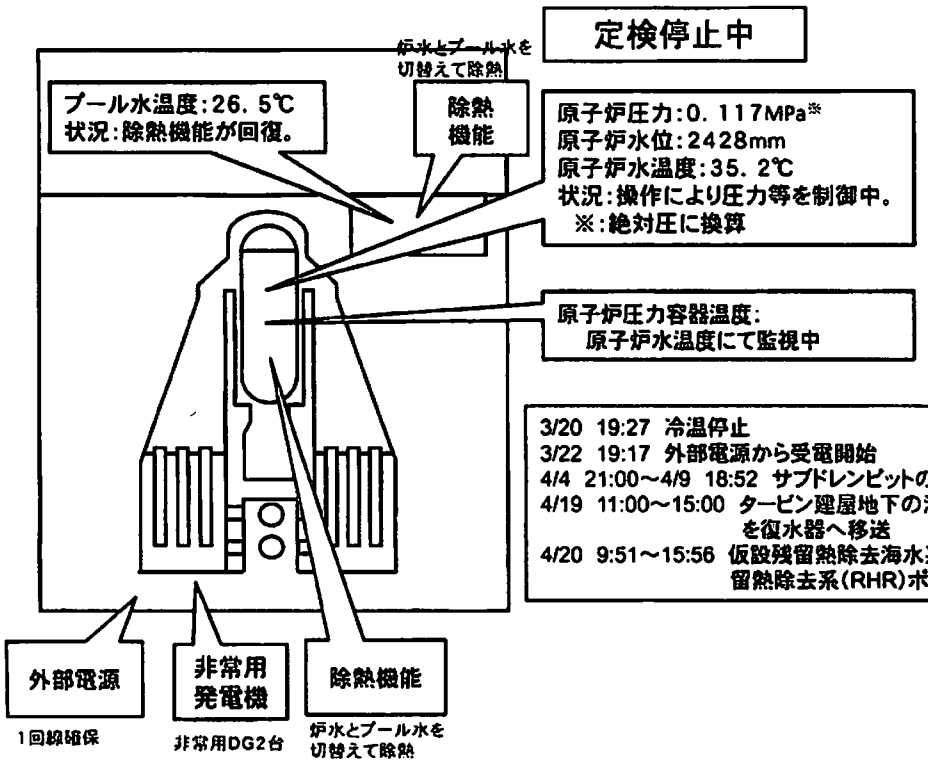
福島第一原子力発電所5号機の状況
（4月21日　13:00現在）



主要な出来事

3/20　14:30　冷温停止
3/21　11:36　外部電源から受電開始
3/23　17:24　残留熱除去海水系(RHRS)ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際に自動停止
3/24　16:14　RHRSポンプの修理完了
3/24　16:35　冷却開始
4/4　21:00～4/8　12:14　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約950t)

福島第一原子力発電所6号機の状況
（4月21日　13:00現在）



主要な出来事

3/20　19:27　冷温停止
3/22　19:17　外部電源から受電開始
4/4　21:00～4/9　18:52　サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約373t)
4/19　11:00～15:00　タービン建屋地下の溜まり水の量を調査するため、当該溜まり水を復水器へ移送
4/20　9:51～15:56　仮設残留熱除去海水系(RHRS)のホースの位置を変更するため、残留熱除去系(RHR)ポンプを一時停止

【留意事項】
各計測器については、地震やその後の事象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ（水位・圧力・温度などのデータ）

4月21日　13:00現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
原子炉注水状況	給水ラインを用いた淡水注入中。 流量 6m³/h （4/3 17:30）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 7m³/h （4/15 17:00）仮設計器	消火系ラインを用いた淡水注入中。 流量 6.8m³/h （4/21 11:25）仮設計器	-	※2 （原子炉の除熱機能が維持されており、注水不要）	
原子炉水位	燃料域A：−1650mm 燃料域B：−1650mm （4/21 12:00 現在）	燃料域A：−1500mm 燃料域B：−2050mm （4/21 12:00 現在）	燃料域A：−1850mm 燃料域B：−2250mm （4/21 12:00 現在）		停止域 1890mm （4/21 13:00 現在）	停止域 2428mm （4/21 13:00 現在）
原子炉圧力	A系 0.433MPa g（A） B系 1.110MPa g（B）　※3 （4/21 12:00 現在）	A系−0.023MPa g（A）※3 B系−0.026MPa g（D）※3 （4/21 12:00 現在）	A系−0.043MPa g（A）※3 B系−0.087MPa g（C）※3 （4/21 12:00 現在）		0.007MPa g （4/21 13:00 現在）	0.016MPa g （4/21 13:00 現在）
原子炉水温度	（系統流量がないため採取不可）				42.7℃ （4/21 13:00 現在）	35.2℃ （4/21 13:00 現在）
原子炉圧力容器まわり温度	給水ノズル温度：153.3℃ ※3 圧力容器下部温度：113.6℃ （4/21 12:00 現在）	給水ノズル温度：136.0℃ 圧力容器下部温度：※1 （4/21 12:00 現在）	給水ノズル温度：104.0℃ ※3 圧力容器下部温度：110.4℃ （4/21 12:00 現在）	※2 （全燃料取出中につき監視対象外）	※2（原子炉水温度にて監視中）	
D/W-S/C 圧力	D/W　0.160MPa abs S/C　0.160MPa abs （4/21 12:00 現在）	D/W　0.085MPa abs S/C　※1 （4/21 12:00 現在）	D/W　0.1050MPa abs S/C　0.1769MPa abs （4/21 12:00 現在）		※2 （原子炉の除熱機能が維持されているため監視対象外）	
D/W 雰囲気温度	RPV ベローシール：117.3℃ HVH 戻り：96.8℃ （4/21 12:00 現在）	RPV ベローシール：※1 HVH 戻り：126℃ （4/21 12:00 現在）	RPV ベローシール：192.6℃※3 HVH 戻り：69.4℃ （4/21 12:00 現在）			
CAMS 放射線モニタ	D/W（A）※1 （B）※1 S/C（A）9.96×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.96×10^{0}Sv/h ※3 （4/21 12:00 現在）	D/W（A）2.46×10^{1}Sv/h （B）2.79×10^{1}Sv/h S/C（A）5.34×10^{-1}Sv/h ※3 （B）1.14×10^{2}Sv/h ※3 （4/21 12:00 現在）	D/W（A）1.54×10^{1}Sv/h （B）1.15×10^{1}Sv/h S/C（A）5.77×10^{-1}Sv/h ※3 （B）5.37×10^{-1}Sv/h ※3 （4/21 12:00 現在）			
S/C 温度	A系：53.0℃ B系：52.8℃ （4/21 12:00 現在）	A系：72.8℃ B系：73.0℃ （4/21 12:00 現在）	A系：42.5℃ B系：42.5℃ （4/21 12:00 現在）			
D/W 設計使用圧力	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	0.384MPa g（0.485MPa abs）	-	-	
D/W 最高使用圧力	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）	0.427MPa g（0.528MPa abs）			
使用済燃料プール温度	※1	56.0℃ （4/21 12:00 現在）	※1	※1	37.2℃ （4/21 13:00 現在）	26.5℃ （4/21 13:00 現在）
FPC スキマーサージタンクレベル	4500mm （4/21 12:00 現在）	4350mm （4/21 12:00 現在）	※1	4200mm （4/21 12:00 現在）	※2	
電源	外部電源受電中（P/C2C）		外部電源受電中（P/C4D）		外部電源受電中	
その他情報	・3号機　注水流量の低下が確認されたため、ポンプの流量調整を実施。			共用プール：30℃程度 （4/20 8:00）	5u：非常モード （4/21 10:10～）	6u：SHC モード （4/21 9:45～）

圧力換算　ゲージ圧(MPa g) ＝ 絶対圧(MPa abs) − 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)
絶対圧(MPa abs) ＝ ゲージ圧(MPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 0.1013 MPa)

※1：計器不良
※2：データ採取対象外
※3：状況推移を継続確認中

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２３年４月２１日
原子力安全・保安院

地震被害情報（第１０６報）
（４月２１日１５時３０分現在）

原子力安全・保安院が現時点で把握している東京電力(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、東北電力㈱女川原子力発電所、日本原子力発電（株）東海第二、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

前回からの主な変更点は以下のとおり。

１．原子力発電所関係

○福島第一原子力発電所

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 21 日 11:43～12:50）

２．産業保安関係

別紙参照

２．原子力安全・保安院等の対応

【4 月 21 日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

➢ 避難区域として、福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内区域から半径８ｋｍ圏内区域への変更を指示。

・内閣総理大臣より、福島県知事、富岡町長、双葉町長、大熊町長、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長及び葛尾村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

➢ 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。

＜住民避難の状況（4月21日15:30現在）＞

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第二原子力発電所で発生した事故に関する避難区域を福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内から半径８ｋｍ圏内に変更するよう指示。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。（警戒区域の発動日時：4月22日0:00）

（別紙）

1　発電所の運転状況【自動停止号機数：１０基】

○東京電力(株)福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町及び双葉町）

（１）運転状況

１号機（46 万 kW）（自動停止）

２号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

３号機（78 万 4 千 kW）（自動停止）

４号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中）

５号機（78 万 4 千 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 14:30 冷温停止）

６号機（110 万 kW）（定検により停止中、3 月 20 日 19:27 冷温停止）

（２）モニタリングの状況

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 21 日 13:00 現在）

	１号機	２号機	３号機	４号機	５号機	６号機
原子炉圧力*1 [MPa]	0.534(A) 1.211(B)	0.078(A) 0.076(D)	0.058(A) 0.014(C)	－	0.108	0.117
原子炉格納容器圧力 (D/W) [kPa]	160	85	105.0	－	－	－
原子炉水位*2 [mm]	-1650(A) -1650(B)	-1500(A) -2050(B)	-1850(A) -2250(B)	－	1890	2428
原子炉格納容器内 S/C 水温 [℃]	53.0(A) 52.8(B)	72.8(A) 73.0(B)	42.5(A) 42.5(B)	－	－	－
原子炉格納容器内 S/C 圧力 [kPa]	160	計器不良	176.9	－	－	－
使用済燃料プール 水温度 [℃]	計器不良	56.0	計器不良	計器不良	37.2	26.5
備　考	4/21 12:00 現在の値	4/21 12:00 現在の値	4/21 12:00 現在の値	4/21 現在	4/21 13:00 現在の値	4/21 13:00 現在の値

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラント等の状況

＜１号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3 月 11 日 16:36）

・ベント開始（3 月 12 日 10:17）

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水を注水開始（3 月 12 日 20:20）

→一時中断（3 月 14 日 1:10）
・１号機で爆発音（3 月 12 日 15:36）
・消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量を増量（2m^3/h→18m^3/h）（3 月 23 日 2:33）。その後、給水系のみに切替（約 11m^3/h）（3 月 23 日 9:00）
・中央制御室の照明復帰（3 月 24 日 11:30）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始。（3 月 25 日 15:37）
・タービン建屋地下の溜まり水を測定した結果、主な核種として ^{131}I（ヨウ素）が 2.1×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.8×10^{6}Bq/cm^3、検出
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 29 日 8:32）
・タービン建屋地下の溜まり水を、3 月 24 日 17 時頃から復水器へ移送開始。復水器の水位が満水に近いことが確認されたため、復水器への排水を停止（3 月 29 日 7:30）。タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水を、サプレッションプール水サージタンク（Ａ）へ移送開始（3 月 31 日 12:00）し、移送先をサプレッションプール水タンクへ（Ｂ）に切り替えた後（3 月 31 日 15:25）、移送を再開し、終了した（4 月 2 日 15:26）
・使用済燃料プールについて、コンクリートポンプ車（62m 級）が約 90t 放水（淡水）（3 月 31 日 13:03～16:04）。コンクリートポンプ車（62m 級）による放水位置の確認のため、試験放水（4 月 2 日 17:16～17:19）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:42～11:52）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 3 日 13:55）
・原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を下げることを目的として、原子炉格納容器への窒素封入操作開始（4 月 6 日 22:30）
・原子炉格納容器への窒素封入開始を確認（4 月 7 日 1:31）
・原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替（4 月 9 日 4:10）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 10 日 09:30）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水及び原子炉格納容器への窒素封入が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水再開（4 月 11 日 18:04）
・原子炉格納容器への窒素封入を開始（4 月 11 日 23:34）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 17 日 16:00

～17:30)

・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4月18日11:50～12:12)

・白煙の吐出確認できず（4月21日6:30現在）

・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日15:30現在）

＜２号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月11日16:36)

・ベント開始（3月13日11:00)

・３号機の建屋の爆発に伴い、原子炉建屋ブローアウトパネル開放（3月14日11:00過ぎ)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日13:18)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信（3月14日13:49)

・原子炉圧力容器内に消火系ラインを用いて海水の注水作業開始（3月14日16:34)

・原子炉圧力容器の水位が低下傾向（3月14日22:50)

・ベント開始（3月15日0:02)

・２号機で爆発音するとともに、サプレッションプール（圧力抑制室）の圧力低下（3月15日6:10)。同室に異常が発生したおそれ（3月15日6:20頃)

・外部送電線から予備電源変電設備までの受電を完了し、そこから負荷側へのケーブル敷設を実施（3月19日13:30)

・使用済燃料プールに海水を40ｔ注水（冷却系配管に消防車のポンプを接続）（3月20日15:05～17:20)

・パワーセンター受電（3月20日15:46)

・白煙が発生（3月21日18:22)

・白煙はほとんど見えない程度に減少（3月22日7:11現在）

・使用済燃料プールに海水を18ｔ注水（3月22日16:07～17:01)

・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日10:30～12:19)

・原子炉圧力容器への淡水の注水開始（3月26日10:10)

・中央制御室の照明復帰（3月26日16:46)

・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3月27日18:31)

・3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について、^{134}I（ヨウ素）の測定値に誤りがあるとの判断を踏まえた再度の採取及び分析・評価の結果、^{134}I（ヨウ素）を含むガンマ核種の濃度については、検出限界値未満であることの報告（3月28日0:07)

・消防ポンプによる海水の使用済燃料プールへの注水を仮設電動ポンプによる淡水に切り替え注水（3 月 29 日 16:30～18:25）
・30 日 9:25 より使用済燃料プールへの注水をしていたところ、仮設電動ポンプの不調が同日 9:45 に確認されたため、消防ポンプによる切り替えを行ったが、ホースの亀裂が確認（3 月 30 日 12:47、13:10）されたため、注水を中断。淡水の注水を再開（3 月 30 日 19:05～23:50）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプにより淡水を約 70t 注水（4 月 1 日 14:56～17:05）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 29 日 16:45～4 月 1 日 11:50）
・取水口付近にある電源ケーブルを収めているピット内に、1,000mSv/h を超える水が溜まっていること及びピット側面のコンクリート部分に長さ約 20cm の亀裂があり、当該部分より、水が海に流出していることを確認（4 月 2 日 9:30 頃）。止水処置のため、コンクリートを注入（4 月 2 日 16:25、19:02）
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送開始（4 月 2 日 17:10）
・トレンチ立坑及びタービン建屋地下 1 階の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:22～12:06）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:12）
・２号機バースクリーン近傍にあるピット内に溜まっている水の海水への流出を防止する措置として、取水電源トレンチの天端を破砕し、おがくず（3kg/袋）20 袋、高分子吸収材（100g/袋）80 袋、裁断処理した新聞紙（大きいゴミ袋）3 袋を投入（4 月 3 日 13:47～14:30）
・トレーサー（乳白色の入浴剤）約 13kg を海水配管トレンチ立坑から投入（4 月 4 日 7:08～7:11）
・使用済燃料プールに、使用済燃料冷却系を用いて仮設電動ポンプによる淡水（約 70ｔ）を注水（4 月 4 日 11:05～13:37）
・２号機バースクリーン近傍のピット周辺に２箇所の穴を開け、トレーサーを注入し、亀裂部から海に流出していることを確認（4 月 5 日 14:15）。ピット周辺に開けた穴に水流出防止のための凝固剤（水ガラス）注入開始（4 月 5 日 15:07）。水の流出が止まったことを確認（4 月 6 日 5:38 頃）また、タービン建屋の水位については、上昇してないことを確認。さらに、流出していた箇所について、ゴム板と治具（つっかえ棒）により止水の対策を実施（4 月 6 日 13:15 完了）

・復水器の水を復水貯蔵タンクに移送するポンプを１台増設（計２台 30m^3/h）（4 月 5 日 15:40 頃）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 36t）（4 月 7 日 13:39～14:34）
・復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了（4 月 9 日 13:10）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 10 日 10:37～12:38）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃）により外部電源が喪失するとともに原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・外部電源復旧（4 月 11 日 17:56）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器のホットウェルへ移送を開始（4 月 12 日 19:35）。漏えい確認等のため、一時停止（4 月 13 日 11:00）。その後、漏えいが無いことが確認されたことから、4 月 13 日 15:02 に移送を再開し、4 月 13 日 17:04 に滞留水の移送を停止。移送実績は約 660 t
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 60t）（4 月 13 日 13:15～14:55）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 45t）（4 月 16 日 10:13～11:54　※11:19 頃に発生した地震の影響で 11:39 に仮設電動ポンプ停止。11:54 にスキマーレベルの上昇の確認により、満水を確認。）
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:13～12:37）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施（4 月 18 日 13:42～14:33）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 17,000L 注入（4 月 18 日 9:30～17:40）
・使用済燃料プール水の状況把握のため、使用済燃料プールからスキマーサージタンクに流出した水のサンプリング作業を実施（4 月 16 日）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行ったその結果、^{131}I（ヨウ素）が 4.1×10^{3}Bq/cm^3、^{134}Cs（セシウム）が 1.6×10^{5}Bq/cm^3、^{137}Cs（セシウム）が 1.5×10^{5}Bq/cm^3 を検出（4 月 17 日）
・タービン建屋内にある滞留水（高線量の滞留水）を集中廃棄物処理施設へ移送開始（4 月 19 日 10:08～）
・使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水を注水（約 47t）（4 月 19 日 16:08～17:28）
・電源トレンチ内に止水剤（水ガラス）を約 7,000L 注入（4 月 19 日 8:00～15:30）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4 月 21 日 15:30 現在）

＜３号機関係＞

・原子力災害対策特別措置法第１５条（非常用炉心冷却装置注水不能）通報（3月13日5:10）
・ベント開始（3月13日8:41）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから真水を注水開始（3月13日11:55）
・原子炉圧力容器内に消火系ラインから海水を注水開始(3月13日13:12)
・３号機及び１号機の注水をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止(3月14日1:10)
・３号機の海水の注水を再開(3月14日3:20)
・ベント開始（3月14日5:20）
・格納容器圧力が異常上昇(3月14日7:44)。原子力災害対策特別措置法第１５条事象である旨、受信（3月14日7:52）
・１号機と同様に原子炉建屋付近で爆発（3月14日11:01）
・白い湯気のような煙が発生（3月16日8:30頃）
・格納容器が破損しているおそれがあるため、中央制御室（共用）から作業員退避（3月16日10:45)。その後、作業員は中央制御室に復帰し、注水作業再開（3月16日11:30）
・自衛隊ヘリにより３号機への海水の投下を４回実施（3月17日9:48、9:52、9:58、10:01）
・警察庁機動隊が放水のため現場到着（3月17日16:10）
・自衛隊消防車により放水（3月17日19:35）
・警察庁機動隊による放水（3月17日19:05～19:13）
・自衛隊消防車５台が放水（3月17日19:35、19:45、19:53、20:00、20:07）
・自衛隊消防車６台（6t放水／台）が放水（3月18日14時前～14:38）
・米軍消防車１台が放水（3月18日14:45終了）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が放水（3月20日3:40終了）
・格納容器内圧力が上昇（3月20日11:00、320kPa)。圧力下げるための準備を進めていたが、直ちに放出を必要とする状況ではないと判断し、圧力監視を継続（3月21日12:15、120kPa）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・東京消防庁ハイパーレスキュー隊が３号機の使用済燃料プールに放水（3月20日21:30～3月21日3:58）
・灰色がかった煙が発生（3月21日15:55頃）
・煙が収まっていることを確認（3月21日17:55）
・灰色がかった煙は白みがかった煙に変化し終息に向かっていると思われる(3月22日7:11現在）
・東京消防庁及び大阪市消防局が放水（約180t）（3月22日15:10～16:00）
・中央制御室の照明復帰（3月22日22:43）
・使用済燃料プールに使用済燃料プール冷却系から海水を35t注水（3月23

日 11:03～13:20)。海水を約 120t 注水（3 月 24 日 5:35 頃～16:05 頃）
・原子炉建屋からやや黒色がかった煙が発生（3 月 23 日 16:20 頃)。3 月 23 日 23:30 頃及び 3 月 24 日 4:50 頃に確認したところ止んでいる模様
・タービン建屋１階及び地下１階において、ケーブル敷設作業を行っていた作業員が踏み入れた水について調査した結果、水表面の線量率は約 400mSv/h、採取水のガンマ線核種分析の結果、試料の濃度は各核種合計で約 3.9×10^6Bq/cm^3 であった。
・東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局が放水（3 月 25 日 13:28～16:00）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水開始（3 月 25 日 18:02）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が海水約 100t 放水(3 月 27 日 12:34～14:36)
・タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送する準備のため、復水貯蔵タンクの水をサプレッションプール水サージタンクへ移送（3 月 28 日 17:40～3 月 31 日 8:40 頃）
・消防ポンプによる淡水の原子炉圧力容器への注水を仮設電動ポンプに切り替え（3 月 28 日 20:30）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 100t 放水（3 月 29 日 14:17～18:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 105t 放水（3 月 31 日 16:30～19:33）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 75t 放水（4 月 2 日 9:52～12:54）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4 月 2 日）
・トレンチ立坑の水位を監視するためのカメラを設置（4 月 2 日）
・原子炉圧力容器への淡水の注水に用いている電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切り替えるため、一時的に消防ポンプに切り替えて原子炉へ淡水の注水を実施（4 月 3 日 10:03～12:16）
・原子炉圧力容器への淡水の注水を外部電源に切り替え（4 月 3 日 12:18）
・コンクリートポンプ車(52m 級)が淡水約 70t 放水（4 月 4 日 17:03～19:19）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 70t 放水（4 月 7 日 06:53～08:53）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 75t 放水（4 月 8 日 17:06～20:00）
・コンクリートポンプ車（52m 級）が淡水約 80t 放水（4 月 10 日 17:15～19:15）
・地震発生（4 月 11 日 17:16 頃福島県浜通り）による１、２号機の外部電源喪失に伴い原子炉圧力容器への淡水の注水が停止（4 月 11 日 17:16 頃）
・１、２号機の外部電源の復旧（4 月 11 日 17:56）により、原子炉圧力容器への淡水の注水を再開（4 月 11 日 18:04）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 35t 放水（4 月 12 日 16:26～17:16）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 25t 放水（4 月 14 日 15:56～16:32）
・原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(4 月 17 日 11:30～14:00)
・炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止（4 月 18 日 12:38～13:05）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 30t 放水（4 月 18 日 14:17～15:02）

・引き続き白煙の吐出確認（4月21日6:30現在）
・原子炉圧力容器へ淡水を注水中（4月21日15:30現在）

＜4号機関係＞
・原子炉圧力容器のシュラウド工事中のため、原子炉圧力容器内に燃料はなし
・使用済燃料プール水温度が上昇（3月14日4:08時点84℃）
・オペレーションエリアの壁が一部破損していることを確認（3月15日6:14）
・火災発生（3月15日9:38）。事業者によると、自然に火が消えていることを確認（3月15日11:00頃）
・火災が発生（3月16日5:45頃）。事業者は現場での火災は確認できず（3月16日6:15頃）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日9:43）
・ケーブル引き込みの現地調査（3月20日11:00～16:00）
・自衛隊が使用済燃料プールへ放水（3月20日18:30頃～19:46）
・自衛隊消防車13台が使用済燃料プールに放水（3月21日6:37～8:41）
・パワーセンターまでのケーブル敷設工事完了（3月21日15:00頃）
・パワーセンター受電（3月22日10:35）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月22日17:17～20:32)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約130t放水(3月23日10:00～13:02)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月24日14:36～17:30)
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約150t放水(3月25日19:05～22:07)
・使用済燃料プールに、使用済燃料プール冷却系を用いて海水を注水（3月25日6:05～10:20）
・コンクリートポンプ車(58m級)が海水約125t放水（3月27日16:55～19:25）
・中央制御室の照明復帰（3月29日11:50）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約140t放水（3月30日14:04～18:33）
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月1日8:28～14:14）
・タービン建屋の一部の照明が点灯（4月2日）
・4月2日より、集中環境施設プロセス主建屋の建屋内にたまった水を4号機のタービン建屋内に移送していたところ、4月3日より3号機のトレンチの立坑の水位が上昇したため、経路は不明であるものの念のため移送を中断(4月4日9:22)
・コンクリートポンプ車(58m級)が淡水約180t放水（4月3日17:14～22:16）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約20t放水（4月5日17:35～18:22）
・コンクリートポンプ車（58m級)が淡水約38t放水（4月7日18:23～19:40）
・コンクリートポンプ車（58m級）が淡水約90t放水（4月9日17:07～19:24）
・使用済燃料プール内に保管されている燃料の状況把握のため、使用済燃料プール水のサンプリング作業を実施（4月12日12:00～13:04）。採取したプール水について、放射線物質の核種分析を行った（4月13日）。その結果、^{131}I

（ヨウ素）が 2.2×10^{2}Bq/cm^{3}、^{134}Cs（セシウム）が 8.8×10^{1}Bq/cm^{3}、^{137}Cs（セシウム）が 9.3×10^{1}Bq/cm^{3}、検出（4 月 14 日）

・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 195t 放水（4 月 13 日 0:30～6:57）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 15 日 14:30～18:29）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 140t 放水（4 月 17 日 17:39～21:22）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 40t 放水（4 月 19 日 10:17～11:35）
・コンクリートポンプ車（62m 級）が淡水約 100t 放水（4 月 20 日 17:08～20:31）
・引き続き白煙の吐出確認（4 月 21 日 6:30 現在）

＜５号機，６号機関係＞

・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）１台目（Ｂ）は運転により電力供給。復水補給水系（MUWC）を用いて原子炉圧力容器及び使用済燃料プールへ注水
・６号機の非常用ディーゼル発電機（D/G）２台目（Ａ）起動（3 月 19 日 4:22）
・５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）（3 月 19 日 5:00）及び６号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｂ）（3 月 19 日 22:14）が起動し、除熱機能回復。使用済燃料プールを優先的に冷却（電源：６号の非常用ディーゼル発電機）（3 月 19 日 5:00）
・５号機、冷温停止（3 月 20 日 14:30）
・６号機、冷温停止（3 月 20 日 19:27）
・５号機及び６号機、起動用変圧器まで受電（3 月 20 日 19:52）
・５号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 21 日 11:36）
・６号機、電源を非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替え（3 月 22 日 19:17）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際、自動停止（3 月 23 日 17:24）
・５号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプの修理が完了（3 月 24 日 16:14）し、冷却を再開（3 月 24 日 16:35）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）ポンプが、仮設から本設の電源へ切り替え（3 月 25 日 15:38、15:42）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水（約 1,500t）を放水口経由で海へ放出開始（4 月 4 日 21:00）
・５号機及び６号機サブドレンピットにある低レベルの施設内で集水・管理された地下水を放水口経由で海へ放出（5 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 8 日 12:14(約 950t),6 号機　4 月 4 日 21:00～4 月 9 日 18:52(約 373t)）
・６号機のタービン建屋地下の溜まり水(約 100m^{3}）を復水器へ移送（4 月 19 日 11:00～15:00）
・６号機の仮設の残留熱除去海水系（RHRS）のホースの位置を変えるため、残

留熱除去系（RHR）ポンプを一時停止（4月20日9:51）し、仮設のＲＨＲＳポンプ移設作業実施後、冷却を再開（4月20日15:56）

＜使用済燃料共用プール＞

・3月18日6:00過ぎ、プールはほぼ満水であることを確認
・共用プールに注水（3月21日10:37～15:30）
・電源供給を開始（3月24日15:37）し、冷却を開始（3月24日18:05）
・電源供給回路の末端部の短絡により、電源供給停止（4月17日14:34）。その後、当該設備の点検を実施し、電源の供給が復旧（4月17日17:30）
・4月20日8:00時点でのプール水温度は30℃程度

＜海水・土壌モニタリング＞

・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が7.4×10^{1}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の1850.5倍）検出された（3月26日14:30）
（3月29日に計測した結果、水中濃度限度の3,355.0倍となった。(3月29日 13:55）一方、１Ｆ放水口北側の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が4.6×10^{1}Bq/cm^{3}（同1,262.5倍）検出された。(3月29日14:10)）
・福島第一原子力発電所の敷地内（５地点）の土壌から、3月21日及び3月22日に採取した試料の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（3月28日23:45東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同様、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・発電所敷地境界付近に設置している本設モニタリングポスト（№1～8）が復旧（3月31日）。測定値については１日１回の予定。
・福島第一原子力発電所の敷地内の土壌から、3月25日（４地点）及び3月28日（３地点）に採取した試料（合計７検体）の中に、^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月6日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、前回（3月28日公表）と同様に過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題となるものではない。
・南放水口付近の海水核種分析の結果、^{131}I（ヨウ素）が1.8×10^{2}Bq/cm^{3}（周辺監視区域外の水中濃度限度の4385.0倍）検出された。(3月30日13:55)
・福島第一原子力発電所の敷地内の定例的に試料の採取を行うこととなっている３地点の土壌から、3月31日及び4月4日に採取した試料（合計６検体）のうち、３検体から^{238}Pu（プルトニウム）、^{239}Pu（プルトニウム）、^{240}Pu（プルトニウム）を検出（4月14日18:30東京電力発表）。検出されたプルトニウムの濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウト（放射性降下物）６と同程度であり、通常の環境レベルで人体に問題と

なるものではない。

＜汚染水の拡散防止＞

・専用港内からの汚染水の流出を防止するため、発電所南側防波堤周辺で大型土のうを用いた止水工事を実施（4 月 5 日 15:00～16:30）
・南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了（4 月 11 日 10:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中１枚）を設置（4 月 12 日 12:00～13:00）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中 2 枚）を設置（4 月 13 日 8:30 頃～10:00 頃）
・３，４号機スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了（4 月 13 日 13:50）
・１，２号機スクリーン前面及びカーテンウォールに汚染水拡散防止のためシルトフェンスを設置（4 月 14 日 12:20）
・３号スクリーンポンプ室と４号スクリーンポンプ室の間に、ゼオライトの土のうを３袋設置（4 月 15 日 14:30～15:45）
・２号機バースクリーンの海側に仮設の止水板（鋼板７枚中４枚）を設置（4 月 15 日 9:00～14:15）
・ゼオライトの土のうを１号スクリーンポンプ室と２号スクリーンポンプ室の間に２袋、２号スクリーンポンプ室と３号スクリーンポンプ室の間に５袋を設置（4 月 17 日 9:00～11:15）

＜飛散防止剤の散布＞

・共用プールの山側の約 500m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 1 日 15:00～16:05）
・共用プール山側の約 600 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 5 日 13:00～16:30、4 月 6 日 12:30～14:30）
・共用プール山側の約 680m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 8 日 11:00～14:00）
・共用プール山側の約 550m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 10 日 13:00～14:00）
・共用プール山側の約 1,200m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 11 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 700m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布開始（4 月 12 日 12:00～13:00）
・共用プール山側の約 400m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 13 日 11:00～11:30）
・共用プール山側の約 1600m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 14 日 12:00～13:30）

・共用プール山側の約 1900m^{2}の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 15 日 11:30～13:00）
・サプレッションプール水サージタンク山側の約 1,800 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 16 日 11:00～13:00）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 17 日 10:00～13:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,200 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 18 日 9:00～14:30）
・集中廃棄物処理施設周辺の約 1,900 ㎡の範囲に、地面の放射性物質の飛散を防ぐ飛散防止剤を試験的に散布（4 月 20 日 12:00～13:30）

＜がれきの撤去状況＞
・リモートコントロール重機による、がれきの撤去を実施(4 月 10 日)
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ６個分）を実施（4 月 13 日 11:00～16:10）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 15 日 9:00～15:45）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ８個分）を実施（4 月 16 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ２個分）を実施（4 月 17 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ４個分）を実施（4 月 18 日 9:00～16:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ３個分）を実施（4 月 19 日 9:00～15:00）
・リモートコントロール重機によるがれきの撤去（コンテナ１個分）を実施（4 月 20 日 9:00～16:00）

＜その他＞
・１～３号機タービン建屋外のトレンチ（配管を布設しているトンネル状の地下構造物）の立坑に水が溜まっていることを確認。水表面の線量は、１号機が 0.4mSv/h、２号機が 1,000mSv/h 以上、３号機は、がれきがあり測定できず（3 月 27 日 15:30 頃）。１号機立坑内の溜留水を仮設ポンプにて集中環境施設プロセス主建屋の貯槽に移送し、立坑内の水位が上端から約-0.14m から約-1.14m に減少（3 月 31 日 9:20～11:25）
・３号機建屋外において、残留熱除去海水系配管のフランジを取り外した際、協力企業作業員３名が、配管に溜まった水を被ったが、水を拭き取った結果、身体への放射性物質の付着はなかった（3 月 29 日 12:03）
・3 月 28 日、集中環境施設プロセス主建屋で水溜まりを確認し、放射能分析の結果、3 月 29 日管理区域内で総量約 1.2×10^{1}Bq/cm^3、非管理区域で総量 2.2

×10^1Bq/cm^3の放射能を検出

・原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（１号船）１隻が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（3 月 31 日 15:42)。はしけ船（１号船）からろ過水タンクへ淡水を移送開始（4 月 1 日 15:58)。その後、ホースの不具合により中断（4 月 1 日 16:25）したが、4 月 2 日に注水を再開（4 月 2 日 10:20～16:40)

・２隻目の原子炉等の冷却に使用する淡水を積んだ米軍のはしけ船（２号船）が海上自衛隊の艦船にえい航され、福島第一原子力発電所専用港に接岸（4 月 2 日 9:10)

・米軍のはしけ船（２号船）からはしけ船（１号船）へ淡水を移送（3 日 09:52～11:15)

・集中環境施設プロセス主建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から１台目のポンプによる放出を開始（4 月 4 日 19:03）し、更に全 10 台のポンプによる放出を実施（4 月 4 日 19:07）し、4 月 10 日 17 時 40 分に水中ポンプによる海洋への放出作業を停止し、残水の確認を実施中（総放出量は約 9,070t)

・雑固体廃棄物減容処理建屋内の低レベル滞留水については、放水口南側海域から５台のポンプによる放水を実施（4 月 6 日 17:20～4 月 7 日 18:20)

・タービン建屋内の溜まり水の集中廃棄物処理施設への排水準備のため、２～４号機のタービン建屋の外壁に孔あけを実施（4 月 7 日)

・4 月 7 日 11:32 に発生した宮城県沖の地震により、中断していた集中環境施設における排水作業を再開（4 月 8 日 14:30)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 10 日 15:59～16:28)

・１～４号機放水口サンプリング建屋より発火を確認（4 月 12 日 6:38 頃)。初期消火活動の結果、炎と煙がないことを確認（同日 7:00 前)。その後、鎮火確認（同日 9:12)

・３～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 14 日 10:17～12:25)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 15 日 8:02～9:55)

・１～３号機原子炉への注水ポンプ用の分電盤等を、津波対策として高台に移設（4 月 15 日 10:19～17:00)

・集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策が完了（4 月 18 日)。

・１，２号機と３，４号機間の電源連携強化作業が完了（4 月 19 日 10:23)

・１～４号機について、原子炉建屋の状況を把握するため、無人ヘリによる動画撮影を実施（4 月 21 日 11:43～12:50)

○東京電力(株)福島第二原子力発電所（福島県双葉郡楢葉町及び富岡町）

（１）運転状況

１号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 17:00 冷温停止）

２号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 14 日 18:00 冷温停止）

３号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 12 日 12:15 冷温停止）

４号機（110 万 kW）（自動停止、3 月 15 日 7:15 冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

別添参照

（３）主なプラントパラメーター（4 月 21 日 12:00 現在）

	単位	１号機	２号機	３号機	４号機
原子炉圧力＊1	MPa	0.15	0.13	0.10	0.17
原子炉水温	℃	24.2	24.5	32.8	28.1
原子炉水位＊2	mm	9346	10296	7789	8794
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ水温	℃	23	24	26	29
原子炉格納容器内 ｻﾌﾟﾚｯｼｮﾝﾌﾟｰﾙ圧力	kPa (abs)	105	104	110	107
備　考		冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中	冷温停止中

＊１：絶対圧に換算

＊２：燃料頂部からの数値

（４）各プラントの状況

＜１号機関係＞

・3 月 30 日 17:56 頃、１号機において、タービン建屋の１階の電源盤から煙が上がっていたが、電気の供給を切ったところ、煙の発生が止まった。消防署により、19:15 当該事象は電源盤の異常であり、火災ではないと判断された。

・１号機の原子炉を冷却する残留熱除去系（Ｂ）の電源が、外部電源に加え非常用電源からも受電可能となり、全号機において、残留熱除去系（Ｂ）のバックアップ電源（非常用電源）を確保（3 月 30 日 14:30）

（５）その他異常等に関する報告

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3 月 11 日 18:08）

・１、２、４号機にて同法第１０条通報（3 月 11 日 18:33）

・１号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:22）

・２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 5:32）

・４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生（3 月 12 日 6:07）

○東北電力(株)女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町、石巻市）

（１）運転状況

１号機（52万4千kW）（自動停止、3月12日0:58冷温停止）

２号機（82万5千kW）（自動停止、地震時点で冷温停止）

３号機（82万5千kW）（自動停止、3月12日1:17冷温停止）

（２）モニタリングポスト等の指示値

MP２付近（敷地最北敷地境界）：

約0.28μSv/h（4月20日16:00）（約0.29μSv/h（4月19日16:00））

（３）その他異常に関する報告

・タービン建屋地下1階の発煙は消火確認（3月11日22:55）

・原子力災害対策特別措置法第１０条通報（3月13日13:09）

２　産業保安

○電気（4月20日22:00）

・東北電力（4月20日16:00現在）

停電戸数：約15万戸

停電地域：岩手県　一部地域で停電（約２万８千戸）

宮城県　一部地域で停電（約８万３千戸）

福島県　一部地域で停電（約３万５千戸）

［参考情報］停電戸数の状況の分類（4月19日16:00現在）

①津波等で東北電力の設備、インフラ、家屋等が流出した地域：約８万５千戸

②がれき撤去・立入制限解除等の後、復旧作業に着手する地域：約４万８千戸

③家屋、インフラは健全なものの、水没・損傷した東北電力の設備の復旧が必要な地域：０戸

④東北電力の設備は復旧したが、家主の不在等により送電を留保している戸数：約１万４千戸

・東京電力

停電は3月19日1:00までに復旧済（延べ停電戸数　約405万戸）

・北海道電力

停電は3月12日14:00までに復旧済　（延べ停電戸数　約3千戸）

・中部電力

停電は3月12日17:11に復旧済　（延べ停電戸数　約4百戸）

［参考情報］現在停止中の発電所（原子力発電所を除く）

・東京電力（4月20日16:00現在）※地震により停止中の発電所

広野火力発電所　２，４号機

常陸那珂火力発電所　１号機

鹿島火力発電所　６号機

・東北電力（4月20日16:00現在）
　仙台火力発電所　４号機
　新仙台火力発電所　１，２号機
　原町火力発電所　１，２号機

○都市ガス（4月21日10:00現在）
・供給停止戸数約５千戸（延べ供給停止戸数※　約48万戸）
※延べ供給停止戸数には、家屋倒壊等が確認された戸数を含む。
（１）一般ガス（4月21日10:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中。
・盛岡ガス（盛岡市）死者１名、負傷者10名
　3月14日8:00　デパートの地下での爆発
・東部ガス（いわき市）死者１名
　3月12日11:30　一般住宅での漏えいガスに着火

各社の供給停止状況は以下の通り。
・石巻ガス（石巻市）3,986戸供給停止

（２）簡易ガス（4月21日10:00現在）
各社の供給停止状況は以下の通り。
・釜石瓦斯（上閉伊郡大槌町）370戸供給停止
・ガス＆ライフ（東松島市）145戸供給停止
・泉金物産（上閉伊郡大槌町）68戸供給停止

○熱供給（4月21日10:00現在）
・小名浜配湯（いわき市小名浜）供給停止

○ＬＰガス（4月14日21:00現在）
死亡事故：地震との関係も含め原因詳細調査中
・福島県いわき市　死者１名
　3月13日午前中　共同住宅でガス爆発
・いわき市鹿島の一般住宅でＬＰガス漏れが発生、元栓を閉めて漏えい防止を図っているところ。
（4月11日17:16頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

○コンビナート（4月14日21:00現在）
・コスモ石油千葉製油所（千葉県市原市）
ＬＰＧ貯槽の支柱が折れ、破損。ガス漏れ火災。重傷者１名、軽傷５名。3月21

日午前鎮火。
・JX 日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所（宮城県仙台市）
出荷設備エリアで爆発、火災が発生。3 月 15 日午後鎮火。
・福島県いわき市の第一三共プロファーマ(株)小名浜工場でガス漏れ、火災が発生（既に鎮火。けが人なし）
（4 月 11 日 17:16 頃、福島県内陸部で発生した地震によるもの（福島県浜通りの地震発生による状況について（第二報）で公表済み。））

3　原子力安全・保安院等の対応

【3 月 11 日】

１４：４６　地震発生と同時に原子力安全・保安院に災害対策本部設置

１５：４２　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１６：３６　福島第一原子力発電所１、２号機にて事業者が同法第１５条事象（非常用炉心冷却装置注水不能）発生判断（16:45 通報）

１８：０８　福島第二原子力発電所１号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１８：３３　福島第二原子力発電所１、２、４号機にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１９：０３　緊急事態宣言（政府原子力災害対策本部及び同現地対策本部設置）

２０：５０　福島県対策本部は、福島第一原子力発電所１号機の半径２ｋｍの住人に避難指示を出した。（２ｋｍ以内の住人は 1,864 人）

２１：２３　内閣総理大臣より、福島県知事、大熊町長及び双葉町長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。
・福島第一原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。
・福島第一原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

２４：００　池田経済産業副大臣現地対策本部到着

【3 月 12 日】

０：４９　福島第一原子力発電所１号機にて事業者が同法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）発生判断（01:20 通報）

５：２２　福島第二原子力発電所１号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：３２　福島第二原子力発電所２号機にて事業者が原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生判断（6:27 通報）

５：４４　総理指示により福島第一原子力発電所の１０ｋｍ圏内に避難指示

６：０７　福島第二原子力発電所４号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（圧力抑制機能喪失）発生

６：５０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島

第一原子力発電所第１号機及び第２号機に設置された原子炉格納容器内の圧力を抑制することを命じた。

７：４５　内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第１５条第３項の規定に基づく指示を出した。

・福島第二原子力発電所から半径３ｋｍ圏内の住民に対する避難指示。

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避指示。

１７：００　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１７：３９　内閣総理大臣が福島第二原子力発電所の避難区域

・福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１８：２５　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の住民に対する避難を指示。

１９：５５　福島第一原子力発電所１号機の海水注入について総理指示

２０：０５　総理指示を踏まえ、経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、福島第一原子力発電所第１号機の海水注入等を命じた。

２０：２０　福島第一原子力発電所１号機の海水注入を開始

【3 月 13 日】

５：３８　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（全注水機能喪失）である旨、受信。

当該サイトについて、東京電力において現在、電源及び注水機能の回復と、ベントのための作業を実施中。

９：０１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

９：０８　福島第一原子力発電所３号機の圧力抑制及び真水注入を開始

９：２０　福島第一原子力発電所３号機の耐圧ベント弁開放

９：３０　福島県知事、大熊町長、双葉町長、富岡町長、浪江町長に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示

１３：０９　女川原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

１３：１２　福島第一原子力発電所３号機の注入を真水から海水に切り替え

１４：３６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 14 日】

１：１０　福島第一原子力発電所１号機及び３号機の注入をくみ上げ箇所の海水が少なくなったため停止。

３：２０　福島第一原子力発電所３号機の海水注入を再開

４：４０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

５：３８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：５２　福島第一原子力発電所３号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（格納容器圧力異常上昇）である旨、受信

１３：２５　福島第一原子力発電所２号機にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（原子炉冷却機能喪失）である旨、受信

２２：１３　福島第二原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

２２：３５　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 15 日】

０：００　国際原子力機関（IAEA）専門家派遣の受け入れを決定

IAEA 天野事務局長による原子力発電所の被害に関する専門家派遣の意向を受け、原子力安全・保安院は IAEA による知見ある専門家の派遣を受け入れることとした。なお、実際の受け入れ日程等については、今後調整を行う

０：００　米国原子力規制委員会（NRC）専門家派遣の受け入れを決定

７：２１　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

７：２４　（独）日本原子力研究開発機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

７：４４　（独）日本原子力研究開発機構原子力科学研究所にて原子力災害対策特別措置法第１０条通報

８：５４　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

１０：３０　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の消火及び再臨界の防止、２号機の原子炉内への早期注水及びドライウェルのベントについて実施することを命じた。

１０：５９　今後の事態の長期化を考慮し、現地対策本部の機能を福島県庁内へ移転することを決定。

１１：００　内閣総理大臣が福島第一原子力発電所の避難区域

・炉内の状況を考慮して、新たに福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏～３０ｋｍ圏内の住民に対する屋内退避を指示

１６：３０　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

２２：００　経済産業大臣が原子炉等規制法第６４条第３項の規定に基づき、４号機の使用済燃料プールへの注水について実施することを命じた。

２３：４６　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 18 日】

１３：００　文部科学省にて、福島第一、第二原子力発電所の緊急時における全国的モニタリング調査の強化を決定

１５：５５　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所第１・２・３・４号機における事故故障等（原子炉建屋内の放射性物質の非管理区域への漏えい）の報告を受理

１６：４８　原子炉等規制法第６２条の３に基づき、日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故故障等（非常用ディーゼル発電機２Ｃ海水ポンプ用電動機の故障）の報告を受理

【3 月 19 日】

７：４４　６号機の非常用ディーゼル発電機２台目（Ａ）起動
５号機の残留熱除去系（RHR）ポンプ（Ｃ）が起動し、使用済燃料プールの冷却を開始（電源：６号機の非常用ディーゼル発電機））の旨を受信

８：５８　福島第一原子力発電所にて原子力災害対策特別措置法第１５条事象（敷地境界放射線量異常上昇）である旨、受信

【3 月 20 日】

２３：３０　原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示

【3 月 21 日】

７：４５　原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出

１６：４５　原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村）宛に発出。

１７：５０　原子力災害対策本部長から、ホウレンソウ及びカキナ、原乳につ

いて当分の間、出荷を控えるよう、関係事業者等に要請することの指示を福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の各知事宛に発出。

【3月22日】

１６：００　原子力安全委員会緊急技術助言組織から、3月22日付け東京電力の「海水分析結果について」に関する原子力安全・保安院からの助言依頼について、回答（助言）を受理。

【3月25日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月24日に発生した福島第一原子力発電所３号機タービン建屋における作業員の被ばくに関し、再発防止の観点から、直ちに放射線管理を見直し、改善するよう、口頭で指示。

【3月28日】

原子力安全・保安院は、東京電力株式会社に対し、3月27日に東京電力(株)が発表した福島第一原子力発電所２号機タービン建屋地下階溜まり水の測定に係る評価の誤りについて、再発防止を図るよう、口頭で指示。

１３：５０　原子力安全・保安院は、原子力安全委員会臨時会議助言（福島第一発電所２号機タービン建屋地下１階の滞留水について）を受け、東京電力株式会社に対し、海水モニタリングポイントの追加や地下水モニタリングの実施について、口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、タービン建屋の屋外で確認された水に係る報告が遅れたことに対し、重要な情報については、社内の情報伝達をスムーズにするとともに、適時適切に報告が行われるように指導。

【3月29日】

１１：１６　原子炉等規制法第６２条の３及び電気関係報告規則第３条に基づき、東北電力(株)女川原子力発電所における事故故障等（津波による２号機原子炉補機冷却水ポンプ(B)等の故障及び１号機補助ボイラー重油タンクの倒壊）についての報告を受理。

原子力災害被災者支援の体制強化のため、経済産業大臣をチーム長とする「原子力被災者生活支援チーム」の設置、関係市町村への訪問等を実施。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第１号を公表。

【3月30日】

各電気事業者等に対し、平成23年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施に係る指示文書を発出し、手交。

【3月31日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、3月31日の福島第二原子力発電所への街宣車の進入について、核物質防護等に係る対策に万全を期すよう口頭で指示。

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、作業員の放射線管理に万全を期すように注意喚起。

原子力災害現地対策本部は、２０－３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第２号を公表。

【4月 1日】

原子力安全・保安院は、東京電力(株)に対し、核種分析結果の誤りについて以下の３点について適切な対応をとるように厳重注意。

・核種分析の過去の評価結果について、どの核種について評価の誤りがあるかを明らかにし、すみやかに再評価を行うこと。
・評価の誤りが発生した原因を調査するとともに、再発防止の徹底を行うこと。
・評価結果の誤り等については判明した段階で、早急に連絡を行うこと。

【4月 2日】

福島第一原子力発電所２号機取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について、サンプリングした液体の核種分析を実施すること、２号機周辺に今回漏えいが発見され施設と同様の箇所がないか確認すること及び当該施設周辺においてより多くの場所で水を採取しモニタリングを強化することを口頭により指示。

【4月 4日】

緊急やむ得ない措置として、海洋放出を実施するに当たっての助言を原子力安全委員会に求め、東京電力(株)に対し、現在実施している海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに強化（測定ポイントの増加、実施頻度の増大）することにより、海洋放出による放射性物質の拡散による影響を調査・確認し、情報公開に努めること、併せて、海洋への放出を可能な限り低減するための方策を強化することを指示。

【4月 5日】

福島第一原子力発電所から環境に影響を与える可能性のある放射性物質の放出に伴う措置に係る地方公共団体への事前の通報連絡について、指示文書を発出。

【4月6日】

１号機原子炉格納容器への窒素封入を実施するに当たって、原子力安全・保安院から東京電力に対して以下の３点について指示（4月6日 12:40)。①プラントパラメーターを適切に管理し、その変化に応じて安全を確保するための措置が適切に講じられるようにすること。②

当該作業に従事する作業員の安全を確保する体制等を確立し実施すること。③窒素封入により当該原子炉格納容器内の気体が外部に漏出する可能性が否定できないことから、モニタリングを確実に実施し、更に強化することにより、窒素封入に伴う放射性物質の放出及び拡散による影響を調査及び確認し、情報公開に努めること。

【4月7日】

原子力災害現地対策本部は、２０～３０ｋｍ圏内の地域住民等に向けた、ニュースレター第３号を公表（4月7日）

【4月9日】

原子力安全・保安院は、4月7日23時32分頃に発生した宮城県沖地震により、東北電力(株)東通原子力発電所１号機において全ての非常用ディーゼル発電機が動作可能でない状態に陥った事象を受け、各電気事業者等へ「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて」の指示文書を発出。

【4月10日】

原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関して、その必要性、安全性に係る評価、恒久的な排水保管及び処理施設についての方針等に係る報告の徴収について指示文書を発出。

【4月13日】

・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、原子炉等規制法第６７条第１項に基づき、福島第一原子力発電所建屋の耐震安全性評価の実施結果及び有効な耐震補強工事等の対策の検討結果について報告を指示。
・原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対し、平成23年度東北地方太平洋沖地震により発生した津波に関して、詳細な分析及び検討を指示。
・原子力安全・保安院は、東北電力（株）に対し、女川原子力発電所１号機から３号機において、4月7日23:32頃発生した2011年宮城県沖の地震時に取得した地震観測データの分析及び耐震安全上重要な設備の地震影響評価について報告を指示。

【4月14日】

・４月１３日にサンプリングを行った１、２号機のサブドレン（施設内で集水・管理された地下水）について、前回に比べ放射線濃度が１桁上昇していたことから、原子力安全・保安院は監視の強化を図るよう、口頭で指示。

【4月15日】

・東京電力（株）において４月１日付け人事異動に伴う原子力災害対策特別措置法第９条第５項に基づく原子力防災管理者解任届出に遅延があったことを受け、原子力安全・保安院は、東京電力（株）に対して、厳重注意を行うとともに再発防止策を作成するよう口頭で指示。

・平成２３年４月７日に宮城県沖地震により、電力系統の一部における地絡事故が発生し、原子力発電所等において一時的に外部電源の喪失が発生したことから、一般電気事業者等に対し外部電源の信頼性確保に係る対策を検討するなど指示。

【4 月 18 日】

・4 月 10 日付けで発出した報告の徴収に係る指示に基づき、東京電力(株)から提出された福島第一原子力発電所に滞留している高い放射線量が検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送に関する報告書を受領（4 月 18 日）し、その内容を確認（4 月 19 日）。

【4 月 21 日】

・内閣総理大臣より、福島県知事、広野町長、楢葉町長、富岡町長及び大熊町長に対し、東京電力(株)福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

➢ 避難区域として、福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内区域から半径８ｋｍ圏内区域への変更を指示。

・内閣総理大臣より、福島県知事、富岡町長、双葉町長、大熊町長、浪江町長、川内村長、楢葉町長、南相馬市長、田村市長及び葛尾村長に対し、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第２０条第３項の規定に基づき、次の指示を出した。

➢ 福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。

＜被ばくの可能性（4 月 21 日 15:30 現在）＞

１．住民の被ばく

（１）二本松市福島県男女共生センターにおいて、双葉厚生病院からの避難者約 60 名を含む 133 名の測定を行い、13,000cpm 以上の 23 名に除染を実施した。

（２）この他、福島県が用意した民間バスで、双葉厚生病院から川俣町済生会川俣病院へ移動した 35 名については、県対策本部は被ばくしていないと判断。

（３）バスにより避難した双葉町の住民約 100 名について、100 名のうち、9 名

について測定した結果、以下の通りだった。県外(宮城県)に分かれて避難したが、その後合流して二本松市福島男女共生センターへ移動。

カウント数	人数
18,000cpm	１名
30,000～36,000cpm	１名
40,000cpm	１名
40,000cpm 弱※	１名
ごく小さい値	５名

※（１回目の測定では 100,000cpm を超え、その後靴を脱いで測定した結果計測されたもの）

（４）3 月 12 日から 3 月 15 日にかけて、大熊町のオフサイトセンターにおいて、スクリーニングを開始。現在までに 162 名が検査済み。初め除染の基準値を 6,000cpm とし、110 名が 6,000cpm 未満、41 名が 6,000cpm 以上の値を示した。後に基準値を 13,000cpm と引き上げた際には、８名が 13,000cpm 未満、３名が 13,000cpm 以上の値を示した。

検査を受けた 162 名のうち、５名が除染処置を施した後、病院へ搬送された。

（５）福島県において、避難した１０ｋｍ圏内の入院患者と病院関係者の避難を実施。関係者のスクリーニングを行った結果、3 名について除染後も高い数値が検出されたため、第２次被ばく医療機関へ搬送。この搬送に関係した消防職員 60 名のスクリーニングで 3 名について、バックグランドの２倍以上程度の放射線が検出されたため、60 名に対し除染を行った。

（６）福島県は 3 月 13 日からスクリーニングを開始。避難所や保健所等 11 ヶ所（常設）で実施中。4 月 19 日までに 162,126 人に対し実施。そのうち、100,000cpm 以上の値を示した者は 102 人であったが、100,000cpm 以上の数値を示した者についても脱衣等をし、再計測したところ、100,000cpm 以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例はみられなかった。

２．従業員等の被ばく

福島第一原子力発電所で作業していた従業員で 100mSv を超過した作業員は、計 29 名。

なお、当該作業員３名のうち、２名については、両足の皮膚に放射性物質の付着を確認し、ベータ線熱傷の可能性があると判断されたことから、3 月 24 日に福島県立医科大学附属病院へ搬送し、その後、3 月 25 日に作業員３名とも千葉県にある放射線医学総合研究所に到着。検査の結果、２人の足の被ばく量は２～３Sv と推定され、足及び内部被ばく共に治療が必要となるレベルではなかったが、３名とも、入院して経過を見ることとなった。3 月 28 日正午頃３名の方がすべて退院した。当該作業員３名は 4 月 11 日に放射線医学総合研究所で再受診し、３名とも健康状態に問題はなかった。なお、両足に局所被ばくのあった２名の皮膚に

熱傷の症状や紅斑などは認められていない。

また、4月1日11:35頃、米軍のはしけ船のホース手直し作業のために岸から船に乗り込む際、作業員1名が海に落下した。すぐに周囲の作業員に救助され、けが及び外部汚染はなかったが、念のため、ホールボディカウンタによる測定を行った結果、4月12日に内部取り込みなしと評価された。

3．その他

（1）福島第一原発で作業していた自衛隊員4名が爆発により負傷。うち、1名は放医研に搬送され、検査の結果、外傷のみで、被ばくによる健康被害はないと判断され、3月17日に退院。防衛省において、その他自衛官の被ばくは確認されず。

（2）警察官について、警察庁において2名の除染の実施を確認。異常の報告はなし。

（3）3月24日、川俣町保健センター等において、1～15歳までの66名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（4）3月26日～3月27日、いわき市保健所において、0～15歳までの137名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

（5）3月28日～3月30日、川俣町公民館及び飯舘村役場において、0～15歳までの946名の小児に対する甲状腺の検査を実施。問題となるレベルではなかった。

＜放射能除染スクリーニングレベルに関する指示＞

（1）3月20日、原子力災害対策現地本部から、放射能除染スクリーニングレベルの基準を以下のとおり変更する旨、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に指示。

旧：γ線サーベイメーターにより40ベクレル/c㎡または6,000cpm

新：1マイクロシーベルト／時（10cm離れた場所での線量率）またはこれに相当する100,000cpm

＜避難時における安定ヨウ素剤投与の指示＞

（1）3月16日、原子力災害対策現地本部から、「避難区域（半径２０ｋｍ）からの避難時における安定ヨウ素剤投与の指示」を県知事及び市町村（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

（2）3月21日、原子力災害対策現地本部から「安定ヨウ素剤の服用について」として、安定ヨウ素剤の服用は、本部の指示を受け、医療関係者の立ち会いのもとで服用するものであり、個人の判断で服用しない旨の指示を、県知事及び関係市町村長（富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、川内村、楢葉町、南

相馬市、田村市、葛尾村、広野町、いわき市、飯舘村）宛に発出。

＜負傷者等の状況（4月21日15:30現在）＞

1．3月11日の地震による福島第一原子力発電所の負傷者

・社員２名（軽傷、既に仕事復帰）
・社員２名（地震、津波の際に割れたガラスで切り傷、既に仕事復帰）
・社員１名（避難の際に擦り傷、既に仕事復帰）
・協力会社１名（両足骨折で入院中）
・死亡２名（地震発生後から東京電力（株）の社員２名が行方不明となり、捜査を継続してきたが、3月30日午後、４号機タービン建屋地下一階において当該社員２名が発見され、4月2日までに死亡が確認された。）

2．3月12日の福島第一原子力発電所１号機の爆発による負傷者

・１号機付近で爆発と発煙が発生した際に４名（社員２名、協力会社２名）が１号タービン建屋付近（管理区域外）で負傷。川内診療所で診療。社員２名は既に仕事復帰。協力会社の２名は自宅療養中。

3．3月14日の福島第一原子力発電所３号機の爆発による負傷者

・社員４名（既に仕事復帰）
・協力会社３名（既に仕事復帰）
・自衛隊４名（うち１名は内部被ばくの可能性を考慮し、「(独）放射線医学総合研究所」へ搬送。診察の結果内部被ばくはなし。3月17日退院）

4．その他の被害

・3月11日の地震発生の際に、福島第二原子力発電所において、協力会社の１名（クレーンオペレータ）が死亡。(タワークレーンが折れ、オペレータルームがつぶれ、頭に当たった模様。)
・3月11日に協力会社の１名を病院へ搬送（後日脳梗塞と判明）
・3月12日に急病人１名発生（脳卒中、救急車搬送、入院中）
・3月12日に管理区域外にて社員１名が左胸の痛みを訴えて救急車を要請（意識あり、現在、自宅療養中。）
・3月12日に社員１名が左腕裂傷、病院へ搬送し手当（既に仕事復帰）
・3月13日に社員２名が中央制御室での全面マスク着用中に不調を訴え、福島第二の産業医の受診を受けるべく搬送（１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中）
・3月22日、23日に共用プールで仮設電源盤の作業中に協力会社の２名が負傷し、産業医のいる福島第二原子力発電所へ搬送。(１名は既に仕事復帰、残り１名は自宅療養中)
・4月7日午後、福島第一原子力発電所構内北側の土捨て場において、土のう作りをしていた作業員１名が体調不良になったため、Ｊビレッジに搬送し、身体

サーベイにより汚染なしを確認した後、救急車にていわき市立共立病院に搬送された。4月8日、「脱水、一過性意識消失」と診断。

・4月9日午前9時19分、水処理建屋において全面マスク着用でケーブル処理作業を行っていた協力企業社員1名の気分が悪くなり、建屋の外にある蓋のずれたマンホールに足を踏み入れて負傷したため、病院へ搬送しました。診断の結果、「右膝挫傷」「右膝内側側副靭帯損傷疑い」と診断。なお、身体サーベイの結果、汚染はないことが確認された。

・4月10日午前11時10分頃、2号機ヤードにおいて排水ホースの敷設作業を行っていた協力企業社員1名の気分が悪くなったため、Ｊビレッジに搬送後、同日午後2時27分に救急車で総合磐城共立病院へ搬送。なお、身体への放射性物質の付着はないことが確認された。

＜住民避難の状況（4月21日15:30現在）＞

3月15日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所半径２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の住民に対して、屋内退避を指示。その旨を福島県及び関係自治体へ連絡。

福島第一原子力発電所２０ｋｍ圏外及び福島第二原子力発電所１０ｋｍ圏外への避難は、措置済。

・福島第一原子力発電所２０ｋｍから３０ｋｍ圏内の屋内退避について、徹底中。

・福島県と連携して、屋内退避圏内の住民の生活支援等を実施。

・3月28日、官房長官から福島第一原子力発電所から半径２０ｋｍ圏内の立ち入り規制の継続について発言。同日、原子力災害現地対策本部から関係市町村に対して、２０ｋｍ圏内の避難地域への立入禁止について通知。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第二原子力発電所で発生した事故に関する避難区域を福島第二原子力発電所から半径１０ｋｍ圏内から半径８ｋｍ圏内に変更するよう指示。

4月21日11:00、内閣総理大臣の指示により、福島第一原子力発電所から２０ｋｍ圏内を警戒区域に設定し、緊急事態応急対策に従事する者以外の者に対して、市町村長が一時的な立入りを認める場合を除き、当該区域への立入禁止、又は当該区域からの退去を指示。（警戒区域の発動日時：4月22日0:00）

＜飲食物への指示＞

原子力災害対策本部長より、福島県、茨城県、栃木県、千葉県の知事に対して、以下の品目について、当分の間、出荷等を控えるよう指示。

また、原子力災害対策本部は、出荷制限等の発動・解除の考え方については、原子力安全委員会の助言も踏まえ、以下のように整理した。

・出荷制限・解除の対象区域は、汚染区域の拡がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位など県を分割した区域ごとに行うことも可能とする

・暫定規制値を超えた品目の出荷制限については、汚染の地域的拡がりを勘案し

つつ総合的に判断

・出荷制限の解除は、福島第一原子力発電所の状況を勘案しつつ、約１週間ごと検査を行い、３回連続で暫定規制値を下回った品目・区域に対して実施

・だたし、原子力発電所から放射性物質の放出が継続している間は、解除後も引き続き約１週間ごとに検査を実施

（1）出荷制限・摂取制限品目（4 月 21 日 15:30 現在）

都道府県	出荷制限品目	摂取制限品目
福島県	非結球性葉菜類、結球性葉菜類、アブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、カブ、原乳（一部地域※を除く）、しいたけ（伊達市、相馬市、南相馬市、田村市、いわき市、新地町、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村及び福島市において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）	非結球性葉菜類、結球性葉菜類及びアブラナ科の花蕾類（ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、小松菜、茎立菜、信夫冬菜、アブラナ、アブラナ、ちぢれ菜、山東菜、紅菜苔、カキナなど）、しいたけ（飯舘村において露地で原木を用いて栽培されたものに限る。）、イカナゴの稚魚（コウナゴ）
茨城県	ホウレンソウ（北茨城市及び高萩市において産出されたものに限る。）	
栃木県	ホウレンソウ	
千葉県	・香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ ・旭市において採取されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリ	

※：喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市（旧都路村の範囲を除く）、白河市、いわき市、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村

（2）水道水の飲用制限の要請（4 月 21 日 15:30 現在）

制限範囲	水道事業（対象自治体）
利用するすべての住民	なし
乳児 ・対応を継続している水道事業	飯舘村飯舘簡易水道事業（福島県飯舘村）
・対応を継続している水道用水	なし

供給事業	

＜屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気についての指示＞

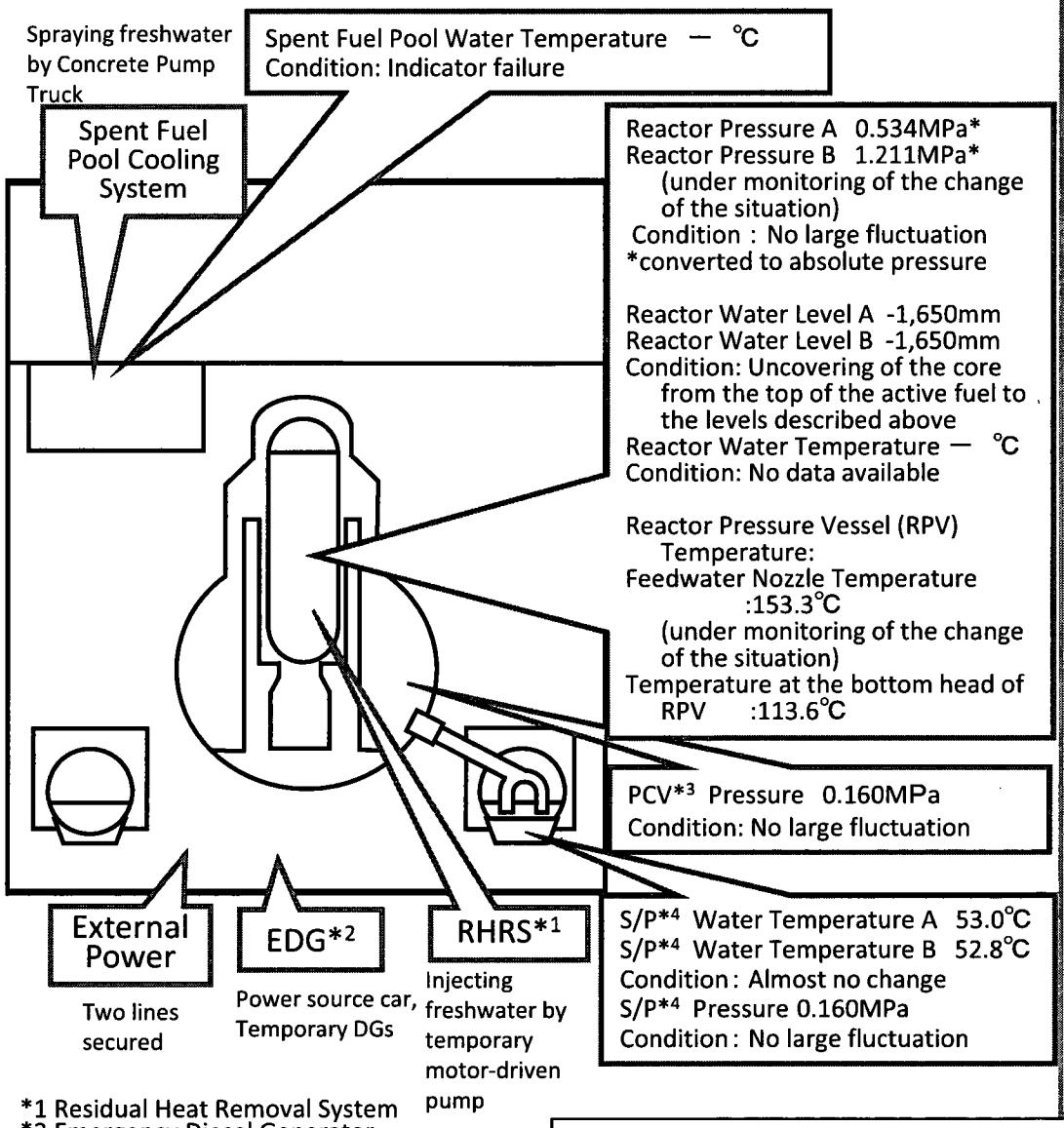
3月21日、原子力災害対策現地本部長から「屋内退避圏内での暖房器具の使用に係る換気について」として、一酸化炭素中毒等の防止の観点及び被ばく低減の観点から、屋内において換気を必要とする暖房器具を使用する場合の対応について屋内退避圏内の住民に周知する旨の指示を福島県知事及び市町村長（いわき市、田村市、南相馬市、広野町、川内村、浪江町、葛尾村、飯館村）宛に発出。

＜消防機関の活動状況＞

・3月22日11:00～14:00頃：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による設営を指導。
・3月23日8:30～9:30、13:30～14:30：新潟市消防局及び浜松市消防局が大型除染システムの東京電力による運用を指導。

（本発表資料のお問い合わせ）
原子力安全・保安院
原子力安全広報課：渡邉、小山田
電話：０３－３５０１－１５０５
０３－３５０１－５８９０

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 1
(As of 13:00 April 21st, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

Major Events after the Earthquake

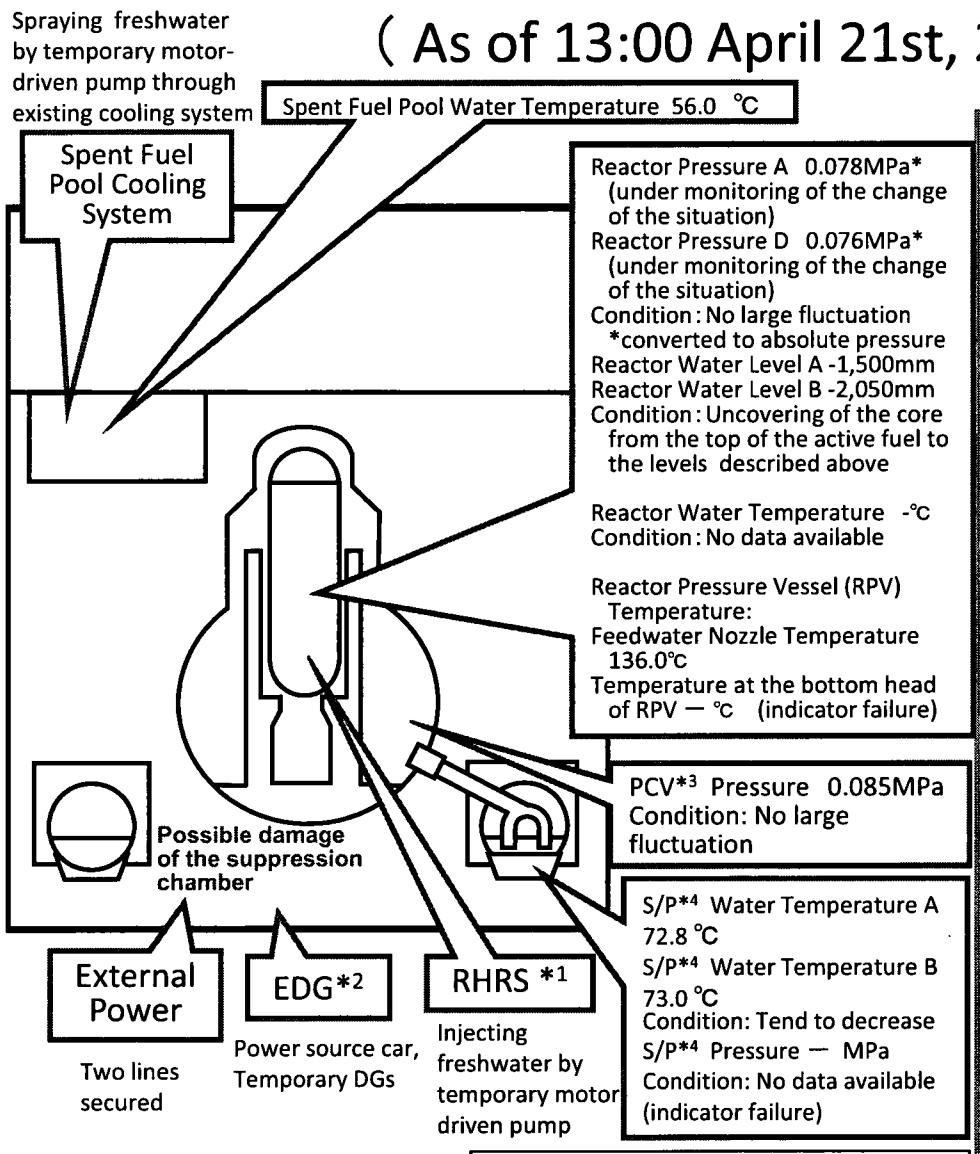
March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 12th 01:20 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 12th 10:17 Started to vent.
March 12th 15:36 Sound of explosion
March 12th 20:20 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 23rd 02:33 The amount of injected water to the Reactor Core was increased utilizing the Feedwater Line in addition to the Fire Extinguish Line. ($2m^3/h \rightarrow 18m^3/h$)
09:00 Switched to the Feedwater Line only.($18m^3/h \rightarrow 11m^3/h$)
March 24th 11:30 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 25th 15:37 Started to inject fresh water.
March 29th 08:32 Switched to the water injection to the Reactor Core using the temporary motor-driven pump.
March 31st 12:00 ～2nd 15:26 Started to transfer the stagnant water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 31st 13:03～16:04 Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)
April 3rd 12:02 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:55 Started to transfer the water from the Condenser to CST.
April 6th 22:30 Started the operation for the injection of nitrogen to PCV.
April 7th 01:31 Confirmed starting the injection of nitrogen to PCV.
April 9th 04:10 Started using highly pure nitrogen generator in the injection of nitrogen to PCV.
April 10th 09:30 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core and nitrogen injection to PCV were suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 11th 23:19 Restarted operation for injecting nitrogen to PCV.
April 11th 23:34 Confirmed starting injection of nitrogen to PCV.
April 17th 16:00～17:30 Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.
April 18th 11:50～12:12 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 2

(As of 13:00 April 21st, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

Major Events after the Earthquake 1/2

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 11th 16:36 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 11:00 Started to vent.
March 14th 13:25 Occurrence of the Article 15 event (Loss of reactor cooling functions)
March 14th 16:34 Started to inject seawater to the Reactor Core.
March 14th 22:50 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 15th 00:02 Started to vent.
March 15th 06:10 Sound of explosion
March 15th around 06:20 Possible damage of the suppression chamber
March 20th 15:05～17:20 Approximately 40 ton seawater injection to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 20th 15:46 Power Center received electricity.
March 21st 18:22 White smoke generated. The smoke died down and almost invisible at 07:11 March 22nd.
March 22nd 16:07 Injection of around 18 tons of seawater to SFP
March 25th 10:30～12:19 Sea water injection to SFP via FPC
March 26th 10:10 Started to inject fresh water to the Reactor Core.
March 26th 16:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 27th 18:31 Switched to the water injection to the core using the temporary motor-driven pump.
March 29th 16:30～18:25 Switched to the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP.
March 29th 16:45～1st 11:50 Transferred the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 30th 9:25～23:50 Confirmed malfunction of the temporary motor-driven pump injecting fresh water to SFP(9:45). Switched to the injection using the fire pump Truck, but suspended as cracks were confirmed in the hose. (12:47, 13:10) Resumed injection of fresh water(19:05)
April 1st 14:56～17:05 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 2nd around 9:30 The water, of which the dose rate was at the level of more than 1,000mSv/h, was confirmed to be collected in the pit located near the Intake Channel of Unit 2. The outflow from the lateral surface of the pit into the sea was also confirmed.
April 2nd 17:10 Started to transfer the water from the Condenser to the CST.
April 3rd 12:12 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 3rd 13:47～14:30 20 bags of sawdust, 80 bags of high polymer absorbent and 3 bags of cutting-processed newspaper were put into the Pit for the Conduit.
April 4th 7:08～7:11 Approximately 13kg of tracer (bath agent) was put in from the Pit for the Duct for Seawater Pipe.
April 4th 11:05～13:37 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 5th 14:15 Tracer is confirmed to outflow through the permeable layer around the pit into the sea. 15:07 Started to inject coagulant.
April 6th around 5:38 The water outflow from the lateral surface of the pit was confirmed to stopped.
April 7th 13:29～14:34 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.
April 9th 13:10 Completed transferring the water from the Condenser to CST.
April 10th 10:37～12:38 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .
April 11th around 17:16 Loss of external power supply due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture). Water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 17:56 External power supply was recovered.
April 11th 18:04 Resumed injecting water to the Reactor Core.

Major Events after the Earthquake 2/2

April 12th 19:35～April 13th 17:04 Transfer from the trench of the turbine building to the Condenser.

April 13th 11:00 Suspended the transfer for checking leaks, etc.

April 13th 13:15～14:55 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump.

April 16th 10:13～11:54 Freshwater injection to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump. (The temporary motor-driven pump stopped at 11:39 due to an earthquake that occurred at around 11:19. SFP was confirmed to be filled to capacity through observing a rise of the water level in the Skimmer Tank.)

April 16th around 11:19 An earthquake occurred (in the southern part of Ibaraki Prefecture).

April 18th 13:42～ Confirmed the situation in the reactor building using an unmanned robot.

April 18th 12:13～12:37 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one.

April 18th 09:30～17:40 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

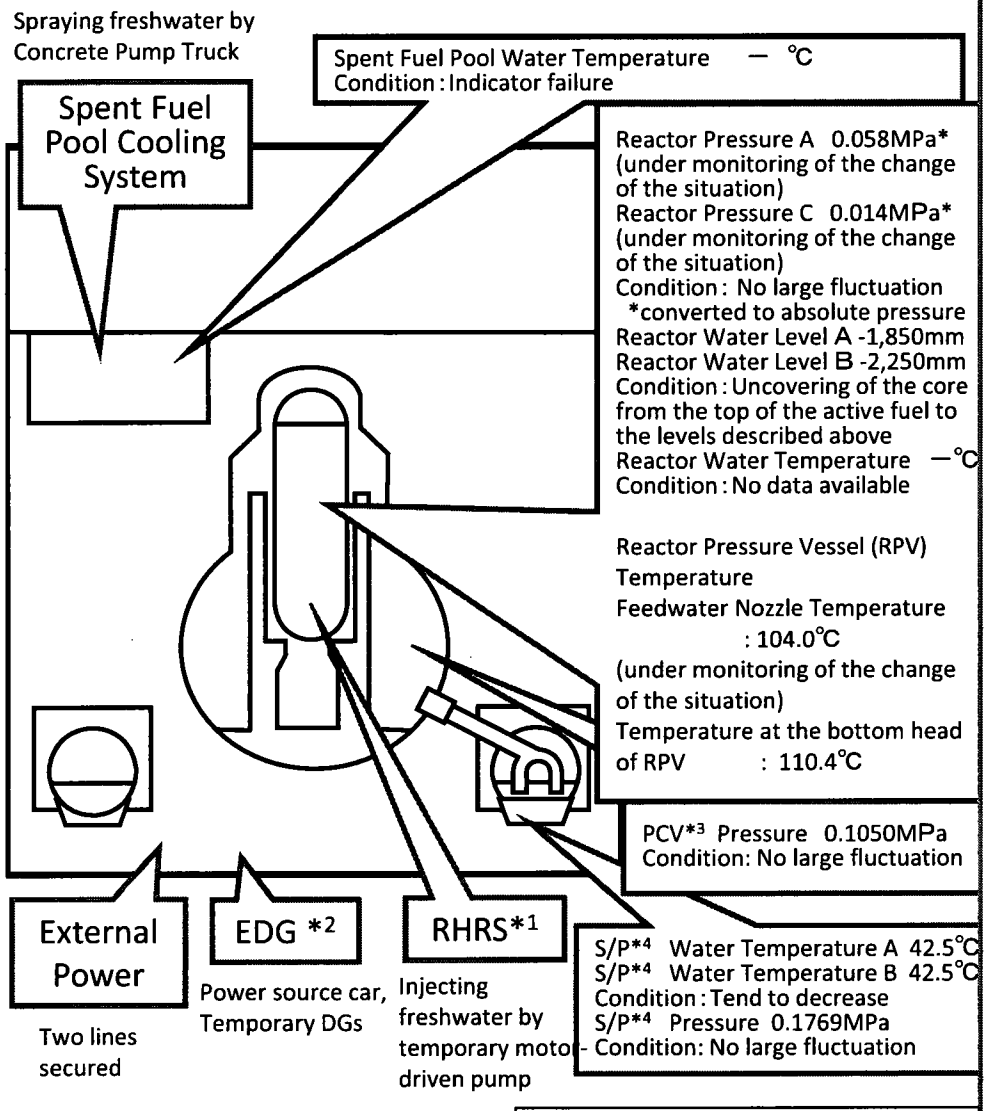
April 19th 08:00～15:30 Injected coagulant (soluble glass) into the power cable trench.

April 19th 10:08～ Started to transfer the stagnant water with high-level radioactivity from the trench of the turbine building to the buildings of radioactive waste treatment facilities.

April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

April 19th 16:08～17:28 Injected freshwater to SFP via FPC using the temporary motor-driven pump .

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 3
(As of 13:00 April 21st, 2011)



*1 Residual Heat Removal System
*2 Emergency Diesel Generator
*3 Primary Containment Vessel
*4 Suppression Pool

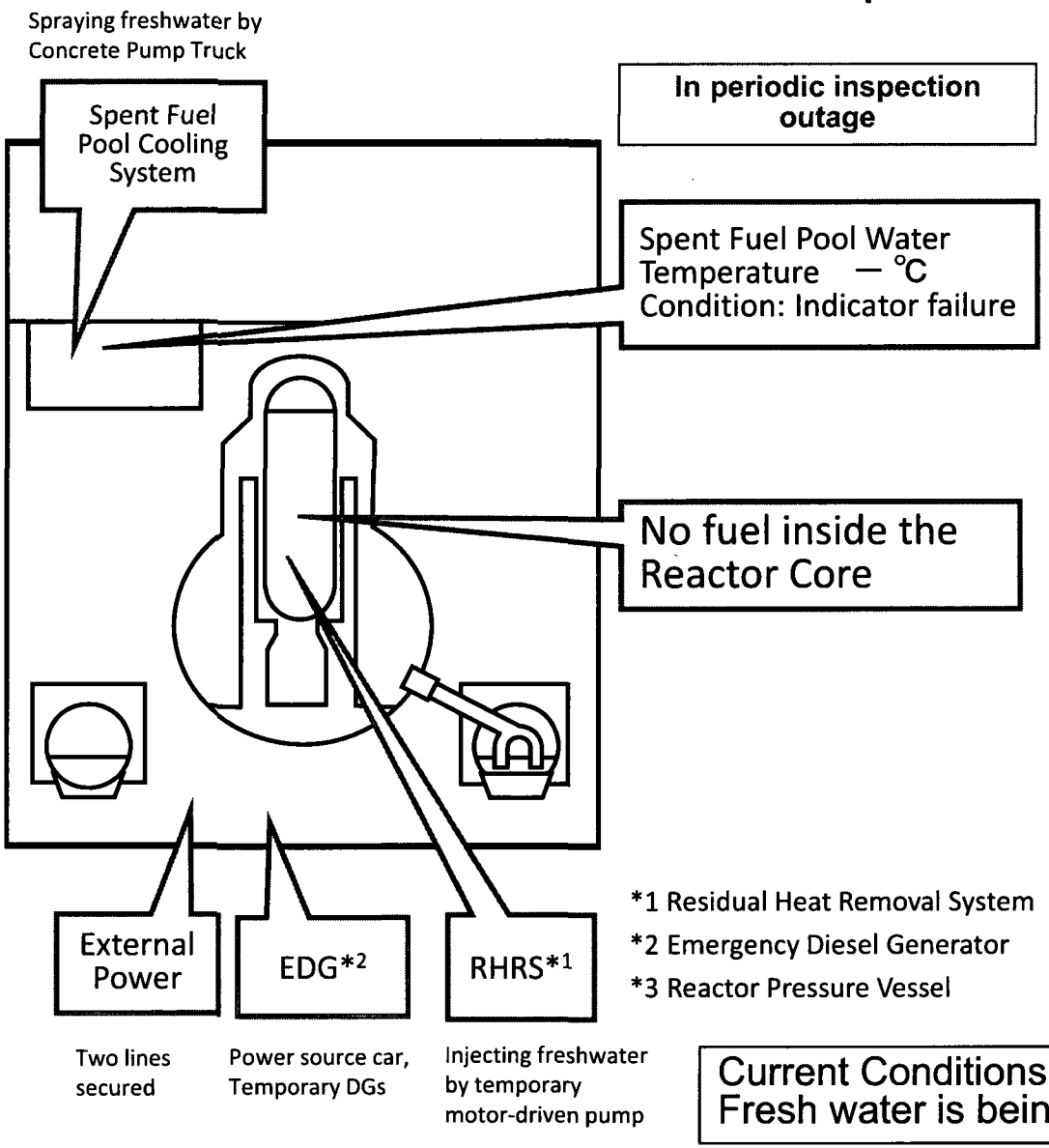
Current Conditions : Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool and the Reactor Core

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Major Events after the Earthquake

March 11th 14:46 Under operation, Automatic shutdown by the earthquake
March 11th 15:42 Report based on the Article 10 (Total loss of A/C power)
March 13th 05:10 Occurrence of the Article 15 event (Inability of water injection of the Emergency Core Cooling System)
March 13th 08:41 Started to vent.
March 13th 13:12 Started to inject seawater and borated water to the Reactor Core.
March 14th 05:20 Started to vent.
March 14th 07:44 Occurrence of the Article 15 event (Unusual rise of the pressure in PCV)
March 14th 11:01 Sound of explosion
March 16th around 08:30 White smoke generated.
March 17th 09:48～10:01 Water discharge by the helicopters of Self-Defense Force
March 17th 19:05～19:15 Water spray from the ground by High pressure water-cannon trucks of Police
March 17th 19:35～20:09 Water spray from the ground by fire engines of Self-Defense Force
March 18th before 14:00～14:38 Water spray from the ground by 6 fire engines of Self-Defense Force
March 18th ～14:45 Water spray from the ground by a fire engine of the US Military
March 19th 00:30 ～01:10 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 19th 14:10 ～ 20th 03:40 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 20th 11:00 Pressure of PCV rose(320kPa).Afterward fell.
March 20th 21:36 ～ 21st 03:58 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department
March 21st around 15:55 Grayish smoke generated and was confirmed to be died down at 17:55.
March 22nd 15:10 ～16:00 Water spray by Hyper Rescue Unit of Tokyo Fire Department and Osaka City Fire Bureau.
March 22nd 22:46 Lighting in the Central Control Room was recovered.
March 23rd 11:03 ～13:20 Injection of about 35 ton of sea water to the Spent Fuel Pool (SFP) via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 23rd around 16:20 Black smoke generated and was confirmed to died down at around 23:30 and 24th 04:50.
March 24th 05:35～16:05 Injection of around 120 ton of sea water to SFP via FPC
March 25th 13:28～16:00 Water spray by Kawasaki City Fire Bureau supported by Tokyo Fire Department
March 25th 18:02 Started fresh water injection to the core.
March 27th 12:34～14:36 Water spray by Concrete Pump Truck
March 28th 17:40～31st around 8:40 Transferring the water from the Condensate Storage Tank (CST) to the Surge Tank of Suppression Pool Water (SPT)
March 28th 20:30 Switched to the water injection to the core using a temporary motor-driven pump.
April 3rd 12:18 The power supply to the temporary motor-driven pump was switched from the temporary power supply to the external power supply.
April 11th around 17:16 Loss of external power supply of Unit 1 and 2 due to an earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture) and water injection to the Reactor Core was suspended.
April 11th 18:04 External power supply of Units 1 and 2 recovered (April 11th 17:56). Resumed injecting water to the Reactor Core.
April 17th 11:30～14:00 Confirmed the situation in the reactor building using unmanned robot.
April 18th 12:38～13:05 Stopped the water injection into the reactor core to replace the current hose with a new one
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.
<Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)>
March 29th 14:17～18:18, March 31st 16:30～19:33, April 2nd 09:52～12:54, April 4th 17:03 ～19:19, April 7th 06:53 ～08:53, April 8th 17:06～20:00, April 10th 17:15～19:15, April 12th 16:26～17:16, April 14th 15:56～16:32, April 18th 14:17～15:02

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 4
(As of 13:00 April 21st, 2011)



Major Events after the Earthquake

In periodic inspection outage when the earthquake occurred
March 14th 04:08 Water temperature in the Spent Fuel Pool (SFP), 84℃
March 15th 06:14 Confirmed the partial damage of wall in the 4th floor.
March 15th 09:38 Fire occurred in the 3rd floor. (12:25 extinguished)
March 16th 05:45 Fire occurred. TEPCO couldn't confirm any fire on the ground. (06:15)
March 20th 08:21～09:40 Water spray over SFP by Self-Defense Force
March 20th around 18:30～19:46 Water spray over SFP by Self-Defense Force
March 21st 06:37～08:41 Water spray over SFP by Self-Defense Force
March 21st around 15:00 Work for laying cable to Power Center was completed.
March 22nd 10:35 Power Center received electricity.
<Water spray by Concrete Pump Truck (Seawater)>
March 22nd 17:17～20:32, March 23rd 10:00～13:02, March 24th 14:36～17:30, March 25th 19:05～22:07, March 27th 16:55～19:25
March 25th 06:05～10:20 Sea water injection to SFP via the Fuel Pool Cooling Line (FPC)
March 29th 11:50 Lighting in the Central Control Room was recovered.
April 11th around 17:16 An earthquake occurred (at Hamadori in Fukushima Prefecture).
April 12th 12:00～13:04 Sampled the water in SFP.
April 19th 10:23 Completed the work of strengthening connection of the power supplies between Units 1-2 and Units 3-4.

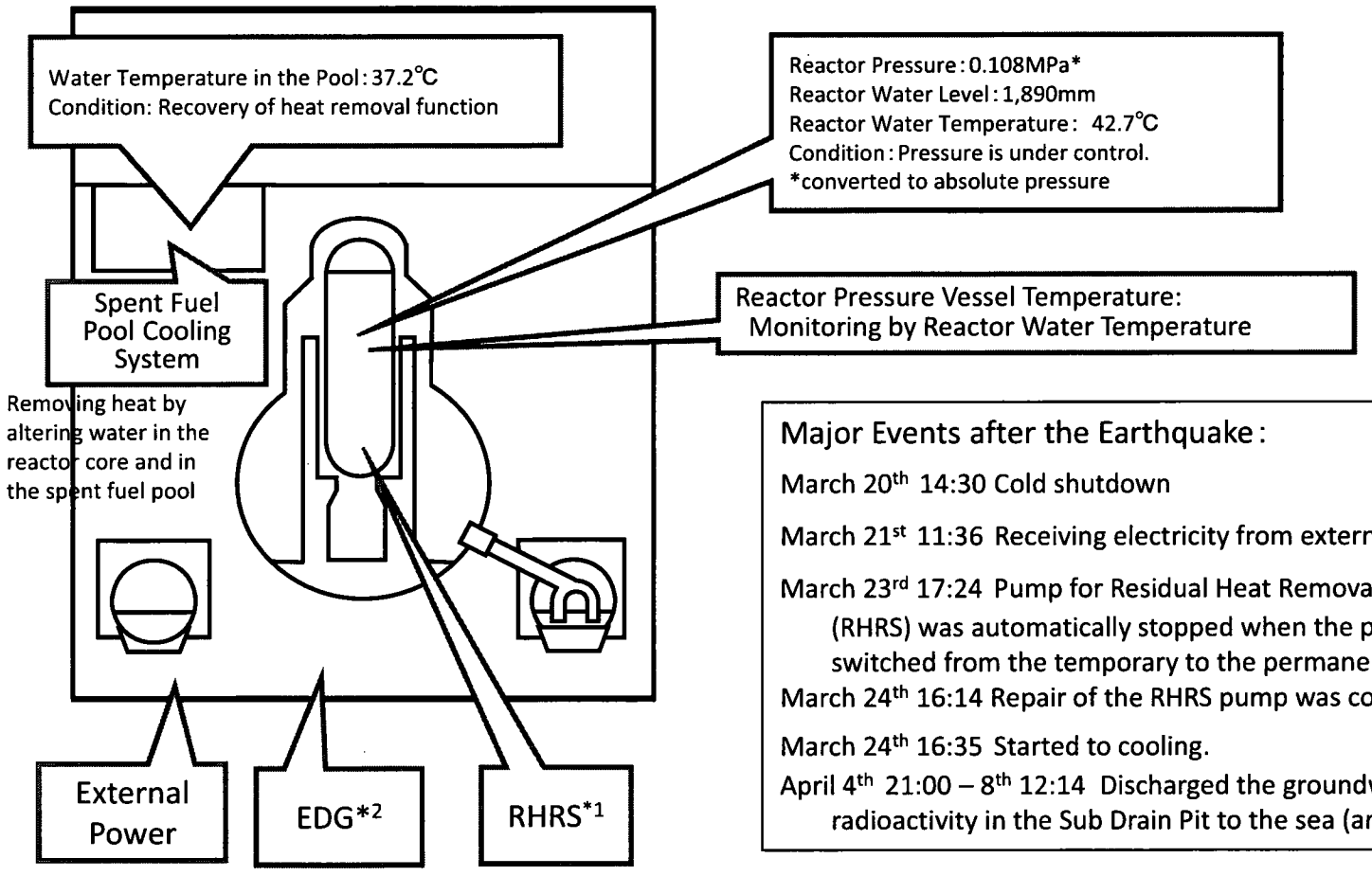
< Water spray by Concrete Pump Truck (Fresh water)> March 30th 14:04～18:33, April 1st 08:28～14:14, April 3rd 17:14～22:16, April 5th 17:35～18:22, April 7th 18:23～19:40, April 9th 17:07～19:24, April 13th 0:30～6:57, April 15th 14:30～18:29, April 17th 17:39～21:22, April 19th 10:17～11:35, April 20th 17:08～20:31

Current Conditions: No fuel is in RPV*3.
Fresh water is being injected to the Spent Fuel Pool.

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 5
(As of 13:00 April 21st, 2011)

In periodic inspection outage



Major Events after the Earthquake:

March 20th 14:30 Cold shutdown

March 21st 11:36 Receiving electricity from external power supply

March 23rd 17:24 Pump for Residual Heat Removal Seawater System (RHRS) was automatically stopped when the power supply was switched from the temporary to the permanent.

March 24th 16:14 Repair of the RHRS pump was completed.

March 24th 16:35 Started to cooling.

April 4th 21:00 – 8th 12:14 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 950 ton).

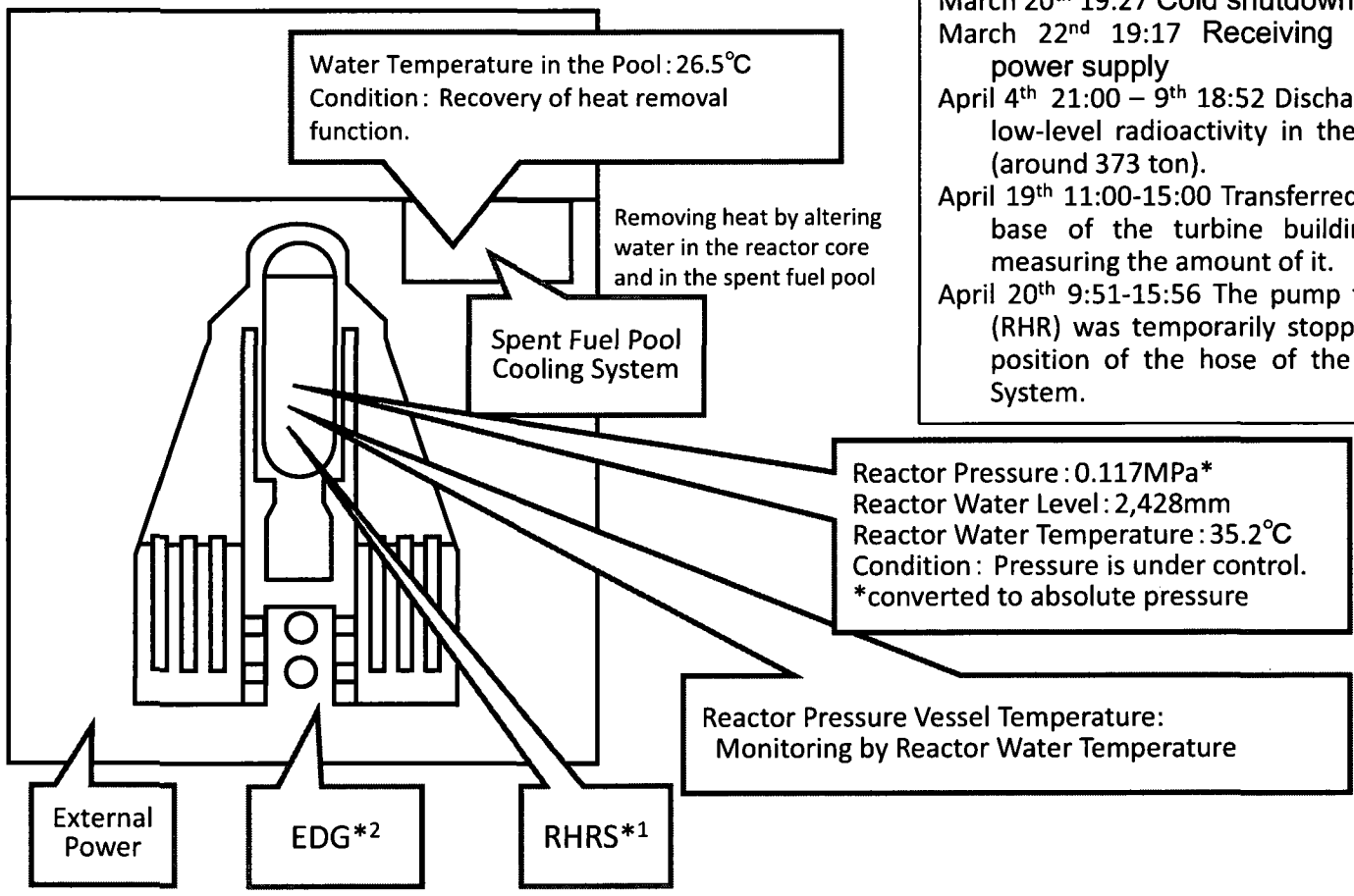
*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

Conditions of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Unit 6
(As of 13:00 April 21st, 2011)

In periodic inspection outage



One line secured

Two EDGs

Removing heat by altering water in the reactor core and in the spent fuel pool

*1 Residual Heat Removal System

*2 Emergency Diesel Generator

Major Events after the Earthquake :

March 20th 19:27 Cold shutdown

March 22nd 19:17 Receiving electricity from external power supply

April 4th 21:00 – 9th 18:52 Discharged the groundwater with low-level radioactivity in the Sub Drain Pit to the sea (around 373 ton).

April 19th 11:00-15:00 Transferred stagnant water under the base of the turbine building to the condenser for measuring the amount of it.

April 20th 9:51-15:56 The pump for Residual Heat Removal (RHR) was temporarily stopped in order to change the position of the hose of the temporary RHR Seawater System.

(Editorial committee for Nuclear Energy Handbook, Nuclear Energy Handbook)

(b)(4)

This page represents 43

pages being withheld under

Ex.4

ANNEX-1 EU PRESS RELEASE

Brussels, 24 March 2011

Food safety: the EU reinforces controls on imports from Japan

In order to further limit possible risks to the safety of its Food Chain, the European Union decided today to reinforce controls on imports of food and feed from certain regions of Japan, where production could be affected by the accident at the Fukushima Daiichi nuclear power plant. Member States endorsed, at a meeting of the Standing Committee on the Food Chain and Animal Health (SCoFCAH), a Commission proposal to impose special import conditions. The measures apply to all feed and food originating in or consigned from 12 prefectures of Japan,[1] including the four most affected by the accident. All products from these prefectures have to be tested before leaving Japan and will be subject to random testing in the EU. Feed and food products from the remaining 35 prefectures will have to be accompanied by a declaration stating the prefecture of origin and will be randomly tested upon arrival in the EU. The Union will review these measures every month.

In particular, the regulation adopted today stipulates that **each consignment of food or feed from the 12 prefectures has to be accompanied by a declaration** –to be provided by the Japanese authorities– attesting that the product does not contain **levels of radionuclides** that exceed the EU's maximum permitted levels[2]. Radionuclides are radioactive elements and the Commission regulation makes specific reference to *iodine-131*, *caesium-134* and *caesium-137*.

Furthermore, importers are required to notify the national competent authorities two days before the arrival of each consignment of food and feed from Japan. Feed and food products that were harvested or processed before March 11 are not affected by the provisions of this regulation. Nevertheless, these products from all of Japan's territory would have to be accompanied by a declaration stating clearly that they were harvested/ processed before March 11.

As regards food and feed harvested/produced **after March 11**, the measures provide that:

- **Upon arrival in the EU**, the competent authorities of the Border Inspection Posts (BIP) or of the consignment's Designated Point of Entry (DPE) will carry out document and identity checks on all food and feed consignments from Japan;
- Physical checks, including laboratory analysis, will be carried out on **at least 10% of the consignments of food or feed** coming from 12 prefectures mentioned above. Physical checks will also be carried out on **at least 20% of the consignments** coming from the remaining 35 prefectures;
- Pending the availability of the test results, products shall be kept under **official control for a maximum of five working days**. The consignments will be released when the importer will present to the custom authorities the favourable results of the official controls mentioned above;
- **Products that are found to exceed the maximum permitted levels** shall not be placed on the market and will either be safely disposed of or returned to Japan.

The Commission proposal, endorsed today by SCoFCAH, will be formally adopted tomorrow. The resulting implementing regulation will enter into force one day after its publication in the European Union's Official Journal. It is expected to be published in the OJ on Saturday, March 26.

Background

Currently, there is no evidence of risk for the EU consumer by increased radiation levels in food and feed products imported from Japan. However, the Commission decided to reinforce its measures in order to further limit possible risks to its own Food Chain and, thus, ensure better protection for the health of EU citizens.

The Commission has been following closely developments in Japan. On 15th March, it asked the Member States, through the Rapid Alert System for Food and Feed (RASFF), to step up controls on food products arriving from Japan.

Food safety risks for EU citizens due to the Japan nuclear crisis are low for a series of reasons. They include:

- Japan is authorised to export to the EU only four products of **animal origin**, namely: **Fishery products; Bivalve molluscs; Casings; Petfood.**

- **Vegetables/fruits** may also be exported to the EU, but such exports from Japan into the EU are small in volume – they stood at about **9,000 tons from all of Japan's territory in 2010**.
- According to the latest information, the **Japanese authorities have taken the necessary measures** to ensure that food (and drinking water) testing above their established acceptable levels of radio-activity is neither sold to the Japanese public nor exported.
- Imports to the EU of Japanese agricultural products (i.e. products of animal origin, fish and of plant products) are relatively small. In 2010, the **total value of agricultural products imported to the EU from Japan stood at €187 million for agricultural products and €18 million for fishery products.**

[1] : Fukushima, Gunma, Ibaraki, Tochigi, Miyagi, Yamagata, Niigata, Nagano, Yamanashi, Saitama, Tokyo and Chiba
[2] : Council Regulation (Euratom) No. 3954/87 (OJ L 371, 30, 12, 1997, p. 11)

PUBLICATION of document in PUBLIC PAGES

Finland	Published on STUK's protected web site Finri https://www.finri.stuk.fi